

2025 年度

履修のてびき

京都光華女子大学

履修のてびきは、毎年変更があり、改訂されます。必ず最新版を確認してください。

光華naviにはたくさんの情報が集まっています

★ <https://navi.koka.ac.jp/> ★

大学のホームページ「在学生の方へ」からもリンクしています

- 学生呼出
- 休講・補講・教室変更情報
- 各部門からのお知らせ
- 時間割紹介
- スケジュール管理
- シラバス紹介
- 履修登録
- 出欠状況確認
- 成績照会
- 面談予約
- クラスプロフィール
- 就職支援情報
- アンケート回答
- e-ポートフォリオetc.
- 学内システムへのアクセス
(e-ラーニング, 教職履修カルテ, マイライブラリ, メール)etc.

【光華naviアプリ】

休補講や試験情報、奨学金等、大学からの大切なお知らせが光華naviに届きます。アプリをダウンロードすると通知が届きますので、必ずプッシュ通知をONにして、大学からのお知らせをご確認ください。

iPhone



Android



手順

- QRコードからアプリをダウンロード
(読み取れない場合はiPhone: App Store/Android: Playストアにて“UNIPA アプリ”で検索)
- アプリ起動後に以下のURLを入力(初回のみ)
navi.koka.ac.jp/uprx/
(<https://>まで自動入力されているので、その後上記を入力)
- ユーザIDとパスワードを入力
(時間割画面が表示されれば完了)

京都市立女子大学 京都市立女子大学 京都市立女子大学

サンプル学生99A992さんとしてログインしています。 切替終了
前回ログイン: 2021/11/25 11:20

個人情報、授業関連、出欠成績、履修登録、アンケート/申込、マイステップ登録、就職支援、e-ラーニング他、マニュアル、その他

授業の休講情報や教室変更などのお知らせが確認できます

重要 期限あり

掲示	2021/11/26	春季オンライン海外研修説明会のZoomリンクのご案内 [国際交流センター]
掲示	2021/11/24	【奨学金募集】 東本願寺奨学金追加募集について [学生サポートセンター 学生生活担当]
掲示	2021/11/22	2021年度春季オンライン研修 説明会のお知らせ (英語・中国語・韓国語・食文化・栄養士・海外インターンシップ) [国際交流センター]

もっと見る

日表示 月表示 履修授業

インフォメーション

2021/11/26(金)

終日

マイスケジュール追加

- 2021年度春季オンライン研修 説明会のお知らせ (英語・中国語・韓国語・食文化・栄養士・海外インターンシップ)
- 【後期】10/8スタート! ネイティブの先生による英会話ラウンジ開催のお知らせ
- 国際交流センター移転のお知らせ
- 卒業権証をお譲りします (11/15~)
- 春季オンライン海外研修説明会のZoomリンクのご案内

各種マニュアル

- 京都市立女子大学
- メールログインページ (Office365)
- PassWord変更 光華navi・学内Wifi:学内のみ
- 光華プリント管理システム
- ダウンロード(各種様式)
- 図書館(学内者専用ページ)
- こんな場合はどこへ?
- FAQ(光華navi よくある質問)

クラスプロフィールでは、教員からの授業資料や課題が提示されます

時間別

I. 履修要項

II. カリキュラム

III. 認定制度

IV. 資格の取得

V. 教員

目 次

I 履修要項

1. 履修規程	
(1) 単 位 制	1
(2) 卒業の要件	2
(3) 留 年	3
(4) コース所属	4
(5) 教育方針	4
2. 履修登録	
(1) 登 録 手 続	6
(2) 履修登録単位の上限	7
(3) 履修登録上限単位の緩和	7
(4) リベラルアーツ教育科目 「インターンシップ」と「キャリア実習」の 履修登録および単位認定について	7
(5) リベラルアーツ教育科目への 学科提供科目の履修について	8
(6) 光華 EDUAL 対象科目の 履修と認定について	9
(7) 聴 講	9
(8) 単位認定制度について	9
3. 授 業 等	
(1) 授 業	12
(2) 授 業 時 間	12
(3) 休講について	12
(4) 気象条件の悪化、交通機関の運休に よる授業の休講及び試験の延期措置 について	12
(5) 授業の休講・定期試験の延期措置の 周知方法・通知時刻	13
(6) 授業の出席について	13
4. 試 験	
(1) 受 験 資 格	14
(2) 気象条件の悪化、交通機関の運休 による試験の延期措置について	14
(3) 定 期 試 験	14
(4) 追 試 験	15
(5) 再 試 験	16
(6) 不正行為について	18
5. 卒業研究・卒業論文	18
6. 転学部・転学科・転専攻	
(1) 転学部・転学科	18
(2) 転 専 攻	19

II カリキュラム

A. キャリア形成学部キャリア形成学科	21
B. 健康科学部健康栄養学科	39
C. 健康科学部看護学科 (看護福祉リハビリテーション学部看護学科)	73
D. 健康科学部医療福祉学科 (看護福祉リハビリテーション学部福祉リハビリテーション学科)	89
E. 健康科学部心理学科	120
F. こども教育学部こども教育学科	138
G. 人間健康学群	158

III 認定制度

1. 光華 EDUAL	167
-------------	-----

IV 資格の取得

1. 教育職員免許状	170
2. 管理栄養士	208
3. 栄養士	210
4. 看護学科取得可能資格一覧	213
5. 社会福祉士	215
6. 精神保健福祉士	216
7. 言語聴覚士	218
8. 作業療法士	231
9. 保育士(こども教育学科)	234
10. 保育士(心理学科)	241
11. 上級情報処理士	248
12. 情報処理士	250
13. 上級ビジネス実務士	254
14. ビジネス実務士	260
15. 食品衛生監視員・管理者	262
16. フードスペシャリスト	263
17. 健康運動実践指導者	265
18. 健康運動指導士	267
19. 初級パラスポーツ指導員	270
20. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者	272
21. 認定心理士	274
22. 保育心理士	277
23. 社会調査士	278
24. 公認心理師	280
25. 小学校英語指導者	282
26. 認定絵本士	283
27. 初級地域公共政策士	284

I 履修要項

1. 履修規程

(1) 単位制

単位制とは、それぞれの授業科目に与えられている単位を、一定の規定に従って履修、修得し、卒業の要件を充たす単位数に達することにより、卒業の資格が与えられる制度である。

単位の計算

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算する。(90分の授業を2時間相当の学修時間とする)

なお卒業論文、卒業研究等については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

単位の認定・GPA制度

履修科目について、試験等の結果、合格と判定された場合に単位が認定される。成績は100点満点の60点以上を合格とし、以下の成績評価区分のとおり表示される。

また、本学では、履修計画・学習計画を立てるために、GPA (Grade Point Average : 学業平均値) 制度を導入している。GPA制度は、一人ひとりの成績を総合的にあらわすものであり、履修登録された授業科目(対象外となる科目も有)を成績算出の対象とする。GP値は、4点を最高点とし、以下0点までの数値で表示される。

〈成績・GP (Grade Point) の基準について〉

合格／不合格	成績評価	成績評価基準	成績内容	GP
合格	秀	90点以上	特に優れた成績	4.0
	優	80点以上 90点未満	優れた成績	3.0
	良	70点以上 80点未満	妥当と認められる成績	2.0
	可	60点以上 70点未満	合格と認められる最低限の成績	1.0
不合格	不可	60点未満	合格と認められる最低限の成績に達していない場合	0.0
	欠	—	評価不能(出席回数不足等)	
その他		認	コンソーシアム京都の単位互換・編入・留学・高大連携等による単位認定科目 科目等履修科目	GPA 対象外

*自由科目(非要卒科目)はGPA対象外。

*GPA値については、光華naviの成績照会画面より確認することができる。

*ただし、納付金未納の場合、当該期間履修中の単位は認定されない。

*成績評価は、素点では公開されない。

◆ GPA (Grade Point Average) の算出方法

$$GPA = \frac{\{(4.0 \times 90 \text{点以上相当の修得単位数}) + (3.0 \times 80 \text{点以上}90 \text{点未満相当の修得単位数}) + (2.0 \times 70 \text{点以上}80 \text{点未満相当の修得単位数}) + (1.0 \times 60 \text{点以上}70 \text{点未満相当の修得単位数})\}}{\text{総履修登録単位数 (注1)}}$$

(注1) 2024年度より「不可」「欠」となった科目を再履修の上、単位修得した場合は最終評価にてGPAを算出します。
 (注2) GPAは、小数点第4位を四捨五入し、小数点第3位までの数値で、表示します。
 (注3) 「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含まれません。

(2) 卒業の要件 (卒業所要単位数)

卒業の要件を充たすためには、4年以上在学し、下表に示す単位数以上を修得しなければならない。
 ただし、在学年限は8年を超えることができない。

〈キャリア形成学部〉

学科	対象	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
		必修	選択	計	必修	選択	計	
キャリア形成学科	2022年度入学生	10	26※1	36	25	67※2	92	128
	2022年度入学留学生	16	20※1	36	25	67※2	92	128
	2023年度以降入学生	11	25※1	36	20	72	92	128
	2023年度以降入学留学生	17	19※1	36	20	72	92	128

※1 選択必修4単位 (I群・II群各2単位) を含む ※2 選択必修16単位を含む

〈健康科学部〉

学科	対象	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
		必修	選択	計	必修	選択	計	
健康栄養学科	2022年度管理栄養士専攻	10	11※1	21	59	48	107	128
	2023年度以降管理栄養士専攻	11	10※1	21	59	48	107	128
	2024年度以降管理栄養士専攻留学生	17	4※1	21	59	48	107	128
	2022年度健康スポーツ栄養専攻	10	20※1	30	62	36	98	128
	2023年度健康スポーツ栄養専攻	11	19※1	30	50	48	98	128
	2024年度以降健康スポーツ栄養専攻	11	19※1	30	52	46	98	128
	2024年度以降健康スポーツ栄養専攻留学生	17	13※1	30	52	46	98	128

※1 選択必修4単位 (I群・II群各2単位) を含む

学科	対象	リベラルアーツ教育科目			専門基礎・専門			合計
		必修	選択	計	必修	選択	計	
看護学科	2022年度入学生	10	10※1	20	98	10	108	128
	2023年度入学生	11	9※1	20	98	10	108	128

※1 選択必修4単位 (I群・II群各2単位) を含む

学科	対象	リベラルアーツ教育科目			共通専門・専門基礎・専門科目			合計
		必修	選択	計	必修	選択	計	
医療福祉学科	2022年度社会福祉専攻入学生	10	18※1	28	24	76	100	128
	2022年度社会福祉専攻入学留学生	16	12※1	28	24	76	100	128
	2023年度社会福祉専攻入学生	11	17※1	28	24	76	100	128
	2023年度社会福祉専攻入学留学生	17	11※1	28	24	76	100	128
	2022年度言語聴覚専攻入学生	13※2	12※3	25	95	8	103	128
	2023年度言語聴覚専攻入学生	14※2	11※3	25	95	8	103	128

※1 選択必修4単位 (I群・II群各2単位) を含む ※2 専攻所定の必修3単位を含む

※3 選択必修5単位 (I群・II群各2単位) を含む

学科	対象	区分	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
			必修	選択	計	必修	選択	計	
心理学科	2022年度入学生		10	20※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2022年度入学留学生		16	14※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2023年度以降入学生		11	19※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2023年度以降入学留学生		17	13※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128

※1 選択必修4単位（I群・II群各2単位）を含む ※2（ ）内は卒業論文を選択した場合の単位数

〈こども教育学部〉

学科	コース	対象	区分	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
				必修	選択	計	必修	選択	計	
こども教育学科	幼児教育コース	2022年度入学生		10	12※1	22	40	66	106	128
		2022年度入学留学生		16	6※1	22	40	66	106	128
		2023年度以降入学生		11	11※1	22	40	66	106	128
		2023年度以降入学留学生		17	5※1	22	40	66	106	128
	学校教育または初等教育コース	2022年度入学生		10	12※1	22	74	32	106	128
		2022年度入学留学生		16	6※1	22	74	32	106	128
		2023年度以降入学生		11	11※1	22	72	34	106	128
		2023年度以降入学留学生		17	5※1	22	72	34	106	128

※1 選択必修4単位（I群・II群各2単位）を含む

〈人間健康学群〉

学科	対象	区分	リベラルアーツ教育科目			専門科目			合計
			必修	選択	計	必修	選択	計	
人間健康学群	2022年度入学生		10	22※	32	38	58	96	128
	2023年度以降入学生		11	21※	32	38	58	96	128
	2024年度以降入学留学生		17	15※	32	38	58	96	128

※ 選択必修4単位（I群・II群各2単位）を含む

〈看護福祉リハビリテーション学部※2024年度以降入学生対象〉

学科	対象	区分	リベラルアーツ教育科目			専門基礎・専門			合計
			必修	選択	計	必修	選択	計	
看護学科	2024年度以降入学生・2025年度入学留学生		11	9※1	20	98	10	108	128

※1 選択必修4単位（I群・II群各2単位）を含む

学科	対象	区分	リベラルアーツ教育科目			共通専門・専門基礎・専門			合計
			必修	選択	計	必修	選択	計	
福祉リハビリテーション学科	2024年度以降作業療法専攻入学生 2025年度作業療法専攻入学留学生		12	8※1	20	106	2	108	128
	2024年度以降言語聴覚専攻入学生 2025年度言語聴覚専攻入学留学生		12	5※2	17	103	8	111	128
	2024年度社会福祉専攻入学生		11	17※1	28	24	76	100	128
	2024年度社会福祉専攻入学留学生		17	11※1	28	24	76	100	128

※1 選択必修4単位（I群・II群各2単位）を含む

※2 選択必修5単位（I群・II群各2単位）を含む

(3) 留年

4年次において、卒業の要件を充たさない場合は留年とする。

留年学生については、卒業要件を充たせば前期末の卒業を認める。

※ 卒業予定者は光華naviにて発表するので、各自の責任において、必ず確認すること。

(4) コース所属

こども教育学部こども教育学科に次の2コースを設ける。コースの所属は、学生の希望に基づき、こども教育学科で決定する。

- ① 幼児教育コース 幼児教育コースは、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格取得を目的とする。
- ② 学校教育または初等教育コース 学校教育または初等教育コースは、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状の取得を目的とする。

(5) 教育方針

●「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

知識・理解	幅広い視野	DP1	人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している
		DP2	[専門分野] について適切な知識や理解、そして技術を有している
		DP3	幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる
汎用的能力	基本的能力	DP4	適切な日本語運用力を修得し、活用することができる
		DP5	母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる
		DP6	基礎的 ICT の知識・スキルを修得し、適切に活用することができる
		DP7	数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる
態度・志向性	豊かな人間性	DP8	仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている
		DP9	多様性の尊重と共生の精神を有している
		DP10	日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる
	態度・志向性	DP11	高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる
		DP12	[専門分野] の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる
		DP13	[専門分野] の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14	自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている
		DP15	現代社会の諸問題を解決するために、[専門的] 知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる

●カリキュラム・マップ

各教育課程における授業科目に「到達目標」を3つ設定し、ディプロマ・ポリシー（DP1～DP15）との関連を示している。

2. 履修登録

(1) 登録手続

- ① 履修登録については、所定の期日までに、その学年で履修しようとする授業科目の登録をしなければならない。履修登録をしていない授業科目には、試験等に合格しても単位は与えられない。登録は、光華 navi により行うが、手続・方法については、学年始めのオリエンテーション（履修説明）で説明する。本年度の履修登録期間は前期・後期で期間を設け、別途定める。
*後期履修登録期間で、科目の追加・変更が可能であるが、後期に受講を考えている科目は前期履修登録期間中に全て登録しておくこと。
- ② 登録科目を取り消す場合は、指定した期限内に必ず光華 navi により手続きすること。本年度の取消期間は前期・後期で期間を設け、別途定める。
- ③ 不合格になった必修科目は、原則として次年度において必ず再履修しなければならない。不合格になった選択科目は、同一年度に履修はできない。
- ④ 合格した授業科目の取り消し、および再履修はできない。
- ⑤ 授業科目は、カリキュラム上、下記の通りに分けられている。

〈2022・2023 年度入学生対象〉

キャリア形成学部	キャリア形成学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
健康科学部	健康栄養学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
	看護学科	リベラルアーツ教育科目、専門基礎科目、専門科目、自由科目
	医療福祉学科	リベラルアーツ教育科目、共通専門科目、社会福祉専攻専門科目、言語聴覚専攻専門科目
	心理学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
こども教育学部	こども教育学科	リベラルアーツ教育科目、専門基幹科目、専門発展科目、自由科目
人間健康学群		リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目

〈2024 年度以降入学生対象〉

キャリア形成学部	キャリア形成学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
健康科学部	健康栄養学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
	心理学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
看護福祉リハビリテーション学部	看護学科	リベラルアーツ教育科目、専門基礎科目、専門科目、自由科目
	福祉リハビリテーション学科	リベラルアーツ教育科目、共通専門科目、作業療法専攻専門科目、社会福祉専攻専門科目、言語聴覚専攻専門科目
こども教育学部	こども教育学科	リベラルアーツ教育科目、専門基幹科目、専門発展科目、自由科目
人間健康学群		リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目

- ⑥ 授業科目は⑤の区分とは別に、必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目に分けられている。
- ⑦ それぞれの授業科目は、原則として、カリキュラム表に記載されている配当年次に従って履修すること。

- ⑧ 授業科目名は、入学年度により異なるので、カリキュラム表および光華 navi で配信される開講科目表の備考欄を十分に参照して履修すること。
- ⑨ 履修登録者数が10名未満の講義・演習・実習科目は、原則として開講を取り止める。ただし、必修科目、一部の資格科目を除く。
最終確定は履修登録者の状況を踏まえ、教務委員会にて審議のうえ決定するものとする。
※少数不開講科目の教科書・参考書については、定められた期日までに手続を行うことで、返金の対象となる。手続の際には購入時のレシートと書籍が必要となるため開講学期中はかならず保管しておくこと。
- ⑩ 授業科目は教員、教室等の都合により、登録者の人数・資格等について制限を設けることがある。

(2) 履修登録単位の上限

各年次にわたって、無理なく効果的に授業科目を学習するために、各学科ごとに、1年間に履修登録できる卒業要件に関する科目について、単位数の上限を定める。詳細はカリキュラム表の下の〈履修登録の上限〉を確認すること。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

(3) 履修登録上限単位の緩和

2020年度入学生より、学期 GPA が「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4単位の範囲内で履修登録単位数を増やすことができる。

今年度前期 3.3 以上→今年度後期に4単位増（今年度後期開講科目より履修）

今年度後期 3.3 以上→翌年度前期に4単位増（翌年度前期開講科目より履修）

※緩和された4単位分を、翌々学期に持ち越すことはできない。

- ① GPA は、履修登録期間直前の成績公表時の学期 GPA の数値を用いる。履修登録時に、成績評価が間に合わない科目の GP は含めない。
- ②履修単位数の緩和を希望する学生は、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

(4) リベラルアーツ教育科目「インターンシップ」と「キャリア実習」の履修登録および単位認定について

所定の要件を満たす就業体験を行う場合、事前学習および事後学習に参加し、リベラルアーツ教育科目「インターンシップ」（2単位、配当年次3-4年）、あるいは「キャリア実習」（1単位、配当年次1-2年）の履修登録を行うことによって単位を修得することができる。春期休暇中に就業体験を行う場合は、事前学習と翌年度の事後学習に参加し、翌年度に履修登録および単位認定を行う。参加予定の就業体験が単位認定できる内容かどうかについては、科目担当者または就職支援センターに申し出て事前に必ず確認すること。事前学習と事後学習のおよそのスケジュールは下記の通りである。

科目名	就業体験の時期	事前学習(ガイダンス、ビジネスマナーなど)	事後学習	
			ディスカッション	成果報告会
「インターンシップb」 (通年集中科目)	3年次あるいは 4年次の 夏期休暇中	3年次あるいは 4年次の 4月～7月	3年次あるいは 4年次の10月	3年次あるいは 4年次の1月
「インターンシップa」 (翌年度前期集中科目)	3年次の 春期休暇中	3年次の 1月～2月	4年次の4月	4年次の7月
「キャリア実習b」 (通年集中科目)	夏期休暇中	4月～7月	10月	1月
「キャリア実習a」 (翌年度前期集中科目)	春期休暇中	1月～2月	翌年度の4月	翌年度の7月

なお、海外の実習先を対象とした「海外インターンシップ」も「キャリア実習」として単位認定が可能となる場合がある。詳細は国際交流センターで確認すること。

(5) リベラルアーツ教育科目への学科提供科目の履修について

本学では、所属学科以外の専門科目の一部を、リベラルアーツ教育科目として履修することができる(以下、「学科提供科目」)。

ただし、科目ごとに定員を設けているため、定員数を超えた場合は、抽選とする。

学科提供科目の修得単位は、リベラルアーツ教育科目の選択科目として認定される。

なお、卒業要件となる為、各学期における履修登録の上限単位数に含まれる(上記(2)、(3)参照)。

リベラルアーツ教育科目への学科提供科目他

〈2022～2025年度入学生対象〉

提供学科	専攻	提供科目	配当年次	授業期間	定員
キャリア形成学科	—	ビジネスマナー	2～4	後期	5
		TOEIC I	2～4	前期	10
		TOEIC II	2～4	前期	10
		女性のキャリア形成	3	後期	10
		実践英語 I	2～4	前期	10
		実践英語 II	2～4	後期	10
健康栄養学科	管理栄養士専攻	食マーケティング論	4	前期	10
	健康スポーツ栄養専攻	スポーツマネジメント論	3・4	前期	10
看護学科	—	中医学の基礎	2～4	前期	10
		ホリスティックヘルス I	2～4	前期	10
医療福祉学科 福祉リハビリ テーション学科	社会福祉専攻	スクールソーシャルワーク概論	2～4	後期	10
		発達障害と制度	1～4	後期	10
	言語聴覚専攻	言語聴覚障害学概論	3・4	前期	10
	作業療法専攻	子どもの作業療法	2	前期	10

提供学科	専攻	提供科目	配当年次	授業期間	定員
心理学科	—	発達心理学入門 (保育の心理学)	2～4	後期	10
		環境心理学	2～4	未定	10
こども教育学科	—	第二言語習得論	3・4	後期	10

※ 「実践ビジネス英語」「実践ビジネス英会話」「心の健康と社会福祉」については 2025 年度不開講

(6) 光華 EDUAL 対象科目の履修と認定について

光華 EDUAL 対象科目を履修し所定の単位を取得することで、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの「リテラシーレベル」「応用基礎レベル」に認定される。単位取得後に認定証と認定バッジを光華 navi 経由で該当者に対して配布する。対象科目については P.167 を確認すること。

(7) 聴 講

聴講とは、履修登録をしていない授業科目を受講することである。聴講を希望する者は、担当教員の許可を得たうえ、修学支援センターに「聴講届」を届け出ること。ただし、単位としては認められない。

(注) 受講者数などの都合により許可されないことがある。また、欠席が多い場合は許可を取り消すことがある。

(8) 単位認定制度について

京都地域の大学・短期大学が加盟する大学コンソーシアム京都の単位互換制度や本学短期大学部提供科目、協定校留学制度を利用し単位を修得した科目を、「他大学単位修得科目」として本学の卒業に必要な単位として含めることができる。

卒業に必要な単位に含めることができる単位数の上限は下記のとおりである。

<単位認定条件>

①大学コンソーシアム京都単位互換制度

キャリア形成学部

リベラルアーツ教育科目・専門科目の要卒単位（選択）として、10 単位まで認定する。

上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。

どの分野の単位として認定をするかは学科の教務委員の教員に確認すること。

健康科学部／看護福祉リハビリテーション学部／こども教育学部

リベラルアーツ教育科目の要卒単位（選択）として 6 単位まで認定する。

上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。

人間健康学群

リベラルアーツ教育科目・専門科目の要卒単位（選択）として、10 単位まで認定する。

上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。

どの分野の単位として認定をするかは学群の教務委員の教員に確認すること。

②科目等履修生制度

卒業要件となる科目については、履修登録の上限単位数に含まれ、上限を超えた場合の履修は認められない。

③協定校留学制度

対象学科：キャリア形成学科、心理学科、医療福祉学科／福祉リハビリテーション学科（社会福祉専攻）、こども教育学科、人間健康学群

・長期留学（年間）：30単位（上限）

＊キャリア形成学科「長期（1年）留学（12単位）」も本上限単位に含む

・ Semester留学（半期）：16単位（上限）

＊キャリア形成学科「Semester留学（6単位）」も本上限単位に含む

＊具体的な単位認定については、学科教務委員の教員に確認すること。

<出願方法>

①大学コンソーシアム京都単位互換制度

4月1日以降新学年のオリエンテーション期間に大学コンソーシアム京都ホームページの単位互換制度特設 Web サイトで、シラバス・講義日程等を確認すること。

出願する場合は、本学の履修登録を優先し、通学時間など十分考慮して履修計画をたて、大学コンソーシアム京都ホームページ（単位互換・京カレッジポータルサイト）より利用者登録および科目出願を行い、「出願票作成」画面から出願票を印刷の上、指定の期日までに大学提出用・本人用を修学支援センターへ提出すること（詳細は大学コンソーシアム京都単位互換制度特設 Web サイトを参照）。

②科目等履修生制度

他大学（本学短期大学部含む）で開講されている科目をその学校の在學生と共に履修し、試験等で合格点に達した場合に単位を修得することができる制度である。

出願を希望する場合は、本学の科目等履修規程に則り、修学支援センターに申し出て、「科目等履修生出願票・履修希望理由書」を受取り、指定の期限までに修学支援センターへ提出すること。

※科目等履修科目の卒業要件・成績区分については、学科によって異なるので、事前に所属している学科の教務委員の教員に確認すること。

※本学在學生が他学部・他学科の科目を履修する場合は選考料・履修料は免除となる。

本学開講の指定対象科目は以下のとおりである。

a. 短期大学部

履修を希望する者は、「他学科科目等履修出願票」に必要事項を記入し、指定の期日までに修学支援センターに提出すること。

〈短期大学部提供科目〉

科目名	担当者名	対象学科	受入人数	備考
カウンセリング理論	白井 卓也	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
カウンセリングスキル	森 際 孝 司 猪 澤 歩	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
臨床心理学	猪 澤 歩	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
女性の心と身体	上 英 俊	キャリア形成学科	制限なし	
世界の服飾史	青 木 正 明	キャリア形成学科	制限なし	
住居プランニング演習	未 定	キャリア形成学科	制限なし	
インテリアパース演習	未 定	キャリア形成学科	制限なし	
インテリア設計士資格検定特講	今 井 俊 夫	キャリア形成学科	制限なし	
居住福祉論	今 井 俊 夫	キャリア形成学科	制限なし	
色彩の応用	青 木 正 明	キャリア形成学科	制限なし	
ブライダル検定アドバンス	未 定	キャリア形成学科	制限なし	
食生活概論	横井智恵子	人間健康学群	10名	

b. 大学（他学科・非要卒単位）

履修を希望する者は、履修登録期間中に自身で光華 navi より履修登録を行うこと。

〈キャリア形成学部キャリア形成学科提供科目〉

科目名	対象学科	受入人数	備考
公務員特別演習基礎	全学科	－	
公務員特別演習発展	全学科	－	
公務員特別演習応用	全学科	－	

③協定校留学制度

協定校留学制度「長期留学」…

本学の協定校に1年間（30週以上）留学する制度。原則として、2年次もしくは3年次に実施し、ESL（English as a Second Language）科目及び類似科目または専門科目を履修する。

「セメスター留学」……

本学の協定校に6ヵ月間（15週以上）留学する制度。原則として、2年次から3年次に実施し、ESL（English as a Second Language）科目及び特別コースを履修する。

*具体的な留学制度については、国際交流センターに確認すること。

3. 授 業 等

(1) 授 業

- ・授業の形態には、時間割表に基づいて行う通常の授業と、特定期間に集中的に行う集中講義とがある。なお、授業の都合により補講を行うこともある。
- ・集中講義は、原則として休暇期間中に行う（授業科目によっては他の時期に設定される場合もある）。
- ・補講及び集中講義に該当する授業科目は、光華 navi により通知する。

(2) 授 業 時 間

授業時間は、次のとおりである。

講 時	第 1 講 時	第 2 講 時	第 3 講 時	第 4 講 時	第 5 講 時
授 業 時 間	8：50～10：20	10：30～12：00	12：50～14：20	14：30～16：00	16：10～17：40

(3) 休講について

大学・短期大学の行事または各授業科目の担当者のやむを得ない事由により、授業を休講することがある。その場合は光華 navi により通知する。

休講の掲示がなく、始業開始時刻を 30 分以上経過しても授業が始まらない場合は、修学支援センターに問い合わせ指示を受けること。

(4) 気象条件の悪化、交通機関の運休による授業の休講及び試験の延期措置について

気象条件の悪化等の影響により、以下に掲げる交通機関が運転を休止している場合あるいは休止が予想される場合には、授業の休講・定期試験の延期措置を行うことがある。

<措置の基準>

交通機関の不通・特別警報（種類を問わない）の発令、暴風警報の発令による臨時休講・授業の取り扱いは次のとおりとする。

<1>下記のいずれかの交通機関が不通の場合

- ① J R（米原～大阪）
- ② 阪急電車（京都線）
- ③ 京都市バス・京都市営地下鉄のいずれかが全面不通

<2>京都府南部に特別警報（種類を問わない）または暴風警報が発令された場合
京都府南部

京都市	宇治市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市
京田辺市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	
宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	

<1><2>による授業開始は以下のとおりとする。

交通機関の開通時刻および警報解除時刻	授業開始講時
午前7時までに開通・解除	1 講時から平常通り実施
午前10時までに開通・解除	3 講時から実施
午前10時以降開通・解除	終日休講

(備考)

- ・上記の交通機関または地域以外で、不通・気象警報発令等の影響により通学が困難な場合は、届け出により考慮する。
- ・上記の取り扱いにかかわらず、自然災害等の状況によって別途の措置を講ずる場合がある。
- ・看護学科における臨地実習については、別途の基準による（臨地実習要項参照）。

(5) 授業の休講・定期試験の延期措置等の周知方法・通知時刻

原則として、光華 navi で配信するため、必ず確認すること。

1. 午前の授業の休講、定期試験の延期措置等については、当日午前7時の判断により通知する。
 2. 午後の授業の休講、定期試験等の延期措置等については、当日午前10時の判断により通知する。
- なお、気象・交通機関の状況の急変により、上記時刻を過ぎて休講または試験の延期を決定する場合がある。

(6) 授業の出席について

授業の履修者は、すべての授業回に出席すること。

原則、所定授業回数の2/3以上出席しなければ、評価の対象とならない。

遅刻3回をもって欠席1回とする。

ただし、以下の場合には公欠とし、授業回数から省かれるため、光華 navi の出席率(%)には算定されない(オンデマンド授業を除く)。

例) 15回授業科目において公欠1回、欠席5回の場合

授業回数から公欠1回分が差し引かれ、授業回数が14回となり、そこから欠席5回を差し引くと出席が9回となる。そのため、出席回数は9/14回(64%)となり、所定授業回数の2/3以上(67%以上)の出席を満たさないこととなる。

ア. 学外実習等

対象となる実習等は、以下の①と②に該当するもののみである。

①教育実習、介護等体験、ソーシャルワーク実習A、同B、精神保健福祉実習A、同B、言語聴覚士臨床実習、保育実習I、同II、同III、栄養士・管理栄養士臨地実習、作業療法専攻臨床実習および看護学科臨地実習の実習期間の授業および試験に関して学生本人から科目担当者に公欠の申し出のあった場合。

※子ども教育学科の実習時期等についてはP.153参照のこと

②大学、学部または学科主催の行事や研修等のため、それぞれ学長、学部長、学科長から科目担当者に公欠扱いの依頼があった場合。

イ. 忌引

両親	7日
兄弟姉妹・祖父母	3日

同居の親族 1日

(ただし、遠隔地の場合は往復の時間を考慮する。なお、上記日数は休日等を含む)

- ウ. 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症を発症した場合。ただし、医師の診断書により出席停止を必要とされた時期に限る(出席停止の措置がとられた場合、医師において感染のおそれがないと認められ登校を許可されれば、出校停止期間が明記された診断書もしくは、本学所定「学校感染症罹患証明書」を提出のこと)。

〈学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症は次のとおり〉

第1種…エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)及び鳥インフルエンザ(H5NI、H7N9)、中東呼吸器症候群

第2種…インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5NI、H7N9)を除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症

第3種…コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症。

なお、オンデマンド授業については、「公欠」に相当する欠席であることが確認できる書類〔(上記、ア～ウ)を担当教員に提示することで、課題提出期限を指定期間外等に変更するなどの配慮が認められる場合がある。〕

4. 試 験

(1) 受験資格

次の各項の一に該当する場合は受験資格がない。

- ① 当該授業科目の履修登録を行っていない場合。
- ② 当該授業科目の欠席回数が、所定授業回数の1/3を超えた場合(例えば、15回授業の科目の場合、6回以上欠席した科目を指す)。なお遅刻3回をもって欠席1回とする。
なお、3-(6)授業の出席について(P.13)に定めるア～ウに該当する場合は、欠席日数には算定されない。
- ③ 学生証(有効であること)を携帯していない場合。

(2) 気象条件の悪化、交通機関の運休による試験の延期措置について

P.12を参照すること。

(3) 定期試験

定期試験は、前期末(7月下旬～8月上旬)に行うものを「前期末試験」、後期末(1月下旬～2月上旬)に行うものを「学年末試験」とする。履修した授業科目については、原則として試験が行われ、筆記・口述・レポート・論文・実習・製作物などによって行われる。特に、レポート・筆記試験の場合は、次の注意をよく守ること。

① レポート

定期試験期間中に提出を指示されたレポートについては、用紙はA4サイズを使用し、指定の

表紙を付ける。提出に関しての注意

- ア. 指定の表紙に必要事項をペン（鉛筆・フリクションボールペンは不可）で記入し、ホッチキスで綴じること（止め金の後ろにセロテープまたは紙を貼る）。
- イ. 提出時にレポート受領票を受取り、成績を確認するまで各自保管すること。
- ウ. 不正行為はしないこと。盗用を含むレポートの提出はこれを認めない。
- エ. 一旦提出した後の追加・訂正・差し替え等はやむを得ないので注意すること。
- オ. 提出日・受付時間を厳守すること。**時間に遅れた場合は受け取らない**（郵送は原則不可）。

② 筆記試験

- ア. 学生証は、必ず机上の通路側に、写真が見えるように置くこと。試験当日、学生証を忘れた者は、試験開始前に、学生サポートセンターで「仮学生証（試験受験用）」（当日限り有効）の交付を受けること。
- イ. 不正行為をしないよう厳正な態度で受験すること。
- ウ. 解答用紙は、持ち帰ったり廃棄したりしないこと。
- エ. 試験場には、許可されたもの以外は持ち込まないこと。
- オ. 前記のほか、試験場ではすべて監督者の指示に従うこと。もし従わない場合は、退場を命じられることがある。
- カ. 定期試験に欠席した者は、試験期間終了後3日以内に、所定の「試験欠席届・追試験願」を修学支援センターへ提出すること。

③ その他

- ア. 試験時間割の見間違いによって受験できなかった場合は、追試験には該当しないため、十分注意すること。
- イ. 試験開始後20分以上遅刻した者は試験を受けることはできない。また、試験開始後30分を経過しなければ試験場から退出できない。一旦退出した者は再入場できない。
- ウ. 定期試験時間は、授業時間と同じ。（P.12 参照）

(4) 追 試 験

やむを得ぬ事由で定期試験に欠席した者の願い出に対して行われるのが追試験である。追試験を受けようとする者は**原則、試験期間終了後3日以内**（年度によって申請締切日時が異なるため、大学からの連絡を確認すること）に、所定の「試験欠席届・追試験願」に次のいずれかのものを添付し、修学支援センターへ提出しなければならない。

- ① 病気の場合は、医療機関による診断書（欠席した期間が明記されているもの）
- ② 就職試験・インターンシップの場合は、就職支援センター長、公式試合などの場合は、学生部長の具申書
- ③ 公欠・忌引・出席停止の感染症（P.14 参照）および交通機関の事故など、不可抗力による欠席の場合は、それを証明するもの
 - ・実習関係：添付書類は不要
 - ・忌引：会葬御礼 等
 - ・感染症：医療機関による診断書（感染症名、出席停止期間記載のもの）または本学所定の「学校感染症罹患証明書」（P.14 ウ参照）
 - ・交通機関の遅延：遅延証明書

最終成績は100点を最高点とし、追試験料は1科目につき500円とする。ただし、③の場合の追試験料は徴収しない。

(注) 無届欠席者および上の条件を充たさない者に対しては、追試験を行わない。

いかなる理由であっても、追試験を受験できなかった場合の再実施は行わない。

(5) 再試験

再試験を受験する場合は、光華 navi にて配信される連絡事項をよく確認すること。

※ 国家試験受験資格と卒業要件の一致する次の学科・専攻では、1～3年次学生の条件を卒業判定（見込み含む）の結果留年となる4年次学生にも準用する。（対象：看護学科、言語聴覚専攻、作業療法専攻）

〈キャリア形成学科・福祉リハビリテーション学科（医療福祉学科）社会福祉専攻・人間健康学群〉

4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。

40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。（ただし、「卒業研究」は除く）

※ 再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は1科目につき1,000円とする。

〈心理学科〉

4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。

40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。

※ 再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は1科目につき1,000円とする。

いかなる理由であっても、再試験を受験できなかった場合の再実施は行わない。

〈健康栄養学科〉

健康栄養学科1～3年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。栄養士及び管理栄養士免許証の取得に必要な専門科目（管理栄養士については国家試験受験資格の要件）の講義科目のうち、40点以上の成績で不合格となった科目。

健康栄養学科4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」は除く）。ただし、卒業要件にかかわらず、栄養士および管理栄養士免許証の取得要件が充たせる場合も含むが、この場合も含めて在籍最終年度に履修している科目のうち3科目以内に限る。

※ 再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は1科目につき1,000円とする。

〈看護学科〉

看護学科1～3年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。専門基礎、専門科目の必修科目のうち、60点未満の成績で不可となった科目（ただし、臨地実習は除く）。

看護学科4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒論ゼミ」は除く）。

- ※ 再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。
再試験料は1科目につき1,000円とする。

〈福祉リハビリテーション学科（医療福祉学科）言語聴覚専攻〉**【2022・2023年度入学生対象】**

- ・言語聴覚専攻3年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。専門基礎、専門科目の必修科目のうち、40点以上の成績で不合格になった科目（ただし、「臨床実習（見学実習）1週間」「臨床実習（評価実習）4週間」は除く）。

【2024年度以降入学生対象】

言語聴覚専攻1～3年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

専門基礎、専門科目の必修科目のうち、60点未満の成績で不合格となった科目（ただし、「臨床実習（見学実習）1週間」「臨床実習（評価実習）4週間」「臨床実習（総合実習）8週間」は除く）

- ※ 成績評価「欠」は除く

【4年次生】

- ・言語聴覚専攻4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40点以上の成績で不合格になった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。（ただし、「臨床実習（総合実習）8週間」「卒業研究」は除く）

- ※ 再試験の評価は可（60点）・不可のいずれかとする。
再試験料は1科目につき1,000円とする。

〈福祉リハビリテーション学科作業療法専攻〉

作業療法専攻の1～3年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

作業療法士国家試験受験資格取得に必要な必修科目（リベラルアーツ教育科目除く）のうち、60点未満の成績で不可となった科目（ただし、臨床実習は除く）。

作業療法専攻の4年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」および「臨床実習」は除く）。

- ※再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。
再試験料は1科目につき1,000円とする。

〈こども教育学科〉

- ・40点以上で不合格になった科目のうち、在籍最終年度に履修している3科目以内の科目の単位を

取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」は除く）。ただし、卒業要件にかかわりなく、小学校教諭1種免許状・幼稚園教諭1種免許状・保育士資格の取得要件が満たせる場合も含むが、この場合も含めて在籍最終年度に履修している科目のうち3科目以内に限る（「幼稚園教育実習」、「小学校教育実習Ⅰ」、「小学校教育実習Ⅱ」、「教育実習（幼・小）」「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」は再試の対象とならない）。

※再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は1科目につき1,000円とする。

(6) 不正行為について

不正行為をしないよう厳正な態度で受験すること。

試験における不正行為とは、次のことをいう。

- ① レポート・論文・実習・製作物において盗用する行為。
※盗用の疑いがあるときは、厳正に調査の上、盗用の有無を確認する。
- ② 筆記試験において、他の学生の答案をのぞき見て写しとったり、他の学生に写させたりする行為。
- ③ その他不正な手段を用いて受験すること。

不正行為をした者は、次のとおり処分する。

ア. 定期試験期間開始時にさかのぼって、試験期間中は停学処分とする。

イ. 定期試験期間（追試験、再試験期間を含む）における一切の単位の修得を認めず、評価については0点とする。

ウ. 卒業学年の再試験における不正行為については、当該科目のみ単位の修得を認めず、評価については0点とする。

※その他、不正行為の内容により、本学が定める「学生懲戒委員会規程」に則って処分される場合がある。

5. 卒業研究・卒業論文

学科・専攻ごとに提出期間、方法を別途定める。卒業研究・卒業論文については、期限を厳守して学科・専攻指定の形態で提出すること。期限に遅れた場合はどのような理由があっても受け付けない。また、一度提出した後は、確認やさしかえ等を行うことはできないため、注意すること。

6. 転学部・転学科・転専攻

(1) 転学部・転学科

転学部・転学科を希望する者（原則、1年次または2年次）については、大学運営会議の議を経て2年次または3年次からの転学部・転学科を許可することがある。詳細は、修学支援センターへ問い合わせること。

出願期間は別途定める。

なお、転学部・転学科については、①入学後の履修状況、②希望学科の収容定員超過率が考慮される。

※転学部・転学科を希望する場合は、必ずクラスアドバイザーに相談すること。希望学科によっては、卒業要件や資格要件を満たすために、在学期間5年以上を要する場合がある。

※転学群については、転学部と同様に扱うものとする。

転学部・転学科受入学部・学科一覧

≪ 2023 年度入学生対象 ≫

学部	学科・専攻
キャリア形成学部	キャリア形成学科
健康科学部	医療福祉学科 社会福祉専攻
	心理学科
人間健康学群	

≪ 2024 年度以降入学生対象 ≫

学部	学科・専攻
キャリア形成学部	キャリア形成学科
健康科学部	心理学科
看護福祉リハビリテーション学部	福祉リハビリテーション学科 社会福祉専攻
	福祉リハビリテーション学科 言語聴覚専攻
	福祉リハビリテーション学科 作業療法専攻
人間健康学群	

(2) 転専攻

所属学科内において転専攻を希望する1年次または2年次に在籍する者については、下記の条件を充たした場合に、大学運営会議の議を経て2年次または3年次からの転専攻を許可することがある。詳細は、修学支援センターへ問い合わせること。

出願期間は別途定める。

なお、転専攻については、以下の点が考慮される。

- ①希望者の成績が優良であること。
- ②転専攻を希望する目的が明瞭であること。
- ③異動を希望する専攻に学生受入数の余裕があること。

※転専攻を希望する場合は、必ず学科教員（クラスアドバイザー）に相談すること。希望専攻によっては、卒業要件や資格要件を満たすために、在学期間5年以上を要する場合がある。

転専攻受入学科・専攻一覧

≪ 2023 年度入学生対象 ≫

学部・学科	専攻	備考
健康科学部 健康栄養学科	管理栄養士専攻	
	健康スポーツ栄養専攻	
健康科学部 医療福祉学科	社会福祉専攻	言語聴覚専攻対象

《 2024 年度以降入学生対象 》

学部・学科	専攻	備考
健康科学部 健康栄養学科	管理栄養士専攻	
	健康スポーツ栄養専攻	
看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科	社会福祉専攻	
	言語聴覚専攻	
	作業療法専攻	

Ⅱ カリキュラム

A. キャリア形成学部 キャリア形成学科

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
		● 京都光華の学び	演習	30	1				1					
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○	○	
		● アカデミックライティング	演習	30	1				1					
		● 伝統文化	演習	30			1		1					
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	必修				
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
		英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択				
		英会話Ⅱ	演習	30	1				1					
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1					
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1					
		医療英語	演習	30	1				1					
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
		ハンゲルⅠ	演習	30	1				1					
		ハンゲルⅡ	演習	30	1				1					
	海外での語学研修	実習	30			2		2						
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2				2	選択				
		食生活と健康	講義	15	2				2					
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択 必修 2単位				
		仏教文化	講義	15	2				2					
		文化人類学	講義	15	2				2					
		言語と文学	講義	15	2				2					
		日本文化の理解	講義	15	2				2					
		京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
芸術文化論		講義	15	2				2						
サブカルチャー論		講義	15	2				2						
現代アジア事情		講義	15	2				2						
現代欧米事情		講義	15	2				2						
国際社会の理解		講義	15	2				2						
国際社会とジェンダー		講義	15	2				2						

Ⅱカリキュラム

キャリア形成学部

2022

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格									
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士							
人文・社会・自然 II群	リベラルアーツ教育科目	心 理 学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位												
		社 会 学	講義	15	2			2													
		日 本 国 憲 法	講義	15	2			2													
		現 代 社 会 と 法	講義	15	2			2													
		現 代 社 会 と 政 治	講義	15	2			2													
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2													
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2													
		生 命 の 科 学	講義	15	2			2													
		生 活 と 物 理 ・ 化 学	講義	15	2			2													
		地 域 と 環 境	講義	15	2			2													
		生 活 と 防 災	講義	15	2			2													
		ボ ラ ン テ ィ ア 論	講義	15	2			2													
キャリアデザイン	リベラルアーツ教育科目	情 報 リ テ ラ シ ー 基 礎	演習	30	1			1	選択												
		情 報 リ テ ラ シ ー 応 用	演習	30	1			1													
		数 的 処 理 の 基 礎	演習	30	1			1													
		日 本 語 表 現 の 技 法	演習	30	1			1													
		読 解 と 思 考 の 技 法	演習	30	1			1													
		W e b デ ザ イ ン	演習	15		2		2													
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2													
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	演習	15		2		2													
		A I へ の ア プ ロ ー チ	講義	15		2		2													
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2													
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2													
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2													
キ ャ リ ア 実 習	実習	30	1			1															
イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習	30			2	2															
留学生	リベラルアーツ教育科目	日 本 語 F I	演習	30	1			1	外国 人留 学生 必修												
		日 本 語 F II	演習	30	1			1													
		日 本 語 S I	演習	30		1		1													
		日 本 語 S II	演習	30		1		1													
		日 本 事 情 I	演習	30	1			1													
		日 本 事 情 II	演習	30	1			1													
専門科目	女性エンバウメント	● 女性 の 生 き 方 ・ 働 き 方	講義	15	2			2	必修												
		● 女 性 と 現 代 社 会	講義	15	2			2													
		女 性 と ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2	選択	選択 必修 4 単位											
		女 性 と 経 済	講義	15		2		2													
		女 性 の キ ャ リ ア 形 成	演習	30			1	1													
		キ ャ リ ア サ ポ ー ト	演習	30			1	1													
		女性のアントレプレナーシップ	講義	15			2	2													

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格	
					1年	2年	3年	4年					
専攻科目	日本語リテラシー	○ ロジカルシンキング	演習	30		1			1	選択	選択必修2単位		
		プレゼンテーション	演習	30		1			1			○	
		ロジカルライティング	演習	30		1			1				
	ICT	情報社会の理解	講義	15	2				2	選択	選択必修6単位	○	○
		情報技術の理解	講義	15	2				2			○	
		数と社会	演習	30	1				1				
		コンピュータ活用A	演習	30		1			1			○	
		コンピュータ活用B	演習	30		1			1			○	
		コンピュータ活用C	演習	30		1			1			○	○
	汎用スキル 外国語	TOEIC I	演習	30			1		1	選択	選択必修6単位		
		TOEIC II	演習	30			1		1				
		実践英語 I A	演習	30		1			1				
		実践英語 I B	演習	30		1			1				
		実践英語 II A	演習	30		1			1				
		実践英語 II B	演習	30		1			1				
		実践ビジネス英語	演習	30			1		1				
		実践ビジネス英会話	演習	30			1		1				
		セメスター留学	実習	45		6			6				
		長期(1年)留学	実習	45		12			12				
		実践中国語 I	演習	30		1			1				
		実践中国語 II	演習	30		1			1				
	プロジェクト・インターンシップ	● プロジェクト入門 I	講義	15	2				2	必修	○	○	
		● プロジェクト入門 II	演習	30	2				2				○
		● プロジェクト実践	演習	30		2			2	必修	○	○	
		● プロジェクト評価	演習	30		1			1				○
		● 専門実習(長期インターンシップ)	実習	45			2		2	選択			
	ゼミ	● 基礎ゼミ I	演習	30	1				1	必修			
		● 基礎ゼミ II	演習	30	1				1				
		● 発展ゼミ I	演習	30		1			1				
		● 発展ゼミ II	演習	30		1			1				
● 応用ゼミ I		演習	15			2		2					
● 応用ゼミ II		演習	15			2		2					
● 応用ゼミ III		演習	15				2	2					
● 応用ゼミ IV		演習	15				2	2					
● 卒業研究		演習	—				2	2					

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
IIカリキュラム キャリア形成学部 2022	マネジメント基礎	○	ビジネス・マネジメント原論	講義	15	2			2	選択	選択必修 4単位		○	
		○	サービス・マネジメント原論	講義	15	2			2					
		○	ソーシャル・マネジメント原論	講義	15	2			2					
	ビジネス		広 報 企 画 デ ザ イ ン	演習	30	1			1	選択			○	
			経 営 学	講義	15	2			2					
			会 計 学	講義	15	2			2					
			経 済 学	講義	15		2		2					
			マ ー ケ テ ィ ン グ	講義	15		2		2					
			経 営 情 報	講義	15		2		2					
			消 費 者 心 理 学	講義	15		2		2					
			産 業 ・ 組 織 心 理 学	講義	15		2		2					
			金 融 ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2					
			ロ ジ ス テ イ ク ス	講義	15			2	2					
			経 営 法 務	講義	15			2	2					
			組 織 と ヒ ュ ー マ ン リ ソ ー ス	講義	15			2	2					
	サービス		サ ー ビ ス プ ラ ン ニ ン グ	演習	30	1			1	選択				
			ア バ レ ル プ ラ ン ニ ン グ	演習	30	1			1					
			化 粧 心 理	演習	30	1			1					
			観 光 ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2					
			観 光 リ ソ ー ス	講義	15		2		2					
			食 文 化 ・ フ ー ド ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2					
			食 空 間 コ ー デ ィ ネ ー ト	講義	15			2	2					
			食 文 化 演 習	演習	30		2		2					
			食 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	講義	15			2	2					
			プ ラ イ ダ ル ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2					
			プ ラ イ ダ ル 企 画 演 習	演習	15		2		2					
			フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2					
			ア バ レ ル 販 売	講義	15		2		2					
			ブ ラ ン ド デ ザ イ ン	講義	15			2	2					
			イ ン テ リ ア 計 画	講義	15		2		2					
ソーシャル		住 空 間 コ ー デ ィ ネ ー ト	講義	15		2		2	選択					
		シ ョ ッ プ デ ザ イ ン	講義	15		2		2						
		イ ン テ リ ア ビ ジ ネ ス	講義	15			2	2						
		地 域 公 共 政 策	講義	15		2		2						
		社 会 政 策	講義	15		2		2						
		ソ ー シ ョ ル ビ ジ ネ ス	講義	15		2		2						
	企 業 の 社 会 的 責 任	講義	15		2		2							
	現 代 社 会 の リ ス ク と ま ち づ くり	講義	15		2		2							
	多 文 化 共 生 社 会	講義	15		2		2							

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格
					1年	2年	3年	4年				
					上級シネス実務士	上級シネス実務士	社会調査士					
専門科目	専門応用	ソーシャル	社会とジェンダー	講義	15		2		2	選択		
			地方自治	講義	15			2	2			
			まちづくりデザイン	講義	15			2	2			
			現代社会と福祉Ⅰ	講義	15			2	2			
			現代社会と福祉Ⅱ	講義	15			2	2			
	秘書	ビジネスマナー	演習	30	1				1	選択		○
		ビジネス実務	演習	15		2			2			○
	簿記・金融	簿記・会計実務基礎	講義	15		2			2	選択		○
		簿記・会計実務応用	講義	15		2			2			○
		ファイナンシャル・プランニング入門	講義	15		2			2			
		ファイナンシャル・プランニング応用	講義	15		2			2			
	婚礼	ブライダル実務	講義	15		2			2	選択		
		ブライダルコーディネーター	講義	15		2			2			
	専門関連科目	観光	観光地理（国内）	講義	15		2		2	選択		
			観光地理（海外）	講義	15		2		2			
			国内旅行の取扱管理Ⅰ	講義	15		2		2			
			国内旅行の取扱管理Ⅱ	講義	15		2		2			
			総合旅行取扱管理	講義	15			2	2			
			観光英語Ⅰ	演習	30			1	1			
			観光英語Ⅱ	演習	30			1	1			
			社会と統計	講義	15	2					2	
	調査	データ解析入門	演習	30		1			1	選択		○
		データ解析応用	演習	30			1		1			○
		社会調査法	講義	15			2		2			○
		社会調査実習Ⅰ	演習	30			1		1			○
		社会調査実習Ⅱ	演習	30			1		1			○
		メディカルクラークⅠ	講義	15			2		2			
	自由科目	医療事務	メディカルクラークⅡ	講義	15			2	2	自由		
			メディカルクラーク応用	講義	15			1	1			
			ドクターズクラークⅠ	講義	15			2	2			
ドクターズクラークⅡ			講義	15			2	2				
ケアクラーク			講義	15			2	2				
調剤報酬請求事務			講義	15			2	2				
公務員		公務員特別演習基礎	演習	30		1			1			
		公務員特別演習応用	演習	30			1		1			
		公務員特別演習発展	演習	30			1		1			
		公務員特別演習（総合）	演習	30				1	1			

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は36単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択22単位）。

専門科目は92単位以上修得すること（女性エンパワーメント区分必修4単位・選択必修4単位、汎用スキル区分必修7単位・選択必修8単位、ゼミ区分必修14単位、専門応用区分選択必修4単位、選択51単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

キャリア形成学部 キャリア形成学科

(2023・2024年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修					
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2						
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1			○			
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1			○	○		
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1						
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1			○			
		● 伝統文化	演習	30		1		1						
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1	選択					
		● 総合英語 II	演習	30	1			1						
		English in Use A	演習	30	1			1						
		English in Use B	演習	30	1			1						
		English in Use C	演習	30	1			1						
		English in Use D	演習	30	1			1						
		English in Use E	演習	30	1			1						
		English in Use F	演習	30	1			1						
		医療英語	演習	30	1			1						
		中国語 I	演習	30	1			1						
		中国語 II	演習	30	1			1						
		ハンゲル I	演習	30	1			1						
		ハンゲル II	演習	30	1			1						
	海外での語学研修	実習	30		2		2							
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2	選択					
		食生活と健康	講義	15	2			2						
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2						
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1						
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1						
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1						
		マインドフルネス	実習	30	1			1						
教養囲碁入門	実習	30	1			1								
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修2単位						
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2							
	仏教文化	講義	15	2			2							
	文化人類学	講義	15	2			2							
	言語と文学	講義	15	2			2							
	日本文化の理解	講義	15	2			2							
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2							
芸術文化論	講義	15	2			2								

IIカリキュラム

キャリア形成学部

2023・2024

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格								
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士						
リベラルアーツ教育科目	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位											
		現代アジア事情	講義	15	2			2												
		現代欧米事情	講義	15	2			2												
		国際社会の理解	講義	15	2			2												
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2												
	II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位											
		社会学	講義	15	2			2												
		日本国憲法	講義	15	2			2												
		現代社会と法	講義	15	2			2												
		現代社会と政治	講義	15	2			2												
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2												
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2												
		情報社会の理解	講義	15	2			2												
		生命の科学	講義	15	2			2												
		生活と物理・化学	講義	15	2			2												
		地域と環境	講義	15	2			2												
		生活と防災	講義	15	2			2												
		ボランティア論	講義	15	2			2												
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択											
		情報技術の理解	講義	15	2			2												
		数的処理の基礎	演習	30	1			1												
		読解と思考の技法	演習	30	1			1												
		Webデザイン	演習	15		2		2												
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2												
		キャリア実習	実習	30	1			1												
	インターンシップ	実習	30			2	2													
	データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択											
		プログラミング入門	演習	15	2			2												
AIへのアプローチ		講義	15		2		2													
データサイエンスへのアプローチ		講義	15		2		2													
データサイエンスPBL		演習	15		2		2													
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 学生 必修												
	日本語 F II	演習	30	1			1													
	日本語 S I	演習	30		1		1													
	日本語 S II	演習	30		1		1													
	日本事情 I	演習	30	1			1													
	日本事情 II	演習	30	1			1													

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格	
					1年	2年	3年	4年					
専門科目	女性エンパワーメント	● 女性の生き方・働き方	講義	15	2				2	必修		○	
		● 女性と経済	講義	15		2			2	選択		○	
		● 女性と現代社会	講義	15		2			2			○	
		● 女性とメディアカル	講義	15		2			2				
		● 女性のキャリア形成	演習	30			1		1				
		● 女性のアントレプレナーシップ	講義	15				2	2				○
	ゼミ	● 基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1		必修		
		● 基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1				
		● 発展ゼミⅠ	演習	30		1			1				
		● 発展ゼミⅡ	演習	30		1			1				
		● 応用ゼミⅠ	演習	15			2		2				
		● 応用ゼミⅡ	演習	15			2		2				
		● 卒業研究Ⅰ	演習	15				2	2				
	ロジック	● 卒業研究Ⅱ	演習	15				2	2				
		● 経営学のための数学基礎	演習	30	1				1	選択			
	経営基礎	● ロジカルシンキング	演習	30		1			1				
		○ 現代社会と経営	講義	15	2				2	選択			
		○ 経営入門	講義	15	2				2				
		○ ビジネス・マネジメント原論	講義	15		2			2			○	
		○ サービス・マネジメント原論	講義	15		2			2				
		○ ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2				
	プロジェクト・インターンシップ	● 地域参加	演習	30	1				1		必修		○
		● プロジェクト入門	演習	30	2				2			○	
		● プロジェクト実践	演習	30			2		2			○	
		● プロジェクト評価	演習	30			1		1			○	
		● 専門実習(長期インターンシップ)	実習	45				2	2	選択			○
	経営応用	経営	○ 経営学	講義	15		2			2	選択		○
			○ 会計学	講義	15		2			2			○
			○ 経済学	講義	15			2		2			○
			○ マーケティング	講義	15			2		2			○
○ 経営戦略			講義	15			2		2			○	
○ 組織とヒューマンリソース			講義	15			2		2				
○ 経営情報			講義	15			2		2				
○ 消費者心理学			講義	15			2		2				
○ 経営法務			講義	15			2		2				
○ 金融ビジネス			講義	15				2	2			○	
○ 流通ビジネス			講義	15				2	2			○	
○ ロジステイクス			講義	15				2	2				
○ スモールビジネス演習			演習	15				2	2			○	

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士		
IIカリキュラム キャリア形成学部 2023・2024	経営関連	ビジネスマナー	演習	30	1			1	選択			○				
		簿記・会計実務（決算と財務諸表）	講義	15	2			2								
		簿記・会計実務（財務諸表の分析）	講義	15	2			2								
		ファイナンシャル・プランニング(将来設計)	講義	15	2			2								
		ファイナンシャル・プランニング(資産運用)	講義	15	2			2								
		データサイエンス	ビジネスデータ分析基礎	演習	15		2			2	選択			○	○	○
			ビジネスデータ分析応用	演習	15			2		2				○		
			テキストマイニング	演習	15		2			2						
			データサイエンス実践	演習	15		2			2				○		○
		クリエイション	データサイエンス発展	演習	15			2		2					○	
			広報企画デザイン	演習	30	1				1	選択					
			色彩とデザイン	講義	15	2				2						
	グラフィックデザイン		演習	30		1		1				○				
	ビジュアルデザイン		演習	30		1		1				○				
	ユニバーサルデザイン		講義	15		2		2								
	デジタルメディア	演習	15			2	2									
	ファッション	アパレルプランニング	演習	30	1			1	選択							
		ファッションビジネス	講義	15		2		2								
		ファッション企画演習	演習	15		2		2								
		ショップデザイン	講義	15		2		2								
		ブランドデザイン	講義	15			2	2								
	ブライダル	ブライダルビジネス	講義	15		2		2	選択							
		ブライダル実務	講義	15		2		2								
		ブライダル企画演習	演習	15		2		2								
		ブライダルコーディネーター	講義	15		2		2								
	インテリア・住空間	インテリアプランニング	演習	30	1			1	選択							
		インテリアビジネス	講義	15		2		2								
		インテリア企画演習	演習	15		2		2								
インテリア計画		講義	15		2		2									
住空間コーディネーター		講義	15		2		2									
宅地と建物		講義	15			2	2									
観光・食文化	サービスプランニング	演習	30	1			1	選択								
	観光ビジネス	講義	15		2		2									
	観光資源	講義	15		2		2									
	観光地理	講義	15		2		2									
	国内旅行の取扱管理（法務・約款）	講義	15		2		2									
	国内旅行の取扱管理（旅行実務）	講義	15		2		2									
	食文化・フードビジネス	講義	15		2		2									
	食文化演習	演習	30		1		1									

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格
					1年	2年	3年	4年				
					上級シネス実務士	上級情報処理士	社会調査士					
専門科目	観光・食文化	食空間コーディネート	講義	15			2	2	選択			
		食マーケティング論	講義	15			2	2				
	美と健康	化粧品と心理	演習	30	1			1	選択			
		化粧品の科学	講義	15		2		2				
		医薬品管理	講義	15		2		2				
		販売登録者実務	講義	15		2		2				
	現代社会	フィールドスタディ	演習	30		1		1	選択			
		ソーシャルビジネス	講義	15		2		2				
		企業の社会的責任	講義	15		2		2				
		現代社会とリスク管理	講義	15		2		2				
		社会と環境	講義	15		2		2				
		多文化共生社会	講義	15		2		2				
	公共政策	社会とジェンダー	講義	15		2		2	選択			
		地方自治	講義	15		2		2				
		地域公共政策	講義	15			2	2				
		まちづくりデザイン	講義	15			2	2				
	社会調査	現代社会と福祉	講義	15			2	2	選択			
		コミュニティ心理学	講義	15			2	2				
		社会調査入門	講義	15	2			2	選択			○
		社会調査法	講義	15		2		2				○
	外国語	社会調査実習Ⅰ	演習	30		1		1	選択			○
		社会調査実習Ⅱ	演習	30		1		1				○
		TOEICⅠ	演習	30			1	1	選択			
		TOEICⅡ	演習	30			1	1				
		実践英語Ⅰ	演習	30		1						
		実践英語Ⅱ	演習	30		1						
		実践ビジネス英語	演習	30			1	1				
		実践ビジネス英会話	演習	30			1	1				
		セメスター留学	実習	45		6		6				
		長期（1年）留学	実習	45		12		12				
実践中国語Ⅰ		演習	30		1		1					
実践中国語Ⅱ		演習	30		1		1					
自由科目	実践ハンガールⅠ	演習	30		1		1	自由				
	実践ハンガールⅡ	演習	30		1		1					
	メディカルクラークⅠ	講義	15		2		2					
	メディカルクラークⅡ	講義	15		2		2					
	メディカルクラーク応用	講義	15		1		1					
	ドクターズクラークⅠ	講義	15		2		2					
ドクターズクラークⅡ	講義	15		2		2						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
自由科目	医療事務など	ケ ア ク ラ ー ク	講義	15		2			2	自由				
		調 剤 報 酬 請 求 事 務	講義	15		2			2					
	公務員	公 務 員 特 別 演 習 基 礎	演習	30		1			1					
		公 務 員 特 別 演 習 応 用	演習	30			1		1					
		公 務 員 特 別 演 習 発 展	演習	30			1		1					
		公 務 員 特 別 演 習 (総 合)	演習	30				1	1					

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目は 36単位以上 修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択21単位）。

専門科目は 92単位以上 修得すること（必修20単位、選択72単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて 計128単位以上 修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

キャリア形成学部 キャリア形成学科

(2025年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修					
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2						
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1			○			
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1			○	○		
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1						
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1			○			
		● 伝統文化	演習	30		1		1						
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1	選択					
		● 総合英語 II	演習	30	1			1						
		English in Use A	演習	30	1			1						
		English in Use B	演習	30	1			1						
		English in Use C	演習	30	1			1						
		English in Use D	演習	30	1			1						
		English in Use E	演習	30	1			1						
		English in Use F	演習	30	1			1						
		医療英語	演習	30	1			1						
		中国語 I	演習	30	1			1						
		中国語 II	演習	30	1			1						
		ハンゲル I	演習	30	1			1						
		ハンゲル II	演習	30	1			1						
	海外での語学研修	実習	30		2		2							
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2	選択					
		食生活と健康	講義	15	2			2						
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2						
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1						
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1						
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1						
		マインドフルネス	実習	30	1			1						
教養囲碁入門	実習	30	1			1								
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修2単位						
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2							
	仏教文化	講義	15	2			2							
	文化人類学	講義	15	2			2							
	言語と文学	講義	15	2			2							
	日本文化の理解	講義	15	2			2							
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2							
芸術文化論	講義	15	2			2								

IIカリキュラム
キャリア形成学部
2025

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格					
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士			
リベラルアーツ教育科目	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2									
		現代アジア事情	講義	15	2			2									
		現代欧米事情	講義	15	2			2									
		国際社会の理解	講義	15	2			2									
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2									
		II群	心 理 学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位							
			社 会 学	講義	15	2			2								
			日 本 国 憲 法	講義	15	2			2								
			現 代 社 会 と 法	講義	15	2			2								
			現 代 社 会 と 政 治	講義	15	2			2								
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2									
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2									
	情 報 社 会 の 理 解		講義	15	2			2					○	○			
	生 命 の 科 学		講義	15	2			2									
	生 活 と 物 理 ・ 化 学		講義	15	2			2									
	キャリアデザイン	情 報 リ テ ラ シ ー	演習	30	1			1	選択						○		
		情 報 技 術 の 理 解	講義	15	2			2								○	
		数 的 処 理 の 基 礎	演習	30	1			1									
		読 解 と 思 考 の 技 法	演習	30	1			1									
		W e b デ ザ イ ン	演習	15		2		2								○	
		産 官 学 連 携 プ ロ ジ ェ ク ト	演習	15	2			2									
		キ ャ リ ア 実 習	実習	30	1			1									
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習	30			2	2									
		データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択						○
			プログラミング入門	演習	15	2				2							○
	AIへのアプローチ		講義	15		2		2							○		
	データサイエンスへのアプローチ		講義	15		2		2							○		
	データサイエンスPBL		演習	15		2		2							○		
留学生	日 本 語 F I	演習	30	1			1	外国人留学生必修									
	日 本 語 F II	演習	30	1			1										
	日 本 語 S I	演習	30		1		1										
	日 本 語 S II	演習	30		1		1										
	日 本 事 情 I	演習	30	1			1										
	日 本 事 情 II	演習	30	1			1										

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	資格	連関	上級シネス事務士	上級情報処理士	社会調査士	
					1年	2年	3年	4年									
専門科目	ゼミ	●基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修							
		●基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1								
		●発展ゼミⅠ	演習	30		1			1								
		●発展ゼミⅡ	演習	30		1			1								
		●応用ゼミⅠ	演習	15			2		2								
		●応用ゼミⅡ	演習	15			2		2								
		●卒業研究Ⅰ	演習	15				2	2								
		●卒業研究Ⅱ	演習	15				2	2								
	共通基礎	ロジカルシンキング	演習	30		1			1	選択							
		ビジネス・マネジメント原論	講義	15		2			2								
		サービス・マネジメント原論	講義	15		2			2								
		ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2								
		現代社会と経営	講義	15	2				2	必修							
		●地域参加	演習	30	1				1								
		●プロジェクト入門	演習	30	2				2								
		●プロジェクト実践	演習	30			2		2								
		●プロジェクト評価	演習	30			1		1								
		●専門実習(長期インターンシップ)	実習	45				2	2	選択							
		データサイエンス	ビジネスデータ分析基礎	演習	15		2			2	選択						
			ビジネスデータ分析応用	演習	15			2		2							
	テキストマイニング		演習	15		2			2								
	データサイエンス実践		演習	15		2			2								
	データサイエンス発展		演習	15			2		2								
	経営基礎	経営学のための数学基礎	演習	30	1				1	選択							
		経営入門	講義	15	2				2								
	現代ビジネスコース 企業と経営	経営学	講義	15		2			2	選択							
		会計学	講義	15		2			2								
		経済学	講義	15			2		2								
		マーケティング	講義	15			2		2								
		経営戦略	講義	15			2		2								
		組織とヒューマンリソース	講義	15			2		2								
		経営情報	講義	15			2		2								
		消費者心理学	講義	15			2		2								
		経営法務	講義	15			2		2								
		金融ビジネス	講義	15				2	2								
流通ビジネス		講義	15				2	2									
ロジステイクス		講義	15				2	2									
スモールビジネス演習		演習	15				2	2									

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格											
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士									
専 門 科 目	現代ビジネスコース 経営系資格	ビ ジ ネ ス マ ナ ー	演習	30	1			1	選択														
		簿記・会計実務（決算と財務諸表）	講義	15		2															2		
		簿記・会計実務（財務諸表の分析）	講義	15		2															2		
		ファイナンシャル・プランニング(将来設計)	講義	15		2															2		
		ファイナンシャル・プランニング(資産運用)	講義	15		2															2		
	女性エンパワメント 女性エンパワメントコース	● 女性 の 生 き 方 ・ 働 き 方	女性 と 経 済	講義	15	2			2	必修													
			女 性 と 現 代 社 会	講義	15		2															2	
			女 性 と メ デ ィ カ ル	講義	15		2															2	
			女 性 の キ ャ リ ア 形 成	演習	30			1														1	
			女性のアントレプレナーシップ	講義	15				2													2	
		美と健康	化 粧 と 心 理	演習	30		1			1	選択												
			化 粧 の 科 学	講義	15			2		2													
			医 薬 品 管 理	講義	15			2		2													
			販 売 登 録 者 実 務	講義	15			2		2													
	自由科目	医療系資格	メ デ ィ カ ル ク ラ ー ク I	講義	15			2	2	自由													
			メ デ ィ カ ル ク ラ ー ク II	講義	15			2															2
			メ デ ィ カ ル ク ラ ー ク 応 用	講義	15			1															1
			ド ク タ ー ズ ク ラ ー ク I	講義	15				2														2
			ド ク タ ー ズ ク ラ ー ク II	講義	15				2														2
ケ ア ク ラ ー ク			講義	15				2	2														
調 剤 報 酬 請 求 事 務			講義	15				2	2														
専 門 科 目	クリエイション	広 報 企 画 デ ザ イン	演習	30	1			1	選択														
		色 彩 と デ ザ イン	講義	15		2																2	
		グ ラ フ ィ ッ ク デ ザ イン	演習	30			1															1	
		ビ ジ ュ アル デ ザ イン	演習	30			1															1	
		ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン	講義	15			2															2	
	クリエイションコース	ファッション	デ ジ タ ル メ デ ィ ア	演習	15			2	2	選択													
			ア バ レ ル プ ラ ン ニ ン グ	演習	30		1																1
			フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス	講義	15			2															2
			フ ァ ッ シ ョ ン 企 画 演 習	演習	15			2															2
			シ ョ ッ プ デ ザ イン	講義	15			2															2
		ブ ラ ン ド デ ザ イン	講義	15				2	2														
		ブライダル	ブ ラ イ ダ ル ビ ジ ネ ス	講義	15			2		2	選択												
			ブ ラ イ ダ ル 実 務	講義	15			2		2													
ブ ラ イ ダ ル 企 画 演 習	演習		15			2		2															
ブ ラ イ ダ ル コ ー デ ィ ネ ー ト	講義		15			2		2															

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格	
					1年	2年	3年	4年					
専門科目	クリエーションコース	インテリア・住空間	インテリアプランニング	演習	30	1			1	選択			
			インテリアビジネス	講義	15		2		2				
			インテリア企画演習	演習	15		2		2				
			インテリア計画	講義	15		2		2				
			住空間コーディネート	講義	15		2		2				
			宅地と建物	講義	15			2	2				
	英語	グローバル教養コース	英語	TOEIC I	演習	30		1		1	選択		
				TOEIC II	演習	30		1		1			
				実践英語 I	演習	30		1		1			
				実践英語 II	演習	30		1		1			
				実践ビジネス英語	演習	30			1	1			
				実践ビジネス英会話	演習	30			1	1			
	外国語	グローバル教養コース	外国語	実践中国語 I	演習	30		1		1			
				実践中国語 II	演習	30		1		1			
				実践ハンガール I	演習	30		1		1			
				実践ハンガール II	演習	30		1		1			
	留学	グローバル教養コース	留学	セメスター留学	実習	45		6		6			
				長期(1年)留学	実習	45		12		12			
	観光・食文化	グローバル教養コース	観光・食文化	サービスプランニング	演習	30	1			1	選択		
				観光ビジネス	講義	15		2		2			
				観光資源	講義	15		2		2			
				観光地理	講義	15		2		2			
				国内旅行の取扱管理(法務・約款)	講義	15		2		2			
				国内旅行の取扱管理(旅行実務)	講義	15		2		2			
				食文化・フードビジネス	講義	15		2		2			
				食文化演習	演習	30		1		1			
				食空間コーディネート	講義	15			2	2			
				食マーケティング論	講義	15			2	2			
	現代社会	現代社会・公共コース	現代社会	フィールドスタディ	演習	30		1		1	選択		
				ソーシャルビジネス	講義	15		2		2			
企業の社会的責任				講義	15		2		2				
現代社会とリスク管理				講義	15		2		2				
社会と環境				講義	15		2		2				
多文化共生社会				講義	15		2		2				
社会とジェンダー				講義	15		2		2				

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	現代社会・公共コース	地 方 自 治	講義	15		2			2	選択				
		地 域 公 共 政 策	講義	15				2	2					
		ま ち づ くり デ ザ イ ン	講義	15				2	2					
		現 代 社 会 と 福 祉	講義	15				2	2					
	社会調査	社 会 調 査 入 門	講義	15	2				2	選択				○
		社 会 調 査 法	講義	15		2			2					○
		社 会 調 査 実 習 I	演習	30			1		1					○
		社 会 調 査 実 習 II	演習	30			1		1					○
自由科目	公務員	公 務 員 特 別 演 習 基 礎	演習	30		1			1	自由				
		公 務 員 特 別 演 習 応 用	演習	30			1		1					
		公 務 員 特 別 演 習 発 展	演習	30			1		1					
		公 務 員 特 別 演 習 (総 合)	演習	30				1	1					

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は36単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択21単位）。

専門科目は92単位以上修得すること（必修20単位、選択72単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

B. 健康科学部 健康栄養学科・管理栄養士専攻

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格										
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員管理署	健康運動実践指導者	栄養教諭一種					
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修												
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2													
		● 京都光華の学び	演習	30	1				1													
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1				1													
		● アカデミックライティング	演習	30	1				1													
		● 伝統文化	演習	30			1		1													
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1				1		選択									○		
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1				1												○	
		英会話Ⅰ	演習	30	1				1													
		英会話Ⅱ	演習	30	1				1													
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1													
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1													
		医療英語	演習	30	1				1													
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1													
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1													
		ハンガールⅠ	演習	30	1				1													
	ハンガールⅡ	演習	30	1				1														
	海外での語学研修	実習	30			2		2														
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2				2													
		食生活と健康	講義	15	2				2													
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2													
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1											○		
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1											○		
	人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2				2		選択 必修 2単位											
		仏教文化	講義	15	2				2													
		文化人類学	講義	15	2				2													
言語と文学		講義	15	2				2														
日本文化の理解		講義	15	2				2														
京都の歴史と文化		講義	15	2				2														
芸術文化論		講義	15	2				2														
サブカルチャー論		講義	15	2				2														
現代アジア事情		講義	15	2				2														
現代欧米事情		講義	15	2				2														
国際社会の理解		講義	15	2				2														
国際社会とジェンダー	講義	15	2				2															

IIカリキュラム
健康科学部健康栄養学科
管理栄養士専攻

2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	資格										
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理書	健康運動実践指導者	栄養教諭一種					
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然 II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位													
		社会学	講義	15	2			2														
		日本国憲法	講義	15	2			2														○
		現代社会と法	講義	15	2			2														
		現代社会と政治	講義	15	2			2														
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2														
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2														
		生命の科学	講義	15	2			2														
		生活と物理・化学	講義	15	2			2														
		地域と環境	講義	15	2			2														
		生活と防災	講義	15	2			2														
	ボランティア論	講義	15	2			2															
	キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択												○	
		情報リテラシー応用	演習	30	1			1														○
		数的処理の基礎	演習	30	1			1														
		日本語表現の技法	演習	30	1			1														
		Webデザイン	演習	15		2		2														
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2														
		プログラミング入門	演習	15		2		2														
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2														
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2														
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2														
産官学連携プロジェクト		演習	15	2			2															
キャリア実習	実習	30	1																			
インターンシップ	実習	30			2	2																
専門科目	基礎	● 基礎ゼミ	演習	30	1			1	必修													
		● 生命科学の基礎	講義	15	2			2														
		● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2			2														
		● 専門職の連携（応用）	演習	30				1		1	選択											
	社会・環境と健康	● 公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2		2	必修		○	○		○								
		● 公衆衛生学Ⅱ	講義	15			2	2				○	○		○							
		● 健康管理論	講義	15	2			2	選択			○		○	○							
		● 健康評価実習	実習	45		1		1	必修		○	○			○							
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	● 人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2			2	必修		○	○		○	○						
			● 人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2		2				○	○		○	○					
● 人体の構造と生理Ⅲ	講義		15		2		2	選択			○		○									
● 生化学Ⅰ	講義		15	2			2	必修		○	○		○									
● 生化学Ⅱ	講義	15		2		2				○	○		○									

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格						
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種	
専門科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	運動生理学	講義	15		2			2	選択		○						
		臨床検査・病理	講義	15			2		2			○		○				
		●人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○			
		●生化学実験Ⅰ	実験	45	1				1			○	○		○			
		生化学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○		○			
専門科目	食べ物と健康	●食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○			
		●食品学Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	○	○			
		食品加工学	講義	15		2			2	選択			○		○			
		●食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○			
		●調理学	講義	15	2			2				○	○	○	○			
		●食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1			○	○	○	○			
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○	○	○			
		食品衛生学実験	実験	45			1		1				○		○			
		●調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○	○				
		●調理実習応用	実習	45	1				1			○	○	○				
	食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			○						
	基礎栄養学	●基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○	○		
		●基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2				○		○			
		●栄養学実験	実験	45		1			1			○		○				
	応用栄養学	●応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○					
応用栄養学Ⅱ		講義	15		2			2	選択			○						
応用栄養学Ⅲ		講義	15			2		2				○						
●応用栄養学実習		実習	45		1			1	必修		○	○						
栄養教育論	●栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○						
	●栄養教育論Ⅱ	講義	15		2			2				○	○					
	●栄養教育論Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○						
	●栄養教育論実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○						
	●栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○						
臨床栄養学	●臨床栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○						
	臨床栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○						
	臨床栄養学Ⅲ	講義	15			2		2				○						
	●臨床栄養学管理	講義	15			2		2				○						
	●臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○						
	●臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○						
公衆栄養学	●公衆栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	必修		○	○						
	公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○						
	●栄養疫学	講義	15		2			2					○					
	●公衆栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	栄 養 士	関 連 栄 養 士	資 格 栄 養 士	資 格 栄 養 士	資 格 栄 養 士	資 格 栄 養 士		
					1年	2年	3年	4年											
IIカリキュラム 健康科学部健康栄養学専攻科 2022	給食経営管理論	● 給食マネジメント論 I	講義	15	2			2	必修		○	○							
		給食マネジメント論 II	講義	15	2			2	選択			○							
		● 給食マネジメント実習 I	実習	45		1			1	必修		○	○						
		● 給食マネジメント実習 II	実習	45			1		1			○	○						
	総合演習	総合演習 I	演習	15			2		2	選択			○						
		総合演習 II	演習	15				2	2				○						
		総合演習 III	演習	15				2	2										
	臨地実習	● 臨地実習 I	実習	45			1		1	必修	臨地実習の履修年次、期間は実習先により異なる。実習先の定員等の関係により希望する実習先を選択できないことがある。	○	○						
		臨地実習 II	実習	45				1	1	選択				○					
		臨地実習 III	実習	45				1	1						○				
		臨地実習 IV	実習	45					1	1					○				
	専門発展科目	健康プロジェクト I	講義	15			2		2	選択									
		健康プロジェクト II A	演習	30			1		1										
		健康プロジェクト II B	演習	30				1	1										
		● 卒業研究	—	—					4	4	必修								
	関連科目	フードスペシャリスト論	講義	15			2		2	選択				○					
		フードコーディネーター論	講義	15				2	2						○				
		食マーケティング論	講義	15				2	2						○				
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2						○	○			
		分析化学	講義	15			2		2							○			
		健康スポーツ指導 I	実習	30	1				1									○	
		健康スポーツ指導 II	実習	30		1			1									○	
		健康スポーツ指導 III	実習	30	1				1									○	
		健康スポーツ指導 IV	実習	30			1		1									○	
		スポーツ心理学	講義	15			2		2									○	
		健康づくりと運動	講義	15				2	2									○	
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2									○	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2										○
		学校栄養教育実践論	講義	15				2	2										○
	自由科目	教職論	講義	15	2				2	自由								○	
		教育原理	講義	15		2			2										○
		教育心理学	講義	15		2			2										○
		教育行政学	講義	15			2		2										○
人権教育		講義	15			2		2										○	
特別支援教育		講義	15			2		2										○	
教育課程論		講義	15			2		2										○	
道德教育の理論と指導法		講義	15			2		2										○	
特別活動及び総合的な学習の時間		講義	15			2		2										○	
教育方法論	講義	15			2		2									○			

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者
自由科目	生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2	自由						○	
	教育相談	講義	15		2		2									○
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2								○
	事前・事後指導	実習	30			1		1								○
	栄養教育実習	実習	45				1	1								○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択7単位）。

専門科目は107単位以上修得すること（必修59単位、選択48単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

食品衛生監視員および食品衛生管理者の資格取得に必要な必修科目39単位及び選択科目1単位以上を修得すること。

（詳細は262ページ参照）

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 健康栄養学科・管理栄養士専攻

〈2023年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格									
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	高衛生監視員管理署	健康運動実践指導者	栄養教諭一種				
IIカリキュラム 健康科学部健康栄養学科 管理栄養士専攻 2023 リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修												
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2													
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1													
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1													
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1													
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1												○	
		● 伝統文化	演習	30		1		1													
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1		選択								○			
		● 総合英語 II	演習	30	1			1												○	
		English in Use A	演習	30	1			1													
		English in Use B	演習	30	1			1													
		English in Use C	演習	30	1			1													
		English in Use D	演習	30	1			1													
		English in Use E	演習	30	1			1													
		English in Use F	演習	30	1			1													
		医療英語	演習	30	1			1													
		中国語 I	演習	30	1			1													
		中国語 II	演習	30	1			1													
		ハンゲル I	演習	30	1			1													
		ハンゲル II	演習	30	1			1													
	海外での語学研修	実習	30		2		2														
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2		選択											
		食生活と健康	講義	15	2			2													
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2													
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1												○	
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1												○	
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1													
		マインドフルネス	実習	30	1			1													
教養囲基入門	実習	30	1			1															
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位													
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2														
	仏教文化	講義	15	2			2														
	文化人類学	講義	15	2			2														
	言語と文学	講義	15	2			2														
	日本文化の理解	講義	15	2			2														
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2														
芸術文化論	講義	15	2			2															

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格								
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種			
リベラルアーツ教育科目	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択必修 2単位											
		現代アジア事情	講義	15	2			2												
		現代欧米事情	講義	15	2			2												
		国際社会の理解	講義	15	2			2												
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2												
		II群	心理学	講義	15	2			2		選択必修 2単位									
			社会学	講義	15	2			2											
			日本国憲法	講義	15	2			2											
			現代社会と法	講義	15	2			2											
			現代社会と政治	講義	15	2			2											
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2												
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2												
	情報社会の理解		講義	15	2			2												
	生命の科学		講義	15	2			2												
	生活と物理・化学		講義	15	2			2												
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択											
		情報技術の理解	講義	15	2			2												
		数的処理の基礎	演習	30	1			1												
		読解と思考の技法	演習	30	1			1												
		Webデザイン	演習	15		2		2												
産官学連携プロジェクト		演習	15	2			2													
キャリア実習		実習	30	1																
インターンシップ		実習	30			2	2													
データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2			選択									
		プログラミング入門	演習	15	2			2												
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2													
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2													
	データサイエンスPBL	演習	15		2		2													
専門科目	基礎	●基礎ゼミ	演習	30	1			1	必修											
		●生命科学の基礎	講義	15	2			2												
		●専門職の連携(基礎)	講義	15	2			2												
	社会・環境と健康	●公衆衛生学I	講義	15		2		2	必修		○	○		○						
		●公衆衛生学II	講義	15			2	2			○	○		○						
		●健康管理論	講義	15	2			2	選択			○		○	○					
		●健康評価実習	実習	45		1		1	必修		○	○			○					

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	資格						
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードベジタリスト	食品衛生監視員・管理書	健康運動実践指導者	栄養教諭一種	
専門科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	● 人体の構造と生理 I	講義	15	2				2	必修		○	○		○	○		
		● 人体の構造と生理 II	講義	15		2			2			○	○		○	○		
		● 人体の構造と生理 III	講義	15		2			2	選択			○					
		● 生 化 学 I	講義	15	2				2	必修		○	○		○			
		● 生 化 学 II	講義	15		2			2			○	○		○			
		● 運 動 生 理 学	講義	15		2			2	選択			○			○		
		● 臨 床 検 査 ・ 病 理	講義	15			2		2				○		○			
		● 人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○			
		● 生 化 学 実 験 I	実験	45	1				1			○	○		○			
	● 生 化 学 実 験 II	実験	45		1			1	選択			○		○				
	食べ物と健康	● 食 品 学 I	講義	15	2				2	必修		○	○		○			
		● 食 品 学 II	講義	15		2			2			○	○		○			
		● 食 品 加 工 学	講義	15		2			2	選択			○					
		● 食 品 衛 生 学	講義	15		2			2			○	○		○			
		● 調 理 学	講義	15	2				2	必修		○	○		○			
		● 食 品 学 実 験 I	実験	45		1			1			○	○		○			
		● 食 品 学 実 験 II	実験	45		1			1	選択			○		○			
		● 食 品 衛 生 学 実 験	実験	45			1		1				○		○			
		● 調 理 実 習 基 礎	実習	45	1				1	必修		○	○		○			
	● 調 理 実 習 応 用	実習	45	1				1			○	○		○				
	● 食 生 活 と 調 理 実 習	実習	45		1			1	選択			○						
	基礎栄養学	● 基 礎 栄 養 学 I	講義	15	2				2	必修		○	○		○	○		
		● 基 礎 栄 養 学 II	講義	15		2			2			○	○		○			
		● 栄 養 学 実 験	実験	45		1			1			○	○		○			
	応用栄養学	● 応 用 栄 養 学 I	講義	15		2			2	必修		○	○					
		● 応 用 栄 養 学 II	講義	15		2			2	選択			○					
		● 応 用 栄 養 学 III	講義	15			2		2				○					
		● 応 用 栄 養 学 実 習	実習	45			1		1	必修		○	○					
	栄養教育論	● 栄 養 教 育 論 I	講義	15		2			2	必修		○	○					
		● 栄 養 教 育 論 II	講義	15		2			2			○	○					
● 栄 養 教 育 論 III		講義	15			2		2	選択			○						
● 栄 養 教 育 論 実 習 I		実習	45			1		1	必修		○	○						
● 栄 養 教 育 論 実 習 II		実習	45			1		1	選択			○						
臨床栄養学	● 臨 床 栄 養 学 I	講義	15		2			2	必修		○	○						
	● 臨 床 栄 養 学 II	講義	15			2		2				○						
	● 臨 床 栄 養 学 III	講義	15			2		2	選択				○					
	● 臨 床 栄 養 管 理	講義	15			2		2					○					
	● 臨 床 栄 養 学 実 習 I	実習	45			1		1	必修		○	○						
	● 臨 床 栄 養 学 実 習 II	実習	45			1		1	選択				○					

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格							
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種		
専門科目	公衆栄養学	● 公衆栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	必修		○	○						
		公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○						
		栄養疫学	講義	15		2			2					○					
		● 公衆栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○						
	給食経営管理論	● 給食マネジメント論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○				
		給食マネジメント論Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○						
		● 給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○		○				
		● 給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1			○	○		○				
	総合演習	総合演習Ⅰ	演習	15			2		2				○						
		総合演習Ⅱ	演習	15				2	2	選択			○						
		総合演習Ⅲ	演習	15				2	2										
	臨地実習	● 臨地実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修	臨地実習の履修年次、期間は実習先により異なる。実習先の定員等の関係により希望する実習先を選択できないことがある。	○	○						
		臨地実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○						
		臨地実習Ⅲ	実習	45			1		1				○						
臨地実習Ⅳ		実習	45			1		1				○							
専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択										
	健康プロジェクトⅡ	演習	30		1			1											
	病棟栄養管理特論	講義	15			2		2											
	臨床栄養学実践演習Ⅰ	演習	30			1		1											
	臨床栄養学実践演習Ⅱ	演習	30			1		1											
	食品開発論	講義	15			2		2											
	食品プロセス演習	演習	30			1		1											
	食品開発演習	演習	30			1		1											
	● 卒業研究	—	—				4	4		必修									
	専門科目	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30			1		1	選択	メディカル栄養コース 選択者 （履修推奨）							
心理学的支援法			講義	15		2	2												
メンタルヘルス論			講義	15		2	2												
生命倫理			講義	15		1	1												
中医学の基礎			講義	15		1	1												
摂食嚥下障害学			講義	15		2	2												
ターミナルケア			演習	30		1	1												
専門科目		包括的ヘルスケア論	講義	15		2	2			選択	食創造コース 履修者 （履修推奨）								
		フードスペシャリスト論	講義	15			2	2					○						
		フードコーディネート論	講義	15			2	2					○						
		食マーケティング論	講義	15			2	2					○	○					
		食品の評価・鑑別	講義	15			2	2					○	○					
		分析化学	講義	15		2	2								○				
		健康スポーツ指導Ⅰ	実習	30	1			1									○		
健康スポーツ指導Ⅱ	実習	30	1			1							○						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格							
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理署	健康運動実践指導者	栄養教諭一種		
専門科目	関連科目	健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1	選択						○			
		健康スポーツ指導Ⅳ	実習	30			1		1								○		
		スポーツ心理学	講義	15		2			2									○	
		健康づくりと運動	講義	15			2		2									○	
		安全管理と救急処置	講義	15		2			2									○	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2										○
		学校栄養教育実践論	講義	15			2		2										○
自由科目		教職論	講義	15	2			2		自由							○		
		教育原理	講義	15		2		2										○	
		教育心理学	講義	15		2		2										○	
		教育行政学	講義	15			2		2									○	
		人権教育	講義	15			2		2									○	
		特別支援教育	講義	15			2		2									○	
		教育課程論	講義	15			2		2									○	
		道德教育の理論と指導法	講義	15			2		2									○	
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15			2		2										○
		教育方法論(ICT活用を含む)	講義	15			2		2										○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15			2		2										○
		教育相談	講義	15			2		2										○
		教職実践演習(栄養教諭)	演習	15				2	2										○
		事前・事後指導	実習	30				1	1										○
栄養教育実習	実習	45				1	1									○			

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択6単位）。
 専門科目は107単位以上修得すること（必修59単位、選択48単位）。
 リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
 ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
 履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格									
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードベシヤリスト	食品衛生監査・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種				
リベラルアーツ教育科目	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位												
		現代アジア事情	講義	15	2			2													
		現代欧米事情	講義	15	2			2													
		国際社会の理解	講義	15	2			2													
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2													
	II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位												
		社会学	講義	15	2			2													
		日本国憲法	講義	15	2			2												○	
		現代社会と法	講義	15	2			2													
		現代社会と政治	講義	15	2			2													
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2													
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2													
		情報社会の理解	講義	15	2			2													
		生命の科学	講義	15	2			2													
		生活と物理・化学	講義	15	2			2													
		地域と環境	講義	15	2			2													
		生活と防災	講義	15	2			2													
	ボランティア論	講義	15	2			2														
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択										○		
		情報技術の理解	講義	15	2			2													
		数的処理の基礎	演習	30	1			1													
		読解と思考の技法	演習	30	1			1													
		Webデザイン	演習	15		2		2													
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2													
		キャリア実習	実習	30	1			1													
	A I	インターンシップ	実習	30			2	2	選択												
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2													
プログラミング入門		演習	15	2			2														
AIへのアプローチ		講義	15		2		2														
データサイエンスへのアプローチ		講義	15		2		2														
データサイエンスPBL	演習	15		2		2															
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 学生 必修													
	日本語 F II	演習	30	1			1														
	日本語 S I	演習	30		1		1														
	日本語 S II	演習	30		1		1														
	日本事情 I	演習	30	1			1														
	日本事情 II	演習	30	1			1														

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格						
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監査・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種	
基礎	●	基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修								
	●	生命科学の基礎	講義	15	2				2									
	●	専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2									
社会・環境と健康	●	公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修	○	○		○				
	●	公衆衛生学Ⅱ	講義	15			2		2		○	○		○				
		健康管理論	講義	15	2				2		選択		○		○	○		
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	●	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修	○	○		○	○			
	●	人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2		○	○		○	○			
		人体の構造と生理Ⅲ	講義	15		2			2	選択		○		○				
	●	生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修	○	○		○				
	●	生化学Ⅱ	講義	15		2			2		○	○		○				
		運動生理学	講義	15		2			2	選択		○			○			
		臨床検査・病理	講義	15			2		2	○	○		○					
	●	人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修	○	○		○				
	●	生化学実験Ⅰ	実験	45	1				1		○	○		○				
		生化学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択		○		○				
食べ物と健康	●	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修	○	○	○	○				
	●	食品学Ⅱ	講義	15		2			2		○	○	○	○				
		食品加工学	講義	15		2			2	選択		○		○				
	●	食品衛生学	講義	15		2			2	必修	○	○	○	○				
	●	調理学	講義	15	2				2		○	○	○	○				
	●	食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	選択	○	○	○	○				
	●	食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1			○	○	○				
		食品衛生学実験	実験	45			1		1				○		○			
	●	調理実習基礎	実習	45	1				1	必修	○	○	○					
	●	調理実習応用	実習	45	1				1		○	○	○					
	食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択		○							
基礎栄養学	●	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修	○	○	○	○	○			
	●	基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2		○	○		○				
	●	栄養学実験	実験	45		1			1		○	○		○				
応用栄養学	●	応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修	○	○						
		応用栄養学Ⅱ	講義	15		2			2		○							
		応用栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	○								
	●	応用栄養学実習	実習	45			1		1	必修	○	○						
栄養教育論	●	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修	○	○						
	●	栄養教育論Ⅱ	講義	15		2			2		○	○						
		栄養教育論Ⅲ	講義	15			2		2	○								
	●	栄養教育論実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修	○	○						
		栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1		1	○								

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格					
					1年	2年	3年	4年				栄 養 士	管 理 栄 養 士	フ ー ド ベ ン ジ ャ リ ス ト	食 品 衛 生 監 査 員 ・ 管 理 者	健 康 運 動 実 践 指 導 者	栄 養 教 諭 一 種
専 門 科 目	臨 床 栄 養 学	● 臨 床 栄 養 学 I	講義	15		2		2	必修	メ ディ カ ル 栄 養 コー ス 選 択 者 (履 修 推 奨)	○	○					
		臨 床 栄 養 学 II	講義	15			2	2	選択			○					
		臨 床 栄 養 学 III	講義	15			2	2				○					
		臨 床 栄 養 管 理	講義	15			2	2			○						
		● 臨 床 栄 養 学 実 習 I	実習	45			1	1	必修		○	○					
		臨 床 栄 養 学 実 習 II	実習	45			1	1	選択			○					
	公 衆 栄 養 学	● 公 衆 栄 養 学 I	講義	15			2	2	必修		○	○					
		公 衆 栄 養 学 II	講義	15			2	2	選択			○					
		栄 養 疫 学	講義	15		2		2						○			
		● 公 衆 栄 養 学 実 習	実習	45			1	1	必修		○	○					
	給 食 経 営 管 理 論	● 給 食 マ ネ ジ メ ン ト 論 I	講義	15		2		2	必修		○	○		○			
		給 食 マ ネ ジ メ ン ト 論 II	講義	15		2		2	選択			○					
		● 給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 I	実習	45		1		1	必修		○	○		○			
		給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 II	実習	45			1	1				○	○		○		
	総 合 演 習	総 合 演 習 I	演習	15		2		2	選択			○					
		総 合 演 習 II	演習	15			2	2				○					
		総 合 演 習 III	演習	15			2	2									
	臨 地 実 習	● 臨 地 実 習 I	実習	45			1	1	必修		臨 地 実 習 の 履 修 年 次 ・ 期 間 は 実 習 先 に よ り 異 な る 。 実 習 先 の 定 員 等 の 関 係 に よ り 希 望 す る 実 習 先 を 選 択 で き る こ と が あ る 。	○	○				
		臨 地 実 習 II	実習	45			1	1	選択				○				
		臨 地 実 習 III	実習	45			1	1					○				
		臨 地 実 習 IV	実習	45			1	1					○				
	専 門 発 展 科 目	健 康 プ ロ ジ ェ ク ト I	講義	15		2		2	選択								
		健 康 プ ロ ジ ェ ク ト II	演習	30		1		1									
		病 棟 栄 養 管 理 特 論	講義	15			2	2									
		臨 床 栄 養 学 実 践 演 習 I	演習	30			1	1									
		臨 床 栄 養 学 実 践 演 習 II	演習	30			1	1									
		食 品 開 発 論	講義	15			2	2									
		食 品 プ ロ セ ス 演 習	演習	30			1	1									
		食 品 開 発 演 習	演習	30			1	1									
		● 卒 業 研 究	—	—				4			4	必修					
	関 連 科 目	専 門 職 の 連 携 (応 用)	演習	30			1	1	選択								
		心 理 学 的 支 援 法	講義	15			2	2									
メ ン タ ル ヘ ル ス 論		講義	15			2	2										
生 命 倫 理		講義	15			1	1										
中 医 学 の 基 礎		講義	15			1	1										
摂 食 嚥 下 障 害 学		講義	15			2	2										
タ ー ミ ナ ル ケ ア		演習	30			1	1										
包 括 的 ヘ ル ス ケ ア 論		講義	15			2	2										

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視・管理者	健康運動実践指導者
専門科目	関連科目	フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択	食創造コース履修者(履修推奨)		○			
		フードコーディネート論	講義	15				2	2				○			
		食マーケティング論	講義	15				2	2				○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2				○	○		
		京都の食文化	演習	30			1		1							
		分析化学	講義	15			2		2						○	
		食の心理と健康	講義	15			2		2							
		健康スポーツ指導Ⅰ	実習	30	1				1							○
		健康スポーツ指導Ⅱ	実習	30		1			1							○
		健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1							○
		健康スポーツ指導Ⅳ	実習	30			1		1							○
		スポーツ栄養学	講義	15			2		2							
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1							
		スポーツ心理学	講義	15			2		2							○
		健康づくりと運動	講義	15			2		2							○
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2							○
		学校栄養教育論	講義	15	2				2							
学校栄養教育実践論	講義	15			2		2						○			
自由科目	自由	教職論	講義	15	2			2		自由	2024年度入学生は2年次					○
		教育原理	講義	15	2			2								○
		教育心理学	講義	15	2			2								○
		教育行政学	講義	15		2		2								○
		人権教育	講義	15		2		2								○
		特別支援教育	講義	15		2		2								○
		教育課程論	講義	15		2		2								○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2		2								○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2		2								○
		教育方法論(ICT活用を含む)	講義	15		2		2								○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2		2								○
		教育相談	講義	15		2		2								○
		教職実践演習(栄養教諭)	演習	15				2	2							○
		事前・事後指導	実習	30			1		1							○
		栄養教育実習	実習	45			1		1							○

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択6単位。ただし、外国人留学生は、必修17単位、選択必修4単位)。

専門科目は107単位以上修得すること(必修59単位、選択48単位)。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目

については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

食品衛生監視員および食品衛生管理者の資格取得に必要な必修科目 39 単位及び選択科目 1 単位以上を修得すること。

(詳細は 262 ページ参照)

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格									
					1年	2年	3年	4年				栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭一種	中・高免保体				
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修												
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2													
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1													
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1													
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1													
		● 伝統文化	演習	30			1			1											
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1			1		選択									○	○	
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1			1												○	○
		英会話Ⅰ	演習	30	1			1													
		英会話Ⅱ	演習	30	1			1													
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1			1													
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1			1													
		医療英語	演習	30	1			1													
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1													
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1													
		ハンゲルⅠ	演習	30	1			1													
	健康とスポーツ	ハンゲルⅡ	演習	30	1			1													
		海外での語学研修	実習	30			2		2												
		健康の科学	講義	15	2			2													
		食生活と健康	講義	15	2			2													
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2													
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1											○	○	
	人文・社会・自然 I群	スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1											○	○	
		哲学と倫理	講義	15	2			2		選択 必修 2単位											
		仏教文化	講義	15	2			2													
		文化人類学	講義	15	2			2													
言語と文学		講義	15	2			2														
日本文化の理解		講義	15	2			2														
京都の歴史と文化		講義	15	2			2														
芸術文化論		講義	15	2			2														
サブカルチャー論		講義	15	2			2														
現代アジア事情		講義	15	2			2														
現代欧米事情		講義	15	2			2														
国際社会の理解		講義	15	2			2														
国際社会とジェンダー	講義	15	2			2															

IIカリキュラム
健康科学部健康栄養学科
健康スポーツ栄養専攻

2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格					
					1年	2年	3年	4年				栄	連	資	格		
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然 II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位								
		社会学	講義	15	2			2									
		日本国憲法	講義	15	2			2							○	○	
		現代社会と法	講義	15	2			2									
		現代社会と政治	講義	15	2			2									
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2									
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2									
		生命の科学	講義	15	2			2									
		生活と物理・化学	講義	15	2			2									
		地域と環境	講義	15	2			2									
		生活と防災	講義	15	2			2									
		ボランティア論	講義	15	2			2									
リベラルアーツ教育科目	キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択						○	○	
		情報リテラシー応用	演習	30	1			1								○	○
		数的処理の基礎	演習	30	1			1									
		日本語表現の技法	演習	30	1			1									
		読解と思考の技法	演習	30	1			1									
		Webデザイン	演習	15		2		2									
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2									
		プログラミング入門	演習	15		2		2									
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2									
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2									
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2									
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2									
キャリア実習	実習	30	1			1											
インターンシップ	実習	30			2	2											
リベラルアーツ教育科目	基礎	●基礎ゼミ	演習	30	1			1	必修								
		●生命科学の基礎	講義	15	2			2									
		●専門職の連携(基礎)	講義	15	2			2									
		●専門職の連携(応用)	演習	30			1	1			選択						
	専門科目	社会生活と健康	●公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2		2	必修		○				○	
			●公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2		2			○				○	
			●健康管理論	講義	15	2			2			選択		○	○		
		人体の構造と機能	●健康評価実習	実習	45		1		1	必修		○	○	○		○	
			●人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2			2	必修		○				○	
			●人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2		2			選択		○	○		○
	●生活習慣病論	講義	15				2	2				○					
	●運動生理学	講義	15	2			2	必修			○	○		○			
●バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択			○		○				

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格						
					1年	2年	3年	4年				栄 養 士	フードコーディネーター	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体	
												○	○	○	○	○	○	
専門科目	人体の構造と機能	● 生 化 学 I	講義	15	2				2	必修		○						
		● 生 化 学 II	講義	15		2			2	選択		○						
		● 人体の構造・生理実験	実験	45		1			1			○						
		● 運動生理学実習	実習	30			1		1									
		● 生 化 学 実 験	実験	45			1		1			○						
	食品と衛生	● 食 品 学 I	講義	15	2				2	必修		○	○					
		● 食 品 学 II	講義	15		2			2			○	○					
		● 食 品 衛 生 学	講義	15		2			2	選択		○	○					
		● 食 品 学 実 験 I	実験	45		1			1			○	○					
		● 食 品 学 実 験 II	実験	45		1			1				○					
	● 食 品 衛 生 学 実 験	実験	45			1		1	必修									
	専門科目	栄養と健康	● 基 礎 栄 養 学 I	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
● 基 礎 栄 養 学 II			講義	15		2			2			○						
● 応 用 栄 養 学			講義	15		2			2			○		○				
● 臨 床 栄 養 学 I			講義	15			2		2	選択		○						
● 臨 床 栄 養 学 II			講義	15				2	2									
● 栄 養 学 実 験			実験	45		1			1			○						
● 応 用 栄 養 学 実 習			実習	45			1		1			○						
● 臨 床 栄 養 学 実 習			実習	45			1		1			○						
栄養の指導		● 栄 養 教 育 論 I	講義	15		2			2	必修		○						
		● 栄 養 教 育 論 II	講義	15			2		2	選択		○						
		● 公 衆 栄 養 学	講義	15			2		2	必修		○						
		● 栄 養 教 育 論 実 習	実習	45			1		1	選択		○						
	● 公 衆 栄 養 学 実 習	実習	45			1		1			○							
給食の運営	● 調 理 学	講義	15	2				2	必修		○	○						
	● 給 食 マ ネ ジ メ ン ト 論	講義	15			2		2			○							
	● 調 理 実 習 基 礎	実習	45	1				1			○	○						
	● 調 理 実 習 応 用	実習	45		1			1	選択		○	○						
	● 食 生 活 と 調 理 実 習	実習	45		1			1										
	● 給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 I	実習	45			1		1			○							
	● 給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 II	実習	45			1		1			○							
	● 臨 地 実 習	実習	45				1	1			○							
スポーツと健康	● 健 康 ス ポ ー ツ 概 論	講義	15	2				2	必修								○	
	● 生 涯 ス ポ ー ツ 論	講義	15	2				2										○
	● 健 康 づ くり と 運 動	講義	15		2			2				○	○					
	● ス ポ ー ツ 医 学	講義	15			2		2	選択								○	
	● 安 全 管 理 と 救 急 処 置	講義	15			2		2				○	○					○
	● ス ポ ー ツ 心 理 学	講義	15		2			2		必修			○	○				○
● ス ポ ー ツ 社 会 学	講義	15		2			2	選択								○		

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				栄養士	フード・シェフ・パティシエ	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種
自由科目 (教職及び資格関連科目)		教 職 論	講義	15	2				2	自由					○	○
		教 育 原 理	講義	15		2			2						○	○
		教 育 心 理 学	講義	15		2			2						○	○
		教 育 行 政 学	講義	15		2			2						○	○
		人 権 教 育	講義	15		2			2						○	○
		特 別 支 援 教 育	講義	15		2			2						○	○
		教 育 課 程 論	講義	15		2			2						○	○
		道 徳 教 育 の 理 論 と 指 導 法	講義	15		2			2						○	○
		特 別 活 動 及 び 総 合 的 な 学 習 の 時 間	講義	15		2			2						○	○
		教 育 方 法 論 (ICT 活 用 を 含 む)	講義	15		2			2						○	○
		生 徒 指 導 及 び 進 路 指 導 論	講義	15		2			2						○	○
		教 育 相 談	講義	15		2			2						○	○
		教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	演習	15				2	2						○	
		教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	演習	15				2	2							○
		事 前 ・ 事 後 指 導	実習	30			1		1						○	○
		栄 養 教 育 実 習	実習	45			1		1						○	
		教 育 実 習 (中 ・ 高) I	実習	30				2	2							○
		教 育 実 習 (中 ・ 高) II	実習	30				2	2							○
		健 康 総 合 演 習 A	演習	30			1		1							
		健 康 総 合 演 習 B	演習	30			1		1							

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（必修62単位、選択36単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2023年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格	栄 養 士	フ ィ ド ス ベ ン ャ リ ス ト	健 康 運 動 指 導 士	栄 養 教 諭 一 種	中 ・ 高 免 保 体				
					1年	2年	3年	4年													
II カリキュラム 健康科学部健康栄養学科 健康スポーツ栄養専攻 2023 リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修												
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2													
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1													
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1													
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1													
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1													
		● 伝 統 文 化	演習	30		1		1											○	○	
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1	選択												
		● 総合英語 II	演習	30	1			1												○	○
		English in Use A	演習	30	1			1													
		English in Use B	演習	30	1			1													
		English in Use C	演習	30	1			1													
		English in Use D	演習	30	1			1													
		English in Use E	演習	30	1			1													
		English in Use F	演習	30	1			1													
		医療英語	演習	30	1			1													
		中国語 I	演習	30	1			1													
		中国語 II	演習	30	1			1													
		ハンゲル I	演習	30	1			1													
		ハンゲル II	演習	30	1			1													
	海外での語学研修	実習	30		2		2														
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位												
		食生活と健康	講義	15	2			2													
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2													
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1												○	○
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1												○	○
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1													
		マインドフルネス	実習	30	1			1													
教養囲碁入門		実習	30	1			1														
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位													
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2														
	仏教文化	講義	15	2			2														
	文化人類学	講義	15	2			2														
	言語と文学	講義	15	2			2														
	日本文化の理解	講義	15	2			2														
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2														
	芸術文化論	講義	15	2			2														

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 栄 養 士	連 フーズヘルペド 健康運動指導士	資 栄養教諭二種	格 中・高免保体
					1年	2年	3年	4年							
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	I群	サブカルチャー論	講義	15	2		2	選択 必修 2単位						
			現代アジア事情	講義	15	2		2							
			現代欧米事情	講義	15	2		2							
			国際社会の理解	講義	15	2		2							
			国際社会とジェンダー	講義	15	2		2							
		II群	心 理 学	講義	15	2		2	選択 必修 2単位						
			社 会 学	講義	15	2		2							
			日 本 国 憲 法	講義	15	2		2							
			現 代 社 会 と 法	講義	15	2		2							
			現 代 社 会 と 政 治	講義	15	2		2							
	くらしのなかの経済学		講義	15	2		2								
	くらしのなかの統計学		講義	15	2		2								
	情 報 社 会 の 理 解		講義	15	2		2								
	生 命 の 科 学		講義	15	2		2								
	生 活 と 物 理 ・ 化 学		講義	15	2		2								
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1		1	選択							
		情報技術の理解	講義	15	2		2								
		数的処理の基礎	演習	30	1		1								
		読解と思考の技法	演習	30	1		1								
		Webデザイン	演習	15		2	2								
産官学連携プロジェクト		演習	15	2		2									
キャリア実習		実習	30	1											
インターンシップ		実習	30		2	2									
データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2		2								選択
		プログラミング入門	演習	15	2		2								
	AIへのアプローチ	講義	15		2	2									
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2	2									
	データサイエンスPBL	演習	15		2	2									
専門科目	基礎	● 基礎ゼミ	演習	30	1		1	必修							
		● 生命科学の基礎	講義	15	2		2								
		● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2		2								
	社会生活と健康	● 公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2	2	必修							
		● 公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2	2								
		● 健康管理論	講義	15	2		2								選択
		● 健康評価実習	実習	45		1	1								必修

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 栄 養 士	連 ア ト レ ット シ ャ ク ト	資 健 康 運 動 指 導 士	格 栄 養 教 諭 二 種	中 ・ 高 免 保 体		
					1年	2年	3年	4年										
専 門 科 目	人 体 の 構 造 と 機 能	● 人体の構造と生理 I	講義	15	2				2	必修						○		
		● 人体の構造と生理 II	講義	15		2			2	選択						○		
		● 生活習慣病論	講義	15				2	2	選択			○					
		● 運動生理学	講義	15	2				2	必修			○				○	
		● バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択			○				○	
		● 生化学 I	講義	15	2				2	必修			○					
		● 生化学 II	講義	15		2			2	選択			○					
		● 人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択			○					
	● 生化学実験	実験	45			1		1	必修			○						
	食 品 と 衛 生	● 食品学 I	講義	15	2				2	必修		○	○					
		● 食品学 II	講義	15		2			2	必修		○	○					
		● 食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○					
		● 食品加工学	講義	15		2			2	必修								
		● 食品学実験 I	実験	45		1			1	選択		○	○					
		● 食品学実験 II	実験	45		1			1	選択			○					
	栄 養 と 健 康	● 食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修								
		● 基礎栄養学 I	講義	15	2				2	必修		○	○	○				
		● 基礎栄養学 II	講義	15		2			2	必修		○						
		● 応用栄養学 I	講義	15		2			2	必修		○	○					
		● 応用栄養学 II	講義	15			2		2	必修								
		● 臨床栄養学 I	講義	15			2		2	必修		○						
		● 臨床栄養学 II	講義	15				2	2	必修								
		● 栄養学実験	実験	45		1			1	選択		○						
	栄 養 の 指 導	● 応用栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○						
		● 臨床栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○						
		● 栄養教育論 I	講義	15		2			2	必修		○						
		● 栄養教育論 II	講義	15			2		2	必修		○						
		● 公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		○						
		● 栄養疫学	講義	15				2	2	必修								
	給 食 の 運 営	● 栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		○						
		● 公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○						
		● 調理学	講義	15	2				2	必修		○	○					
● 給食マネジメント論		講義	15			2		2	必修		○							
● 調理実習基礎		実習	45	1				1	必修		○	○						
● 調理実習応用		実習	45		1			1	必修		○	○						
● 食生活と調理実習		実習	45		1			1	必修									
● 給食マネジメント実習 I		実習	45			1		1	選択		○							
● 給食マネジメント実習 II	実習	45			1		1	選択		○								
● 臨地実習	実習	45				1	1	選択		○								

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格	栄 養 士	フ イ ド ベ イ ハ ー ト	健 康 運 動 指 導 士	栄 養 教 諭 二 種	中・高免保体		
					1年	2年	3年	4年											
専 門 科 目	スポーツと健康	● 生涯スポーツ論	講義	15	2				2	必修							○		
		健康づくりと運動	講義	15		2			2	選択				○					
		スポーツ医学	講義	15			2		2									○	
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2					○				○	
		スポーツ心理学	講義	15		2			2					○				○	
		スポーツ社会学	講義	15		2			2									○	
		アダプテッドスポーツ論	講義	15			2		2										
		体育・スポーツ原理	講義	15		2			2										○
		体育・スポーツ史	講義	15		2			2										○
		学校保健	講義	15			2		2										○
		トレーニング論	講義	15		2			2										○
	運動・スポーツ指導	● コーチング論	講義	15			2		2	必修									
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択							○		
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1				1					○					
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1			1					○					
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1			1					○				○	
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1			1					○				○	
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1			1									○	
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1			1									○	
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1									○	
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1			1									○	
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30		1			1									○	
	健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1			1								○			
	インストラクター現場実習	実習	30				2	2				○							
スポーツと栄養	● スポーツ栄養学	講義	15		2			2	必修								○		
	スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択										
	栄養・運動指導実習	実習	30				1	1					○						
	食生活と文化	食品開発論	講義	15			2		2	選択									
		京都の食文化	講義	15			2		2										
		食文化研修	実習	30			1		1										
	食とビジネス	フードシステム論	講義	15			2		2	選択									
食マーケティング論		講義	15			2		2					○						
食品開発演習		演習	30				1	1											
専 門 科 目	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2		2	選択										
		健康プロジェクトⅡ	演習	30			1			1									
		健康総合演習A	演習	30				1		1									
		健康総合演習B	演習	30				1		1									
	● 卒業研究	-	-				4	4	必修										

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 栄 士	連 栄 士	資 栄 士	格 栄 士	
					1年	2年	3年	4年								
専門科目	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30		1			1	選択						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2							
		フードコーディネーター論	講義	15			2		2			○				
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2			○				
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2			○				
		製菓実習	実習	45				1	1							
		消費者心理学	講義	15		2			2							
		経営法務	講義	15			2		2							
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2					○		
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2							○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2							○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2							○
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2							○
自由科目（教職及び資格関連科目）	教職論	講義	15	2				2	自由				○	○		
	教育原理	講義	15		2			2					○	○		
	教育心理学	講義	15		2			2					○	○		
	教育行政学	講義	15		2			2					○	○		
	人権教育	講義	15		2			2					○	○		
	特別支援教育	講義	15		2			2					○	○		
	教育課程論	講義	15		2			2					○	○		
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2					○	○		
	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2					○	○		
	教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2					○	○		
	生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2					○	○		
	教育相談	講義	15		2			2					○	○		
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2					○			
	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2						○		
	事前・事後指導	実習	30			1		1					○	○		
	栄養教育実習	実習	45			1		1					○			
	教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2						○		
教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2					○				

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（必修50単位、選択48単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2024年度以降入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格	栄 養 士	フ ィ ド ス ベ ン ャ リ ス ト	健 康 運 動 指 導 士	栄 養 教 諭 一 種	中 ・ 高 免 保 体	
					1年	2年	3年	4年										
II カリキュラム 健康科学部健康栄養学科 健康スポーツ栄養専攻科 2024・2025 リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修									
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2										
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1										
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1										
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1										
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1										
		● 伝 統 文 化	演習	30		1		1										
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	選択									
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1			1										
		English in Use A	演習	30	1			1										
		English in Use B	演習	30	1			1										
		English in Use C	演習	30	1			1										
		English in Use D	演習	30	1			1										
		English in Use E	演習	30	1			1										
		English in Use F	演習	30	1			1										
		医療英語	演習	30	1			1										
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1										
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1										
		ハンゲルⅠ	演習	30	1			1										
		ハンゲルⅡ	演習	30	1			1										
	海外での語学研修	実習	30		2		2											
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2										
		食生活と健康	講義	15	2			2										
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2										
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1										
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1										
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1										
		マインドフルネス	実習	30	1			1										
教養囲碁入門		実習	30	1			1											
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位										
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2											
	仏教文化	講義	15	2			2											
	文化人類学	講義	15	2			2											
	言語と文学	講義	15	2			2											
	日本文化の理解	講義	15	2			2											
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2											
	芸術文化論	講義	15	2			2											

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 栄 士	連 フイ ヘ ネ ト	資 健 運 指 導 士	格 栄 養 教 諭 二 種	中・高 免 保 体	
					1年	2年	3年	4年									
リベラルアーツ教育科目	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位								
		現代アジア事情	講義	15	2			2									
		現代欧米事情	講義	15	2			2									
		国際社会の理解	講義	15	2			2									
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2									
		II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位							
			社会学	講義	15	2			2								
			日本国憲法	講義	15	2			2							○	○
			現代社会と法	講義	15	2			2								
			現代社会と政治	講義	15	2			2								
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2									
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2									
	情報社会の理解		講義	15	2			2									
	生命の科学		講義	15	2			2									
	生活と物理・化学		講義	15	2			2									
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択							○	○
		情報技術の理解	講義	15	2			2									
		数的処理の基礎	演習	30	1			1									
		読解と思考の技法	演習	30	1			1									
		Webデザイン	演習	15		2		2									
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2									
		キャリア実習	実習	30	1			1									
	AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択								
		プログラミング入門	演習	15	2			2									
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2									
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2									
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2									
	留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 学生 必修								
日本語 F II		演習	30	1			1										
日本語 S I		演習	30		1		1										
日本語 S II		演習	30		1		1										
日本事情 I		演習	30	1			1										
日本事情 II		演習	30	1			1										

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 連 資 格						
					1年	2年	3年	4年				栄 養 士	フーズヘルソート	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体		
専 門 科 目	給食の運営	● 調 理 学	講義	15	2			2	必修		○	○						
		● 給食マネジメント論	講義	15		2		2			○							
		● 調理実習基礎	実習	45	1			1			○	○						
		調理実習応用	実習	45		1		1			○	○						
		食生活と調理実習	実習	45		1		1										
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1	1			○							
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1	1			○							
		臨地実習	実習	45				1			1	○						
	スポーツと健康	● 生涯スポーツ論	講義	15	2			2	必修						○			
		● スポーツ産業論	講義	15	2			2										
		健康づくりと運動	講義	15		2		2					○					
		安全管理と救急処置	講義	15			2	2					○			○		
		スポーツ心理学	講義	15		2		2			選択						○	
		スポーツ社会学	講義	15		2		2										○
		アダプテッドスポーツ論	講義	15			2	2										
		体育・スポーツ原理	講義	15		2		2										○
	学 校 保 健	講義	15			2	2							○				
	運動・スポーツ指導	● コーチング論	講義	15			2	2	必修									
		スポーツマネジメント論	講義	15			2	2								○		
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1			1					○					
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1		1					○					
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1		1					○			○		
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1		1					○			○		
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1		1								○		
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1		1								○		
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1		1								○		
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1		1								○		
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30		1		1								○		
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1		1								○		
	インストラクター現場実習	実習	30			2	2				○							
スポーツと栄養	● スポーツ栄養学	講義	15		2		2	必修						○				
	スポーツ栄養学実習	実習	30			1	1			選択								
	スポーツ医学実習	実習	30				1					1			○			
食生活と文化	食 品 開 発 論	講義	15			2	2	選択										
	京 都 の 食 文 化	演習	30			1	1											
	食 文 化 研 修	実習	30				1			1								
食とビジネス	フ ー ド シ ス テ ム 論	講義	15			2	2	選択										
	食 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	講義	15			2	2					○						
	食 品 開 発 演 習	演習	30				1			1								

IIカリキュラム
健康科学部健康栄養学科
健康スポーツ栄養専攻

2024・2025

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 栄 士	連 栄 士	資 栄 士	格 栄 士		
					1年	2年	3年	4年									
専門科目	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡ	演習	30		1			1								
		健康総合演習A	演習	30			1		1								
		健康総合演習B	演習	30				1	1								
		卒業研究	—	—				4	4		必修						
	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30			1		1	選択							
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2								
		フードコーディネータ論	講義	15			2		2			○					
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2			○					
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2			○					
		製菓実習	実習	45				1	1								
		消費者心理学	講義	15			2		2								
		経営法務	講義	15				2	2								
		心理学的支援法	講義	15				2	2								
		メンタルヘルス論	講義	15				2	2								
		食の心理と健康	講義	15			2		2								
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15				2	2						○		
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2								○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2								○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2								○
保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2							○			
自由科目 （教職及び資格関連科目）	教職論	講義	15	2				2	自由	2024年度入学生は2年次				○	○		
	教育原理	講義	15	2				2							○	○	
	教育心理学	講義	15	2				2							○	○	
	教育行政学	講義	15		2			2							○	○	
	人権教育	講義	15		2			2							○	○	
	特別支援教育	講義	15		2			2							○	○	
	教育課程論	講義	15		2			2							○	○	
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2							○	○	
	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2							○	○	
	教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2							○	○	
	生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2							○	○	
	教育相談	講義	15		2			2							○	○	
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2							○		
	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2							○		
	事前・事後指導	実習	30			1		1							○	○	
	栄養教育実習	実習	45			1		1							○		
	教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2							○		
	教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2							○		

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位。ただし、外国人留学生は必修17単位、選択必修4単位、選択9単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（必修52単位、選択46単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康栄養学科専門教育科目の履修について

- (1) いずれの科目についても、原則として指定された学年（配当年次）において履修すること。
- (2) クラス指定のある科目については、教員の許可無しに指定外のクラスで履修することを認めない。
- (3) 臨地実習Ⅰ～Ⅳまたは臨地実習は学内での事前・事後指導を含み、学外の実習施設（病院、保健所、保健センター、特定給食施設など）の指導のもとづいて「臨床栄養学」、「給食経営管理論」、「公衆栄養学」または「給食の運営」に関する実習を行うものである。

臨地実習にあたり、本学および実習施設の定める規程に反する場合には実習を認めない。

本学の定める規程は以下の通りである。

- 1、臨地実習を履修しようとする学生は管理栄養士・栄養士に強い関心と熱意を有していると同時に、学業成績、修学状況および健康状態において実習遂行可能な条件を充たしていることが必要である。
 - 2、在学中に栄養士資格ならびに管理栄養士国家試験受験資格の取得が見込まれること。
 - 3、当該実習までに原則として実習内容の基本となる必修科目の講義および実習の単位取得が見込まれること。
 - 4、事前指導を受け、指導事項を理解していること。
 - 5、実習中の態度が不相当と判断された場合は実習中止となる。また、実習施設の指導責任者の総合評価によっては単位を認めない。
- (4) 管理栄養士専攻では、管理栄養士国家試験の受験資格（卒業時）、栄養士免許証、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者、フードスペシャリスト認定試験の受験資格、健康運動実践指導者認定試験の受験資格に必要な科目について、資格欄および「資格の取得」の項を参照し、履修漏れのないよう注意すること。なお、卒業時に管理栄養士国家試験を受験する者は「総合演習Ⅲ」の単位を必ず修得すること。

C. 健康科学部 看護学科

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 連 資 格	看 護 師	保 健 師	養 護 教 諭 (種)	格 (種)								
					1年	2年	3年	4年																
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修															
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2																
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1																
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1																
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1																
		● 伝統文化	演習	30		1		1																
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1									選択							
		● 総合英語 II	演習	30	1			1																
		英会話 I	演習	30	1			1																
		英会話 II	演習	30	1			1																
		英語文献を読む I	演習	30	1			1																
		英語文献を読む II	演習	30	1			1																
		医療英語	演習	30	1			1																
		中国語 I	演習	30	1			1																
		中国語 II	演習	30	1			1																
		ハンゲル I	演習	30	1			1																
		ハンゲル II	演習	30	1			1																
		海外での語学研修	実習	30		2		2																
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2	看護学科は除く															
		食生活と健康	講義	15	2			2																
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2																
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1																
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1																
	人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位															
		仏教文化	講義	15	2			2																
		文化人類学	講義	15	2			2																
		言語と文学	講義	15	2			2																
		日本文化の理解	講義	15	2			2																
		京都の歴史と文化	講義	15	2			2																
		芸術文化論	講義	15	2			2																
		サブカルチャー論	講義	15	2			2																
		現代アジア事情	講義	15	2			2																
現代欧米事情		講義	15	2			2																	
国際社会の理解		講義	15	2			2																	
国際社会とジェンダー	講義	15	2			2																		

IIカリキュラム
健康科学部
2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 看 護 師	連 保 健 師	資 養 教 諭 (種)	格 養 護 教 諭 (種)	
					1年	2年	3年	4年								
人文・社会・自然 II群	リベラルアーツ教育科目	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位							
		社会学	講義	15	2			2								
		日本国憲法	講義	15	2			2						○	○	
		現代社会と法	講義	15	2			2								
		現代社会と政治	講義	15	2			2								
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2								
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2								
		生命の科学	講義	15	2			2								
		生活と物理・化学	講義	15	2			2								
		地域と環境	講義	15	2			2								
		生活と防災	講義	15	2			2								
ボランティア論	講義	15	2			2										
キャリアデザイン	リベラルアーツ教育科目	情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択				○	○		
		情報リテラシー応用	演習	30	1			1						○	○	
		数的処理の基礎	演習	30	1			1								
		日本語表現の技法	演習	30	1			1								
		読解と思考の技法	演習	30	1			1								
		Webデザイン	演習	15		2		2								
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2								
		プログラミング入門	演習	15		2		2								
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2								
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2								
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2								
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2								
キャリア実習	実習	30	1			1										
インターンシップ	実習	30			2	2										
留学生	リベラルアーツ教育科目	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 留学生 必修							
		日本語 F II	演習	30	1			1								
		日本語 S I	演習	30		1		1								
		日本語 S II	演習	30		1		1								
		日本事情 I	演習	30	1			1								
		日本事情 II	演習	30	1			1								
専門基礎科目	人間の生活と社会	● 人体の構造と生理機能	演習	30	2			2	必修		○			○		
		● 病気の成り立ち	講義	15	2			2			○					
		● からだの防御の仕組み	講義	15	1			1			○				○	
		● 薬理学	講義	15	1			1			○				○	
		● 診断と治療 I	講義	30		2		2			○					
		● 診断と治療 II	講義	15		2		2			○					
		● 基礎ゼミ	演習	30	1			1			○					

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 連 資 格	保 護 師	健 師	養 護 教 諭 (二種)	格 養 護 教 諭 (一 種)
					1年	2年	3年	4年								
専門基礎科目	人間の生活と社会	● 公衆衛生学	講義	15		2			2	必修						
		● 社会保障論	講義	15		2			2							
		● ホリスティック・ヘルスⅠ	講義	15	1				1							
		● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2							
		● 生命倫理	講義	15	1				1							
		● 生化学	講義	15	2				2							
		● 看護と栄養	講義	15			2		2							
		● 生物の基礎	講義	15	2				2							
		● 化学の基礎	講義	15	2				2							
		● ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1							
		● 女性と健康	講義	15	1				1							
		● 中医学の基礎	講義	15		1			1							
		● 専門職の連携（応用）	演習	30			1		1							
		● 包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2							
専門科目	看護の基礎	● 看護学原論	講義	15	2			2	必修							
		● 看護コミュニケーション	講義	15	1			1								
		● 日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1			1								
		● 日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2			2								
		● 治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2		2								
		● 看護過程論演習	演習	30		2		2								
		● フィジカルアセスメント概論	講義	15		1		1								
		● フィジカルアセスメント演習	演習	30		1		1								
		● 仏教看護論Ⅰ	講義	15		1		1								
		● 仏教看護論Ⅱ	講義	15			1	1								
	● 看護倫理Ⅰ	講義	15	1			1									
	● 看護倫理Ⅱ	講義	15			1	1									
	看護の展開	● 母性看護学概論	講義	15		2		2	必修							
		● 小児看護学概論	講義	15		2		2								
		● 成人看護学概論	講義	15		2		2								
		● 老年看護学概論	講義	15		2		2								
		● 精神看護学概論	講義	15		2		2								
		● 在宅看護学概論	講義	15		2		2								
		● 地域看護学概論	講義	15		1		1								
		● 母性看護学援助論	講義	15		1		1								
		● 母性看護学演習	演習	30			1	1								
		● 小児看護学援助論	講義	15		1		1								
● 小児看護学演習		演習	30			1	1									
● 成人看護学援助論		講義	15		2		2									
● 成人看護学演習	演習	30			2	2										

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 看 護 師	連 保 健 師	資 養 護 教 諭 (種)	格 養 護 教 諭 (種)
					1年	2年	3年	4年							
看護の展開	●	老 年 看 護 学 援 助 論	講義	15		1			1	必修	○				
	●	老 年 看 護 学 演 習	演習	30			1		1		○				
	●	精 神 看 護 学 援 助 論	講義	15		1			1		○			○	
	●	精 神 看 護 学 演 習	演習	30			1		1		○			○	
	●	在 宅 看 護 学 援 助 論	講義	15		2			2		○				
	●	在 宅 看 護 学 演 習	演習	30			1		1		○				
	●	緩 和 ケ ア	講義	15		2			2		○				
	●	医 療 安 全	講義	15		1			1	○					
		疫 学	講義	15			2		2	選択		○		○	
		保 健 統 計 学	講義	15			2		2			○			
		学 校 保 健	講義	15		2			2			○		○	
		産 業 保 健	講義	15			1		1			○			
		健 康 教 育 論	講義	15		2			2			○			
	看護の実践	●	基 礎 看 護 学 実 習 I	実習	45	1				1	必修	○			
●		基 礎 看 護 学 実 習 II	実習	45		2			2	○					
●		看 護 技 術 実 習	実習	45			2		2	○					
●		母 性 看 護 学 実 習	実習	45			2		2	○					
●		小 児 看 護 学 実 習	実習	45			2		2	○				○	
●		慢 性 期 看 護 学 実 習	実習	45			2		2	○					
●		急 性 期 看 護 学 実 習	実習	45			2		2	○				○	
●		老 年 看 護 学 実 習 I	実習	45			1		1	○					
●		老 年 看 護 学 実 習 II	実習	45			2		2	○					
●		精 神 看 護 学 実 習	実習	45			2		2	○				○	
●		在 宅 看 護 学 実 習	実習	45			3		3	○					
看護の統合・発展	●	研 究 方 法 論	演習	30			1		1	必修	○				
	●	家 族 看 護 学	講義	15			2		2		○			○	
	●	看 護 政 策 学	講義	15				1	1		○				
	●	卒 論 ゼ ミ	演習	30				2	2		○				
	●	看 護 管 理 論	講義	15				1	1		○				
	●	コ ン テ ン ポ ラ リ ー ナ ー シ ン グ	講義	15				1	1		○				
	●	災 害 看 護 論	講義	15				1	1		○				
	●	統 合 看 護 学 実 習	実習	45				2	2		○				
		国 際 看 護 活 動 論	講義	15				1	1	選択					
自由科目		公 衆 衛 生 看 護 学 概 論	講義	15			2		2		自由		○		
		対 象 別 公 衆 衛 生 看 護 活 動 論	講義	15				2	2			○			
		保 健 医 療 福 祉 行 政 論	講義	15				2	2			○			
		保 健 医 療 福 祉 行 政 論 演 習	演習	30					1	1			○		
		公 衆 衛 生 看 護 学 演 習	演習	30					3	3			○		
		公 衆 衛 生 看 護 技 術 論 I	演習	30			2		2			○			

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格	養護教諭(二種)	養護教諭(一種)
					1年	2年	3年	4年						
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2	自由		○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1		○			
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45				3	3		○			
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45				1	1		○			
	教職科目	教職論	講義	15	2				2	自由				○
		教育原理	講義	15		2			2					○
		教育心理学	講義	15		2			2					○
		教育行政学	講義	15			2		2					○
		人権教育	講義	15			2		2					○
		特別支援教育	講義	15			2		2					○
		教育課程論	講義	15			2		2					○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15			2		2					○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15			2		2					○
		教育方法論	講義	15			2		2					○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15			2		2					○
		教育相談	講義	15			2		2					○
		養護概説	講義	15			2		2					○
		事前・事後指導	実習	30				1		1				○
		養護実習	実習	45					4	4				○
教職実践演習(養護教諭)	演習	15					2	2				○		

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は20単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択6単位）。
 専門科目は108単位以上修得すること（必修98単位、選択10単位）。
 リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 看護学科

〈2023年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 看 護 師	連 保 健 師	資 格 養 護 教 諭 (二種)	格 養 護 教 諭 (一種)
					1年	2年	3年	4年							
II カリキュラム 健康科学部 2023	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修		○				
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2							
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1							
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1							
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1							
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1							
		● 伝統文化	演習	30		1		1							
	リベラルアーツ教育科目	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1	選択		○	○	○	
			● 総合英語 II	演習	30	1			1						
			English in Use A	演習	30	1			1						
			English in Use B	演習	30	1			1						
			English in Use C	演習	30	1			1						
			English in Use D	演習	30	1			1						
			English in Use E	演習	30	1			1						
			English in Use F	演習	30	1			1						
			医療英語	演習	30	1			1						
			中国語 I	演習	30	1			1						
			中国語 II	演習	30	1			1						
			ハンゲル I	演習	30	1			1						
			ハンゲル II	演習	30	1			1						
	海外での語学研修	実習	30		2		2								
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2							
		食生活と健康	講義	15	2			2							
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2							
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1							
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1							
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1							
		マインドフルネス	実習	30	1			1							
教養囲碁入門		実習	30	1			1								
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位							
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2								
	仏教文化	講義	15	2			2								
	文化人類学	講義	15	2			2								
	言語と文学	講義	15	2			2								
	日本文化の理解	講義	15	2			2								
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2								
	芸術文化論	講義	15	2			2								

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 看 護 師	連 保 健 師	資 養 教 諭 (二種)	格 養 教 諭 (一 種)
					1年	2年	3年	4年							
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位					
			現代アジア事情	講義	15	2			2						
			現代欧米事情	講義	15	2			2						
			国際社会の理解	講義	15	2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2			2						
		II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位					
			社会学	講義	15	2			2						
			日本国憲法	講義	15	2			2						
			現代社会と法	講義	15	2			2						
			現代社会と政治	講義	15	2			2						
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2							
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2							
	情報社会の理解		講義	15	2			2							
	生命の科学		講義	15	2			2							
	生活と物理・化学		講義	15	2			2							
	地域と環境		講義	15	2			2							
	生活と防災		講義	15	2			2							
	ボランティア論		講義	15	2			2							
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択						
		情報技術の理解	講義	15	2			2							
		数的処理の基礎	演習	30	1			1							
		読解と思考の技法	演習	30	1			1							
		Webデザイン	演習	15		2		2							
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2							
		キャリア実習	実習	30	1			1							
	データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択						
		プログラミング入門	演習	15	2			2							
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2							
データサイエンスへのアプローチ		講義	15		2		2								
データサイエンスPBL		演習	15		2		2								
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 学生 必修							
	日本語 F II	演習	30	1			1								
	日本語 S I	演習	30		1		1								
	日本語 S II	演習	30		1		1								
	日本事情 I	演習	30	1			1								
	日本事情 II	演習	30	1			1								

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関 看 護 師	連 保 健 師	資 養 護 教 諭 (種)	格 養 護 教 諭 (種)				
					1年	2年	3年	4年											
IIカリキュラム 健康科学科部 2023	専門基礎科目	人間の生活と社会	● 人体の構造と生理機能	演習	30	2			2	必修		○		○					
			● 病気の成り立ち	講義	15	2			2							○			
			● からだの防御の仕組み	講義	15	1			1							○		○	
			● 薬 理 学	講義	15	1			1							○		○	
			● 診 断 と 治 療 I	講義	30	2			2							○			
			● 診 断 と 治 療 II	講義	15	2			2							○			
			● 基 礎 ゼ ミ	演習	30	1			1							○			
			● 公 衆 衛 生 学	講義	15	2			2							○		○	
			● 社 会 保 障 論	講義	15	2			2							○			
			● ホリスティック・ヘルス I	講義	15	1			1							○			
	専門基礎科目	人間の生活と社会	● 専 門 職 の 連 携 (基 礎)	講義	15	2			2	選択		○							
			● 生 命 倫 理	講義	15	1			1								○		
			● 生 化 学	講義	15	2			2										○
			● 看 護 と 栄 養	講義	15		2		2										
			● 生 物 の 基 礎	講義	15	2			2										
			● 化 学 の 基 礎	講義	15	2			2										
			● ホリスティック・ヘルス II	演習	30	1			1										
			● 女 性 と 健 康	講義	15	1			1										
			● 中 医 学 の 基 礎	講義	15		1		1										
			● 専 門 職 の 連 携 (応 用)	演習	30			1	1										
専門科目	看護の基礎	● 看 護 学 原 論	講義	15	2			2	必修		○								
		● 看 護 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	講義	15	1			1								○		○	
		● 日 常 生 活 を 支 え る 看 護 技 術 I	演習	30	1			1								○		○	
		● 日 常 生 活 を 支 え る 看 護 技 術 II	演習	30	2			2								○		○	
		● 治 療 ・ 診 断 過 程 に 伴 う 看 護 技 術	演習	30	2			2								○			
		● 看 護 過 程 論 演 習	演習	30	2			2								○			
	専門科目	看護の展開	● フィジカルアセスメント概論	講義	15	1			1	必修		○							
			● フィジカルアセスメント演習	演習	30	1			1								○		○
			● 仏 教 看 護 論 I	講義	15	1			1								○		
			● 仏 教 看 護 論 II	講義	15			1	1								○		
			● 看 護 倫 理 I	講義	15	1			1								○		
			● 看 護 倫 理 II	講義	15			1	1								○		
専門科目	看護の展開	● 母 性 看 護 学 概 論	講義	15	2			2	必修		○								
		● 小 児 看 護 学 概 論	講義	15	2			2								○		○	
		● 成 人 看 護 学 概 論	講義	15	2			2								○			
		● 老 年 看 護 学 概 論	講義	15	2			2								○			
		● 精 神 看 護 学 概 論	講義	15	2			2								○			
		● 在 宅 看 護 学 概 論	講義	15	2			2								○			

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 連 資 格	保 護 師	健 師	養 護 教 諭 (二種)	格 養 護 教 諭 (一 種)	
					1年	2年	3年	4年									
専 門 科 目	看護の展開	● 地域看護学概論	講義	15		1		1	必修								
		● 母性看護学援助論	講義	15		1		1									
		● 母性看護学演習	演習	30			1	1									
		● 小児看護学援助論	講義	15		1		1									
		● 小児看護学演習	演習	30			1	1									
		● 成人看護学援助論	講義	15		2		2									
		● 成人看護学演習	演習	30			2	2									
		● 老年看護学援助論	講義	15		1		1									
		● 老年看護学演習	演習	30			1	1									
		● 精神看護学援助論	講義	15		1		1									
		● 精神看護学演習	演習	30			1	1									
		● 在宅看護学援助論	講義	15		2		2									
		● 在宅看護学演習	演習	30			1	1									
		● 緩和ケア	講義	15			2	2									
		● 医療安全	講義	15			1	1									
	看護の統合・発展	疫学	講義	15			2	2	選択								
		保健統計学	講義	15			2	2									
		学校保健	講義	15		2		2									
		産業保健	講義	15			1	1									
		健康教育論	講義	15		2		2									
	看護の実践	● 基礎看護学実習Ⅰ	実習	45	1			1	必修								
		● 基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2		2									
		● 看護技術実習	実習	45			2	2									
		● 母性看護学実習	実習	45			2	2									
		● 小児看護学実習	実習	45			2	2									
		● 慢性期看護学実習	実習	45			2	2									
		● 急性期看護学実習	実習	45			2	2									
		● 老年看護学実習Ⅰ	実習	45			1	1									
		● 老年看護学実習Ⅱ	実習	45			2	2									
		● 精神看護学実習	実習	45			2	2									
● 在宅看護学実習		実習	45			3	3										
看護の統合・発展	● 研究方法論	演習	30			1	1	必修									
	● 家族看護学	講義	15			2	2										
	● 看護政策学	講義	15			1	1										
	● 卒論ゼミ	演習	30			2	2										
	● 看護管理論	講義	15			1	1										
	● コンテンポラリーナーシング	講義	15			1	1										
	● 災害看護論	講義	15			1	1										
	● 統合看護学実習	実習	45			2	2										
	● 国際看護活動論	講義	15			1	1										選択

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師 保健師 養護教諭(種)	養護教諭(種)																																																																	
					1年	2年	3年	4年																																																																						
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護学概論	講義	15		2		2	自由		○																																																																			
		対象別公衆衛生看護活動論	講義	15		2		2						○																																																																
		保健医療福祉行政論	講義	15		2		2										○																																																												
		保健医療福祉行政論演習	演習	30			1	1														○																																																								
		公衆衛生看護学演習	演習	30			3	3																		○																																																				
		公衆衛生看護技術論Ⅰ	演習	30		2		2																						○																																																
		公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30		2		2																										○																																												
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45		1		1																														○																																								
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45			3	3																																		○																																				
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45			1	1																																						○																																
教職科目		教職論	講義	15	2			2	自由				○																																																																	
		教育原理	講義	15		2		2						○																																				○																												
		教育心理学	講義	15		2		2										○																																	○																											
		教育行政学	講義	15		2		2														○																														○																										
		人権教育	講義	15		2		2																		○																											○																									
		特別支援教育	講義	15		2		2																						○																								○																								
		教育課程論	講義	15		2		2																										○																					○																							
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2		2																														○																		○																						
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2		2																																		○															○																					
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2		2																																						○												○																				
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2		2																																																			○				○															
		教育相談	講義	15		2		2																																																								○				○										
		養護概説	講義	15		2		2																																																													○				○					
		事前・事後指導	実習	30			1	1																																																																		○				○
		養護実習	実習	45			4	4																																																																						
教職実践演習（養護教諭）	演習	15			2	2	○				○																																																																			

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は 20 単位以上修得すること（必修 11 単位、選択必修 4 単位、選択 5 単位）。

専門科目は 108 単位以上修得すること（必修 98 単位、選択 10 単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7 を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

看護福祉リハビリテーション学部 看護学科

(2024年度以降入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 連 資 格	看 護 師	連 保 健 師 (養 護 教 諭 二 種)	資 格 (養 護 教 諭 一 種)	
					1 年	2 年	3 年	4 年								
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修							
		● 仏教の人間観 II	講義	15	2			2								
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1								
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1								
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1								
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1								
		● 伝統文化	演習	30		1		1								
	外国語コミュニケーション	● 総合英語 I	演習	30	1			1	選択							
		● 総合英語 II	演習	30	1			1								
		English in Use A	演習	30	1			1								
		English in Use B	演習	30	1			1								
		English in Use C	演習	30	1			1								
		English in Use D	演習	30	1			1								
		English in Use E	演習	30	1			1								
		English in Use F	演習	30	1			1								
		医療英語	演習	30	1			1								
		中国語 I	演習	30	1			1								
		中国語 II	演習	30	1			1								
		ハンゲル I	演習	30	1			1								
		ハンゲル II	演習	30	1			1								
	海外での語学研修	実習	30		2		2									
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2								
		食生活と健康	講義	15	2			2								
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2								
		スポーツ実技 I	実習	30	1			1								
		スポーツ実技 II	実習	30	1			1								
		アダブテッドスポーツ	実習	30	1			1								
		マインドフルネス	実習	30	1			1								
教養囲碁入門		実習	30	1			1									
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位								
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2									
	仏教文化	講義	15	2			2									
	文化人類学	講義	15	2			2									
	言語と文学	講義	15	2			2									
	日本文化の理解	講義	15	2			2									
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2									
	芸術文化論	講義	15	2			2									

IIカリキュラム
看護福祉リハビリテーション学部
2024・2025

区分	主要授業科目	学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単 位 計	必・選・自	備 考	関 連 看 護 師	資 格 保 健 師 (義 護 教 諭 一 種 ◎)	格 義 護 教 諭 (一 種 ○)	
					1年	2年	3年	4年							
II カ リ キ ュ ラ ム 看 護 福 祉 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 部 2024・2025	人文・社会・自然	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位					
			現代アジア事情	講義	15	2			2						
			現代欧米事情	講義	15	2			2						
			国際社会の理解	講義	15	2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2			2						
		II群	心 理 学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位					
			社 会 学	講義	15	2			2						
			日 本 国 憲 法	講義	15	2			2						
			現 代 社 会 と 法	講義	15	2			2						
			現 代 社 会 と 政 治	講義	15	2			2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2			2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2			2						
			情 報 社 会 の 理 解	講義	15	2			2						
			生 命 の 科 学	講義	15	2			2						
	生 活 と 物 理 ・ 化 学	講義	15	2			2								
	キャリアデザイン	地 域 と 環 境	講義	15	2			2	選択						
		生 活 と 防 災	講義	15	2			2							
		ボ ラ ン テ ィ ア 論	講義	15	2			2							
		情 報 リ テ ラ シ ー	演習	30	1			1							
		情 報 技 術 の 理 解	講義	15	2			2							
		数 的 処 理 の 基 礎	演習	30	1			1							
		読 解 と 思 考 の 技 法	演習	30	1			1							
	W e b デ ザ イ ン	演習	15		2		2								
	産 官 学 連 携 プ ロ ジ ェ ク ト	演習	15	2			2								
	データサイエンス・AI	キ ャ リ ア 実 習	実習	30	1			1	選択						
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	実習	30		2		2							
		デ ー タ サ イ エ ン ス の た め の 数 学	講義	15	2			2							
プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門		演習	15	2			2								
A I へ の ア プ ロ ー チ		講義	15		2		2								
留学生	デ ー タ サ イ エ ン ス へ の ア プ ロ ー チ	講義	15		2		2	外国人留学生のみ 選択 2025年度 入学留学生 対象 (履修推奨)							
	デ ー タ サ イ エ ン ス P B L	演習	15		2		2								
	日 本 語 F I	演習	30	1			1								
	日 本 語 F II	演習	30	1			1								
	日 本 語 S I	演習	30	1			1								
	日 本 語 S II	演習	30	1			1								
日 本 事 情 I	演習	30	1			1									
日 本 事 情 II	演習	30	1			1									

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格 (養護教諭一種)	資 保 健 師	格 養 護 教 諭 (種)
					1年	2年	3年	4年						
専門基礎科目	人間の生活と社会 人間の生活と社会	● 人体の構造と生理機能	演習	30	2				2	必修				
		● 病気の成り立ち	講義	15	2				2					
		● からだの防御の仕組み	講義	15	1				1					
		● 薬理	講義	15	1				1					
		● 診断と治療Ⅰ	講義	30		2			2					
		● 診断と治療Ⅱ	講義	15		2			2					
		● 基礎ゼミ	演習	30	1				1					
		● 公衆衛生学	講義	15		2			2					
		● 社会保障論	講義	15		2			2					
		● ホリスティック・ヘルスⅠ	講義	15	1				1					
		● 専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2					
		● 生命倫理	講義	15	1				1					
		● 生化学	講義	15	2				2					
		● 看護と栄養	講義	15			2		2					
		● 生物の基礎	講義	15	2				2					
		● 化学の基礎	講義	15	2				2					
		● ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1					
		● 女性と健康	講義	15	1				1					
		● 中医学の基礎	講義	15		1			1					
		● 専門職の連携(応用)	演習	30			1		1					
● 包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2							
専門科目	看護の基礎	● 看護学原論	講義	15	2				2	必修				
		● 看護コミュニケーション	講義	15	1				1					
		● 日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				1					
		● 日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				2					
		● 治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2			2					
		● 看護過程論演習	演習	30		2			2					
		● フィジカルアセスメント概論	講義	15		1			1					
		● フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			1					
		● 仏教看護論Ⅰ	講義	15		1			1					
		● 仏教看護論Ⅱ	講義	15				1	1					
		● 看護倫理Ⅰ	講義	15	1				1					
		● 看護倫理Ⅱ	講義	15				1	1					
		● 母性看護学概論	講義	15		2			2					
		● 小児看護学概論	講義	15		2			2					
		● 成人看護学概論	講義	15		2			2					
● 老年看護学概論	講義	15		2			2							
● 精神看護学概論	講義	15		2			2							
● 在宅看護学概論	講義	15		2			2							
看護の展開	看護の展開	● 母性看護学概論	講義	15		2			2	必修				
		● 小児看護学概論	講義	15		2			2					
		● 成人看護学概論	講義	15		2			2					
		● 老年看護学概論	講義	15		2			2					
		● 精神看護学概論	講義	15		2			2					
		● 在宅看護学概論	講義	15		2			2					

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格 (看護教諭一種) 保健師 養護教諭一種																													
					1年	2年	3年	4年																																	
専攻科目	看護の展開	● 地域看護学概論	講義	15		1		1	必修		○	○																													
		● 母性看護学援助論	講義	15		1		1					○	○																											
		● 母性看護学演習	演習	30			1								1	○	○																								
		● 小児看護学援助論	講義	15		1									1			○	○																						
		● 小児看護学演習	演習	30			1								1					○	○																				
		● 成人看護学援助論	講義	15		2									2							○	○																		
		● 成人看護学演習	演習	30			2								2									○	○																
		● 老年看護学援助論	講義	15		1									1											○	○														
		● 老年看護学演習	演習	30			1								1													○	○												
		● 精神看護学援助論	講義	15		1									1															○	○										
		● 精神看護学演習	演習	30			1								1																	○	○								
		● 在宅看護学援助論	講義	15		2									2																			○	○						
		● 在宅看護学演習	演習	30			1								1																					○	○				
		● 緩和ケア	講義	15		2									2																							○	○		
		● 医療安全	講義	15		1									1																									○	○
	● 疫学	講義	15			2		2	○	○																															
	● 保健統計学	講義	15			2		2			○	○																													
	● 学校保健	講義	15		2			2					○	○																											
	● 産業保健	講義	15			1		1							○	○																									
	● 健康教育論	講義	15		2			2									○	○																							
	看護の実践	● 基礎看護学実習Ⅰ	実習	45	1			1											必修		○	○																			
		● 基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2		2															○	○																	
		● 看護技術実習	実習	45			2																		2	○	○														
		● 母性看護学実習	実習	45			2																		2			○	○												
		● 小児看護学実習	実習	45			2																		2					○	○										
		● 慢性期看護学実習	実習	45			2																		2							○	○								
		● 急性期看護学実習	実習	45			2																		2									○	○						
		● 老年看護学実習Ⅰ	実習	45			1																		1											○	○				
● 老年看護学実習Ⅱ		実習	45			2		2																	○													○			
● 精神看護学実習		実習	45			2		2																															○	○	
● 在宅看護学実習		実習	45			3		3	○	○																															
看護の統合・発展		● 研究方法論	演習	30			1				1	必修																													
		● 家族看護学	講義	15			2				2		○	○																											
	● 看護政策学	講義	15			1		1			○				○																										
	● 卒論ゼミ	演習	30			2		2								○	○																								
	● 看護管理論	講義	15			1		1										○	○																						
	● コンテンポラリーラーニング	講義	15			1		1												○	○																				
	● 災害看護論	講義	15			1		1														○	○																		
	● 統合看護学実習	実習	45			2		2																○		○															
	● 国際看護活動論	講義	15			1		1																			○	○													
								選択																																	

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関 連 資 格 (養 護 教 諭 一 種)	連 保 健 師 (養 護 教 諭 一 種)	格 義 護 教 諭 (一 種)	
					1年	2年	3年	4年							
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護学概論	講義	15			2		2	自由			○		
		対象別公衆衛生看護活動論	講義	15			2		2						
		保健医療福祉行政論	講義	15			2		2						
		保健医療福祉行政論演習	演習	30				1	1						
		公衆衛生看護学演習	演習	30					3						3
		公衆衛生看護技術論Ⅰ	演習	30			2		2						
		公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2						
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45				1	1						
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45					3						3
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45					1						1
教職科目		教職論	講義	15	2				2	自由	2024年度 入学生は 2年次			○	
		教育原理	講義	15	2				2						
		教育心理学	講義	15	2				2						
		教育行政学	講義	15		2			2						
		人権教育	講義	15		2			2						
		特別支援教育	講義	15		2			2						
		教育課程論	講義	15		2			2						
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2						
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2						
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2						
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2						
		教育相談	講義	15		2			2						
		養護概説	講義	15		2			2						
		事前・事後指導	実習	30				1	1						
		養護実習	実習	45					4						4
教職実践演習（養護教諭）	演習	15					2	2							

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は20単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択5単位）。

専門科目は108単位以上修得すること（必修98単位、選択10単位）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

なお、外国人留学生については、「外国人留学生選択科目」の履修を強く推奨する。「日本語FⅠ・Ⅱ」「日本語SⅠ・Ⅱ」の段階履修については、担当部署と相談のうえ、個別に判断する。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

看護学科、専門基礎・専門科目・専門看護保健師課程の履修について

(1) 履修要件付きの科目一覧

以下の科目については右欄の履修要件を満たしていなければ履修することができない。

1年	基礎看護学実習Ⅰ	1年次前期の専門基礎科目・専門科目（看護の基盤）必修科目の全てを履修していること（3分の2以上の出席数があること）。
2年	基礎看護学実習Ⅱ	1年次の専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。 2年次前期の専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全てを履修していること（3分の2以上の出席数があること）。
3年	領域別実習 （母性、小児、慢性・急性期、老年Ⅰ・Ⅱ、精神、在宅看護学実習）	1年次から3年次前期までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。
	看護技術実習	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次前期までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位および専門科目の「看護の展開」（選択科目：疫学、保健統計学、学校保健、産業保健、健康教育論）を修得していること。 3年次前期までの専門看護保健師課程科目の全ての単位を修得していること。
4年	公衆衛生看護学実習Ⅱ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）および専門看護保健師課程科目の全ての単位および専門科目の「看護の展開」（選択科目：疫学、保健統計学、学校保健、産業保健、健康教育論）を修得していること。
	公衆衛生看護学実習Ⅲ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）および専門看護保健師課程科目の全ての単位および専門科目の「看護の展開」（選択科目：疫学、保健統計学、学校保健、産業保健、健康教育論）を修得していること。
	統合看護学実習 卒論ゼミ	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。ただし、追・再実習含めて3年次の実習1科目のみの単位未修得者は学科会議の審議を経て履修を認めることとする。

(2) 追実習について

やむを得ぬ事由により、出席日数を満たすことができなかった実習科目に対して、学生の願い出により追実習を行うことができる。追実習は、原則、実習実施期間内に行われる。ただし、実習受け入れ機関の協力が得られない場合は、翌年度の履修とする。追実習は、各看護学の領域別実習、看護技術実習及び統合実習を対象とする。基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱについては原則追実習を認めず、翌年度の実習科目開講時期に行うこととする。

<追実習の対象と提出書類>

- ①病気・負傷、出席停止などの感染症による欠席：医療機関による診断書（欠席した日が、傷病期間として明記されたもの）
- ②公欠・忌引きおよび交通機関の事故など不可抗力による欠席：証明書類（会葬礼状、事故証明書等）
- ③就職試験など学外の試験など：学生部長の具申書
- ④その他、学科が認めた学生の不可抗力により実習に出席できなかった場合

手続き：当該実習終了から原則として2週間以内に追実習願と提出書類（①～③のいずれか）を科目責任者に提出する。

※無届欠席や上記の条件を充たさない者は、追実習の対象とはならない。

(3) 再実習について

実習科目においては、60点未満の成績の場合は再実習の取扱いはない。次年度以降の再履修となる。

(4) 実習の履修要件にかかる必修科目の再履修について（2022年度以降入学生対象）

科目の再履修時に時間割の重複が生じた場合、所定授業時間の2/3以上の出席日数を満たした上で不合格になった実習の履修要件にかかる必修科目（ただし実習を除く）については、当該科目担当者による個別指導を再履修の代替として認める場合がある。個別指導科目を履修登録する際には、当該科目の「bクラス」に登録する。

D. 健康科学部 医療福祉学科

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	●	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修				○	
		●	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2				○		
		●	●	京都光華の学び	演習	30	1			1				○		
		●	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1			1						
		●	●	アカデミックライティング	演習	30	1			1						
		●	●	伝統文化	演習	30			1			1				
	外国語コミュニケーション	●	●	総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	必修				○	
		●	●	総合英語Ⅱ	演習	30	1			1				○		
				英会話Ⅰ	演習	30	1			1	選択	言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修				○
				英会話Ⅱ	演習	30	1			1					○	
				英語文献を読むⅠ	演習	30	1			1					○	
				英語文献を読むⅡ	演習	30	1			1					○	
				医療英語	演習	30	1			1					○	
				中国語Ⅰ	演習	30	1			1					○	
				中国語Ⅱ	演習	30	1			1					○	
				ハンゲルⅠ	演習	30	1			1					○	
			ハンゲルⅡ	演習	30	1			1			○				
			海外での語学研修	実習	30			2		2						
	健康とスポーツ	●		健康の科学	講義	15	2			2	選択	言語聴覚専攻必修			○	
			食生活と健康	講義	15	2			2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2			2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1							
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1							
人文・社会・自然 I群			哲学と倫理	講義	15	2			2	選択必修 2単位						
			仏教文化	講義	15	2			2							
			文化人類学	講義	15	2			2							
			言語と文学	講義	15	2			2							
			日本文化の理解	講義	15	2			2							
			京都の歴史と文化	講義	15	2			2							
			芸術文化論	講義	15	2			2							
			サブカルチャー論	講義	15	2			2							
			現代アジア事情	講義	15	2			2							
			現代欧米事情	講義	15	2			2							
			国際社会の理解	講義	15	2			2							
			国際社会とジェンダー	講義	15	2			2							

IIカリキュラム
健康科学部
医療福祉学科
2022

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格		
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
人文・社会・自然 II群			心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位		○	○	○	
			社会学	講義	15	2			2			○	○	○	
			日本国憲法	講義	15	2			2					○	
			現代社会と法	講義	15	2			2					○	
			現代社会と政治	講義	15	2			2					○	
			くらしのなかの経済学	講義	15	2			2					○	
			くらしのなかの統計学	講義	15	2			2					○	
			生命の科学	講義	15	2			2					○	
			生活と物理・化学	講義	15	2			2					○	
			地域と環境	講義	15	2			2					○	
			生活と防災	講義	15	2			2					○	
			ボランティア論	講義	15	2			2					○	
リベラルアーツ教育科目 キャリアデザイン			情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択					
			情報リテラシー応用	演習	30	1			1						
			数的処理の基礎	演習	30	1			1						
			日本語表現の技法	演習	30	1			1						
			読解と思考の技法	演習	30	1			1						
			Webデザイン	演習	15		2		2						
			データサイエンスのための数学	講義	15	2			2						
			プログラミング入門	演習	15		2		2						
			AIへのアプローチ	講義	15		2		2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2						
			データサイエンスPBL	演習	15		2		2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2						
留学生			キャリア実習	実習	30	1			2	外国人留学生必修					
			インターンシップ	実習	30			2	2						
			日本語FⅠ	演習	30	1			1						
			日本語FⅡ	演習	30	1			1						
			日本語SⅠ	演習	30		1		1						
			日本語SⅡ	演習	30		1		1						
共通専門科目			日本語事情Ⅰ	演習	30	1			1	選択					
			日本語事情Ⅱ	演習	30	1			1						
		●	包括的ヘルスケア論	講義	15			2	2			言語聴覚専攻必修			
			生命倫理	講義	15			2	2					○	
		●	ターミナルケア	演習	30			1	1			言語聴覚専攻必修			
		●●	専門職の連携(基礎)	講義	15	2			2		必修			○	
			専門職の連携(応用)	演習	30				1		選択			○	
	●●	医療福祉連携論	講義	15		2		2	必修						
		障害者福祉	講義	15		2		2	選択		○	○	○		

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年					社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
社会福祉専攻専門科目	人間と社会	●	子どもと社会福祉	講義	15	2			2	必修						
		●	仏教と社会福祉	講義	15		2		2							
		●	基礎演習Ⅰ	演習	30	1			1							
		●	基礎演習Ⅱ	演習	30	1			1							
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2			2	選択		○	○			
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2			2			○	○			
		医療と福祉	●	基礎演習Ⅲ	演習	30		1		1	必修					
			●	基礎演習Ⅳ	演習	30		1		1						
				保健医療と福祉	講義	15		2		2	選択		○			
				精神保健福祉制度論	講義	15			2	2				○		
	社会福祉の基礎	●	社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2	2	必修						
		●	社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2	2							
			医学知識	講義	15		2		2	選択		○	○			
			社会福祉調査の基礎	講義	15		2		2				○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2			2				○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	講義	15	2			2				○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2		2				○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2		2				○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2	2				○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	15			2	2				○			
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2		2				○	○		
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2		2			○	○			
		専門科目	●	社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15			2	2	必修					
			●	社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15			2	2						
			●	卒業研究	演習	—			4	4						
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2		2	選択		○	○			
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	15		2		2				○			
			社会保障Ⅰ	講義	15		2		2				○	○		
			社会保障Ⅱ	講義	15		2		2				○	○		
			高齢者福祉	講義	15		2		2				○			
	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)		講義	15		2		2				○				
	生活保護制度		講義	15		2		2				○				
	権利擁護を支える法制度		講義	15		2		2				○	○			
	刑事司法と福祉		講義	15		2		2				○	○			
	福祉サービスの組織と経営		講義	15			2	2				○				
	社会的養護Ⅰ		講義	15			2	2								
	発達障害と制度		講義	15	2			2								

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単 位 数				単 位 計	必・選・自	備 考	関 連 資 格		
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
II カリキュラム 健康福祉学部 2022	社会福祉の応用		社会福祉学特講Ⅰ	講義	15				2	2	選択				
			社会福祉学特講Ⅱ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅲ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅳ	講義	15				2	2					
			精神医学と精神医療Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	15				2	2				○	
			精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	15				2	2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			精神障害リハビリテーション論	講義	15				2	2				○	
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15				2	2			○			
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15				2	2			○			
		社会的養護Ⅱ	演習	15				2	2						
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	15					2	2			○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	15			2		2				○		
		ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	15				2	2				○		
		ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	15				2	2				○		
		ソーシャルワーク実習A	実習	45				4	4				○		
		ソーシャルワーク実習B	実習	45				2	2				○		
		精神保健福祉演習Ⅰ	演習	15				2	2				○		
		精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15					2	2			○		
		精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15					2	2			○		
		精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	15				2	2				○		
	精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15					4	4			○			
	精神保健福祉実習A	実習	45					2	2			○			
	精神保健福祉実習B	実習	45					3	3			○			
言語聴覚専攻専門科目	人間と社会	●	基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1		必修				
		●	基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1						
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1					
		健康カウンセリング	講義	15				2	2				○		
		●	社会と統計	講義	15				2	2				○	
		●	社会保障制度・関係法規	講義	15				1	1				○	
	医療と福祉		栄養サポート論	講義	15				2	2				○	

区分	主要授業科目 社会福祉専攻	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	精神保健福祉士	社会福祉士	
言語聴覚専攻専門科目	言語聴覚療法の基礎	● 臨床医学総論	講義	15	1				1	必修			○		
		● 臨床基礎医学	講義	15	2				2			○			
		● リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2			○			
		● 音声・言語・聴覚医学I(呼吸発声発語系)	演習	30	1				1			○			
		● 音声・言語・聴覚医学III(神経系)	演習	30	1				1			○			
		● 言語発達学	講義	15	1				1			○			
		● 生涯発達心理学	講義	15			2		2			○			
		● 認知・学習心理学	講義	15		2			2			○			
		● 臨床心理学	講義	15			2		2			○			
		● 言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2			○			
		● 聴覚障害学概論	演習	30	1				1			○			
		言語聴覚療法の展開	● 臨床医学I(内科学・小児科学)	講義	15		2				2	必修			○
			● 臨床医学II(耳鼻咽喉科・形成外科)	講義	15		2				2			○	
			● 臨床医学III(精神医学・臨床神経学)	講義	15		2				2			○	
			● 臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1				1			○	
	● 心理測定法		講義	15			2		2		○				
	● 言語学		講義	15	2				2		○				
	● 音声学		講義	15		2			2		○				
	● 音響学		講義	15		2			2		○				
	● 失語症 I		演習	30	1				1		○				
	● 失語症 II		演習	30		1			1		○				
	● 高次脳機能障害 I		演習	30		1			1		○				
	● 高次脳機能障害 II		演習	30			1		1		○				
	● 言語発達障害学 I A (各論)		演習	30	1				1		○				
	● 言語発達障害学 I B (各論)		演習	30		1			1		○				
	● 言語発達障害学 II (評価)		講義	15		2			2		○				
	● 言語発達障害学 III (指導法)		講義	15			2		2		○				
	● 発声発語障害IA(小児構音障害)		演習	30		1			1		○				
	● 発声発語障害IB(小児構音障害)		演習	30			1		1		○				
	● 発声発語障害 II A (成人)	演習	30		1			1		○					
	● 発声発語障害 II B (成人)	演習	30		1			1		○					
	● 発声発語障害 III (吃音)	演習	30		1			1		○					
	● 摂食嚥下障害学	講義	15		2			2		○					
● 聴覚障害学I(補聴・人工内耳)	講義	15		1			1		○						
● 聴覚障害学 II (小児)	講義	15		2			2		○						
● 聴覚障害学 III (成人)	講義	15			2		2		○						
● 音声・言語・聴覚医学II(聴覚系)	演習	30			1		1		○						

区分	主要授業科目		学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位数計	必・選・自	備 考	関連資格		
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
II カリキュラム 健康 福祉学 科学部 2022	言語聴覚療法の応用	言語聴覚専攻	● 言語聴覚障害診断学演習I(小児)	演習	30			1		1	必修			○	
			● 言語聴覚障害診断学演習II(成人)	演習	30			1		1		○			
			● 失 語 症 演 習	演習	30		1			1		○			
			● 高次脳機能障害演習	演習	30			1		1		○			
			● 言語発達障害学演習	演習	30			1		1		○			
			● 発声発語障害演習I(小児)	演習	30			1		1		○			
			● 発声発語障害演習II(成人)	演習	30			1		1		○			
			● 摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1		○			
			● 聴覚障害学演習	演習	30			1		1		○			
			● 画像診断学演習	演習	30			1		1		○			
	言語聴覚療法の発展	言語聴覚専攻	● 言語聴覚障害学総合演習(検査・機器)	演習	30			1		1	必修			○	
			● 言語聴覚障害実習I	実習	30			1		1		○			
			● 言語聴覚障害実習II	実習	30			1		1		○			
			● 言語聴覚障害実習III	実習	30				1	1		○			
			● 言語聴覚障害実習IV	実習	30				1	1		○			
			● 認知症特論	講義	15				1	1		○			
			● 摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1		○			
			● 卒業研究	演習	—					2		2	○		
			● 専門ゼミI	演習	30					1		1	○		
			● 専門ゼミII	演習	30					1		1	○		
言語聴覚専攻	言語聴覚専攻	● 臨床実習(見学実習)1週間	実習	45		1			1	必修			○		
		● 臨床実習(評価実習)4週間	実習	45			4		4		○				
		● 臨床実習(総合実習)8週間	実習	45				8	8		○				

<卒業要件及び履修方法>

【社会福祉専攻】

リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること(必修10単位、選択必修4単位、選択14単位)。共通専門・専門基礎・専門科目は100単位以上修得すること(必修24単位、選択76単位)。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※社会福祉専攻の学生は言語聴覚専攻専門科目を履修できない。

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目は25単位以上修得すること(必修13単位、選択必修5単位、選択7単位)。共通専門・専門基礎・専門科目は103単位以上修得すること(必修95単位、選択8単位)。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※言語聴覚専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、「健康の科学」、共通専門科目の「包括的ヘルスケア論」、「ターミナルケア」を必修とし、社会福祉専攻専門科目を履修できない。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7 を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 医療福祉学科

〈2023年度入学生対象〉

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格			
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	
共通コア科目	●	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				○	
	●	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					○	
	●	●	京都光華の学び	演習	30	1				1					○	
	●	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						
	●	●	アカデミックライティング	演習	30	1				1						
	●	●	データサイエンス入門	演習	30	1				1						
	●	●	伝 統 文 化	演習	30			1		1						
外国語コミュニケーション			総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	選択	言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修			○	
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○	
			English in Use A	演習	30	1				1					○	
			English in Use B	演習	30	1				1					○	
			English in Use C	演習	30	1				1					○	
			English in Use D	演習	30	1				1					○	
			English in Use E	演習	30	1				1					○	
			English in Use F	演習	30	1				1					○	
			医療英語	演習	30	1				1					○	
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					○	
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					○	
			ハンゲルⅠ	演習	30	1				1					○	
		ハンゲルⅡ	演習	30	1				1			○				
リベラルアーツ教育科目			海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ	●		健康の科学	講義	15	2				2	言語聴覚専攻必修				○
				食生活と健康	講義	15	2				2					
				生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
				スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
				スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
				アダブテッドスポーツ	実習	30	1				1					
				マインドフルネス	実習	30	1				1					
			教養囲碁入門	実習	30	1				1						
人文・社会・自然			哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修 2単位					
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						

IIカリキュラム

健康福祉学部

2023

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格		
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	I群	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選択 必修 2単位					
			現代アジア事情	講義	15	2			2						
			現代欧米事情	講義	15	2			2						
			国際社会の理解	講義	15	2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2			2						
		II群	心理学	講義	15	2			2	○		○	○		
			社会学	講義	15	2			2	○		○	○		
			日本国憲法	講義	15	2			2				○		
			現代社会と法	講義	15	2			2				○		
			現代社会と政治	講義	15	2			2				○		
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2			○				
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2			○				
	情報社会の理解		講義	15	2			2			○				
	生命の科学		講義	15	2			2			○				
	生活と物理・化学		講義	15	2			2			○				
	地域と環境	講義	15	2			2			○					
	生活と防災	講義	15	2			2			○					
	ボランティア論	講義	15	2			2			○					
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1				1	選択					
		情報技術の理解	講義	15	2				2						
数的処理の基礎		演習	30	1				1							
読解と思考の技法		演習	30	1				1							
Webデザイン		演習	15		2			2							
産官学連携プロジェクト		演習	15	2				2							
産官学連携プロジェクト		演習	30	1				1							
キャリア実習		実習	30	1				1							
インターンシップ	実習	30			2		2								
データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択						
	プログラミング入門	演習	15	2				2							
	AIへのアプローチ	講義	15		2			2							
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2							
	データサイエンスPBL	演習	15		2			2							
留学生	日本語 F I	演習	30	1				1	外国人 学生 必修						
	日本語 F II	演習	30	1				1							
	日本語 S I	演習	30		1			1							
	日本語 S II	演習	30		1			1							
	日本事情 I	演習	30	1				1							
日本事情 II	演習	30	1				1								

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単 位 数				単 位 計	必・選・自	備 考	関 連 資 格				
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士		
共通専門科目	●		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択	言語聴覚専攻必修					
			生命倫理	講義	15			2		2					○		
	●		ターミナルケア	演習	30			1		1	必修	言語聴覚専攻必修					
	●	●	専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2					○		
			専門職の連携(応用)	演習	30				1	1	選択				○		
	●	●	医療福祉連携論	講義	15		2			2	必修						
		障害者福祉	講義	15		2			2	選択		○	○	○			
人間と社会	●		子どもと社会福祉	講義	15	2				2	必修						
	●		仏教と社会福祉	講義	15		2			2							
	●		基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1							
	●		基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1							
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2	選択		○	○			
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2				○	○		
	医療と福祉	●		基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修					
		●		基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						
				保健医療と福祉	講義	15		2			2	選択		○			
				精神保健福祉制度論	講義	15			2		2					○	
		社会福祉専攻専門科目	●		社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	必修				
			●		社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2					
			医学知識	講義	15		2			2	選択		○	○			
			社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2				○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2				○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	講義	15	2				2				○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2			2				○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2				○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2				○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	15			2		2				○			
社会福祉の展開				地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		
				地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2				○	○	
	●		社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2							
	●		社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15				2	2							
	●		卒業研究	演習	—				4	4							
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2	選択		○	○			
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	15		2			2				○			
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2				○	○		
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2				○	○		
			高齢者福祉	講義	15		2			2				○			
		児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2				○				
		生活保護制度	講義	15		2			2			○					

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単 位 計	必・ 選・ 自	備 考	関 連 資 格		
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
社会福祉専攻専門科目	社会福祉の展開		権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2	選択		○	○	
			刑 事 司 法 と 福 祉	講義	15		2			2			○	○	
			福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2			○		
			社 会 的 養 護 I	講義	15			2		2					
			発 達 障 害 と 制 度	講義	15	2				2					
	社会福祉の応用		社会福祉学特講 I	講義	15				2	2	選択				
			社会福祉学特講 II	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講 III	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講 IV	講義	15				2	2					
			精神医学と精神医療 I	講義	15			2		2				○	
			精神医学と精神医療 II	講義	15				2	2				○	
			現代の精神保健の課題と支援 I	講義	15			2		2				○	
			現代の精神保健の課題と支援 II	講義	15			2		2				○	
			精神保健福祉の原理 I	講義	15			2		2				○	
			精神保健福祉の原理 II	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)I	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)II	講義	15			2		2				○	
			精神障害リハビリテーション論	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワーク演習(専門)II	演習	15			2		2				○	
			ソーシャルワーク演習(専門)III	演習	15			2		2				○	
		社 会 的 養 護 II	演習	15			2		2						
	社会福祉の発展		ソーシャルワーク演習(専門)IV	演習	15				2	2	選択		○		
			ソーシャルワーク実習指導 I	演習	15		2			2			○		
			ソーシャルワーク実習指導 II A	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習指導 II B	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習 A	実習	45			4		4			○		
			ソーシャルワーク実習 B	実習	45			2		2			○		
			精神保健福祉演習 I	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉演習 II	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉演習 III	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉実習指導 I	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉実習指導 II	演習	15				4	4				○	
			精神保健福祉実習 A	実習	45				2	2				○	
		精神保健福祉実習 B	実習	45				3	3				○		
言語聴覚専攻専門科目	人間と社会 専門基礎科目	●	基 礎 ゼ ミ I	演習	30	1			1	必修					
		●	基 礎 ゼ ミ II	演習	30	1			1						
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1	選択				
			健康カウンセリング	講義	15			2		2				○	
		●	社 会 と 統 計	講義	15			2		2		必修			○

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単 位 計	必・選・自	備 考	関 連 資 格				
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士		
専門基礎科目		●	社会保障制度・関係法規	講義	15			1		1	必修				○		
			栄養サポート論	講義	15			2		2	選択				○		
専門科目	言語聴覚療法の基礎	●	臨床医学総論	講義	15	1				1	必修				○		
		●	臨床基礎医学	講義	15	2				2			○				
		●	リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2			○				
		●	音声・言語・聴覚医学I(呼吸発声発語系)	演習	30	1				1			○				
		●	音声・言語・聴覚医学III(神経系)	演習	30	1				1			○				
		●	言語発達学	講義	15	1				1			○				
		●	生涯発達心理学	講義	15			2		2			○				
		●	認知・学習心理学	講義	15		2			2			○				
		●	臨床心理学	講義	15			2		2			○				
		●	言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2			○				
		●	聴覚障害学概論	演習	30	1				1			○				
		言語聴覚療法の展開	●	臨床医学I(内科学・小児科学)	講義	15		2				2	必修				○
			●	臨床医学II(耳鼻咽喉科・形成外科)	講義	15		2				2			○		
			●	臨床医学III(精神医学・臨床神経学)	講義	15		2				2			○		
			●	臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1				1			○		
			●	心理測定法	講義	15			2			2			○		
	●		言語学	講義	15	2				2		○					
	●		音声学	講義	15		2			2		○					
	●		音響学	講義	15		2			2		○					
	●		失語症 I	演習	30	1				1		○					
	●		失語症 II	演習	30		1			1		○					
	●		高次脳機能障害 I	演習	30		1			1		○					
	●		高次脳機能障害 II	演習	30			1		1		○					
	●		言語発達障害学 I A (各論)	演習	30	1				1		○					
	●		言語発達障害学 I B (各論)	演習	30		1			1		○					
	●		言語発達障害学 II (評価)	講義	15		2			2		○					
	●		言語発達障害学 III (指導法)	講義	15			2		2		○					
	●	発声発語障害IA(小児構音障害)	演習	30		1			1		○						
	●	発声発語障害IB(小児構音障害)	演習	30			1		1		○						
	●	発声発語障害II A (成人)	演習	30		1			1		○						
	●	発声発語障害II B (成人)	演習	30		1			1		○						
	●	発声発語障害III (吃音)	演習	30		1			1		○						
●	摂食嚥下障害学	講義	15		2			2		○							
●	聴覚障害学I(補聴・人工内耳)	講義	15		1			1		○							
●	聴覚障害学II(小児)	講義	15		2			2		○							
●	聴覚障害学III(成人)	講義	15			2		2		○							
●	音声・言語・聴覚医学II(聴覚系)	演習	30			1		1		○							

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	
言語聴覚専攻専門科目	言語聴覚療法の応用	●	言語聴覚障害診断学演習I(小児)	演習	30		1		1	必修				○		
		●	言語聴覚障害診断学演習II(成人)	演習	30			1			1				○	
		●	失語症演習	演習	30		1				1				○	
		●	高次脳機能障害演習	演習	30			1			1				○	
		●	言語発達障害学演習	演習	30			1			1				○	
		●	発声発語障害演習I(小児)	演習	30			1			1				○	
		●	発声発語障害演習II(成人)	演習	30			1			1				○	
		●	摂食嚥下障害学演習	演習	30		1				1				○	
		●	聴覚障害学演習	演習	30			1			1				○	
	言語聴覚療法の発展			画像診断学演習	演習	30		1		1	選択				○	
				言語聴覚障害学総合演習(検査・機器)	演習	30		1		1					○	
		●		言語聴覚障害実習I	実習	30			1		1	必修				○
		●		言語聴覚障害実習II	実習	30			1		1					○
				言語聴覚障害実習III	実習	30				1	1	選択				○
				言語聴覚障害実習IV	実習	30				1	1					○
				認知症特論	講義	15				1	1					○
				摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1					○
		●		卒業研究	演習	—				2	2	必修				
●		専門ゼミI	演習	30				1	1							
●		専門ゼミII	演習	30				1	1							
●		臨床実習(見学実習)1週間	実習	45		1			1						○	
●		臨床実習(評価実習)4週間	実習	45			4		4						○	
●		臨床実習(総合実習)8週間	実習	45				8	8					○		

<卒業要件及び履修方法>

【社会福祉専攻】

リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること(必修11単位、選択必修4単位、選択13単位)。専門科目は100単位以上修得すること(必修24単位、選択76単位)。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※社会福祉専攻の学生は言語聴覚専攻専門科目を履修できない。

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目は25単位以上修得すること(必修14単位、選択必修5単位、選択6単位)。専門科目は103単位以上修得すること(必修95単位、選択8単位)。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※言語聴覚専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、「健康の科学」、共通専門科目の「包括的ヘルスケア論」、「ターミナルケア」を必修とし、社会福祉専攻専門科目を履修できない。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効率的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科

(2024年度入学生対象)

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格								
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士					
IIカリキュラム	共通コア科目	●●●	●●●	●●●	仏教の人間観 I	講義	15	2			2	必修					○	◎				
		●●●	●●●	●●●	仏教の人間観 II	講義	15	2			2							○	◎			
		●●●	●●●	●●●	京都光華の学び	演習	30	1			1								○	◎		
		●●●	●●●	●●●	アカデミックスキル入門	演習	30	1			1									◎		
		●●●	●●●	●●●	アカデミックライティング	演習	30	1			1									◎		
		●●●	●●●	●●●	データサイエンス入門	演習	30	1			1									◎		
	外国語コミュニケーション	リベラルアーツ教育科目	●●●	●●●	●●●	伝 統 文 化	演習	30		1			1								◎	
			●●●	●●●	●●●	総 合 英 語 I	演習	30	1				1								○◎	
			●●●	●●●	●●●	総 合 英 語 II	演習	30	1				1								○◎	
						English in Use A	演習	30	1				1		言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修						○	
						English in Use B	演習	30	1				1									○
						English in Use C	演習	30	1				1									
				English in Use D	演習	30	1			1										○		
				English in Use E	演習	30	1			1										○		
				English in Use F	演習	30	1			1										○		
健康とスポーツ		●●●	●●●	●●●	医 療 英 語	演習	30	1			1									○◎		
					中 国 語 I	演習	30	1			1		選択							○		
					中 国 語 II	演習	30	1			1										○	
				ハ ン グ ル I	演習	30	1			1										○		
				ハ ン グ ル II	演習	30	1			1										○		
				海外での語学研修	実習	30		2			2											
			健康の科学	講義	15	2				2		言語聴覚専攻資格必修								○		
			食生活と健康	講義	15	2				2												
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2												
			スポーツ実技 I	実習	30	1				1												
			スポーツ実技 II	実習	30	1				1												
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1												
人文・社会・自然	I群				マインドフルネス	実習	30	1			1											
					教養囲碁入門	実習	30	1			1											
					哲学と倫理	講義	15	2			2		選択必修 2単位									
					くらしのなかの宗教	講義	15	2			2											
					仏教文化	講義	15	2			2											
					文化人類学	講義	15	2			2											
					言語と文学	講義	15	2			2											
					日本文化の理解	講義	15	2			2											
					京都の歴史と文化	講義	15	2			2											
			芸術文化論	講義	15	2			2													
			サブカルチャー論	講義	15	2			2													

IIカリキュラム

看護福祉リハビリテーション学部
福祉リハビリテーション学科

2024

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必 選・自	備 考	関連資格							
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士				
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	I群		現代アジア事情	講義	15	2			2	選択 必修 2単位										
				現代欧米事情	講義	15	2			2											
				国際社会の理解	講義	15	2					2									
				国際社会とジェンダー	講義	15	2					2									
		II群		心理学	講義	15	2				2	選択 必修 2単位		○	○	○					
				社会学	講義	15	2				2			○	○	○					
				日本国憲法	講義	15	2				2					○					
				現代社会と法	講義	15	2				2					○					
				現代社会と政治	講義	15	2				2					○					
				くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						○				
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						○					
			情報社会の理解	講義	15	2				2						○					
			生命の科学	講義	15	2				2						○					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						○					
		地域と環境	講義	15	2				2					○							
		生活と防災	講義	15	2				2					○							
		ボランティア論	講義	15	2				2					○							
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択										
			情報技術の理解	講義	15	2				2											
			数的処理の基礎	演習	30	1				1											
		読解と思考の技法	演習	30	1				1												
		Webデザイン	演習	15		2			2												
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2												
		キャリア実習	実習	30	1				1												
		インターンシップ	実習	30			2		2												
データサイエンス・AI			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2		選択									
			プログラミング入門	演習	15	2				2											
		AIへのアプローチ	講義	15		2			2												
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2												
		データサイエンスPBL	演習	15		2			2												
留学生		日本語 F I	演習	30	1				1	外国人 留学生 必修											
		日本語 F II	演習	30	1				1												
		日本語 S I	演習	30		1			1												
		日本語 S II	演習	30		1			1												
		日本事情 I	演習	30	1				1												
		日本事情 II	演習	30	1				1												
共通専門科目		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択					○						
	●	生命倫理	講義	15			2		2			言語聴覚専攻必修									
		ターミナルケア	演習	30			1		1							○					
	●●●	専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2		必修					○	◎				

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格							
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士				
共通専門科目				専門職の連携（応用）	演習	30			1	1	選択										
	●	●	●	仏教と医療福祉Ⅰ	講義	15		1		1	必修							○			
	●	●	●	仏教と医療福祉Ⅱ	講義	15			1	1	必修								○		
	●	●		医療福祉連携論	講義	15		2			2	選択	社会福祉専攻・言語聴覚専攻必修								
			●	日常生活支援学	講義	15		2			2		作業療法専攻必修							○	
				地域災害リハビリテーション	演習	15			1		1	選択									
				障害者福祉	講義	15		2			2									○ ○ ○	
専門基礎科目	人間と社会	●		子どもと社会福祉	講義	15	2			2	必修										
		●		基礎演習Ⅰ	演習	30	1			1											
		●		基礎演習Ⅱ	演習	30	1			1											
				社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2	選択		○ ○							
				社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2			○ ○							
	医療と福祉	●		基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修									
		●		基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1										
				心の健康と社会福祉	講義	15	2				2		選択								
				保健医療と福祉	講義	15		2			2			○							
				精神保健福祉制度論	講義	15			2		2				○						
	社会福祉の基礎	●		社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	必修									
		●		社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2										
				医学知識	講義	15		2			2	選択		○ ○							
				社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2			○ ○							
				ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2			○ ○							
			ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	15	2				2			○								
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2			2			○ ○								
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2			○ ○								
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2			○								
専門科目		社会福祉の展開			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2		2	必修		○ ○							
					地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2		2			○ ○							
			●		社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2	必修								
			●		社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15				2	2									
			●		卒業研究	演習	—				4	4									
				ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2	選択		○ ○							
			ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	演習	15		2			2			○								
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2			○ ○								
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2			○ ○								
			高齢者福祉	講義	15		2			2			○								
			児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2			○								
			生活保護制度	講義	15		2			2			○ ○								
			権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2		○ ○									

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必 選・自	備 考	関連資格							
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士				
社会福祉専攻専門科目	社会福祉の展開			刑 事 司 法 と 福 祉	講義	15		2			2	選択			○	○					
				福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2					○					
				社会的養護Ⅰ	講義	15				2			2								
				スクールソーシャルワーク概論	講義	15				2			2								
				リハビリテーションの理念	講義	15					2		2								
				発達障害と制度	講義	15	2						2								
	社会福祉の応用			社会福祉学特講Ⅰ	講義	15					2	2	選択								
				社会福祉学特講Ⅱ	講義	15						2		2							
				社会福祉学特講Ⅲ	講義	15								2	2						
				社会福祉学特講Ⅳ	講義	15								2	2						
				精神医学と精神医療Ⅰ	講義	15					2			2			○				
				精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15						2		2			○				
				現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	15				2				2			○				
				現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15				2				2			○				
				精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	15				2				2			○				
				精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15					2			2			○				
				ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	15					2			2			○				
				ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	15						2		2			○				
				精神障害リハビリテーション論	講義	15					2			2			○				
				ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15					2			2			○				
				ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15						2		2			○				
				ファミリーソーシャルワーク論	講義	15						2		2							
				認知症の作業療法	演習	15						1		1							
				子どもの作業療法	演習	15								1	1						
			社会的養護Ⅱ	演習	15					2		2									
	社会福祉の発展			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	15					2	2	選択			○					
				ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	15			2			2					○				
				ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	15				2		2					○				
				ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	15					2	2					○				
				ソーシャルワーク実習A	実習	45					4	4					○				
				ソーシャルワーク実習B	実習	45						2		2			○				
				精神保健福祉演習Ⅰ	演習	15					2	2					○				
				精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15						2		2			○				
				精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15						2		2			○				
			精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	15					2	2					○					
			精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15							4		4			○				
			精神保健福祉実習A	実習	45						2	2				○					
			精神保健福祉実習B	実習	45							3		3			○				

区分	主要授業科目			学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間 数	単 位 数				単 位 計	必・選・自	備 考	関 連 資 格						
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士			
人間と社会 専門基礎科目	●			基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修								
	●			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1									
				言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1					1	選択							
	●			教 育 学	講義	15		1				1	必修							
				健康カウンセリング	講義	15			2			2	選択						○	
	●			社 会 と 統 計	講義	15			2			2	必修						○	
	●			社会保障制度・関係法規	講義	15			1			1	必修						○	
	●			地域言語聴覚療法	講義	15			1			1								
				栄養サポート論	講義	15			2			2	選択						○	
				生 物 の 基 礎	講義	15	2					2								
	医療と福祉 言語聴覚療法の基礎 専門科目	●			臨床医学総論	講義	15	1				1	必修							○
		●			人体の構造と機能Ⅰ	講義	15	2				2								
		●			リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2								
		●			音声・言語・聴覚医学Ⅰ(呼吸発声発語系)	演習	30	1				1								
		●			音声・言語・聴覚医学Ⅱ(聴覚系)	演習	30	1				1								
		●			音声・言語・聴覚医学Ⅲ(神経系)	演習	30	1				1								
		●			言 語 発 達 学	講義	15	2				2								
		●			生涯発達心理学	講義	15			2		2								
		●			認知・学習心理学	講義	15		2			2								
		●			臨床心理学	講義	15			2		2								
●				言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2									
●				内 科 学	講義	15		2			2									
●				小 児 科 学	講義	15		1			1									
●				耳 鼻 咽 喉 科 学	講義	15		1			1									
●				形 成 外 科 学	講義	15		1			1									
●				精 神 医 学	講義	15		1			1									
●				臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1			1									
●				心 理 測 定 法	講義	15			1		1									
●				言 語 学	講義	15	2				2									
●				音 声 学	講義	15		2			2									
●			音 響 学	講義	15		2			2										
●			聴 覚 心 理 学	講義	15		1			1										
●			失 語 症 Ⅰ	演習	30	1				1										
●			失 語 症 Ⅱ	演習	30		1			1										
●			高次脳機能障害Ⅰ	演習	30		1			1										
●			高次脳機能障害Ⅱ	演習	30			1		1										
●			言語発達障害学ⅠA(各論)	演習	30	1				1										
●			言語発達障害学ⅠB(各論)	演習	30		1			1										

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				単位計	必 選・自	備 考	関連資格				
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士	
言語聴覚専攻専門科目	言語聴覚療法の展開	●	言語発達障害学Ⅱ（評価）	講義	15	2		2						○				
		●	言語発達障害学Ⅲ（指導法）	講義	15		2		2						○			
		●	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	演習	30	1			1						○			
		●	発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	演習	30		1		1						○			
		●	発声発語障害ⅡA（成人）	演習	30	1			1						○			
		●	発声発語障害ⅡB（成人）	演習	30	1			1						○			
		●	発声発語障害Ⅲ（吃音）	演習	30	1			1						○			
		●	摂食嚥下障害学	講義	15	2			2						○			
		●	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	講義	15	1			1						○			
		●	聴覚障害学Ⅱ（小児）	講義	15	2			2						○			
		●	聴覚障害学Ⅲ（成人）	講義	15		2		2						○			
		●	聴覚障害学Ⅳ	演習	30		1		1						○			
	言語聴覚療法の応用	●	言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	演習	30		1		1						○			
		●	言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	演習	30		1		1						○			
		●	失語症演習	演習	30	1			1						○			
		●	高次脳機能障害演習	演習	30		1		1						○			
		●	言語発達障害学演習	演習	30		1		1						○			
		●	発声発語障害演習Ⅰ（小児）	演習	30		1		1						○			
		●	発声発語障害演習Ⅱ（成人）	演習	30		1		1						○			
		●	摂食嚥下障害学演習	演習	30	1			1						○			
		●	聴覚障害学演習	演習	30		1		1						○			
		●	画像診断学演習	演習	30		1		1						○			
	言語聴覚療法の発展		言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	演習	30		1		1						○			
		●	言語聴覚障害実習Ⅰ	実習	30		1		1						○			
			言語聴覚障害実習Ⅱ	実習	30		1		1						○			
		●	言語聴覚障害実習Ⅲ	実習	30			1	1						○			
			言語聴覚障害実習Ⅳ	実習	30			1	1						○			
		●	言語聴覚療法管理学	講義	15			2	2						○			
			認知症特論	講義	15			1	1						○			
			摂食嚥下障害学特論	講義	15			1	1						○			
		●	卒業研究	演習	—				2	2								
		●	専門ゼミⅠ	演習	30				1	1								
		●	専門ゼミⅡ	演習	30				1	1								
●		臨床実習（見学実習）1週間	実習	45	1			1						○				
●		臨床実習（評価実習）4週間	実習	45			4	4						○				
●	臨床実習（総合実習）8週間	実習	45				8	8					○					
作業療法専攻専門科目	基礎分野	●	基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1								◎	
		●	基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1								◎	
			災害看護論	講義	15	1			1									

区分	主要授業科目 社会福祉専攻 言語聴覚専攻 作業療法専攻	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格							
					1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士				
IIカリキュラム 福祉リハビリテーション学部 2024	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	● 人体の構造と機能 I	講義	15	2			2	必修				○					
			● 人体の構造と機能演習 I	演習	30	1			1					○					
			● 人体の構造と機能 II	講義	15	2			2					○					
			● 人体の構造と機能演習 II	演習	30	1			1					○					
			● 臨床心理学	講義	15		2		2					○					
			● 人間発達学	講義	15	2			2					○					
			● 運動学	講義	15	2			2					○					
			● 臨床医学総論	講義	15	2			2					○					
			● 内部障害と臨床医学	講義	15	2			2					○					
			● 精神障害と臨床医学	講義	15		2		2					○					
	作業療法専攻専門科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	● 神経・筋系障害と臨床医学	講義	15		2		2	必修				○					
			● 運動器障害と臨床医学	講義	15		2		2					○					
			● 小児の障害と臨床医学	講義	15		2		2					○					
			● 老年期の障害と臨床医学	講義	15		2		2					○					
			● 栄養学	講義	15		1		1					○					
			● 安全管理と救急処置	講義	15		2		2					○					
			● リハビリテーションの理念	講義	15	2			2		必修				○				
			● 社会福祉の原理と政策 I	講義	15	2			2						○				
			専門分野	作業療法専攻専門科目	基礎作業療法学	● 公衆衛生学	講義	15			2		2	必修				○	
						● 作業療法学概論	講義	15	2				2					○	
● 基礎作業学	講義	15				2			2				○						
● 作業療法技術演習	演習	30				1			1				○						
作業療法評価学	作業療法管理	● 作業療法管理学				講義	15			2	2	必修					○		
		作業療法評価学				● 作業療法評価学	講義	15		2			2		必修				○
						● 作業療法評価学演習	演習	30		1			1						○
						● 精神機能作業療法学	講義	15			2		2						○
						● 精神機能作業療法学演習	演習	30			1		1						○
						作業療法治療学	作業療法治療学	● 日常生活支援学演習 I	演習	30			1				1	必修	
			● 日常生活支援学演習 II	演習	30					1	1						○		
			● 高齢期作業療法学	講義	15				2		2						○		
			● 高齢期作業療法学演習	演習	30				1		1						○		
			● 身体機能作業療法学 I	講義	15				2		2						○		
● 身体機能作業療法学 II	講義		15		2				2				○						
● 身体機能作業療法学 III	講義	15		2				2				○							
● 身体機能作業療法学演習 I	演習	30			1			1				○							
● 身体機能作業療法学演習 II	演習	30			1			1				○							
● 発達期作業療法学	講義	15			2			2				○							
● 発達期作業療法学演習	演習	30			1	1				○									
● 終末期作業療法学	講義	15			2	2				○									

区分	主要授業科目			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
	社会福祉専攻	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
作業療法専攻専門科目	作業法治療学	●		義肢装具に関わる作業療法	講義	15		2		2	必修					◎	
				認知症の作業療法	講義	15		1		1	選択						
				子どもの作業療法	講義	15		1		1							
				音楽療法	講義	15		2		2							
				国際リハビリテーション	講義	15		2		2							
	地域作業療法	●		京都伝統文化作業技術論	演習	30			1		1	必修					◎
		●		地域・在宅作業療法学Ⅰ	講義	15		2		2	必修					◎	
		●		地域・在宅作業療法学Ⅱ	講義	15			2	2						◎	
		●		見学実習	実習	45	1				1	必修					◎
		●		地域実習	実習	45		1			1						◎
		●		評価実習	実習	45			4		4						◎
		●		総合臨床実習Ⅰ	実習	45			8		8						◎
	●		総合臨床実習Ⅱ	実習	45				8	8						◎	
	●		臨床実習事前事後評価	実習	45				1	1					◎		
	研究 関連	●		卒業研究	演習	30				2	2	必修					◎
●			総合作業療法学	講義	15				2	2	必修					◎	
			教育学	講義	15			1		1	選択						

＜卒業要件及び履修方法＞

【社会福祉専攻】

リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択13単位）。専門科目は100単位以上修得すること（必修24単位、選択76単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
 ※他の専攻の専門科目を履修することはできない。

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目17単位以上修得すること（必修12単位、選択必修5単位）。共通専門・専門基礎・専門科目は111単位以上修得すること。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
 リベラルアーツ教育科目「健康の科学」は言語聴覚士国家試験受験資格必修科目のため必ず履修すること。
 ※他の専攻の専門科目を履修することは出来ない。

【作業療法専攻】

リベラルアーツ教育科目は20単位以上修得すること（必修12単位、選択必修4単位、選択4単位）。専門科目は108単位以上修得すること（必修106単位、選択2単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
 ※作業療法専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、共通専門科目の「日常生活支援学」を必修とする。
 ※他の専攻の専門科目を履修することは出来ない。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。
 ※作業療法士：◎…資格必修科目、○…資格選択科目

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科

〈2025年度入学生対象〉

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単 位 計	必・ 選・ 自	備 考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
共通コア科目	●	●	仏教の人間観 I	講義	15	2				2	必修		○	○
	●	●	仏教の人間観 II	講義	15	2				2		○	○	
	●	●	京都光華の学び	演習	30	1				1		○	○	
	●	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1		○	○	
	●	●	アカデミックライティング	演習	30	1				1		○	○	
	●	●	データサイエンス入門	演習	30	1				1		○	○	
	●	●	伝統文化	演習	30			1		1		○	○	
外国語コミュニケーション	●	●	総合英語 I	演習	30	1				1	選択		○	○
	●	●	総合英語 II	演習	30	1				1		○	○	
			English in Use A	演習	30	1				1				
			English in Use B	演習	30	1				1				
			English in Use C	演習	30	1				1				
			English in Use D	演習	30	1				1				
			English in Use E	演習	30	1				1				
			English in Use F	演習	30	1				1				
		●	医療英語	演習	30	1				1		作業療法専攻必修	○	
			中国語 I	演習	30	1				1				
リベラルアーツ教育科目			中国語 II	演習	30	1				1				
			ハンゲル I	演習	30	1				1				
			ハンゲル II	演習	30	1				1				
			海外での語学研修	実習	30			2		2				
			健康の科学	講義	15	2				2				
			食生活と健康	講義	15	2				2				
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2				
			スポーツ実技 I	実習	30	1				1				
			スポーツ実技 II	実習	30	1				1				
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1				
健康とスポーツ			マインドフルネス	実習	30	1				1				
			教養囲碁入門	実習	30	1				1				
	人文・社会・自然			哲学と倫理	講義	15	2				2	選択 必修 2単位	○	
				くらしのなかの宗教	講義	15	2				2		○	
				仏教文化	講義	15	2				2		○	
				文化人類学	講義	15	2				2		○	
				言語と文学	講義	15	2				2		○	
				日本文化の理解	講義	15	2				2		○	
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2	○			
			芸術文化論	講義	15	2				2	○			
		サブカルチャー論	講義	15	2				2	○				

IIカリキュラム

看護福祉リハビリテーション学部
福祉リハビリテーション学科

2025

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当りの 授業時間数	単位数				単位計	必・ 選・ 自	備 考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
人文・社会・自然	I群		現代アジア事情	講義	15	2			2	選択 必修 2単位		○		
			現代欧米事情	講義	15	2			2			○		
			国際社会の理解	講義	15	2			2			○		
			国際社会とジェンダー	講義	15	2			2			○		
	II群		心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位		○		
			社会学	講義	15	2			2			○		
			日本国憲法	講義	15	2			2			○		
			現代社会と法	講義	15	2			2			○		
			現代社会と政治	講義	15	2			2			○		
			くらしのなかの経済学	講義	15	2			2			○		
			くらしのなかの統計学	講義	15	2			2			○		
			情報社会の理解	講義	15	2			2			○		
			生命の科学	講義	15	2			2			○		
			生活と物理・化学	講義	15	2			2			○		
			地域と環境	講義	15	2			2			○		
			生活と防災	講義	15	2			2			○		
			ボランティア論	講義	15	2			2			○		
		リベラルアーツ教育科目	キャリアデザイン	●	情報リテラシー	演習	30	1				1	選択	言語聴覚専攻必修
	情報技術の理解			講義	15	2			2					
	数的処理の基礎			演習	30	1			1					
	読解と思考の技法			演習	30	1			1					
	Webデザイン			演習	15		2		2					
	産官学連携プロジェクト			演習	15	2			2					
	キャリア実習			実習	30	1			1					
データサイエンス・AI			データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択				
			プログラミング入門	演習	15	2			2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2		2					
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2						
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2						
留学生		日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 留学生 のみ 選択	2025年度入学 留学生対象 (履修推奨)				
		日本語 F II	演習	30	1			1						
		日本語 S I	演習	30	1			1						
		日本語 S II	演習	30	1			1						
		日本事情 I	演習	30	1			1						
		日本事情 II	演習	30	1			1						
共通専門科目	●	包括的ヘルスケア論	講義	15		2		2	選択	言語聴覚専攻必修	◎			
	●	生命倫理	講義	15		2		2		言語聴覚専攻必修	◎			
	●	ターミナルケア	演習	30		1		1		言語聴覚専攻必修	◎			
	● ●	専門職の連携(基礎)	講義	15	2			2		必修	◎ ◎			

区分	主要授業科目		学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
共通専門科目			専門職の連携(応用)	演習	30			1	1	選択				
	●	●	仏教と医療福祉Ⅰ	講義	15		1		1	必修		○	○	
	●	●	仏教と医療福祉Ⅱ	講義	15			1	1			○	○	
			医療福祉連携論	講義	15		2		2	選択	作業療法専攻必修		○	
		●	日常生活支援学	講義	15		2		2					
			地域災害リハビリテーション	演習	15			1	1					
		障害者福祉	講義	15		2		2						
言語聴覚専攻専門科目	人間と社会	●	基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1	必修		○		
		●	基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1			○		
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1			1	選択				
			教育学	講義	15			1	1					
	医療と福祉	●	手話とコミュニケーション	演習	30	1			1	必修		○		
		●	社会保障・教育とリハビリテーション	講義	30			1	1			○		
		●	安全管理と応急処置	講義	15		1		1			○		
		●	栄養学	講義	15		1		1			○		
		●	生物の基礎	講義	15	2			2			○		
		●	臨床医学総論	講義	15	2			2			○		
	言語聴覚療法の基礎	●	人体の構造と機能Ⅰ	講義	15	2			2	必修		○		
		●	リハビリテーション概論・医学	講義	15		2		2			○		
		●	音声・言語・聴覚医学Ⅰ(呼吸発声発語系)	演習	30	1			1			○		
		●	音声・言語・聴覚医学Ⅱ(聴覚系)	演習	30	1			1			○		
		●	音声・言語・聴覚医学Ⅲ(神経系)	演習	30	1			1			○		
		●	言語発達学	講義	15	2			2			○		
		●	生涯発達心理学	講義	15	2			2			○		
		●	認知・学習心理学	講義	15			2	2			○		
		●	臨床心理学	講義	15			2	2			○		
		●	言語聴覚障害学概論	講義	30	1			1			○		
言語聴覚療法の展開	●	内科学	講義	30		1		1	必修		○			
	●	小児科学	講義	30		1		1			○			
	●	耳鼻咽喉科学	講義	30		1		1			○			
	●	形成外科学	講義	30		1		1			○			
	●	精神医学	講義	30		1		1			○			
	●	臨床歯科医学・口腔外科学	講義	30		1		1			○			
	●	心理測定法	講義	30			1	1			○			
	●	言語学	講義	30	1			1			○			
	●	音声学	講義	30		1		1			○			
	●	音響学	講義	30		1		1			○			
	●	聴覚心理学	講義	15			1	1			○			
	●	失語症Ⅰ	演習	30	1			1			○			

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当りの 授業時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選 ・ 自	備 考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
言語聴覚専攻専門科目	言語聴覚療法の展開	●	失 語 症 II	演習	30		1			1	必修		○	
		●	高次脳機能障害 I	演習	30		1			1		○		
		●	高次脳機能障害 II	演習	30			1		1		○		
		●	言語発達障害学 I (各論)	演習	15	2				2		○		
		●	言語発達障害学 II (評価①)	演習	30		1			1		○		
		●	言語発達障害学 III (評価②)	演習	30		1			1		○		
		●	言語発達障害学 IV (支援)	演習	30			1		1		○		
		●	小児発声発語障害学 I	演習	30		1			1		○		
		●	小児発声発語障害学 II	演習	30			1		1		○		
		●	成人発声発語障害学 I	演習	30		1			1		○		
		●	成人発声発語障害学 II	演習	30		1			1		○		
		●	発話流暢性障害学	演習	30		1			1		○		
		●	摂食嚥下障害学	講義	30		1			1		○		
		●	聴覚障害学 I (補聴・人工内耳)	講義	15		1			1		○		
		●	聴覚障害学 II (小児)	講義	15		2			2		○		
	●	聴覚障害学 III (成人)	講義	15			2		2	○				
	●	聴覚障害学 IV (聴覚・平衡覚各論)	演習	30			1		1	○				
	●	言語聴覚障害診断学演習 I (小児)	演習	30			1		1	○				
	●	言語聴覚障害診断学演習 II (成人)	演習	30			1		1	○				
	●	失 語 症 演 習	演習	30		1			1	○				
	●	高次脳機能障害演習	演習	30			1		1	○				
	●	言語発達障害学演習	演習	30			1		1	○				
	●	発声発語障害演習 I (小児)	演習	30			1		1	○				
	●	発声発語障害演習 II (成人)	演習	30			1		1	○				
	●	摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1	○				
	●	聴 覚 障 害 学 演 習	演習	30			1		1	○				
	●	画像診断学演習	演習	30			1		1	○				
	●	言語聴覚障害学総合演習(検査・機器)	演習	30			1		1	○				
	言語聴覚療法の発展	●	言語聴覚障害演習 I	演習	30		1		1	必修	○			
		●	言語聴覚障害演習 II	演習	30		1		1		○			
●		言語聴覚障害演習 III	演習	30			1	1	○					
●		言語聴覚障害演習 IV	演習	30			1	1	○					
●		言語聴覚療法管理学	講義	15			2	2	○					
●		認知症特論	講義	15			1	1	○					
●		摂食嚥下障害学特論	講義	15			1	1	選択					
●		卒 業 研 究	演習	30			2	2	○					
●		専 門 ゼ ミ I	演習	30			1	1	必修		○			
●		専 門 ゼ ミ II	演習	30			1	1			○			
●	臨 床 見 学 実 習	実習	45		2		2	○						
●	臨 床 評 価 実 習	実習	45			5	5	○						

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当たりの 授業時間数	単 位 数				単 位 計	必・ 選・ 自	備 考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
	●		臨 床 綜 合 実 習	実習	45				8	8			◎	
基礎分野		●	基 礎 ゼ ミ I	演習	30	1				1	必修			◎
		●	基 礎 ゼ ミ II	演習	30	1				1				◎
			災 害 看 護 論	講義	15		1			1		選択		
専門基礎分野		●	人 体 の 構 造 と 機 能 I	講義	15	2				2	必修			◎
		●	人 体 の 構 造 と 機 能 演 習 I	演習	30	1				1				◎
		●	人 体 の 構 造 と 機 能 II	講義	15	2				2				◎
		●	人 体 の 構 造 と 機 能 演 習 II	演習	30	1				1				◎
		●	臨 床 心 理 学	講義	15		2			2				◎
		●	人 間 発 達 学	講義	15	2				2				◎
		●	運 動 学	講義	15	2				2				◎
		●	臨 床 医 学 総 論	講義	15	2				2	必修			◎
		●	内 部 障 害 と 臨 床 医 学	講義	15	2				2				◎
		●	精 神 障 害 と 臨 床 医 学	講義	15		2			2				◎
		●	神 経・筋系障害と臨床医学	講義	15		2			2				◎
		●	運 動 器 障 害 と 臨 床 医 学	講義	15		2			2				◎
		●	小 児 の 障 害 と 臨 床 医 学	講義	15		2			2				◎
		●	老 年 期 の 障 害 と 臨 床 医 学	講義	15		2			2				◎
	●	栄 養 学	講義	15		1			1			◎		
	●	安 全 管 理 と 救 急 処 置	講義	15		2			2			◎		
	●	リハビリテーションの理念	講義	15	2				2	必修			◎	
	●	社会福祉の原理と政策 I	講義	15	2				2				◎	
			公 衆 衛 生 学	講義	15		2		2	選択				
専門分野		●	作 業 療 法 学 概 論	講義	15	2				2	必修			◎
		●	基 礎 作 業 学	講義	15	2				2				◎
		●	作 業 療 法 技 術 演 習	演習	30	1				1				◎
		●	作 業 療 法 管 理 学	講義	15			2		2	必修			◎
		●	作 業 療 法 評 価 学	講義	15		2			2	必修			◎
		●	作 業 療 法 評 価 学 演 習	演習	30		1			1				◎
		●	精 神 機 能 作 業 療 法 学	講義	15			2		2				◎
		●	精 神 機 能 作 業 療 法 学 演 習	演習	30		1			1				◎
		●	日 常 生 活 支 援 学 演 習 I	演習	30		1			1	必修			◎
		●	日 常 生 活 支 援 学 演 習 II	演習	30			1		1				◎
		●	高 齢 期 作 業 療 法 学	講義	15		2			2				◎
		●	高 齢 期 作 業 療 法 学 演 習	演習	30		1			1				◎
		●	身 体 機 能 作 業 療 法 学 I	講義	15		2			2				◎
		●	身 体 機 能 作 業 療 法 学 II	講義	15		2			2				◎
	●	身 体 機 能 作 業 療 法 学 III	講義	15		2			2				◎	
	●	身 体 機 能 作 業 療 法 学 演 習 I	演習	30			1		1				◎	
	●	身 体 機 能 作 業 療 法 学 演 習 II	演習	30			1		1			◎		

区分	主要授業科目		学 科 目	授 業 形 態	1単位当りの 授業時間数	単 位 数				単 位 計	必 ・ 選 ・ 自	備 考	関連資格	
	言語聴覚専攻	作業療法専攻				1年	2年	3年	4年				言語聴覚士	作業療法士
作業療法専攻専門科目	作業法治療学	●	発達期作業療法学	講義	15		2		2	必修		○		
		●	発達期作業療法学演習	演習	30		1		1			○		
		●	終末期作業療法学	講義	15		2		2			○		
		●	義肢装具に関わる作業療法	講義	15		2		2			○		
			認知症の作業療法	講義	15		1		1	選択				
			子どもの作業療法	講義	15		1		1					
			音楽療法	講義	15		2		2					
			国際リハビリテーション	講義	15		2		2					
	作業法治療学	●	京都伝統文化作業技術論	演習	30			1		1	必修		○	
		●	地域・在宅作業療法学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	
		●	地域・在宅作業療法学Ⅱ	講義	15			2		2	必修		○	
	臨床実習	●	見学実習	実習	45	1				1	必修		○	
		●	地域実習	実習	45		1			1		○		
		●	評価実習	実習	45			4		4		○		
		●	総合臨床実習Ⅰ	実習	45			8		8		○		
●		総合臨床実習Ⅱ	実習	45				8	8	○				
●		臨床実習事前事後評価	実習	45			1		1	○				
専門発展	●	卒業研究	演習	30				2	2	必修		○		
	●	総合作業療法学	講義	15				2	2	必修		○		
		教育学	講義	15			1		1	選択				

＜卒業要件及び履修方法＞

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目 17 単位以上修得すること（必修 12 単位、選択必修 4 単位、選択 1 単位）。共通専門・専門基礎・専門科目は 111 単位以上修得すること（必修 105 単位、選択 6 単位）。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。

※他の専攻の専門科目を履修することはできない。

※なお、外国人留学生については、「外国人留学生選択科目」の履修を強く推奨する。

「日本語 F I・II」「日本語 S I・II」の段階履修については、担当部署と相談のうえ個別に判断する。

【作業療法専攻】

リベラルアーツ教育科目は 20 単位以上修得すること（必修 12 単位、選択必修 4 単位、選択 4 単位）。共通専門科目と作業療法専攻専門科目を合わせて 108 単位以上修得すること（必修 106 単位、選択 2 単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。

※作業療法専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、共通専門科目の「日常生活支援学」を必修とする。

※他の専攻の専門科目を履修することはできない。

※なお、外国人留学生については、「外国人留学生選択科目」の履修を強く推奨する。

「日本語 F I・II」「日本語 S I・II」の段階履修については、担当部署と相談のうえ個別に判断する。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。
※◎…資格必修科目、○…資格選択科目

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

○実習履修条件—社会福祉士（2022年度以降入学生対象）

3年次で「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」を履修するための条件。

- ①「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」はそれぞれ同時に履修すること。
- ②原則として2年次修了までに1・2年次配当の卒業必修科目、社会福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。
- ③「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の単位修得が見込まれ、かつ担当教員による意思確認および担当教員会議において、「ソーシャルワーク実習」の履修について誠実な態度で臨んでおり、また社会福祉士国家試験合格を目指し、かつ社会福祉専門職に就職する意思が堅固であると認められること。

注1

「ソーシャルワーク実習A」・「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」と「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ」、
「ソーシャルワーク実習B」・「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」と「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ」は、
原則として同時に履修すること。

注2

2年次修了までに②③の条件を満たさない場合は、「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」は4年次以上で履修する。

注3

4年次以上で「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」を履修する場合でも、前年度までに②③の条件を満たしておかなければならない。

注4

「注2」に該当する場合、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の単位を修得していても、「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」を履修する前年度に再度「聴講」として「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を受講しなければならない。

注5

卒業後に「ソーシャルワーク実習A」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡA」、「ソーシャルワーク実習B」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡB」を科目等履修生として履修する場合の条件は、別途指示する。

○実習履修条件—精神保健福祉士（2022・2023年度入学生対象）

精神保健福祉実習を履修するための条件。

- (1) 1年次から3年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題をすべて提出し、基準以上の評価が得られること。
- (2) 3年次修了までに原則として社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する科目を含む以下の科目において128単位以上を修得し、修得単位の6割程度の科目の成績が「秀」または「優」であること。
 - ①卒業の要件となっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）（ ）単位数
28単位以上（社会学(2)、心理学(2)を含む。）
 - ②1, 2, 3年次配当の卒業必修科目
 - ③1, 2, 3年次配当の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得に共通する必要な科目
 - ④1, 2, 3年次配当の社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目
 - ⑤3年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目

(3)面接審査に合格すること。

なお、実習履修の希望者が定員（医療福祉学科社会福祉専攻7名）を超えた場合、上記の履修条件に加え2年修了時におけるGPA値を基準に実習履修者を決定します。

※社会福祉士の「ソーシャルワーク実習」をAならびにBの単位を修得している学生については、2022年度入学生「精神保健福祉実習」のうち、60時間を上限として、精神科病院等の医療機関以外の実習を免除可能とする。

実習履修条件—精神保健福祉士（2024年度以降入学生対象）

3年次に「精神保健福祉実習指導Ⅰ」4年次で「精神保健福祉実習指導Ⅱ」と「精神保健福祉実習A」「精神保健福祉実習B」を履修するための条件。

- (1) 1年次から3年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題を全て提出し、基準以上の評価が得られること。
- (2) 原則として2年時終了までの1・2年次配当の卒業必修科目、精神保健福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。
 - ①卒業の要件になっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）28単位以上（社会学(2)心理学(2)を含む）
 - ②1, 2年次の卒業必修単位科目
 - ③1, 2, 3年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目

(3)面接審査に合格すること。

なお、精神保健福祉士単独または社会福祉士との両実習を希望する希望者が定員（福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻7名）を超えた場合、上記の条件に加え、2年修了時におけるGPA値を基準に実習履修者を決定します。

実習履修条件—社会福祉士 + 精神保健福祉士（2024 年度以降入学生対象）

ソーシャルワーク実習に加えて精神保健福祉実習を履修するための条件。

- (1)社会福祉士実習履修条件をクリアしていること。
- (2)精神保健福祉士に関する 1 年次から 3 年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題を全て提出し、基準以上の評価が得られること。
- (3)3 年次終了までに原則として社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する科目を含む以下の科目において 128 単位以上を修得し、修得単位の 6 割程度の科目の成績が「秀」または「優」であること。2 年時終了までの 1・2 年次配当の卒業必修科目、精神保健福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。
 - ①卒業の要件になっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）（）単位数 28 単位以上（社会学（2）心理学（2）を含む）
 - ②1, 2, 3 年次の卒業必修単位科目
 - ③1, 2, 3 年次配当の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格修得に共通する必要な科目
 - ④1, 2, 3 年次配当の社会福祉士国家試験受験資格修得に必要な科目
 - ⑤3 年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格修得に必要な科目
- (4)面接審査に合格すること。

なお、精神保健福祉士単独または社会福祉士との両実習を希望する希望者が定員（福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻 7 名を超えた場合、上記の条件に加え、2 年修了時における GPA 値を基準に実習履修者を決定します）。

※社会福祉士の「ソーシャルワーク実習」を A ならびに B の単位を修得している学生については「精神保健福祉実習のうち 60 時間を上限として、精神科医療機関以外の実習を免除可能とする。

○実習履修条件—言語聴覚士

1. 「臨床実習（見学実習）1 週間」履修条件
 - ・1 年次科目「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を修得していること。
2. 「臨床実習（評価実習）4 週間」履修条件
 - ・原則として 3 年次前期までの専門基礎科目・専門科目必修科目をすべて修得していること。
3. 「臨床実習（総合実習）8 週間」履修条件
 - ・原則として 3 年次後期までの専門基礎科目・専門科目必修科目をすべて修得していること。および「臨床実習（評価実習）4 週間」を修得していること。
4. 「臨床実習（見学実習）1 週間」「臨床実習（評価実習）4 週間」「臨床実習（総合実習）8 週間」履修条件
 - ・実習前オリエンテーションに出席すること、実習に関わる書類を期日までに提出すること。
 - 指定された実習準備（実習ノート作成・実習前実力試験合格を含む）をすべて行うこと（評価・総合実習対象）。
 - ・上記の条件をすべて満たした上で、専攻教員による審査会議において履修を許可されること。

○実習履修条件—作業療法士

作業療法専攻 臨床実習科目の履修条件について

臨床実習科目を履修するためには、実習前に必要な知識と技術を修得しておく必要があるため、以下に定める先修科目の単位を取得しておく必要がある。

*先修科目：特定の科目を履修する前に、あらかじめ単位を取得しておかなければならない科目。

見学実習	なし
地域実習	なし
評価実習	3年次前期終了までに開講される全ての必修科目
総合臨床実習Ⅰ	3年次前期終了までに開講される全ての必修科目
総合臨床実習Ⅱ	3年次後期終了までに開講される全ての必修科目

1. 実習前セミナーおよび実習後セミナーに出席すること、実習に関わる書類をすべて提出すること、指定された実習準備（OSCEを含む）をすべて行うこと。
2. 上記の条件をすべて満たした上で、専攻教員による審査会議において履修を許可されること。
3. 実習の参加態度、取り組みの状況により実習中止となった場合には単位認定不可とする場合がある。
なお、実習欠席日数が全実習日数の1/5以上の場合には評価を受ける資格を失う。実習日程は変更となる場合がある。
4. 再実習について
実習科目においては、60点未満の成績の場合は再実習の取扱いはない。次年度以降の再履修となる。

E. 健康科学部 心理学科

〈2022年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					○
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						○
		● 京都光華の学び	演習	30	1				1						○
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						○
		● アカデミックライティング	演習	30	1				1						○
		● 伝統文化	演習	30			1		1						○
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	選択					○
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						○
		英会話Ⅰ	演習	30	1				1						
		英会話Ⅱ	演習	30	1				1						
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1						
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1						
		医療英語	演習	30	1				1						
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
		ハンガールⅠ	演習	30	1				1						
	ハンガールⅡ	演習	30	1				1							
	海外での語学研修	実習	30		2			2							
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2				2						○
食生活と健康		講義	15	2				2							
生涯スポーツ入門		講義	15	2				2							
スポーツ実技Ⅰ		実習	30	1				1						○	
スポーツ実技Ⅱ		実習	30	1				1						○	
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択 必修 2単位						
	仏教文化	講義	15	2				2							
	文化人類学	講義	15	2				2							
	言語と文学	講義	15	2				2							
	日本文化の理解	講義	15	2				2							
	京都の歴史と文化	講義	15	2				2							
	芸術文化論	講義	15	2				2							
	サブカルチャー論	講義	15	2				2							
	現代アジア事情	講義	15	2				2							
	現代欧米事情	講義	15	2				2							
	国際社会の理解	講義	15	2				2							
国際社会とジェンダー	講義	15	2				2								

IIカリキュラム

健康科学部

2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格							
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士				
人文・社会・自然 II群	リベラルアーツ教育科目	心理学	講義	15	2			2	選択必修 2単位										
		社会学	講義	15	2			2											
		日本国憲法	講義	15	2			2											
		現代社会と法	講義	15	2			2											
		現代社会と政治	講義	15	2			2											
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2											
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2											
		生命の科学	講義	15	2			2											
		生活と物理・化学	講義	15	2			2											
		地域と環境	講義	15	2			2											
		生活と防災	講義	15	2			2											
		ボランティア論	講義	15	2			2											
キャリアデザイン	リベラルアーツ教育科目	情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択										
		情報リテラシー応用	演習	30	1			1											
		数的処理の基礎	演習	30	1			1											
		日本語表現の技法	演習	30	1			1											
		読解と思考の技法	演習	30	1			1											
		Webデザイン	演習	15		2		2											
		データサイエンスのための数学	講義	15	2			2											
		プログラミング入門	演習	15		2		2											
		AIへのアプローチ	講義	15		2		2											
		データサイエンスのためのアプローチ	講義	15		2		2											
		データサイエンスPBL	演習	15		2		2											
		産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2											
キャリア実習	実習	30	1			1													
インターンシップ	実習	30			2	2													
留学生	リベラルアーツ教育科目	日本語F I	演習	30	1			1	外国人留学生必修										
		日本語F II	演習	30	1			1											
		日本語S I	演習	30		1		1											
		日本語S II	演習	30		1		1											
		日本事情I	演習	30	1			1											
		日本事情II	演習	30	1			1											
専門基礎 心理学入門	専門科目	●心理学概論	講義	15	2			2	必修			○							
		●社会心理学入門	講義	15	2			2					○						
		●発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2			2					○	○					
		●臨床心理学入門	講義	15	2			2					○						
		●心理学統計法	講義	15	2			2				○							
		●心理学研究法	講義	15	2			2				○		○					
		環境心理学	講義	15	2			2	選択				○						
		社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2			2											

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数			単位計	必・選・自	備考	関連資格					
					1年	2年	3年				4年	公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士	
専門基礎	心理学入門	● 京都文化心理学	講義	15	2			2	選択				○			
		● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2			2	必修					○		
	基礎心理学	● 神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択		○		○		
		● 知覚・認知心理学	講義	15		2			2			○		○		
		● 学習・言語心理学	講義	15		2			2			○		○		
		● 比較行動学	講義	15		2			2					○		
	心理援助	● 公認心理師の職責	講義	15		2			2	必修		○				
		● 臨床心理学概論	講義	15		2			2			○		○		
		● 心理学的支援法	講義	15		2			2			○		○		
		● 発達心理学	講義	15		2			2			○		○	○	
		● 障害者・障害児心理学	講義	15		2			2			○		○	○	
		● 子どもの心理臨床	講義	15		2			2						○	○
		● 心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2			○		○	○	
		● 心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			○		○	○	
		人間関係	● 青年心理学	講義	15		2				2	選択				○
	● 教育心理学		講義	15		2			2					○		
	● 感情・人格心理学		講義	15		2			2		○			○	○	
	● 子どもと人間関係		演習	15		2			2						○	
	● 子どもとことば		演習	15		2			2						○	
	人と現代社会	● 社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		○		○	○	
		● コミュニティ心理学	講義	15		2			2					○		
		● 司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			○		○		
		● 産業・組織心理学	講義	15		2			2			○		○		
		● マーケティング心理学	講義	15		2			2							
		● 消費者心理学	講義	15		2			2					○		
		● 社会福祉	講義	15		2			2						○	
		● 児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2						○	
		● 子ども家庭支援論	講義	15		2			2						○	
		● スポーツ心理学	講義	15		2			2							
	データ科学	● 社会と統計	講義	15		2			2	選択			○			
● 心理学実験Ⅰ		演習	15		2			2			○		○			
● 心理学実験Ⅱ		演習	15		2			2			○		○			
● 心理学データ解析Ⅰ		演習	30		1			1				○	○			
● 心理学データ解析Ⅱ		演習	30		1			1				○	○			
キャリアデザイン	● 社会とジェンダー	講義	15		2			2								
	● 女性の生き方・働き方	講義	15	2				2								
	● 女性と現代社会	講義	15	2				2								
	● 女性とビジネス	講義	15		2			2								
	● 女性と経済	講義	15		2			2								

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門応用	キャリアデザイン	女性のキャリア形成	演習	30		1		1	選択					
			キャリアサポート	演習	30		1		1						
	心理援助	健康・医療心理学	講義	15		2		2			○	○	○		
		教育・学校心理学	講義	15		2		2			○	○	○		
		心理演習Ⅰ	演習	15		2		2			○	○	○		
		心理演習Ⅱ	演習	15		2		2			○	○	○		
		○心理実習Ⅰ	実習	40		1		1			○				
		○心理実習Ⅱ	実習	40		1		1			○				
		子どもの理解と援助	演習	15		2		2						○	
		子ども家庭支援の心理学	講義	15		2		2						○	
		発達支援実習	演習	15		2		2							
		関係行政論	講義	15		2		2			○				
		福祉心理学	講義	15		2		2			○				
		人間関係現代社会	犯罪者プロファイリング演習	演習	15		2		2					○	
	対人スキル・コーチング演習		演習	15		2		2						○	
	社会的養護Ⅰ		講義	15		2		2						○	
	心理学データ解析Ⅲ		演習	30		1		1					○	○	
	データ科学	社会調査法	講義	15		2		2					○		
		社会調査実習Ⅰ	実習	30		1		1					○		
		社会調査実習Ⅱ	実習	30		1		1					○		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15		2		2					○	
	メンタルヘルス論		講義	15		2		2					○		
	小児看護学		講義	15		2		2							
	包括的ヘルスケア論		講義	15		2		2							
	ターミナルケア		演習	30		1		1							
	生命倫理		講義	15		2		2							
	専門職の連携（応用）		演習	30			1	1						○	
	精神疾患とその治療Ⅰ		講義	15		2		2				○			
	保育	保育原理	講義	15		2		2						○	
		教育原理	講義	15		2		2						○	
		保育者論	講義	15		2		2						○	
		子どもの保健	講義	15		2		2						○	
		保育の計画と評価	講義	15		2		2						○	
		子どもと健康	演習	15		2		2						○	
		乳児保育Ⅰ	講義	15		2		2						○	
		心理学演習	●心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1			1			必修			
	●心理学基礎演習Ⅱ		演習	30	1			1							
	●心理学基礎演習Ⅲ		演習	30		1		1							
	●心理学基礎演習Ⅳ		演習	30		1		1							

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数			単位計	必・選・自	備 考	関連資格			
					1年	2年	3年				4年	公認心理師	社会調査士	認定心理士
専門科目	心理学演習	○	心理学専門演習Ⅰ	演習	15		2	2	選択	2科目のうち1科目選択必修				
		○	心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15		2	2						○
		●	心理学専門演習Ⅱ	演習	15		2	2	必修					
		●	心理学専門演習Ⅲ	演習	15			2		2				
		●	心理学専門演習Ⅳ	演習	15			2		2				
	応用演習		心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2	2	選択					
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15			2		2				
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2	2						
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15			2		2				
			卒 業 研 究	演習	—			4		4	選択	2科目のうち1科目選択必修		
	卒 業 論 文	演習	—			6	6			○				
自由科目		コンピュータ活用A	演習	30		1	1	自由						
		コンピュータ活用B	演習	30		1	1							
		情報技術の理解	講義	15	2		2							
		情報社会の理解	講義	15	2		2							
		社会保障Ⅰ	講義	15		2	2						○	
		社会保障Ⅱ	講義	15		2	2						○	
		子どもの食と栄養	演習	15		2	2						○	
		子育て支援	演習	15		2	2						○	
		保育内容総論	演習	15		2	2						○	
		乳児保育Ⅱ	演習	15		2	2						○	
		障害児保育	演習	15		2	2						○	
		社会的養護Ⅱ	演習	15		2	2						○	
		子どもの体育	演習	15		2	2						○	
		音楽療法	演習	15		2	2						○	
		図画工作	演習	15		2	2						○	
		レクリエーション指導法	演習	30			1		1				○	
		子どもの健康と安全	演習	15		2	2						○	
		保育実習指導Ⅰ	演習	15		2	2						○	
		保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1				○	
		保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1				○	
		保育実習Ⅰ(保育所)	実習	40		2	2						○	
		保育実習Ⅰ(施設)	実習	40		2	2						○	
		保育実習Ⅱ	実習	40			2		2				○	
	保育実習Ⅲ	実習	40			2	2				○			

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む）。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること。

リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

学期 GPA が「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 心理学科

〈2023年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
共通コア科目	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					
	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						
	●	京都光華の学び	演習	30	1				1						
	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						
	●	アカデミックライティング	演習	30	1				1						
	●	データサイエンス入門	演習	30	1				1						
	●	伝統文化	演習	30			1		1						
外国語コミュニケーション	●	総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	選択					
	●	総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						
		English in Use A	演習	30	1				1						
		English in Use B	演習	30	1				1						
		English in Use C	演習	30	1				1						
		English in Use D	演習	30	1				1						
		English in Use E	演習	30	1				1						
		English in Use F	演習	30	1				1						
		医療英語	演習	30	1				1						
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
		ハンダールⅠ	演習	30	1				1						
		ハンダールⅡ	演習	30	1				1						
	海外での語学研修	実習	30			2		2							
健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2	必修					
		食生活と健康	講義	15	2				2						
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1						
		マインドフルネス	実習	30	1				1						
		教養囲碁入門	実習	30	1				1						
人文・社会・自然 I群		哲学と倫理	講義	15	2				2	選択 2単位					
		くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
		仏教文化	講義	15	2				2						
		文化人類学	講義	15	2				2						
		言語と文学	講義	15	2				2						
		日本文化の理解	講義	15	2				2						
		京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
		芸術文化論	講義	15	2				2						
	サブカルチャー論	講義	15	2				2							

資格取得のためには要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること

IIカリキュラム

健康科学部

2023

リベラルアーツ教育科目

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	I群	現代アジア事情	講義	15	2			2	選択必修 2単位					資格取得のためには要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技I」「スポーツ実技II」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること	
		現代欧米事情	講義	15	2			2							
		国際社会の理解	講義	15	2			2							
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2							
		II群	心理学	講義	15	2			2	選択必修 2単位					
			社会学	講義	15	2			2						
			日本国憲法	講義	15	2			2						
			現代社会と法	講義	15	2			2						
	現代社会と政治		講義	15	2			2							
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2							
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2							
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択						
		情報技術の理解	講義	15	2			2							
		数的処理の基礎	演習	30	1			1							
		読解と思考の技法	演習	30	1			1							
Webデザイン		演習	15		2		2								
産官学連携プロジェクト		演習	15	2			2								
キャリア実習		実習	30	1			1								
A I データサイエンス	インターンシップ	実習	30			2	2								
	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択							
	プログラミング入門	演習	15	2			2								
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2								
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2								
データサイエンスPBL	講義	15		2		2									
留学生	日本語F I	演習	30	1			1	外国人学生必修							
	日本語F II	演習	30	1			1								
	日本語S I	演習	30		1		1								
	日本語S II	演習	30		1		1								
	日本事情 I	演習	30	1			1								
	日本事情 II	演習	30	1			1								
専門科目	心理学入門	● 心理学概論	講義	15	2			2	必修		○	○			
		● 社会心理学入門	講義	15	2			2				○			
		● 発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2			2				○	○		
		● 臨床心理学入門	講義	15	2			2				○			

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門基礎	心理学入門	● 心理学統計法	講義	15	2			2	必修		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		● 心理学研究法	講義	15	2			2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		環境心理学	講義	15	2			2	選択		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2			2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		京都文化心理学	講義	15	2			2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2			2	必修	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	基礎心理学	神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		知覚・認知心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		学習・言語心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		比較行動学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	心理援助	公認心理師の職責	講義	15		2			2	必修	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		● 臨床心理学概論	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		● 心理学的支援法	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		● 発達心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		障害者・障害児心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		子どもの心理臨床	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人間関係	青年心理学	講義	15		2			2	選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		教育心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
感情・人格心理学		講義	15		2			2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
子どもと人間関係		演習	15		2			2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
子どもとことば		演習	15		2			2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
人と現代社会	● 社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	コミュニティ心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	司法・犯罪心理学	講義	15		2			2	選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	産業・組織心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	マーケティング心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	消費者心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	社会福祉	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	子ども家庭支援論	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	スポーツ心理学	講義	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
社会と統計	講義	15		2			2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
データ科学	● 心理学実験Ⅰ	演習	15		2			2	選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	心理学実験Ⅱ	演習	15		2			2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1			1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1			1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士	
専門科目 専門発展	専門応用	キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2		2	選 択						
			女性の生き方・働き方	講義	15	2		2								
			女性と現代社会	講義	15		2	2								
			女性と経済	講義	15		2	2								
			女性のキャリア形成	演習	30		1	1								
	心理援助	心理援助	健康・医療心理学	講義	15		2	2	○						○	○
			教育・学校心理学	講義	15		2	2	○						○	○
			心理演習Ⅰ	演習	15		2	2	○						○	○
			心理演習Ⅱ	演習	15		2	2	○						○	○
			○心理実習Ⅰ	実習	40		1	1	○							
			○心理実習Ⅱ	実習	40		1	1	○							
			子どもの理解と援助	演習	15		2	2								○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2	2								○
			発達支援実習	演習	15		2	2								
			関係行政論	講義	15		2	2	○							
	人間関係現代社会	人間関係現代社会	福祉心理学	講義	15		2	2	○							
			犯罪者プロファイリング	演習	15		2	2							○	
			対人スキル・コーチング	演習	15		2	2								○
	データ科学	データ科学	社会的養護Ⅰ	講義	15		2	2								○
			心理学データ解析Ⅲ	演習	30		1	1							○	○
			社会調査法	講義	15		2	2							○	
			社会調査実習Ⅰ	実習	30		1	1							○	
	健康科学	健康科学	社会調査実習Ⅱ	実習	30		1	1							○	
			人体の構造と機能及び疾病	講義	15		2	2	○							
			メンタルヘルス論	講義	15		2	2								○
			小児看護学	講義	15		2	2								
			包括的ヘルスケア論	講義	15		2	2								
			ターミナルケア	演習	30		1	1								
			生命倫理	講義	15		2	2								
			専門職の連携(応用)	演習	30		1	1								○
精神疾患とその治療Ⅰ			講義	15		2	2	○								
マインドフルネス心理学			講義	15		2	2									
保育	保育	保育原理	講義	15		2	2			○						
		教育原理	講義	15		2	2			○						
		保育者論	講義	15		2	2			○						
		子どもの保健	講義	15		2	2			○						
		保育の計画と評価	講義	15		2	2			○						
		子どもと健康	演習	15		2	2			○						
		乳児保育Ⅰ	講義	15		2	2			○						

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数			単位計	必・選・自	備 考	関連資格				
					1年	2年	3年				4年	公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	心理学演習	● 心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1			1	必修	2科目のうち1科目選択必修					
		● 心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1			1							
		● 心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1		1							
		● 心理学基礎演習Ⅳ	演習	30		1		1							
		○ 心理学専門演習Ⅰ	演習	15			2	2	選択						
		○ 心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15			2	2						○	
		● 心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2	2	必修						
		● 心理学専門演習Ⅲ	演習	15			2	2							
		● 心理学専門演習Ⅳ	演習	15			2	2							
		● 心理学専門演習Ⅳ	演習	15			2	2							
	応用演習		心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2	2	選択						
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15		2	2							
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2	2							
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15		2	2							
	研究論文		卒業研究	演習	—			4	4	選択	2科目のうち1科目選択必修			○	
			卒業論文	演習	—			6	6					○	
	自由科目		グラフィックデザイン	演習	30		1	1	自由						
			ビジュアルデザイン	演習	30		1	1							
			社会保障Ⅰ	講義	15		2	2						○	
			社会保障Ⅱ	講義	15		2	2						○	
		子どもの食と栄養	演習	15		2	2						○		
		子育て支援	演習	15		2	2						○		
		保育内容総論	演習	15		2	2						○		
		乳児保育Ⅱ	演習	15		2	2						○		
		障害児保育	演習	15		2	2						○		
		社会的養護Ⅱ	演習	15		2	2						○		
		子どもの体育	演習	15		2	2						○		
		音楽療法	演習	15		2	2						○		
		図画工作	演習	15		2	2						○		
		レクリエーション指導法	演習	30			1	1						○	
		子どもの健康と安全	演習	15		2	2							○	
		保育実習指導Ⅰ	演習	15		2	2							○	
		保育実習指導Ⅱ	演習	30			1	1						○	
		保育実習指導Ⅲ	演習	30			1	1						○	
		保育実習Ⅰ(保育所)	実習	40		2	2							○	
		保育実習Ⅰ(施設)	実習	40		2	2							○	
	保育実習Ⅱ	実習	40			2	2					○			
	保育実習Ⅲ	実習	40			2	2					○			

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単

位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること）。リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

学期 GPA が「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

健康科学部 心理学科

〈2024年度以降入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
共通コア科目	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					
	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						
	●	京都光華の学び	演習	30	1				1						
	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						
	●	アカデミックライティング	演習	30	1				1						
	●	データサイエンス入門	演習	30	1				1						
	●	伝統文化	演習	30			1		1						
外国語コミュニケーション	●	総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	選択					
	●	総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						
		English in Use A	演習	30	1				1						
		English in Use B	演習	30	1				1						
		English in Use C	演習	30	1				1						
		English in Use D	演習	30	1				1						
		English in Use E	演習	30	1				1						
		English in Use F	演習	30	1				1						
		医療英語	演習	30	1				1						
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
		ハンダールⅠ	演習	30	1				1						
	ハンダールⅡ	演習	30	1				1							
	海外での語学研修	実習	30			2		2							
健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2	必修					
		食生活と健康	講義	15	2				2						
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1						
		マインドフルネス	実習	30	1				1						
人文・社会・自然 I群		教養囲碁入門	実習	30	1				1	選択 必修 2単位					
		哲学と倫理	講義	15	2				2						
		くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
		仏教文化	講義	15	2				2						
		文化人類学	講義	15	2				2						
		言語と文学	講義	15	2				2						
		日本文化の理解	講義	15	2				2						
		京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
	芸術文化論	講義	15	2				2							
	サブカルチャー論	講義	15	2				2							

IIカリキュラム

心健康科学部

2024・2025

リベラルアーツ教育科目

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	I群	現代アジア事情	講義	15	2			2	選択必修 2単位					資格取得のためには、要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること	
		現代欧米事情	講義	15	2			2							
		国際社会の理解	講義	15	2			2							
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2							
		II群	心理学	講義	15	2			2						選択必修 2単位
			社会学	講義	15	2			2						
			日本国憲法	講義	15	2			2						
			現代社会と法	講義	15	2			2						
	現代社会と政治		講義	15	2			2							
	くらしのなかの経済学		講義	15	2			2							
	くらしのなかの統計学		講義	15	2			2							
	情報社会の理解		講義	15	2			2							
	生命の科学		講義	15	2			2							
	生活と物理・化学		講義	15	2			2							
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択						
		情報技術の理解	講義	15	2			2							
		数的処理の基礎	演習	30	1			1							
		読解と思考の技法	演習	30	1			1							
Webデザイン		演習	15		2		2								
産官学連携プロジェクト		演習	15	2			2								
キャリア実習		実習	30	2			2								
データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択							
	プログラミング入門	演習	15	2			2								
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2								
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2								
	データサイエンスPBL	講義	15		2		2								
留学生	日本語FⅠ	演習	30	1			1	外国人学生必修							
	日本語FⅡ	演習	30	1			1								
	日本語SⅠ	演習	30		1		1								
	日本語SⅡ	演習	30		1		1								
	日本事情Ⅰ	演習	30	1			1								
	日本事情Ⅱ	演習	30	1			1								
専門科目	心理学入門	● 心理学概論	講義	15	2			2	必修	○		○			
		● 社会心理学入門	講義	15	2			2				○			
		● 発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2			2				○	○		
		● 臨床心理学入門	講義	15	2			2				○			

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士	
専門基礎	心理学入門	● 心理学統計法	講義	15	2			2	必修		○					
		● 心理学研究法	講義	15	2			2			○		○			
		環境心理学	講義	15	2			2	選択				○			
		社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2			2								
		京都文化心理学	講義	15	2			2						○		
	● 専門職の連携（基礎）	講義	15	2			2	必修					○			
	基礎心理学	神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	15		2		2	選択		○		○		
			知覚・認知心理学	講義	15		2		2			○		○		
			学習・言語心理学	講義	15		2		2			○		○		
		公認心理師の職責	講義	15		2		2	必修	○						
		● 臨床心理学概論	講義	15		2		2		○			○			
		● 心理学的支援法	講義	15		2		2		○			○			
		心理援助	● 発達心理学	講義	15		2		2	選択		○		○	○	
			障害者・障害児心理学	講義	15		2		2			○		○	○	
			子どもの心理臨床	講義	15		2		2						○	○
			心理的アセスメントⅠ	演習	15		2		2			○			○	○
	心理的アセスメントⅡ		演習	15		2		2	○				○	○		
	青年心理学		講義	15		2		2	選択					○		
	教育心理学		講義	15		2		2						○		
	感情・人格心理学	講義	15		2		2	○				○	○			
人間関係	子どもと人間関係	演習	15		2		2	選択					○			
	子どもとことば	演習	15		2		2							○		
	● 社会・集団・家族心理学	講義	15		2		2		必修	○			○	○		
	コミュニティ心理学	講義	15		2		2							○		
	司法・犯罪心理学	講義	15		2		2			○			○			
産業・組織心理学	講義	15		2		2	○				○					
消費者心理学	講義	15		2		2						○				
人と現代社会	社会福祉	講義	15		2		2	選択					○			
	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2		2							○		
	子ども家庭支援論	講義	15		2		2							○		
	スポーツ心理学	講義	15		2		2									
	社会と統計	講義	15		2		2						○			
	● 心理学実験Ⅰ	演習	15		2		2		データ科学	○			○			
	心理学実験Ⅱ	演習	15		2		2			○			○			
	心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1		1						○	○		
心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1		1					○	○				

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目 専門発展	専門応用 キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2			2	選択					
		女性の生き方・働き方	講義	15	2				2						
		女性と現代社会	講義	15		2			2						
		女性と経済	講義	15		2			2						
		女性のキャリア形成	演習	30			1		1						
	心理援助	心理援助	健康・医療心理学	講義	15		2		2			○	○	○	
			教育・学校心理学	講義	15		2		2			○	○	○	
			心理演習Ⅰ	演習	15		2		2			○	○	○	
			心理演習Ⅱ	演習	15		2		2			○	○	○	
			○心理実習Ⅰ	実習	40			1			1	○			
			○心理実習Ⅱ	実習	40			1			1	○			
			子どもの理解と援助	演習	15		2		2						○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2		2						○
			発達支援実習	演習	15		2		2						
			関係行政論	講義	15		2		2			○			
	人間関係・現代社会	人間関係・現代社会	犯罪者プロファイリング	演習	15		2		2					○	
			対人スキル・コーチング	演習	15		2		2						○
			社会的養護Ⅰ	講義	15		2		2						○
	データ科学	データ科学	心理学データ解析Ⅲ	演習	30		1		1				○	○	
			社会調査法	講義	15		2		2				○		
社会調査実習Ⅰ			実習	30		1		1			○				
社会調査実習Ⅱ			実習	30		1		1			○				
健康科学	健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15		2		2		○					
		メンタルヘルス論	講義	15		2		2				○			
		小児看護学	講義	15		2		2							
		包括的ヘルスケア論	講義	15		2		2							
		ターミナルケア	演習	30		1		1							
		生命倫理	講義	15		2		2							
		専門職の連携（応用）	演習	30		1		1					○		
		精神疾患とその治療Ⅰ	講義	15		2		2		○					
		マインドフルネス心理学	講義	15		2		2							
		健康管理論	講義	15		2		2							
保育	保育	食の心理と健康	講義	15		2		2							
		食マーケティング論	講義	15			2	2							
		保育原理	講義	15		2		2					○		
		教育原理	講義	15		2		2					○		
		保育者論	講義	15		2		2					○		
		子どもの保健	講義	15		2		2					○		
保育の計画と評価	講義	15		2		2					○				

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数			単位計	必・選・自	備考	関連資格				
					1年	2年	3年				4年	公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門発展	保育	子どもと健康	演習	15			2	2	選択					○	
		乳児保育 I	講義	15			2	2							○
専門科目	心理学演習	●心理学基礎演習 I	演習	30	1			1	必修						
		●心理学基礎演習 II	演習	30	1			1							
		●心理学基礎演習 III	演習	30		1		1							
		●心理学基礎演習 IV	演習	30		1		1							
		○心理学専門演習 I	演習	15			2		2	選択	2科目のうち 1科目選択必修				
		○心理学専門演習I(保育実践演習)	演習	15			2		2						
		●心理学専門演習 II	演習	15			2		2	必修					
		●心理学専門演習 III	演習	15			2	2							
		●心理学専門演習 IV	演習	15			2	2							
		応用演習		心理学英語文献講読 I	演習	15		2		2	選択				
	心理学英語文献講読 II		演習	15			2	2							
	心理学特別演習 I		演習	15		2		2							
	心理学特別演習 II		演習	15			2	2							
論文・研究		卒業研究	演習	—			4	4	選択	2科目のうち 1科目選択必修				○	
		卒業論文	演習	—			6	6							○
自由科目		グラフィックデザイン	演習	30		1		1	自由						
		ビジュアルデザイン	演習	30		1		1							
		社会保障 I	講義	15		2		2							○
		社会保障 II	講義	15		2		2							○
		子どもの食と栄養	演習	15		2		2							○
		子育て支援	演習	15		2		2							○
		保育内容総論	演習	15			2	2							○
		乳児保育 II	演習	15			2	2							○
		障害児保育	演習	15			2	2							○
		社会的養護 II	演習	15			2	2							○
		子どもの体育	演習	15			2	2							○
		音楽療法	演習	15			2	2							○
		図画工作	演習	15			2	2							○
		レクリエーション指導法	演習	30				1		1					○
		子どもの健康と安全	演習	15		2		2							○
		保育実習指導 I	演習	15			2	2							○
		保育実習指導 II	演習	30				1		1					○
		保育実習指導 III	演習	30				1		1					○
		保育実習 I (保育所)	実習	40			2	2							○
		保育実習 I (施設)	実習	40			2	2							○
	保育実習 II	実習	40				2	2					○		
	保育実習 III	実習	40				2	2					○		

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること）。

リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

学期 GPA が「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

F. こども教育学部 こども教育学科

(2022年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位の 当りの 授業 時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 コース	必・選 幼児教育 コース 学校 教育	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保育士	(幼 稚 園 種)	(小 学 校 種)
共通コア科目	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修	必修	必修		必			
	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2					必			
	●	京都光華の学び	演習	30	1			1					必			
	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1			1					必			
	●	アカデミックライティング	演習	30	1			1					必			
	●	伝 統 文 化	演習	30		1		1					必			
外国語コミュニケーション	●	総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	選択	選択	選択		必	必	必	
	●	総合英語Ⅱ	演習	30	1			1					必	必	必	
		英 会 話 Ⅰ	演習	30	1			1								
		英 会 話 Ⅱ	演習	30	1			1								
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1			1								
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1			1								
		医療英語	演習	30	1			1								
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1								
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1								
		ハンダールⅠ	演習	30	1			1								
リベラルアーツ教育科目		ハンダールⅡ	演習	30	1			1								
		海外での語学研修	実習	30		2		2								
		健康の科学	講義	15	2			2					必	必	必	
		食生活と健康	講義	15	2			2								
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2								
健康とスポーツ		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1					選必*6	必	必	
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1					選必*6			
	人文・社会・自然	I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選		
			仏教文化	講義	15	2			2					選		
			文化人類学	講義	15	2			2					選		
			言語と文学	講義	15	2			2					選		
			日本文化の理解	講義	15	2			2					選		
			京都の歴史と文化	講義	15	2			2					選		
			芸術文化論	講義	15	2			2					選		
			サブカルチャー論	講義	15	2			2					選		
			現代アジア事情	講義	15	2			2					選		
			現代欧米事情	講義	15	2			2					選		
			国際社会の理解	講義	15	2			2					選		
国際社会とジェンダー	講義	15	2			2	選									
II群		心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		社会学	講義	15	2			2	選				選			
		日本国憲法	講義	15	2			2	選				選	必	必	

IIカリキュラム

こども教育学部

2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必・ 選	コース別 コース	必・選 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年							保 育 士	(一) 幼 稚 園	(一) 小 学 校
人文・社会・自然	II群	現代社会と法	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位			選			
		現代社会と政治	講義	15	2			2						選			
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2						選			
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2						選			
		生命の科学	講義	15	2			2						選			
		生活と物理・化学	講義	15	2			2						選			
		地域と環境	講義	15	2			2						選			
		生活と防災	講義	15	2			2						選			
	ボランティア論	講義	15	2			2	選									
	キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	演習	30	1			1	選択	選択	選択			選	必	必	
		情報リテラシー応用	演習	30	1			1						選	必	必	
		数的処理の基礎	演習	30	1			1						選			
		日本語表現の技法	演習	30	1			1						選			
		読解と思考の技法	演習	30	1			1						選			
Webデザイン		演習	15		2		2	選									
データサイエンスのための数学		講義	15	2			2	選									
プログラミング入門		演習	15		2		2	選									
AIへのアプローチ		実習	15		2		2										
データサイエンスへのアプローチ		実習	15		2		2										
データサイエンスPBL		実習	15		2		2										
産官学連携プロジェクト		実習	15	2			2										
キャリア実習	実習	30	1			1											
インターンシップ	実習	30			2	2											
留学生	日本語FⅠ	演習	30	1			1	外国人 学生 必修	外国人 学生 必修	外国人 学生 必修							
	日本語FⅡ	演習	30	1			1										
	日本語SⅠ	演習	30		1		1										
	日本語SⅡ	演習	30		1		1										
	日本事情Ⅰ	演習	30	1			1										
	日本事情Ⅱ	演習	30	1			1										
専門基礎科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	●教育原理	講義	15	2			2	必修	必修	必修			必	必	必	
		●子どもの理解と援助	演習	15	2			2						必	必		
		●教育の制度・運営	講義	15		2		2						必	必	必	
		●人権教育	講義	15			2	2							必	必	
		●仏教教育論	講義	15			2	2									
		●音楽Ⅰ	演習	30	1			1	選択	選択	選択			必	必	必	
		国語(書写を含む)	講義	15	2			2									
		算数	講義	15	2			2									
		生活	講義	15		2		2									
		音楽Ⅱ	演習	30	1			1									
音楽Ⅲ	演習	30		1		1											

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位の 当りの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校 教育 コース	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(幼 一 種 園)	(小 学 校)
専攻科目 教育・保育の基礎 理論及び基礎科目	● ●	図 画 工 作 I	演習	30		1			1	必修	必修	必修		必	必	必
		体 育 I	実習	30		1			1					必	必	必
		保 育 者 論	講義	15		2			2	選択				必	選必*2	
		保 育 内 容 総 論	演習	15	2				2	必修				必	必	
		保 育 の 計 画 と 評 価	講義	15	2				2	選択				必	選必*3	
		保 育 の 心 理 学	講義	15	2				2	必修				必	選必*1	
		保 育 方 法 論	講義	15			2		2	選択				選必	選必*4	
		子ども家庭支援の心理学	講義	15		2		2	必		選必*5					
		保 育 内 容 研 究	演習	15				2	2	必修				選	選	
		健 康	講義	15	2			2	必		必					
		人 間 関 係	講義	15	2			2	必	必						
		言 業	講義	15	2			2	必	必						
		環 境	講義	15	2			2	必	必						
		表 現	講義	15		2		2	必	必						
		保 育 内 容 (健 康)	演習	30	1			1	1	必修				必	必	
		保 育 内 容 (人 間 関 係)	演習	30	1			1	1		必	必				
		保 育 内 容 (言 葉)	演習	30		1		1	1	選択				必	必	
		保 育 内 容 (環 境)	演習	30		1		1	1		選	選				
		保 育 内 容 (総 合 表 現 I)	演習	30		1		1	1	必修				必	必	
		保 育 内 容 (総 合 表 現 II)	演習	30			1		1		選	選				
		保 育 内 容 (総 合 表 現 III)	演習	30				1	1	必修				必	必	
		体 育 II (幼 児)	演習	30		1		1	1		選	選				
		音 楽 IV	演習	30		1		1	1	必修				必	必	選
		音 楽 V	演習	30			1		1		選必	選	選			
		音 楽 VI	演習	30				1	1	必修				選必	選	選
		音 楽 VII	演習	30				1	1		選必	選	選			
		保 育 原 理	講義	15	2			2	必	必						
		子 ども 家 庭 福 祉	講義	15	2			2	必	必						
		社 会 福 祉	講義	15	2			2	必	必						
		子 育 て 支 援	演習	30		1		1	必	必						
		社 会 的 養 護 I	講義	15		2		2	必	必						
		子 ども の 保 健	講義	15		2		2	必	必						
		子 ども の 健 康 と 安 全	演習	30			1		1	必	必					
子 ども の 食 と 栄 養	演習	15		2		2	必	必								
子 ども 家 庭 支 援 論	講義	15			2		2	必	必							
乳 児 保 育 I	講義	15	2			2	必	必								
乳 児 保 育 II	演習	30	1			1	1	必	必							
障 害 児 保 育 ・ 特 別 支 援 教 育	演習	15		2		2	必	必								

IIカリキュラム
こども教育学部
2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 コース	必・選 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年							保育士	(一 種 園)	(一 種 校)
専 門 発 展 科 目	幼児教育・保育関連科目	社会的養護Ⅱ	演習	30		1		1	選択	選択	選択			必			
		レクリエーション指導法	演習	30			1	1						選必			
		道徳	講義	15		2		2						選必			
		多文化理解	講義	15			2	2									
	初等教育関連科目	教職論	講義	15	2			2	選択	必修	選択			選必*2	必		
		教育心理学	講義	15		2		2						選必*1	必		
		道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15		2		2							必		
		特別活動指導論(初等)	講義	15		2		2							必		
		生徒指導論(初等)	講義	15		2		2							必		
		教育方法論(初等)(ICT活用を含む)	講義	15		2		2						選必*4	必		
		教育課程論(初等)	講義	15		2		2						選必*3	必		
		教育相談(初等)	講義	15		2		2						選必*5	必		
		国語科指導法	講義	15		2		2							必		
		社会科指導法	講義	15		2		2							必		
		算数科指導法	講義	15		2		2							必		
		理科指導法	講義	15		2		2							必		
		生活科指導法	講義	15		2		2							必		
		音楽科指導法	講義	15		2		2							必		
		図工科指導法	講義	15		2		2							必		
		家庭科指導法	講義	15		2		2							必		
		体育科指導法	講義	15		2		2							必		
		英語科指導法	講義	15		2		2							必		
		理科	講義	15	2			2							必		
		社会	講義	15	2			2							必		
		家庭	講義	15		2		2							必		
		英語	講義	15		2		2							必		
		図画工作Ⅱ	演習	30		1		1						選択	選必	選	選
		体育Ⅱ(児童)	演習	30		1		1									選
		第二言語習得論	講義	15		2		2									
		英語の発音	演習	30		1		1									
		特別支援教育	講義	15		2		2									必
	総合的な学習の指導法	講義	15		2		2			必							
研究	●基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1	必修	必修	必修							
	●基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1										
	プレゼミ	演習	30		1		1	選択	選択	選択							
	●専門ゼミ	演習	30		1		1	必修	必修	必修							
	●卒研ゼミⅠ	演習	30			1	1										
	●卒研ゼミⅡ	演習	30			1	1										
●卒業研究	演習	-			2	2											

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格					
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(幼 一 種 園)	(小 学 校)			
専門科目 専門発展科目 実習		保 育 基 礎 演 習	演習	15		2			2	選択	選択	選択							
		学 校 教 育 基 礎 演 習	演習	30		1			1										
		教育実習事前・事後指導(幼稚園)	演習	30			1		1							必			
		教育実習事前・事後指導(小学校)	演習	30			1		1								必		
	○	幼 稚 園 教 育 実 習	実習	40			4		4								必		
	○	小 学 校 教 育 実 習 I	実習	40			2		2									必	
	○	小 学 校 教 育 実 習 II	実習	40			2		2									必	
		教 職 ・ 保 育 実 践 演 習	演習	15				2	2								必	必	必
		保 育 実 習 指 導 I	演習	15		2			2								必		
		保 育 実 習 指 導 II	演習	30			1		1								選必		
		保 育 実 習 指 導 III	演習	30			1		1								選必		
	○	保 育 実 習 I (保 育 所)	実習	40		2			2								必		
	○	保 育 実 習 I (施 設)	実習	40		2			2								必		
	○	保 育 実 習 II	実習	40			2		2								選必		
○	保 育 実 習 III	実習	40			2		2					選必						
自由科目		こ だ も と 絵 本 I	講義	15			2		2	自由	自由	自由							
		こ だ も と 絵 本 II	講義	15			2		2										

- * 1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
- * 2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
- * 3…「保育の計画と評価」または「教育課程論(初等)」から2単位以上修得
- * 4…「保育方法論」または「教育方法論(初等)(ICT活用を含む)」から2単位以上修得
- * 5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談(初等)」から2単位以上修得
- * 6…「スポーツ実技I」または「スポーツ実技II」から1単位以上修得

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目については、必修科目10単位、選択科目12単位以上(選択必修科目4単位を含む)と合わせて計22単位以上修得すること。

専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修科目の登録の上限：48単位(年間)＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非専卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。

資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

こども教育学部 こども教育学科

(2023年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保育士	(幼稚園)	(小学校)
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修	必修	必修		必			
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2					必			
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1					必			
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1					必			
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1					必			
		● データサイエンス入門	演習	30	1			1					必	必	必	
		● 伝統文化	演習	30		1		1					必			
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	選択	選択	選択		必	必	必	
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1			1					必	必	必	
		English in Use A	演習	30	1			1								
		English in Use B	演習	30	1			1								
		English in Use C	演習	30	1			1								
		English in Use D	演習	30	1			1								
		English in Use E	演習	30	1			1								
		English in Use F	演習	30	1			1								
		医療英語	演習	30	1			1								
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1								
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1								
		ハンゲルⅠ	演習	30	1			1								
		ハンゲルⅡ	演習	30	1			1								
	海外での語学研修	実習	30	2			2									
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2					必	必	必	
		食生活と健康	講義	15	2			2								
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2								
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1					選必*6	必	必	
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1					選必*6			
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1								
マインドフルネス		実習	30	1			1									
教養囲碁入門		実習	30	1			1									
人文・社会・自然 I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選				
	くらしのなかの宗教	講義	15	2			2					選				
	仏教文化	講義	15	2			2					選				
	文化人類学	講義	15	2			2					選				
	言語と文学	講義	15	2			2					選				
	日本文化の理解	講義	15	2			2					選				
	京都の歴史と文化	講義	15	2			2					選				
	芸術文化論	講義	15	2			2					選				
	サブカルチャー論	講義	15	2			2					選				

IIカリキュラム
こども教育学部
2023

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位の 当りの 授業 時間数	単位数				単位計	必 ・ 選	コース別 幼 児 教 育 コ ー ス	必・選 学 校 教 育 コ ー ス	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(幼 稚 園 一 種 園)	(小 学 校 一 種 校)
I群	人文・社会・自然	現代アジア事情	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		現代欧米事情	講義	15	2			2					選			
		国際社会の理解	講義	15	2			2					選			
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2					選			
	II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		社会学	講義	15	2			2					選			
		日本国憲法	講義	15	2			2					選	必	必	
		現代社会と法	講義	15	2			2					選			
		現代社会と政治	講義	15	2			2					選			
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2					選			
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2					選			
		情報社会の理解	講義	15	2			2					選			
		生命の科学	講義	15	2			2					選			
		生活と物理・化学	講義	15	2			2					選			
		地域と環境	講義	15	2			2					選			
生活と防災	講義	15	2			2	選									
ボランティア論	講義	15	2			2	選									
キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択	選択	選択		選	必	必		
	情報技術の理解	講義	15	2			2					選				
	数的処理の基礎	演習	30	1			1					選				
	読解と思考の技法	演習	30	1			1					選				
	Webデザイン	演習	15		2		2					選				
	産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2					選				
	キャリア実習	実習	30	1			1									
データサイエンス・AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択	選択	選択		選				
	プログラミング入門	演習	15	2			2					選				
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2					選				
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2					選				
	データサイエンスPBL	演習	15		2		2					選				
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人 留学生 必修	外国人 留学生 必修	外国人 留学生 必修						
	日本語 F II	演習	30	1			1									
	日本語 S I	演習	30		1		1									
	日本語 S II	演習	30		1		1									
	日本事情 I	演習	30	1			1									
	日本事情 II	演習	30	1			1									
専門科目	警備員の職務及び基礎科目 専門基礎科目	教育原理	講義	15	2			2	必修	必修	必修		必	必	必	
		子どもの理解と援助	演習	15	2			2					必	必		
		教育行政学	講義	15			2	2					必	必	必	
		人権教育	講義	15				2					2		必	必

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位の授業時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年						保育士	(一)幼稚園	(一)小学校		
専門科目 専門発展科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目 専門基幹科目	● 仏教教育論	講義	15			2	2	必修	必修								
		● 音楽 I	演習	30	1			1			必修			必	必	必		
		国語(書写を含む)	講義	15	2			2				必修					必	
		算数	講義	15	2			2									必	
		生活	講義	15	2			2		選択	選択						必	
		音楽 II	演習	30	1			1				選択			必	必	必	
		音楽 III	演習	30	1			1							必	必	必	
		● 図画工作 I	演習	30	1			1		必修	必修	必修			必	必	必	
		● 体育 I	実習	30	1			1							必	必	必	
				保育者論	講義	15	2		2			選択				必	選必*2	
			保育内容総論	演習	15	2		2			必修				必	必		
			保育の計画と評価	講義	15	2		2			選択				必	選必*3		
			保育の心理学	講義	15	2		2			必修				必	選必*1		
			保育方法論	講義	15		2		2						選必	選必*4		
			子ども家庭支援の心理学	講義	15	2		2			選択				必	選必*5		
			保育内容研究	演習	15			2	2						選	選		
			健康	講義	15	2		2							必	必		
			人間関係	講義	15	2		2							必	必		
			言葉	講義	15	2		2							必	必		
			環境	講義	15	2		2							必	必		
			表現	講義	15	2		2							必	必		
			保育内容(健康)	演習	30	1		1			必修				必	必		
			保育内容(人間関係)	演習	30	1		1							必	必		
			保育内容(言葉)	演習	30	1		1							必	必		
			保育内容(環境)	演習	30	1		1		選択		選択			必	必		
			保育内容(総合表現Ⅰ)	演習	30	1		1							必	必		
			保育内容(総合表現Ⅱ)	演習	30		1	1							必	必		
		保育内容(総合表現Ⅲ)	演習	30			1	1						選	選			
		体育Ⅱ(幼児)	演習	30	1		1							必	選			
		音楽Ⅳ	演習	30	1		1							必	必	選		
		音楽Ⅴ	演習	30		1	1							選必	選	選		
		音楽Ⅵ	演習	30			1	1						選必	選	選		
		音楽Ⅶ	演習	30			1	1						選必	選	選		
		保育原理	講義	15	2		2			選択				必				
		子ども家庭福祉	講義	15	2		2							必				
		社会福祉	講義	15	2		2							必				
		子育て支援	演習	30	1		1							必				
		社会的養護Ⅰ	講義	15	2		2							必				
		子どもの保健	講義	15	2		2							必				
		子どもの健康と安全	演習	30		1	1							必				

区分	主要授業科目	学 科 目	授業形態	1単位の 当りの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格												
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(幼 稚 園 一 種)	(小 学 校 一 種)										
II カリキュラム こども教育学部 2023	幼児教育・保育関連科目	子どもの食と栄養	演習	15		2			2	選択	選択	選択		必												
		子ども家庭支援論	講義	15			2		2					必												
		乳児保育 I	講義	15	2				2					必												
		乳児保育 II	演習	30	1				1					必												
		障害児保育・特別支援教育	演習	15		2			2					必	必	必										
		社会的養護 II	演習	30			1		1					必												
		レクリエーション指導法	演習	30				1	1					選必												
		道 徳	講義	15			2		2					選必												
	初等教育関連科目	専門発展科目	多文化理解	講義	15			2	2		必修															
			教 職 論	講義	15	2				2						選必*2	必									
			教育心理学	講義	15		2			2						選必*1	必									
			道德教育の理論と指導法(初等)	講義	15			2		2							必									
			特別活動指導論(初等)	講義	15		2			2							必									
			生徒指導論(初等)	講義	15			2		2							必									
			教育方法論(初等)(ICT活用を含む)	講義	15		2			2						選必*4	必									
			教育課程論(初等)	講義	15		2			2						選必*3	必									
			教育相談(初等)	講義	15		2			2						選必*5	必									
			国 語 科 指 導 法	講義	15		2			2							必									
			社 会 科 指 導 法	講義	15		2			2							必									
			算 数 科 指 導 法	講義	15		2			2							必									
			理 科 指 導 法	講義	15		2			2							必									
			生 活 科 指 導 法	講義	15		2			2							必									
			音 楽 科 指 導 法	講義	15			2		2					選択	選択		必								
			図 工 科 指 導 法	講義	15			2		2								必								
			専門発展科目	家 庭 科 指 導 法	講義	15			2						2		必修						必			
				体 育 科 指 導 法	講義	15			2						2							必				
		英 語 科 指 導 法		講義	15			2		2			必													
		理 科		講義	15	2				2		選必		必												
		社 会		講義	15	2				2		選必		必												
		家 庭		講義	15		2			2				必												
		英 語		講義	15		2			2				必												
		図 画 工 作 II		演習	30			1		1				選必	選	選										
		体 育 II (児 童)		演習	30		1			1						選										
		第 二 言 語 習 得 論		講義	15			2		2		選択														
		英 語 の 発 音		演習	30		1			1																
		総 合 的 な 学 習 の 指 導 法		講義	15			2		2						必修										必
		● 基 礎 ゼ ミ I		演習	30	1				1	必修					必修					必修					
		● 基 礎 ゼ ミ II		演習	30	1				1																
		● プ レ ゼ ミ		演習	30		1			1	選択	選択	選択													
		● 専 門 ゼ ミ		演習	30			1		1	必修	必修	必修													

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	備 考	関連資格						
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(一 種 園)	(一 種 校)				
専門 科目 専門 発展 科目 実習	●	卒 研 ゼ ミ I	演習	30				1	1	必修	必修	必修								
	●	卒 研 ゼ ミ II	演習	30				1	1											
	●	卒 業 研 究	演習	-				2	2											
			保 育 基 礎 演 習	演習	15		2			2	選択	選択	選択							
			学 校 教 育 基 礎 演 習	演習	30		1			1										
			教育実習事前・事後指導(幼稚園)	演習	30			1		1								必		
			教育実習事前・事後指導(小学校)	演習	30			1		1									必	
	○		幼 稚 園 教 育 実 習	実習	40			4		4								必		
	○		小 学 校 教 育 実 習 I	実習	40			2		2									必	
	○		小 学 校 教 育 実 習 II	実習	40			2		2									必	
			教 職 ・ 保 育 実 践 演 習	演習	15				2	2								必	必	必
			保 育 実 習 指 導 I	演習	15		2			2								必		
			保 育 実 習 指 導 II	演習	30			1		1								選必		
			保 育 実 習 指 導 III	演習	30			1		1								選必		
	○		保 育 実 習 I (保 育 所)	実習	40		2			2								必		
	○		保 育 実 習 I (施 設)	実習	40		2			2								必		
	○		保 育 実 習 II	実習	40			2		2								選必		
	○		保 育 実 習 III	実習	40			2		2								選必		
自由 科目		こ だ も と 絵 本 I	講義	15			2		2	自由				自由	自由					
		こ だ も と 絵 本 II	講義	15			2		2											

- * 1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
- * 2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
- * 3…「保育の計画と評価」または「教育課程論(初等)」から2単位以上修得
- * 4…「保育方法論」または「教育方法論(初等)(ICT活用を含む)」から2単位以上修得
- * 5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談(初等)」から2単位以上修得
- * 6…「スポーツ実技I」または「スポーツ実技II」から1単位以上修得

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目については、必修科目11単位、選択科目11単位以上(選択必修科目4単位を含む)と合わせて計22単位以上修得すること。

専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。

リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修科目の登録の上限：48単位(年間)>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

<履修登録上限単位の緩和>

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

こども教育学部 こども教育学科
 (2024年度・2025年度入学生対象)

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース 初級教育 コース	備考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保育士	(幼 稚園 種)	(小 学 校 種)
共通コア科目	●	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修	必修	必修		必			
	●	仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2					必			
	●	京都光華の学び	演習	30	1			1					必			
	●	アカデミックスキル入門	演習	30	1			1					必			
	●	アカデミックライティング	演習	30	1			1					必			
	●	データサイエンス入門	演習	30	1			1					必	必	必	
	●	伝統文化	演習	30		1		1					必			
外国語コミュニケーション	●	総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	選択	選択	選択		必	必	必	
	●	総合英語Ⅱ	演習	30	1			1					必	必	必	
		English in Use A	演習	30	1			1								
		English in Use B	演習	30	1			1								
		English in Use C	演習	30	1			1								
		English in Use D	演習	30	1			1								
		English in Use E	演習	30	1			1								
		English in Use F	演習	30	1			1								
		医療英語	演習	30	1			1								
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1								
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1								
		ハンガールⅠ	演習	30	1			1								
		ハンガールⅡ	演習	30	1			1								
	海外での語学研修	実習	30		2		2									
リベラルアーツ教育科目		健康の科学	講義	15	2			2					必	必	必	
		食生活と健康	講義	15	2			2								
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2								
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1					選必*6	必	必	
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1			1					選必*6			
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1			1								
		マインドフルネス	実習	30	1			1								
I群		教養囲碁入門	実習	30	1			1								
		哲学と倫理	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		くらしのなかの宗教	講義	15	2			2					選			
		仏教文化	講義	15	2			2					選			
		文化人類学	講義	15	2			2					選			
		言語と文学	講義	15	2			2					選			
		日本文化の理解	講義	15	2			2					選			
		京都の歴史と文化	講義	15	2			2					選			
	芸術文化論	講義	15	2			2	選								
	サブカルチャー論	講義	15	2			2	選								

IIカリキュラム

こども教育学部
こども教育学科

2024・2025

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校 初等 教育 コース または	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保 育 士	(幼 稚 園)	(小 学 校)
リベラルアーツ教育科目	I群	現代アジア事情	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		現代欧米事情	講義	15	2			2					選			
		国際社会の理解	講義	15	2			2					選			
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2					選			
	II群	心理学	講義	15	2			2	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位	選択 必修 2単位		選			
		社会学	講義	15	2			2					選			
		日本国憲法	講義	15	2			2					選	必	必	
		現代社会と法	講義	15	2			2					選			
		現代社会と政治	講義	15	2			2					選			
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2					選			
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2					選			
		情報社会の理解	講義	15	2			2					選			
		生命の科学	講義	15	2			2					選			
		生活と物理・化学	講義	15	2			2					選			
		地域と環境	講義	15	2			2					選			
		生活と防災	講義	15	2			2					選			
	ボランティア論	講義	15	2			2	選								
	キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択	選択	選択		選	必	必	
		情報技術の理解	講義	15	2			2					選			
		数的処理の基礎	演習	30	1			1					選			
読解と思考の技法		演習	30	1			1	選								
Webデザイン		演習	15		2		2	選								
産官学連携プロジェクト		演習	15	2			2	選								
キャリア実習		実習	30	1			1									
インターンシップ	実習	30			2	2										
AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択	選択	選択		選				
	プログラミング入門	演習	15	2			2					選				
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2					選				
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2					選				
	データサイエンスPBL	演習	15		2		2					選				
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国 人留 学生 必修	外国 人留 学生 必修	外国 人留 学生 必修						
	日本語 F II	演習	30	1			1									
	日本語 S I	演習	30		1		1									
	日本語 S II	演習	30		1		1									
	日本事情 I	演習	30	1			1									
	日本事情 II	演習	30	1			1									
専門基幹科目	警務基礎実務講習	● 教育原理	講義	15	2			2	必修	必修	必修		必	必	必	
	● 子どもの理解と援助	演習	15	2			2	必					必			
	● 教育行政学	講義	15			2	2	必					必	必		
	● 人権教育	講義	15				2	必					必	必		

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位の授業時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育または 初等教育コース	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年						保育士	(幼 稚園 一種)	(小 学 校 一種)	
専門基幹科目	● 教育・保育の基礎理論及び基礎科目	仏教教育論	講義	15				2	2	必修	必修	必修					
		音楽 I	演習	30	1				1				必修	必	必	必	
		国語（書写を含む。）	講義	15	2					2							必
		算数	講義	15	2					2							必
		生活	講義	15		2				2	選択		選択				必
		音楽 II	演習	30	1					1				選択	必	必	必
		音楽 III	演習	30		1				1					必	必	必
	● 図画工作 I	演習	30		1				1	必修	必修	必修	必	必	必		
	● 体育 I	実習	30		1				1				必	必	必		
	専門科目	幼児教育・保育関連科目 専門発展科目	保育者論	講義	15		2			2		選択	選択	必	選必*2		
			保育内容総論	演習	15	2				2		必修		必	必		
			保育の計画と評価	講義	15	2					2			選択	必	選必*3	
			保育の心理学	講義	15	2					2			必修	必	選必*1	
			保育方法論	講義	15			2			2				選必	選必*4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2				2			選択	必	選必*5	
			保育内容研究	演習	15				2		2				選	選	
			健康	講義	15	2					2				必	必	
			人間関係	講義	15	2					2				必	必	
			言葉	講義	15	2					2				必	必	
			環境	講義	15	2					2				必	必	
			表現	講義	15		2				2				必	必	
			保育内容（健康）	演習	30	1					1			必修	必	必	
			保育内容（人間関係）	演習	30	1					1				必	必	
			保育内容（言葉）	演習	30		1				1				必	必	
			保育内容（環境）	演習	30		1				1	選択		選択	必	必	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30		1				1				必	必	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30			1			1				必	必	
保育内容（総合表現Ⅲ）			演習	30				1		1				選	選		
体育Ⅱ（幼児）			演習	30		1				1				必	選		
音楽Ⅳ			演習	30		1				1				必	必	選	
音楽Ⅴ			演習	30			1			1				選必	選	選	
音楽Ⅵ			演習	30				1		1				選必	選	選	
音楽Ⅶ			演習	30				1		1				選必	選	選	
保育原理			講義	15	2					2		選択		必			
子ども家庭福祉			講義	15	2					2				必			
社会福祉			講義	15	2					2				必			
子育て支援	演習	30		1				1			必						
社会的養護Ⅰ	講義	15		2				2			必						
子どもの保健	講義	15		2				2			必						
子どもの健康と安全	演習	30			1			1			必						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位 当たりの 授業 時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校 教育 または 初等 教育 コース	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年						保育士	(一)幼稚園	(一)小学校
専門発展科目 初等教育関連科目	幼児教育・保育関連科目	子どもの食と栄養	演習	15		2		2	選択	選択	選択		必			
		子ども家庭支援論	講義	15			2	2					必			
		乳児保育Ⅰ	講義	15	2			2					必			
		乳児保育Ⅱ	演習	30	1			1					必			
		障害児保育・特別支援教育	演習	15		2		2					必	必	必	
		社会的養護Ⅱ	演習	30			1	1					必			
		レクリエーション指導法	演習	30				1					選必			
		道徳	講義	15			2	2					選必			
	多文化理解	講義	15				2									
	教職論	講義	15	2			2	必修	必修			選必*2		必		
	教育心理学	講義	15		2		2					選必*1		必		
	道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15			2	2							必		
	特別活動指導論(初等)	講義	15		2		2							必		
	生徒指導論(初等)	講義	15			2	2							必		
	教育方法論(初等)(ICT活用を含む)	講義	15		2		2					選必*4		必		
	教育課程論(初等)	講義	15		2		2					選必*3		必		
	教育相談(初等)	講義	15		2		2					選必*5		必		
	国語科指導法	講義	15		2		2							必		
	社会科指導法	講義	15		2		2							必		
	算数科指導法	講義	15		2		2							必		
	理科指導法	講義	15		2		2							必		
	生活科指導法	講義	15		2		2							必		
	音楽科指導法	講義	15			2	2					選択	選択		必	
	図工科指導法	講義	15			2	2							必		
	家庭科指導法	講義	15			2	2							必		
	体育科指導法	講義	15			2	2							必		
	英語科指導法	講義	15			2	2							必		
	理科	講義	15	2			2							選必	必	
社会	講義	15	2			2							選必	必		
家庭	講義	15		2		2				必						
英語	講義	15		2		2				必						
図画工作Ⅱ	演習	30			1	1			選必	選	選					
体育Ⅱ(児童)	演習	30		1		1					選					
第二言語習得論	講義	15			2	2										
英語の発音	演習	30		1		1										
総合的な学習の指導法	講義	15			2	2				必修			必			
研究	●基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1	必修	必修	必修						
	●基礎ゼミⅡ	演習	30	1			1									
	●プレゼミ	演習	30		1		1	選択	選択	選択						
	●専門ゼミ	演習	30			1	1	必修	必修	必修						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選	コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育または 初等教育コース	備考	関連資格				
					1年	2年	3年	4年						保育士	(幼稚園)	(小学校)		
専門科目	研究	● 卒 研 ゼ ミ I	演習	30				1	1	必修	必修	必修						
		● 卒 研 ゼ ミ II	演習	30				1	1									
		● 卒 業 研 究	演習	-				2	2									
	実習		保 育 基 礎 演 習	演習	15		2			2	選択	選択	選択					
			学 校 教 育 基 礎 演 習	演習	30		1			1								
			教 育 実 習 事 前 ・ 事 後 指 導 (幼 ・ 小)	演習	30			1		1						必	必	
		○	教 育 実 習 (幼 ・ 小)	実習	40			4		4						必	必	
			教 職 ・ 保 育 実 践 演 習	演習	15				2	2						必	必	必
			保 育 実 習 指 導 I	演習	15		2			2						必		
			保 育 実 習 指 導 II	演習	30			1		1						選必		
			保 育 実 習 指 導 III	演習	30			1		1						選必		
		○	保 育 実 習 I (保 育 所)	実習	40		2			2						必		
		○	保 育 実 習 I (施 設)	実習	40		2			2						必		
		○	保 育 実 習 II	実習	40			2		2						選必		
○	保 育 実 習 III	実習	40			2		2			選必							
自由科目		こ だ も と 絵 本 I	講義	15			2		2	自由	自由	自由						
		こ だ も と 絵 本 II	講義	15			2		2									

- * 1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
- * 2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
- * 3…「保育の計画と評価」または「教育課程論(初等)」から2単位以上修得
- * 4…「保育方法論」または「教育方法論(初等)(ICT活用を含む)」から2単位以上修得
- * 5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談(初等)」から2単位以上修得
- * 6…「スポーツ実技I」または「スポーツ実技II」から1単位以上修得

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目については、必修科目11単位、選択科目11単位以上(選択必修科目4単位を含む)と合わせて計22単位以上修得すること。
 専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。
 リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
 ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
 その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修科目の登録の上限：48単位(年間)>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

<履修登録上限単位の緩和>

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
 履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
 資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

こども教育学科の実習の履修について

(1) 取得できる免許・資格の種類

こども教育学科では以下の免許・資格が取得できるが、そのためにはそれぞれの免許・資格に関わる実習を履修しなければならない。なお、各コースとも、免許・資格の取得は卒業要件ではない。

> 学校教育または初等教育コースで取得を目的とする免許・資格：小学校教諭1種免許状および幼稚園教諭1種免許状

※ただし、希望者は一定の条件を満たせば保育士資格も取得することができる。

> 幼児教育コースで取得を目的とする免許・資格：幼稚園教諭1種免許状および保育士資格

※ただし、希望者は一定の条件を満たせば小学校教諭1種免許状も取得することができる。

(2) 実習期間について

年次	コース	取得免許・資格	前期	夏期休業	後期	春期休業
2年次	学校教育または初等教育	小・幼		介護等体験 (社会福祉施設) 5日間	介護等体験 (特別支援学校) 2日間	
		小・幼・保				
	幼児教育	幼・保			保育実習Ⅰ (保育所) 10～11月(2週間)	保育実習Ⅰ (施設) 1～3月(10日間)
		幼・保・小				
3年次	学校教育または初等教育	小・幼		小学校教育実習 Ⅰ・Ⅱ 9月(4週間) *1	保育実習Ⅰ(保育所) 10～11月(2週間)	保育実習Ⅰ(施設) 1～3月(10日間)
		小・幼・保				
	幼児教育	幼・保		幼稚園教育実習 9月(4週間) *1	保育実習ⅡまたはⅢ 11～12月(2週間)	介護等体験 (社会福祉施設) 5日間
		幼・保・小	介護等体験 (特別支援学校) 2日間			
4年次	学校教育または初等教育	小・幼			保育実習ⅡまたはⅢ 11～12月(2週間)	
		小・幼・保				
	幼児教育	幼・保				
		幼・保・小				

*1…2024年度以降入学生は「教育実習(幼・小)」となる

(3) 実習の履修要件

各実習を履修するためには、以下の要件（科目についての要件のみ記載）を満たしていなければならない。

< 2022 年度入学生 >

実習科目名	配当 年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
幼稚園教育実習	3 年次	教育実習事前・事後指導（幼稚園） （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育基礎演習 教育原理 子どもの理解と援助 保育の心理学 保育の計画と評価 健康 人間関係 言葉 環境 保育内容総論
		保育者論* 表現* 保育内容（総合表現Ⅱ） （*実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 体育Ⅱ（幼児）
小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ	3 年次	教育実習事前・事後指導（小学校） （実習を履修する年度に開講されるもの）	国語（書写を含む。） 社会 算数 理科 生活 音楽Ⅰ 図画工作Ⅰ 家庭 体育Ⅰ 英語 教職論 教育原理 特別活動指導論（初等） 教育方法論（初等）または教育方法論（初等）（ICT 活用を含む） 教育相談（初等）
		国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 英語科指導法 教育心理学 教育課程論（初等） 特別支援教育 道徳教育の理論と指導法（初等） 生徒指導論（初等）	うち 3 科目以上 うち 2 科目以上 うち 6 科目以上

実習科目名	配当 年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設）	2年次	保育実習指導Ⅰ （実習を履修する年度に開講されるもの） 保育者論 子どもの理解と援助* 保育の計画と評価* 健康* 人間関係* 言葉* 環境* 表現 （*実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育基礎演習 保育原理 保育の心理学 保育内容総論 社会福祉 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 障害児保育・特別支援教育 子どもの保健 } うち2科目以上
保育実習Ⅱ または 保育実習Ⅲ	3年次	保育実習指導Ⅱ または 保育実習指導Ⅲ （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子ども家庭福祉 子育て支援 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 保育内容（総合表現Ⅱ） 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ } うち3科目以上

< 2023年度以降入学生 >

実習科目名	配当 年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
幼稚園教育実習*1 教育実習（幼・小）*2	3年次	教育実習事前・事後指導（幼稚園）*1 教育実習事前・事後指導（幼・小）*2 （実習を履修する年度に開講されるもの） 保育者論* 表現* 保育内容（総合表現Ⅱ） （*実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育基礎演習 教育原理 子どもの理解と援助 保育の心理学 保育の計画と評価 健康 人間関係 言葉 環境 保育内容総論 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 体育Ⅱ（幼児） } うち3科目以上 } うち2科目以上

* 1…2023年度入学生に適用。
* 2…2024年度以降入学生のうち、幼稚園での実習を選択する場合に適用。

実習科目名	配当 年次	履修要件		
		履修科目	修得科目	
小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ ＊1 教育実習（幼・小）＊2	3年次	教育実習事前・事後指導（小学校）＊1 教育実習事前・事後指導（幼・小）＊2 （実習を履修する年度に開講されるもの） 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 英語科指導法 教育心理学 教育課程論（初等） 道徳教育の理論と指導法（初等） 生徒指導論（初等）	国語（書写を含む。） 社会 算数 理科 生活 音楽Ⅰ 図画工作Ⅰ 家庭 体育Ⅰ 英語 教職論 教育原理 特別活動指導論（初等） 教育方法論（初等）（ICT活用を含む） 教育相談（初等）	うち6科目以上
保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設）	2年次	保育実習指導Ⅰ （実習を履修する年度に開講されるもの） 保育者論 子どもの理解と援助＊ 保育の計画と評価＊ 健康＊ 人間関係＊ 言葉＊ 環境＊ 表現 （＊実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育基礎演習 保育原理 保育の心理学 保育内容総論 社会福祉 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 障害児保育・特別支援教育 子どもの保健	うち2科目以上
保育実習Ⅱ または 保育実習Ⅲ	3年次	保育実習指導Ⅱ または 保育実習指導Ⅲ （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子ども家庭福祉 子育て支援 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 保育内容（総合表現Ⅱ） 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ	うち3科目以上

* 1…2023年度入学生に適用。

* 2…2024年度以降入学生のうち、小学校での実習を選択する場合に適用。

※各免許・資格取得に関し、法令で定められている履修科目の詳細は、「履修のてびき」の下記の各頁に示されているので各自で確認すること。

幼稚園教諭1種免許状… 172頁 小学校教諭1種免許状… 177頁 保育士資格… 234頁

※実習の履修については、各実習ごとに定められているすべての履修要件を満たしていなければ履修できない。実習の参加の可否は学科会議にて決定される。「履修のてびき」等で定められている各種手続きも履

修要件となるので滞りなく行うこと。

(4) 実習の評価について

実習に関する評価については、各「実習の手引き」に定められている。

(5) 警報発令の場合の実習実施について

自宅周辺地域、通勤経路、実習機関周辺地域に特別警報（種類を問わない）または暴風警報が発令された場合、基本的には自宅待機とする。解除された場合の実習再開については、実習先の指示を仰ぎ、再開の有無を教職・保育職支援センターに連絡すること。

G. 人間健康学群

〈2022年度入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2			2	必修					
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2			2						
		● 京都光華の学び	演習	30	1			1			○			
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1			1			○			
		● アカデミックライティング	演習	30	1			1						
		● 伝統文化	演習	30		1		1						
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1			1	選択					
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1			1						
		英会話Ⅰ	演習	30	1			1						
		英会話Ⅱ	演習	30	1			1						
		英語文献を読むⅠ	演習	30	1			1						
		英語文献を読むⅡ	演習	30	1			1						
		医療英語	演習	30	1			1						
		中国語Ⅰ	演習	30	1			1						
		中国語Ⅱ	演習	30	1			1						
		ハンガールⅠ	演習	30	1			1						
	ハンガールⅡ	演習	30	1			1							
	海外での語学研修	実習	30		2		2							
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2			2	必修					
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1			1						
スポーツ実技Ⅱ		実習	30	1			1							
人文・社会・自然	I群	哲学と倫理	講義	15	2			2	選択必修 2単位					
		仏教文化	講義	15	2			2						
		文化人類学	講義	15	2			2						
		言語と文学	講義	15	2			2						
		日本文化の理解	講義	15	2			2						
		京都の歴史と文化	講義	15	2			2						
		芸術文化論	講義	15	2			2						
		サブカルチャー論	講義	15	2			2						
		現代アジア事情	講義	15	2			2						
		現代欧米事情	講義	15	2			2						
	国際社会の理解	講義	15	2			2			○				
	国際社会とジェンダー	講義	15	2			2							
II群	心理学	講義	15	2			2	選択必修 2単位						
	社会学	講義	15	2			2							
	日本国憲法	講義	15	2			2							
	現代社会と政治	講義	15	2			2							

IIカリキュラム

人間健康学群

2022

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数				単位計	必・選・自	備考	関連資格		
				1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然 II群	くらしのなかの経済学	講義	15	2			2	選択必修 2単位				
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2					
		生命の科学	講義	15	2			2					
		生活と物理・化学	講義	15	2			2					
		地域と環境	講義	15	2			2					
		生活と防災	講義	15	2			2					
		ボランティア論	講義	15	2			2					
	キャリアデザイン	情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択		○	
		情報リテラシー応用	演習	30	1				1			○	
		数的処理の基礎	演習	30	1				1				
		日本語表現の技法	演習	30	1				1				
		読解と思考の技法	演習	30	1				1				
		Webデザイン	演習	15		2			2				
		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2				
		プログラミング入門	演習	15		2			2				
		AIへのアプローチ	講義	15		2			2				
		データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2				
		データサイエンスPBL	演習	15		2			2				
		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2				
		キャリア実習	実習	30	1				1				
	インターンシップ	実習	30			2		2				○	
	留学生	日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修			
		日本語FⅡ	演習	30	1				1				
		日本語SⅠ	演習	30		1			1				
		日本語SⅡ	演習	30		1			1				
		日本事情Ⅰ	演習	30	1				1				
		日本事情Ⅱ	演習	30	1				1				
専門科目	専門基礎	●基礎ゼミⅠ	演習	30	1			1	必修		○		
		●基礎ゼミⅡ	演習	30		1		1			○		
		●健康管理論	講義	15	2			2					
		●仏教と社会福祉	講義	15		2		2					
		●心理学概論	講義	15	2			2					
		●食生活と健康	講義	15	2			2					
		●公衆衛生学	講義	15		2		2					
		情報社会の理解	講義	15	2			2	選択		○		
		情報技術の理解	講義	15	2			2			○		
		社会と統計	講義	15		2		2				○	
		専門職の連携(基礎)	講義	15	2			2					

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士	初級地域
福祉と政策	●	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15		2		2	必修					○	
	●	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15		2		2				○			
	●	社会的処方	講義	15			2	2				○			
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2		2	選択					○	
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2		2						○	
		社会保障論	講義	15			2	2							
		高齢者福祉	講義	15		2		2						○	
		子ども家庭支援論	講義	15			2	2							
	●	ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2		2	必修					○	
		地域公共政策	講義	15		2		2						○	
		社会政策	講義	15		2		2	選択					○	
		ソーシャルビジネス	講義	15		2		2						○	
		ソーシャル・ビジネス演習	演習	30			1	1						○	
	人と心理	●	社会心理学入門	講義	15		2		2		必修				
●		臨床心理学入門	講義	15		2		2							
●		発達心理学入門	講義	15		2		2							
		青年心理学	講義	15		2		2	選択						
		子どもと人間関係	演習	15			2	2							
		学習・言語心理学	講義	15			2	2							
		産業・組織心理学	講義	15			2	2							
		環境心理学	講義	15			2	2							
	子ども家庭支援の心理学	講義	15			2	2				○				
食べ物と栄養	●	生命科学の基礎	講義	15	2			2	必修						
	●	食品学Ⅰ	講義	15	2			2							
		食品学Ⅱ	講義	15		2		2	選択						
		食品衛生学	講義	15		2		2							
		食マーケティング論	講義	15			2	2	選択						
		基礎栄養学Ⅰ	講義	15		2		2			必修				
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2		2	選択						
		応用栄養学	講義	15			2	2			選択				
		公衆栄養学	講義	15			2	2	選択						
	子どもの食と栄養	講義	15			2	2	選択							
ゼミナール	●	専門演習Ⅰ	演習	30		1			1	必修		○			
	●	専門演習Ⅱ	演習	30		1		1	必修			○			
	●	卒業研究	演習	30			4	4		必修					
関連科目		女性と現代社会	講義	15			2	2	選択						
		女性とビジネス	講義	15			2	2		選択					
		女性と経済	講義	15			2	2	選択			○			
		女性のアントレプレナーシップ	演習	15			1	1		選択					
		労働と法規	講義	15			2	2	選択						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの 授業時間数	単位数				単 位 計	必 ・ 選 ・ 自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士 初級地域
専門科目	関連科目	労働社会学	講義	15			2	2	選択					
		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2			2	選択					
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2		2	選択					
		生活習慣病論	講義	15			2	2	選択					
		生涯スポーツ入門	講義	15	2			2	選択					
		生涯スポーツ実習	実習	30		1		1	選択					
		スポーツマネジメント論	講義	15			2	2	選択					
		社会調査法	講義	15			2	2	選択			○		
		社会調査実習Ⅰ	実習	30			1	1	選択			○		
		社会調査実習Ⅱ	実習	30			1	1	選択			○		
	データ解析入門	演習	30		1		1	選択			○			
	データ解析応用	演習	30		1		1	選択			○			
	コンピュータ活用C	演習	30			1	1	選択			○			
	教育原理	講義	15	2			2	選択						
	教育心理学	講義	15		2		2	選択						
	特別支援教育	講義	15		2		2	選択						
	教育の制度・運営	講義	15		2		2	選択						
	多文化理解	講義	15		2		2	選択						
	人権教育	講義	15		2		2	選択						
	生涯学習	講義	15			2	2	選択						
自由科目	メディカルクラークⅠ	講義	15			2	2	自由						
	メディカルクラークⅡ	講義	15			2	2	自由						
	メディカルクラーク応用	講義	15			1	1	自由						
	ドクターズクラークⅠ	講義	15			2	2	自由						
	ドクターズクラークⅡ	講義	15			2	2	自由						
	健康政策特別演習Ⅰ	演習	30		1		1	自由						
	健康政策特別演習Ⅱ	演習	30			1	1	自由						
	健康政策特別演習Ⅲ	演習	30			1	1	自由						
	健康政策特別演習Ⅳ	演習	30				1	1	自由					

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目：32単位以上（必修10単位、選択22単位以上）、専門科目96単位以上（必修38単位、選択58単位以上（選択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上）修得し、128単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効率的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

＜主要授業科目について＞

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

人間健康学群

〈2023年度以降入学生対象〉

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備 考	関連資格		
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	● 仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
		● 仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
		● 京都光華の学び	演習	30	1				1			◎		
		● アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			◎		
		● アカデミックライティング	演習	30	1				1					
		● データサイエンス入門	演習	30	1				1			◎		
		● 伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション	● 総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	選択				
		● 総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
		English in Use A	演習	30	1				1					
		English in Use B	演習	30	1				1					
		English in Use C	演習	30	1				1					
		English in Use D	演習	30	1				1					
		English in Use E	演習	30	1				1					
		English in Use F	演習	30	1				1					
		医療英語	演習	30	1				1					
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
	健康とスポーツ	ハンダールⅠ	演習	30	1				1					
		ハンダールⅡ	演習	30	1				1					
		海外での語学研修	実習	30		2			2					
		健康の科学	講義	15	2				2					
		食生活と健康	講義	15	2				2					
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1					
マインドフルネス		実習	30	1				1						
教養囲碁入門		実習	30	1				1						
哲学と倫理		講義	15	2				2	選択 必修 2単位					
くらしのなかの宗教		講義	15	2				2						
仏教文化		講義	15	2				2						
文化人類学		講義	15	2				2						
言語と文学		講義	15	2				2						
日本文化の理解	講義	15	2				2							
京都の歴史と文化	講義	15	2				2							
芸術文化論	講義	15	2				2							
サブカルチャー論	講義	15	2				2							

IIカリキュラム

人間健康学群

2023・2024・2025

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
				1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士	初級地域
				単位数										
人文・社会・自然	I群	現代アジア事情	講義	15	2			2	選択必修 2単位					
		現代欧米事情	講義	15	2			2						
		国際社会の理解	講義	15	2			2						○
		国際社会とジェンダー	講義	15	2			2						
	II群	心理学	講義	15	2			2	選択必修 2単位					
		社会学	講義	15	2			2						
		日本国憲法	講義	15	2			2						
		現代社会と法	講義	15	2			2						
		現代社会と政治	講義	15	2			2						
		くらしのなかの経済学	講義	15	2			2						
		くらしのなかの統計学	講義	15	2			2				○		
		情報社会の理解	講義	15	2			2				○		
		生命の科学	講義	15	2			2						
		生活と物理・化学	講義	15	2			2						
		地域と環境	講義	15	2			2						
生活と防災	講義	15	2			2								
ボランティア論	講義	15	2			2								
キャリアデザイン	情報リテラシー	演習	30	1			1	選択		◎				
	情報技術の理解	講義	15	2			2			◎				
	数的処理の基礎	演習	30	1			1							
	読解と思考の技法	演習	30	1			1							
	Webデザイン	演習	15		2		2							
	産官学連携プロジェクト	演習	15	2			2							
	キャリア実習	実習	30	1			1							
インターンシップ	実習	30			2	2					○			
AI	データサイエンスのための数学	講義	15	2			2	選択						
	プログラミング入門	演習	15	2			2							
	AIへのアプローチ	講義	15		2		2				○			
	データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2		2				○			
	データサイエンスPBL	演習	15		2		2			○				
留学生	日本語 F I	演習	30	1			1	外国人留学生必修	※2024年度以降入学生対象					
	日本語 F II	演習	30	1			1							
	日本語 S I	演習	30		1		1							
	日本語 S II	演習	30		1		1							
	日本事情 I	演習	30	1			1							
	日本事情 II	演習	30	1			1							
専門科目	専門基礎	●基礎ゼミ I	演習	30	1			1	必修	※2023年度以前入学生対象				
		●基礎ゼミ II	演習	30		1		1						
		●健康管理論	講義	15	2			2						
		●仏教と社会福祉	講義	15		2		2						

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士	初級地域
専門科目	専門基礎	●心の健康と社会福祉	講義	15		2			2	必修	※2024年度以降入学生対象				
		●心理学概論	講義	15	2				2						
		●食生活論	講義	15	2				2						
		●公衆衛生学	講義	15	2				2						
		●社会調査入門	講義	15	2				2					◎	
		●専門職の連携(基礎)	講義	15	2				2						
	福祉と政策	●社会福祉の原理と政策I	講義	15	2				2	必修				○	
		●社会福祉の原理と政策II	講義	15	2				2					○	
		●社会的処方	講義	15			2		2					○	
		●地域福祉と包括的支援体制I	講義	15		2			2	選択				○	
		●地域福祉と包括的支援体制II	講義	15		2			2					○	
		●社会保障論	講義	15			2		2						
		●高齢者福祉	講義	15		2			2					○	
		●子ども家庭支援論	講義	15			2		2	必修					
		●ソーシャル・マネジメント原論	講義	15	2				2					○	
		●地域公共政策	講義	15			2		2	選択				○	
	●社会と環境	講義	15		2			2					○		
	●ソーシャルビジネス	講義	15		2			2					○		
	●ソーシャル・ビジネス演習	演習	30			1		1			○		○		
	人と心理	●社会心理学入門	講義	15	2				2	必修					
●臨床心理学入門		講義	15	2				2							
●発達心理学入門		講義	15	2				2							
●青年心理学		講義	15		2			2	選択						
●子どもと人間関係		演習	15			2		2							
●学習・言語心理学		講義	15			2		2							
●産業・組織心理学		講義	15			2		2							
●環境心理学		講義	15			2		2							
●子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2				○				
食べ物と栄養	●生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修						
	●食品学I	講義	15	2				2							
	●食品学II	講義	15		2			2	選択						
	●食品衛生学	講義	15		2			2							
	●食マーケティング論	講義	15			2		2	必修						
	●基礎栄養学I	講義	15	2				2							
	●基礎栄養学II	講義	15		2			2	選択						
	●応用栄養学I	講義	15			2		2							
	●公衆栄養学	講義	15			2		2							
●子どもの食と栄養	演習	15			2		2								

区分	主要授業科目	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				単位計	必・選・自	備考	関連資格			
					1年	2年	3年	4年				情報処理士	社会調査士	公共政策士	初級地域
専門科目	ゼミナール	● 専 門 演 習 I	演習	30			1		1	必修		◎			
		● 専 門 演 習 II	演習	30			1		1			◎			
		● 卒 業 研 究	演習	30				4	4						
	関連科目		女 性 と 現 代 社 会	講義	15			2		2	選択				
			女 性 と メ デ ィ カ ル	講義	15			2		2					
			女 性 と 経 済	講義	15			2		2					
			女性のアントレプレナーシップ	講義	15			2		2					
			労 働 と 法 規	講義	15			2		2					
			労 働 社 会 学	講義	15			2		2					
			人体の構造と生理 I	講義	15	2				2					
			人体の構造と生理 II	講義	15		2			2					
			生 活 習 慣 病 論	講義	15			2		2					
			生 涯 ス ポ ー ツ 論	講義	15	2				2					
			生 涯 ス ポ ー ツ 実 習	実習	30			1		1					
			スポーツマネジメント論	講義	15			2		2					
			社 会 調 査 法	講義	15			2		2				◎	
			社 会 調 査 実 習 I	実習	30			1		1				◎	
			社 会 調 査 実 習 II	実習	30			1		1				◎	
			データサイエンス実践	演習	15		2			2				◎	
			データサイエンス発展	演習	15			2		2				◎	
			ビジネスデータ分析基礎	演習	15			2		2				◎	◎
			教 育 原 理	講義	15	2				2					
			教 育 心 理 学	講義	15			2		2					
		特 別 支 援 教 育	講義	15			2		2						
		教 育 の 制 度 ・ 運 営	講義	15			2		2						
		多 文 化 理 解	講義	15			2		2						
		人 権 教 育	講義	15			2		2						
		生 涯 学 習	講義	15			2		2						
	自由科目		メ ディ カ ル ク ラ ー ク I	講義	15			2		2	自由				
			メ ディ カ ル ク ラ ー ク II	講義	15			2		2					
		メ ディ カ ル ク ラ ー ク 応 用	講義	15			1		1						
		ド ク タ ー ズ ク ラ ー ク I	講義	15			2		2						
		ド ク タ ー ズ ク ラ ー ク II	講義	15			2		2						
		健 康 政 策 特 別 演 習 I	演習	30		1			1						
		健 康 政 策 特 別 演 習 II	演習	30			1		1						
		健 康 政 策 特 別 演 習 III	演習	30			1		1						
	健 康 政 策 特 別 演 習 IV	演習	30				1	1							

<卒業要件及び履修方法>

リベラルアーツ教育科目:32単位以上(必修11単位、選択21単位以上)、専門科目96単位以上(必修38単位、選択58単位以上(選

択科目は福祉と政策から8単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ6単位以上)修得し、128単位以上修得すること。
なお、他学部科目の修得単位は10単位までとする。

<履修登録単位の上限>

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目(自由科目)に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<履修登録上限単位の緩和>

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P.7を確認の上、履修登録期間中、修学支援センターにて所定の手続きを行うこと。

<関連資格について>

◎…必修科目、○…選択科目となる。取得希望の資格の該当ページをよく確認し、計画的に履修すること。

<主要授業科目について>

●：必修科目 ○：学科指定主要科目 を示す。

Ⅲ 認定制度

● 光華 EDUAL (Essential Data Utilization and AI Literacy) プログラム

本学では、各学部の専門知識に加え、データや AI を使いこなすための基礎的素養を持つ人材の育成を目指し、リテラシーレベルおよび応用基礎レベルの実践的な教育を実施している (* 1)。プログラム修了者には認定証 (PDF) を発行する。

(* 1) 文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル、応用基礎レベル) の認定を受けている。

A) リテラシーレベル (全学科対象)

下表の必修科目を修得した者に、リテラシーレベル (★、シルバー) を認定する。なお、選択科目の履修は認定要件としないが、あわせて履修することが望ましい。

【2022 年度入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	情報リテラシー応用	1	1
	京都光華の学び	1	1
	アカデミックスキル入門	1	1
	アカデミックライティング	1	1
選択	情報リテラシー基礎	1	1
	くらしのなかの統計学	1・2	2
	プログラミング入門	2・3	2

【2023 年度以降入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	データサイエンス入門	1	1
	京都光華の学び	1	1
	アカデミックスキル入門	1	1
	アカデミックライティング	1	1
選択	情報リテラシー	1	1
	くらしのなかの統計学	1・2	2
	プログラミング入門	1・2	2

B) 応用基礎レベル（全学科対象）

下表の必修5科目と選択必修1科目を修得した者に、応用基礎レベル（★★、ゴールド）を認定する。

【2022年度入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	情報リテラシー応用	1	1
	京都光華の学び	1	1
	データサイエンスへのアプローチ (または、2022年度以前「くらしのなかの統計学」)	2・3 (1・2)	2
	AIへのアプローチ (または、2022年度以前「情報技術の理解」)	2・3 (1・2)	2
	データサイエンスPBL (または、2022年度「産官学連携プロジェクトd」)	2・3 (1・2)	2
選択必修 (1科目)	データサイエンスのための数学 (または、2022年度以前「数的処理の基礎」)	1・2	2
	くらしのなかの統計学(2023年度以降)	1・2	2
	プログラミング入門	2・3	2

【2023年度以降入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	データサイエンス入門	1	1
	京都光華の学び	1	1
	データサイエンスへのアプローチ	2・3	2
	AIへのアプローチ	2・3	2
	データサイエンスPBL	2・3	2
選択必修 (1科目)	データサイエンスのための数学	1・2	2
	プログラミング入門	1・2	2
	くらしのなかの統計学	1・2	2

C) 応用基礎レベル（キャリア形成学部）

キャリア形成学部には、全学対象プログラム（B）に加えて、キャリア形成学部独自の応用基礎プログラムがある。認定要件は下記の通りである。

【2022年度入学生】

下表の必修4科目に加えて、選択必修3単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★、ゴールド）、選択必修7単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★★、ピンクゴールド）を認定する。

区分	科目名	単位数
必修	情報リテラシー応用※	1
	情報技術の理解（キャリア形成学科専門科目）	2
	コンピュータ活用C	1
	データ解析入門	1

選択必修 ★★：3単位以上 ★★★：7単位以上	数と社会	1
	コンピュータ活用A b (テキストマイニング)	1
	経営情報	2
	社会調査法	2
	社会調査実習 I	1
	社会調査実習 II	1
	データ解析応用	1
	数的処理の基礎※	1
	くらしのなかの統計学※	2
	プログラミング入門※	2

※印の科目は、リベラルアーツ教育科目

【2023年度以降入学生】

下表の必修5科目に加えて、選択必修3単位以上を修得した者に応用基礎レベル(★★、ゴールド)、選択必修7単位以上を修得した者に応用基礎レベル(★★★、ピンクゴールド)を認定する。

本プログラム	科目名	単位数
必修	データサイエンス入門※	1
	京都光華の学び※	1
	A Iへのアプローチ※	2
	ビジネスデータ分析基礎	2
	データサイエンス実践	2
選択必修 ★★：3単位以上 ★★★：7単位以上	経営学のための数学基礎	1
	テキストマイニング	2
	経営情報	2
	社会調査法	2
	社会調査実習 I	1
	社会調査実習 II	1
	データサイエンス発展	2
	ビジネスデータ分析応用	2
	データサイエンスのための数学※	2
	データサイエンスへのアプローチ※	2
	くらしのなかの統計学※	2
	プログラミング入門※	2

※印の科目は、リベラルアーツ教育科目

IV 資格の取得

1. 教育職員免許法

教員となるためには、教育職員免許状を取得しなければならない。

教職課程は、教育職員免許状の取得を希望して、教育の専門職たるにふさわしい学力と資質とを努めて身につけようとする者のために、教育職員免許法に基づく免許状取得に必要な単位が修得できるよう編成されている課程である。

教職課程を履修する者は、卒業所要単位のほかに、教職関連科目の単位を所定の基準に従って滞りなく修得していかなければならない。取得を希望する免許状の種類や数によっては、卒業所要単位に大幅に上乗せした単位数を取得する必要があることを、あらかじめ理解されたい。

また、免許状は教員としての資格要件に過ぎず、実際に教員として任用されるためには、各任命権者が実施する教員採用試験に合格せねばならない。近年、全体での競争倍率は低下傾向にあるものの、保健体育、養護教諭、栄養教諭については依然として採用者数が志願者数に比して極めて少ない状況である。加えて、若年人口の減少に伴い、中長期的には新規採用者数の減少が予想される。それ故、将来教員になることを強く希望する者は、免許状取得に向けてのみならず、採用試験に向けても、入学時より綿密な学習計画をたて、努力を積み重ねていくことが求められる。

こども教育学部以外の教職課程履修者の中には、卒業後すぐに教職に就くことを希望せず、将来の選択肢を増やすための資格の一つとして免許状の取得を希望する者もいることだろう。将来的な目標は入学後に変化することもあり、そのような動機による履修自体は必ずしも否定されるものではない。とはいえ、教職課程の履修が過重な負担となり、本業である学科での学びが疎かになることは絶対にあってはならないことである。優先すべきは、あくまでも各学科・専攻での学びである。

従って、教職課程の履修は、両立が可能であるかどうかを熟慮した上で、主体的に決定されたい。とりわけ、看護学科においては、1年次のGPAが基準を下回ると翌年度以降の教職課程の履修が認められないため、入学当初からの計画的な取り組みが必須である。

なお、小学校・中学校の普通免許状取得希望者は7日間の介護等体験が義務づけられ、免許状申請時に「介護等体験証明書」を提出しなければならない。

取得できる教育職員免許状の教科および種類

学部	学科・専攻	免許状の種類	ページ
こども教育学部	こども教育学科	幼稚園教諭一種免許状	172
		小学校教諭一種免許状	177
健康科学部	健康栄養学科 管理栄養士専攻	栄養教諭一種免許状	183
		栄養教諭二種免許状	186
	健康栄養学科 健康スポーツ栄養専攻	中学校・高等学校教諭一種免許状 (保健体育)	189
看護福祉リハビリテーション学部	看護学科※	養護教諭一種免許状	203

※ 2022・2023年度入学生は、健康科学部看護学科

教育職員免許状を取得するための基礎資格と必要単位数

〈2022年度以降入学生〉

免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数
		教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	51
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	59
中学校教諭一種免許状 (保健体育)	学士の学位を有すること	59
高等学校教諭一種免許状 (保健体育)	学士の学位を有すること	59
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること 管理栄養士受験資格を有すること 栄養士免許を受けていること	22
栄養教諭二種免許状	学士の学位を有すること 栄養士免許を受けていること	14
養護教諭一種免許状	学士の学位を有すること 看護師受験資格を有すること	56

こども教育学科

幼稚園教諭1種免許状（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目（2022～2023年度入学生対象）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目								共通開設免許種	備考			
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数						コース別必・選		
							1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理講義	講義	15	必	2					必	必	小	いずれか1科目選択必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論講義	講義	15	選必	2					選	必		
	保育者論講義		講義	15	選必	2					選	選			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学講義	講義	15	必			2			必	必	小 養護栄一栄二中(保) 高(保)	2022年度入学生対象「教育の制度・運営」
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学講義	講義	15	選必	2					必	選	小	いずれか1科目選択必修
	教育心理学講義		講義	15	選必	2					選	必			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育演習	演習	15	必	2					選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育の計画と評価講義	講義	15	選必	2					選	選	小	いずれか1科目選択必修
教育課程論（初等）講義	講義	15	選必	2					選	必					
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論講義	講義	15	選必			2			選	選	小	いずれか1科目選択必修
	教育方法論（初等）（ICT活用を含む）講義		講義	15	選必	2				選	必				
	幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と援助演習	演習	15	必	2					必	必			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	子ども家庭支援の心理学講義	講義	15	選必	2					選	選	小	いずれか1科目選択必修	
教育相談（初等）講義	講義	15	選必	2					選	必					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（幼稚園）演習	演習	30	必			1			選	選	小	
			幼稚園教育実習実習	実習	40	必			4			選	選		
	学校体験活動														
教職実践演習	2	教職・保育実践演習演習	演習	15	必				2		選	選	小		

1. 教育の基礎的理解に関する科目〈2024年度以降入学生対象〉

施行規則に定める 科目区分等			左記に対応する開設授業科目								共通 開設 免許 許 種	備 考				
科目	各科目に含めること が必要な事項	最低 単 位 数	授 業 科 目	授 業 形 態	1 単 位 当 た り 授 業 時 間 数	教 免 必 ・ 選	単 位 数						コ ー ス 別 必 ・ 選	初 等 学 校 教 育 ま た は 学 校 教 育 コ ー ス		
							1 年	2 年	3 年	4 年						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理講義	講義	15	必	2					必	必	小	いずれか1科目 選択必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論講義	講義	15	選必	2					選	必			
	保育者論講義		講義	15	選必	2					選	選				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行政学講義	講義	15	必			2			必	必	小 養護 栄二 中(保) 高(保)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			保育の心理学講義	講義	15	選必	2					必	選	小 養護 栄二 中(保) 高(保)	いずれか1科目 選択必修
			教育心理学講義	講義	15	選必	2					選	必			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			障害児保育・特別支援教育演習	演習	15	必	2					選	選	小	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		保育の計画と評価講義	講義	15	選必	2					選	選	小	いずれか1科目 選択必修		
	教育課程論(初等)講義	講義	15	選必	2					選	必					
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	保育方法論講義	講義	15	選必			2			選	選	小	いずれか1科目 選択必修	
	教育方法論(初等)(ICT活用を含む)講義		講義	15	選必	2					選	必				
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助演習	演習	15	必	2					必	必			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子ども家庭支援の心理学講義	講義	15	選必	2					選	選	小	いずれか1科目 選択必修	
		教育相談(初等)講義	講義	15	選必	2					選	必				
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(幼・小)演習	演習	30	必			1			選	選	小		
			教育実習(幼・小)実習	実習	40	必			4				選	選	小	
	学校体験活動															
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習演習	演習	15	必				2		選	選	小		

IV
資格の取得

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目〈2022年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目										備 考	
科目区分	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数				コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育または 初等教育コース		
						1年	2年	3年	4年				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康講義	講義	15	必	2					必	選	
		人間関係講義	講義	15	必	2					必	選	
		言葉講義	講義	15	必	2					必	選	
		環境講義	講義	15	必	2					必	選	
		表現講義	講義	15	必		2				必	選	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	演習	15	必	2					必	選	
		保育内容（健康）	演習	30	必	1					必	選	
		保育内容（人間関係）	演習	30	必	1					必	選	
		保育内容（言葉）	演習	30	必		1				必	選	
		保育内容（環境）	演習	30	必		1				必	選	
		保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30	必		1				必	選	
		保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30	必			1			必	選	
		保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30	選				1		選	選	
		保育内容研究	演習	15	選					2	選	選	

3. 大学が独自に設定する科目（2022年度以降入学生対象）

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目										備考	
	科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数				コース別 幼児教育 コース		必・選 学校教育 コース または 初等教育 コース
						1年	2年	3年	4年			
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15	必					2	必	必	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」について、併せて6単位以上修得
	音楽 I	演習	30	必	1					必	必	
	音楽 II	演習	30	必	1					選	選	
	音楽 III	演習	30	必		1				選	選	
	音楽 IV	演習	30	必		1				選	選	
	音楽 V	演習	30	選			1			選	選	
	音楽 VI	演習	30	選				1		選	選	
	音楽 VII	演習	30	選				1		選	選	
	図画工作 I	演習	30	必		1				必	必	
	図画工作 II	演習	30	選			1			選	選	
	体育 I	実習	30	必		1				必	必	
	体育 II（幼児）	演習	30	選		1				選	選	

4. 文部科学省令に定める科目
 (2022年度入学生対象)

免許法施行規則の 科目	最低 単位数	本学開講科目	授業 形態	1単 位 当 た り の 授 業 時 間 数	教 免 必 ・ 選	単位数				コース別 必・選		備 考
						1 年	2 年	3 年	4 年	幼 児 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 コ ー ス	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健 康 の 科 学	講義	15	必	2				選	選	
		ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	演習	30	必	1				必	必	
		総 合 英 語 II	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	情報機器の 操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

(2023年度以降入学生対象)

免許法施行規則の 科目	最低 単位数	本学開講科目	授業 形態	1単 位 当 た り の 授 業 時 間 数	教 免 必 ・ 選	単位数				コース別 必・選		備 考
						1 年	2 年	3 年	4 年	幼 児 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 コ ー ス ま た は 初 等 教 育 コ ー ス	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健 康 の 科 学	講義	15	必	2				選	選	
		ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	演習	30	必	1				必	必	
		総 合 英 語 II	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	必	1				選	選	情報機器の 操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	必	

こども教育学科

小学校教諭 1 種免許状（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目（2022 年度入学生対象）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目								共通開設免許種	備考		
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1 単位の授業時間数	教免必・選	単位数						コース別	
							1 年	2 年	3 年	4 年			幼児教育コース	学校教育コース
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理講義	講義	15	必	2					必	必	幼
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論講義	講義	15	必	2					選	必	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営講義	講義	15	必			2			必	必	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学講義	講義	15	必		2				選	必	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育講義	講義	15	必		2				選	必	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）講義	講義	15	必		2				選	必	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15	必			2			選	必	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義	15	必			2			選	必	
	特別活動の指導法		特別活動指導論（初等）	講義	15	必		2				選	必	
	教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	必		2				選	必	幼
	情報通信技術を活用した理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	講義	15	必			2			選	必	
	生徒指導の理論及び方法		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	講義	15	必			2			選	必	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義	15	必		2				選	必	幼
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（小学校）	演習	30	必			1			選	選	
			小学校教育実習 I	実習	40	必			2			選	選	
			小学校教育実習 II	実習	40	必			2			選	選	
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2		選	選	幼

IV 資格の取得

1. 教育の基礎的理解に関する科目〈2023年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目								共通開設免許種	備考			
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数						コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育 コース	
							1年	2年	3年	4年					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理講義	講義	15	必	2					必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論講義	講義	15	必	2					選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学講義	講義	15	必			2			必	必	幼 養護 栄一 栄二 中(保) 高(保)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学講義	講義	15	必		2				選	必	幼	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育演習	演習	15	必		2				選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）講義	講義	15	必		2				選	必		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目		道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15	必			2			選	必
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義		15	必			2			選	必		
特別活動の指導法		特別活動指導論（初等）	講義		15	必		2				選	必		
教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT活用を含む）	講義		15	必		2				選	必	幼	
情報通信技術を活用した理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義		15	必			2			選	必		
生徒指導の理論及び方法		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	講義		15	必				2			選	必	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義		15	必		2					選	必	幼
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（小学校）	演習	30	必			1			選	選		
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40	必			2			選	選		
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40	必			2			選	選		
	学校体験活動														
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2		選	選	幼	

IV 資格の取得

1. 教育の基礎的理解に関する科目〈2024年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目								共通開設免許種	備考		
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数						コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育または 初等教育コース
							1年	2年	3年	4年				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理講義	講義	15	必	2				必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論講義	講義	15	必	2				選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学講義	講義	15	必			2		必	必	幼 養護栄二 中(保) 高(保)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学講義	講義	15	必		2			選	必		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育演習	演習	15	必			2		選	選	幼	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）講義	講義	15	必		2			選	必		
	道徳、総合的な学習の時間等に関する科目		道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15	必			2		選	必
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義		15	必			2		選	必		
特別活動の指導法		特別活動指導論（初等）	講義		15	必		2			選	必		
教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT活用を含む）	講義		15	必		2			選	必		
情報通信技術を活用した理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義		15	必			2		選	必		
生徒指導の理論及び方法		教育相談（初等）	講義		15	必		2			選	必		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談（初等）	講義		15	必		2			選	必		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（幼・小）	演習	30	必			1		選	選	幼	
			教育実習（幼・小）	実習	40	必			4		選	選	幼	
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	幼	

IV 資格の取得

2. 教科及び教科の指導法に関する科目〈2022年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目										備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数				コース別 幼児教育 コース		必・選 学校教育 コース または 学校 教育 コース	
							1年	2年	3年	4年				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30※	国語（書写を含む。）	講義	15	必	2					選	必	
			社会	講義	15	必	2					選	必	
			算数	講義	15	必	2					選	必	
			理科	講義	15	必	2					選	必	
			生活	講義	15	必		2				選	必	
			音楽	音楽 I	演習	30	必	1					必	必
				音楽 II	演習	30	必	1					選	選
				音楽 III	演習	30	必		1				選	選
				音楽 IV	演習	30	選		1				選	選
				音楽 V	演習	30	選			1			選	選
				音楽 VI	演習	30	選				1		選	選
				音楽 VII	演習	30	選				1		選	選
			図画工作	図画工作 I	演習	30	必		1				必	必
				図画工作 II	演習	30	選			1			選	選
			家庭	家庭	講義	15	必		2				選	必
			体育	体育 I	実習	30	必		1				必	必
				体育 II（児童）	演習	30	選		1				選	選
			外国語	英語	講義	15	必		2				選	必
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											

3. 教科及び教科の指導法に関する科目〈2022年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目										備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数				コース別 幼児教育 コース		必・選 学校教育または 初等教育コース
							1年	2年	3年	4年			
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	30※	国語（書写を含む。）	国語科指導法 講義	15	必		2				選	必
			社会	社会科指導法 講義	15	必		2				選	必
			算数	算数科指導法 講義	15	必		2				選	必
			理科	理科指導法 講義	15	必		2				選	必
			生活	生活科指導法 講義	15	必		2				選	必
			音楽	音楽科指導法 講義	15	必			2			選	必
			図画工作	図工科指導法 講義	15	必			2			選	必
			家庭	家庭科指導法 講義	15	必			2			選	必
			体育	体育科指導法 講義	15	必			2			選	必
			外国語	英語科指導法 講義	15	必			2			選	必

※教科に関する専門的事項と各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）の合計

4. 大学が独自に設定する科目〈2022年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目										備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位の授業時間数	教免必・選	単位数				コース別 幼児教育 コース	必・選 学校教育または 初等教育コース		
					1年	2年	3年	4年				
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15	必				2		必	必	

5. 文部科学省令に定める科目
(2022年度入学生対象)

免許法施行規則の 科目	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単 位 当 り の 授 業 時 間 数	教 免 必 ・ 選	単位数				コース別 必・選		備 考
						1 年	2 年	3 年	4 年	幼 児 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 コ ー ス	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健 康 の 科 学	講義	15	必	2				選	選	
		ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	必	1				選	選	
外国語 コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	演習	30	必	1				必	必	
		総 合 英 語 II	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

(2023年度以降入学生対象)

免許法施行規則の 科目	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単 位 当 り の 授 業 時 間 数	教 免 必 ・ 選	単位数				コース別 必・選		備 考
						1 年	2 年	3 年	4 年	幼 児 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 コ ー ス 初 等 教 育 コ ー ス ま た は	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健 康 の 科 学	講義	15	必	2				選	選	
		ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	必	1				選	選	
外国語 コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	演習	30	必	1				必	必	
		総 合 英 語 II	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	必	

健康栄養学科・管理栄養士専攻（2022年度以降入学生対象）

栄養教諭1種免許状（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単位当りの 授業時間数	単位数				共通 開設 免許種	備考
科目	各科目に含めることが 必要な事項					1 年	2 年	3 年	4 年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	講義	15	2 ※1				養護 栄二 中（保） 高（保）	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小 養護 栄二 中（保） 高（保） ※3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	2 ※1					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保） ※2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保）	
道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄二 中（保）	教免必修
	特別活動及び総合的な学習の時間		講義	15		2					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保）	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	講義	15		2						
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	事前・事後指導	実習	30			1		栄二	教免必修
			栄養教育実習	実習	45			1			
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2		

※1「教育原理」「教育心理学」2022・2023・2024年度入学生は2年次履修

※2「特別支援教育」については2022年度入学生のみ小との共通開設

※3「教育心理学」については2022・2023年度入学生は養護・栄二・中（保）・高（保）との共通開設

IV
資格の取得

2. 栄養に係る教育に関する科目

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				備考
						1年	2年	3年	4年	
栄養に係る教育に関する科目	・ 栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育論	講義	15	2				教免必修
	・ 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項									
	・ 食生活に関する歴史的及び文化的事項									
	・ 食に関する指導の方法に関する事項							2		
			学校栄養教育実践論							

3. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修

4. 文部科学省令に定める科目

〈2022年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低 単位数	本学開講科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

情報機器の操作
2単位

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位 当たり の授業 時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

原則として3年次修了までに次の22単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。

- ・教職論 2単位
- ・教育原理 2単位
- ・教育心理学 2単位
- ・教育行政学 2単位
- ・特別支援教育 2単位
- ・教育課程論 2単位
- ・道徳教育の理論と指導法 2単位
- ・特別活動及び総合的な学習の時間 2単位
- ・教育方法論（ICT活用含む） 2単位
- ・生徒指導及び進路指導論 2単位
- ・教育相談 2単位
- ・事前・事後指導 1単位

※事前・事後指導については、3年次後期と4年次後期に実施するため、履修登録は3年次・4年次に行うこと。

(2) 栄養に係る教育に関する科目

原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

- ・学校栄養教育論 2単位
- ・学校栄養教育実践論 2単位

(3) 大学が独自に設定する科目

原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

- ・人権教育 2単位

(4) 文部科学省令に定める科目

原則として3年次修了までに、免許法施行規則の4科目のそれぞれから2単位以上、計8単位を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻
 栄養教諭2種免許状（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目等（2022年度以降入学生対象）

科目	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが 必要な事項	最低単位数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				共通 開設 免許種	備 考
						1 年	2 年	3 年	4 年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5	教育原理	講義	15	2 ※1				養護 栄一 中(保) 高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小 養護 栄一 中(保) 高(保) ※3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	2 ※1					
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保) ※2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容 生徒指導、教育的な学習の時間等に関する内容及び教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	3	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2		養護 栄一 中(保)	養護 栄一 中(保) 高(保)	
	特別活動及び総合的な学習の時間		講義	15		2					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT活用含む）	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	事前・事後指導	実習	30			1	栄一		
	栄養教育実習		栄養教育実習	実習	45			1			
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15			2			

※1「教育原理」「教育心理学」2022・2023・2024年度入学生は2年次履修

※2「特別支援教育」については2022年度入学生のみ小との共通開設

※3「教育心理学」については2022・2023年度入学生は養護・栄一・中（保）・高（保）との共通開設

2. 栄養に係る教育に関する科目

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				備 考
						1年	2年	3年	4年	
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	2	栄養教諭のための理論と実践	講義	15					教免必修
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項							2		
	食生活に関する歴史的及び文化的事項並びに食に関する指導の方法に関する事項									

3. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める 科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備 考
科目区分	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に 設定する科目	人 権 教 育	講義	15		2			教免必修

4. 文部科学省令に定める科目

〈2022年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低 単位数	本学開講科目	授業 形態	1単位 当り の授業 時間数	単位数				備 考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	2				教免必修
体育	2	ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	1				
		ス ポ ー ツ 実 技 II	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総 合 英 語 I	演習	30	1				
		総 合 英 語 II	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	

IV
資格の取得

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

原則として3年次修了までに次の22単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。

- ・教職論 2単位
- ・教育原理 2単位
- ・教育心理学 2単位
- ・教育行政学 2単位
- ・特別支援教育 2単位
- ・教育課程論 2単位
- ・道徳教育の理論と指導法 2単位
- ・特別活動及び総合的な学習の時間 2単位
- ・教育方法論（ICT活用含む） 2単位
- ・生徒指導及び進路指導論 2単位
- ・教育相談 2単位
- ・事前・事後指導 1単位

※事前・事後指導については、3年次後期と4年次後期に実施するため、履修登録は3年次・4年次に行うこと。

(2) 栄養に係る教育に関する科目

原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

- ・栄養教諭のための理論と実践 2単位

(3) 大学が独自に設定する科目

原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

- ・人権教育 2単位

(4) 文部科学省令に定める科目

原則として3年次修了までに、免許法の4科目のそれぞれから2単位以上、計8単位を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2022・2023年度入学生対象〉

中学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					共通開設免許種	備考			
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当り授業時間数	単位数						
						1年	2年	3年	4年			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	教免必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2						
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小養護栄一栄二高(保)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			※養護栄一栄二高(保)		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)		
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	教免必修	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2					
	特別活動の指導法		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2					
	教育の方法及び技術		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談	講義	15		2					
	生徒指導の理論及び方法											
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法											
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法												
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		高(保)	教免必修	
			教育実習(中・高)I	実習	30			2				
			教育実習(中・高)II	実習	30			2				
	学校体験活動											
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	演習	15			2	高(保)	教免必修			

※「特別支援教育」については2022年度入学生のみ小との共通開設

IV 資格の取得

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分	施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが必要な事項 最低単位数	左記に対応する開設授業科目						共通開設免許種	備考	
		授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数					
					1年	2年	3年			4年
教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	体育実技	健康スポーツ指導法Ⅲ(体づくり運動・器械運動)	実習	30	1			高(保)	教免必修	
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30	1					
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30	1					
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	28	体育・スポーツ原理	講義	15				2
	スポーツ心理学		講義	15		2				
	スポーツマネジメント論		講義	15			2			
	スポーツ社会学		講義	15		2				
	生涯スポーツ論		講義	15	2			選択		
	体育・スポーツ史		講義	15		2				
	バイオメカニクス		講義	15			2	教免必修		
	トレーニング論		講義	15		2				
	運動生理学		講義	15	2					
	人体の構造と生理Ⅰ		講義	15	2					
	生理学(運動生理学を含む。)		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2		選択	
			スポーツ医学	講義	15			2		
			スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2		選択 スポーツ栄養学(2023年度以降入学生)	
			健康評価実習	実習	45		1			
	衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2		教免必修	
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			
			学校保健	講義	15			2		
			安全管理と救急処置	講義	15			2		
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)								

各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目									
	保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			高(保)	教免必修	
	保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2				
	保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2				
	保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2				

3. 大学が独自に設定する科目

科目区分	左記に対応する開設授業科目								備 考
	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数					
				1年	2年	3年	4年		
大学が独自に設定する科目	人 権 教 育	講義	15		2				教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて2単位以上を修得

4. 文部科学省令に定める科目（2022年度入学生対象）

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				備 考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日 本 国 憲 法	講義	15	2				教免必修
体育	2	ス ポ ー ツ 実 技 Ⅰ	実習	30	1				
		ス ポ ー ツ 実 技 Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総 合 英 語 Ⅰ	演習	30	1				
		総 合 英 語 Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語 コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として3年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1. 教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計22単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。中学校一種免許状の取得を希望する場合は、「道德教育の理論と指導法」を併せて修得し、「介護等体験」を済ませておくこと。
2. 教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計39単位）が修得済みであること。
3. 大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4. 文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから2単位以上、計8単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻（2024年度以降入学生対象）

中学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目						共通 開設 免許種	備考	
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数					
						1 年	2 年	3 年	4 年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	2	※			養護栄栄二高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小養護栄栄二高(保)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	2	※			栄栄二高(保)	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小養護栄栄二高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護栄栄二高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2		養護栄栄二高(保)	教免必修	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2				
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	講義	15		2						
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1	高(保)	教免必修	
			教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30			2			
			教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30			2			
	学校体験活動										
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15			2	高(保)			

※「教育原理」「教育心理学」2024年度入学生は2年次履修

IV 資格の取得

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					共通 開設 免許種	備 考						
科目 区分	各科目に含めるこ とが 必要な事項	最低 単位 数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数									
						1 年	2 年	3 年	4 年						
教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	28	健康スポーツ指導法Ⅲ (体づくり運動・器械運動)	実習	30	1				高(保)	教免必修				
			健康スポーツ指導法Ⅳ (水泳・水中運動)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅵ (陸上競技)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅶ (ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅷ (ネット型球技)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30	1									
			健康スポーツ指導法Ⅹ (野外活動)	実習	30	1									
			「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育・スポーツ原理	講義	15		2						高(保)	教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2							
	スポーツマネジメント論	講義		15			2								
	スポーツ社会学	講義		15		2									
	生涯スポーツ論	講義		15	2										
	バイオメカニクス	講義		15			2								
	生理学(運動生理学を含む。)	運動生理学		講義	15	2				高(保)	教免必修				
		人体の構造と生理Ⅰ		講義	15	2									
		人体の構造と生理Ⅱ		講義	15		2								
		スポーツ栄養学		講義	15		2								
	衛生学・公衆衛生学	健康評価実習	実習	45		1			高(保)	教免必修					
		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2									
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			高(保)	教免必修					
		学校保健	講義	15			2								
		安全管理と救急処置	講義	15			2								
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目													
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			高(保)	教免必修					
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2								
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2								
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2								

3. 大学が独自に設定する科目

科目区分	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて2単位以上を修得

4. 文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として3年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1. 教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計22単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。中学校一種免許状の取得を希望する場合は、「道徳教育の理論と指導法」を併せて修得し、「介護等体験」を済ませておくこと。
2. 教科及び教科の指導法に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計35単位）が修得済みであること。
3. 大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4. 文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから2単位以上、計8単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻（2022・2023年度入学生対象）
 高等学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					共通開設免許種	備考		
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当り授業時間数	単位数					
						1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護栄一栄二中(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小養護栄一栄二中(保)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2			養護栄一栄二中(保)	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			※養護栄一栄二中(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護栄一栄二中(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8									
	総合的な探究の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護栄一栄二中(保)	教免必修
	特別活動の指導法		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2				
	教育の方法及び技術		生徒指導の理論及び方法	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法										
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		中(保)	
			教育実習(中・高)Ⅰ	実習	30			2			
			教育実習(中・高)Ⅱ	実習	30			2			
	学校体験活動										
教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	演習	15				2	中(保)	教免必修	

※「特別支援教育」については2022年度入学生のみ小との共通開設

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					共通 開設 免許種	備 考	
科目 区分	各科目に含め ることが必要 な事項	最低 単位数	授業科目	授業 形態	1単位当り 授業時間数	単位数				
						1 年	2 年	3 年	4 年	
教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	24	健康スポーツ指導法Ⅲ (体づくり運動・器械運動)	実習	30	1			中(保)	教免必修
			健康スポーツ指導法Ⅳ (水泳・水中運動)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅵ (陸上競技)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅶ (ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅷ (ネット型球技)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30	1				
			健康スポーツ指導法Ⅹ (野外活動)	実習	30	1				
			「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	24	体育・スポーツ原理	講義	15			
	スポーツ心理学	講義			15		2			
	スポーツマネジメント論	講義			15			2		
	スポーツ社会学	講義			15		2			
	生涯スポーツ論	講義			15	2				
	体育・スポーツ史	講義			15		2			
	バイオメカニクス	講義			15			2		
	生理学(運動生理学を含む。)	24	トレーニング論	講義	15		2		中(保)	教免必修
			運動生理学	講義	15	2				
			人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				
			人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			
			スポーツ医学	講義	15			2		
	衛生学・公衆衛生学	24	スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2		中(保)	選択 スポーツ栄養学 (2023年度以降 入学生)
			健康評価実習	実習	45		1			
			公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	24	学校保健	講義	15			2	中(保)	教免必修	
		安全管理と救急処置	講義	15			2			

Ⅳ資格の取得

教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2		中(保)	教免必修
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		
							選択		

3. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15			2		教免必修
	道徳教育の理論と指導法	講義	15			2		

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて8単位以上を修得

4. 文部科学省令に定める科目（2022年度入学生対象）

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				
		データサイエンス入門	演習	30	1				

情報機器の操作
2単位

教育実習資格認定基準

原則として3年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1. 教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計20単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。
2. 教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計37単位）が修得済みであること。
3. 大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4. 文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから2単位以上、計8単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻（2024年度以降入学生対象）

高等学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目					共通開設免許種	備考			
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数						
						1年	2年	3年	4年			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	2※				養護栄栄二中(保)	教免必修	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2						
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2			幼小養護栄栄二中(保)		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	2※				幼小養護栄栄二中(保)		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			養護栄栄二中(保)		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護栄栄二中(保)		
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8								養護栄栄二中(保)	教免必修	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2					
	特別活動の指導法											
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法											
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法											
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	講義	15		2							
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1	中(保)	教免必修		
			教育実習（中・高）I	実習	30			2				
			教育実習（中・高）II	実習	30			2				
	学校体験活動											
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15			2	中(保)	教免必修			

※「教育原理」「教育心理学」2024年度入学生は2年次履修

2. 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目							共通 開設 免許種	備 考	
科目 区分	各科目に含めるこ とが必要な事項	最低 単位 数	授業 科目	1単位当 の 授業時間 数	単位数						
							1 年	2 年	3 年	4 年	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	健康スポーツ指導法Ⅲ (体づくり運動・器械運動)	実習	30	1			中(保)	教免必修	
			健康スポーツ指導法Ⅳ (水泳・水中運動)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅵ (陸上競技)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅶ (ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅷ (ネット型球技)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30	1					
			健康スポーツ指導法Ⅹ (野外活動)	実習	30	1				選択	
			体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
			スポーツ心理学	講義	15		2				
	スポーツマネジメント論	講義	15			2					
	スポーツ社会学	講義	15		2			選択			
	生涯スポーツ論	講義	15	2				教免必修			
	バイオメカニクス	講義	15			2					
	運動生理学	講義	15	2							
	生理学(運動生理学を含む。)	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				選択		
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2					
		スポーツ栄養学	講義	15		2					
		健康評価実習	実習	45		1			教免必修		
		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2					
		公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2					
	衛生学・公衆衛生学	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	講義	15			2		教免必修		
		安全管理と救急処置	講義	15			2				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										

Ⅳ
資格の
取得

教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2	中(保)	教免必修
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15		2		
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15		2		
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15		2		選択

3. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当り 授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15			2		教免必修
	道德教育の理論と指導法	講義	15			2		

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて8単位以上を修得

4. 文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当り 授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1			情報機器の操作 2単位	
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として3年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1. 教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計20単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。
2. 教科及び教科の指導法に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計33単位）が修得済みであること。
3. 大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4. 文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから2単位以上、計8単位以上を修得していること。

看護学科

養護教諭1種免許状（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						共通開設免許種	備考		
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位相当授業時間数	単位数					
						1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	講義	15	2	※1			栄一 栄二 中(保) 高(保)	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				幼小 栄一 栄二 中(保) 高(保) ※3
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	2	※1				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2				栄一 栄二 中(保) 高(保) ※2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2				栄一 栄二 中(保) 高(保)
道徳指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2		栄一 栄二 中(保) 高(保)		
			特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2				
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	養護実習	5	事前・事後指導	実習	30			1	教免必修		
			養護実習	実習	45			4			
	学校体験活動										
	教職実践演習		教職実践演習（養護教諭）	演習	15			2			

※1「教育原理」「教育心理学」2022・2023・2024年度入学生は2年次履修

※2「特別支援教育」については2022年度入学生のみ小との共通開設

※3「教育心理学」については2022・2023年度入学生は栄一・栄二・中（保）・高（保）との共通開設

IV 資格の取得

2. 養護に関する科目

(2022年度以降入学生対象)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対する開設授業科目					備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				
						1年	2年		3年	4年
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	公衆衛生学	講義	15		2			教免必修
			疫学	講義	15			2		
	学校保健	2	学校保健	講義	15		2			
	養護概説	2	養護概説	講義	15		2			
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	看護コミュニケーション	講義	15	1				
			家族看護学	講義	15			2		
	栄養学（食品学を含む。）	2	看護と栄養	講義	15			2		
	解剖学・生理学	2	人体の構造と生理機能	演習	30	2				
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	からだの防御の仕組み	講義	15	1				
			薬理学	講義	15	1				
	精神保健	2	精神看護学援助論	講義	15		1			
			精神看護学演習	演習	30			1		
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				
			日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				
小児看護学概論			講義	15		2				
フィジカルアセスメント演習			演習	30		1				
小児看護学実習			実習	45			2			
急性期看護学実習			実習	45			2			
精神看護学実習			実習	45			2			
地域看護学概論	講義	15		1						

3. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目					備考	
各科目に含める必要事項	授業科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年		4年
養護又は教職に関する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて5単位以上を修得

4. 文部科学省令に定める科目（養護教諭二種免許状を含む）

〈2022年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

情報機器の操作
2単位

〈2023年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				
		データサイエンス入門	演習	30	1				

情報機器の操作
2単位

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目

原則として、3年次修了までに次の22単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。

・教職論	2単位
・教育原理	2単位
・教育心理学	2単位
・教育行政学	2単位
・特別支援教育	2単位
・教育課程論	2単位
・道徳教育の理論と指導法	2単位
・特別活動及び総合的な学習の時間	2単位
・教育方法論（ICT活用含む）	2単位
・生徒指導及び進路指導論	2単位
・教育相談	2単位
・教育実習事前・事後指導	1単位

(2) 養護に関する科目

原則として3年次修了時までに、すべての単位を修得していること。

(3) 大学が独自に設定する科目

原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

・人権教育	2単位
-------	-----

(4) 文部科学省令に定める科目

原則として3年次修了までに、文部科学省令に定める科目4科目のそれぞれから2単位以上、計8単位を修得していること。

教員免許状が授与されるまでの過程（健康科学部・看護福祉リハビリテーション学部）

- 1年次 4月 教職ガイダンス（教職一次登録）
- 2年次 4月 教職ガイダンス（教職二次登録・介護等体験希望調査）
7月 介護等体験ガイダンス
1月 介護等体験参加者申込み
- 3年次 4月 教職ガイダンス（教職三次登録）
介護等体験参加確認（前期、後期）
教育実習内諾ガイダンス
6月 光華小・中・高における授業参観
＜教育実習希望校訪問＞
9月 「教育実習事前指導」講義開始
11月 教育実習承諾ガイダンス
- 4年次 4月 教職ガイダンス（教育実習直前ガイダンス）
＜各自、実習1ヶ月前、教育実習校事前打合せ＞
5月 模擬授業
教育実習開始（5月～10月）
6月 教員採用試験
11月 教育職員免許状授与申請ガイダンス
3月 卒業証書授与式当日に、教育職員免許状交付

2. 管理栄養士（健康栄養学科 管理栄養士専攻対象）

管理栄養士国家試験の受験資格

卒業時に管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている管理栄養士免許証の取得に必要な専門教育科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(1) 管理栄養士免許証の取得に関する科目

〈管理栄養士専攻入学生対象〉

	栄養士法に定める教育内容			本学開講科目			
	教育内容	単位数		授業科目	単位数		配当年次
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境（人間や生活）と健康	6	10	公衆衛生学Ⅰ	2		2
				公衆衛生学Ⅱ	2		3
				健康管理論	2		1
				健康評価実習		1	2
	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	14		人体の構造と生理Ⅰ	2		1
				人体の構造と生理Ⅱ	2		2
				人体の構造と生理Ⅲ	2		2
				生化学Ⅰ	2		1
				生化学Ⅱ	2		2
				運動生理学	2		2
臨床検査・病理			2		3		
人体の構造・生理実験				1	2		
食べ物と健康	8	食品学Ⅰ	2		1		
		食品学Ⅱ	2		2		
		食品加工学	2		2		
		食品衛生学	2		2		
		調理理学	2		1		
		食品学実験Ⅰ		1	2		
		食品学実験Ⅱ		1	2		
		食品衛生学実験		1	3		
		調理実習基礎		1	1		
		調理実習応用		1	1		
食生活と調理実習		1	2				
小計		28	10		30	10	
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2		1
				基礎栄養学Ⅱ	2		2
				栄養学実験		1	2
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2		2
				応用栄養学Ⅱ	2		2
				応用栄養学Ⅲ	2		3
応用栄養学実習		1	3				

	栄養士法に定める教育内容			本学開講科目			
	教育内容	単位数		授業科目	単位数		配当年次
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門分野	栄養教育論	6	8	栄養教育論Ⅰ	2		2
				栄養教育論Ⅱ	2		2
				栄養教育論Ⅲ	2		3
				栄養教育論実習Ⅰ		1	3
				栄養教育論実習Ⅱ		1	3
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2		2
				臨床栄養学Ⅱ	2		3
				臨床栄養学Ⅲ	2		3
				臨床栄養管理	2		3
				臨床栄養学実習Ⅰ		1	3
				臨床栄養学実習Ⅱ		1	3
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ	2		3
				公衆栄養学Ⅱ	2		3
				公衆栄養学実習		1	3
給食経営管理論	4	給食マネジメント論Ⅰ	2		2		
		給食マネジメント論Ⅱ	2		2		
		給食マネジメント実習Ⅰ		1	2		
		給食マネジメント実習Ⅱ		1	3		
総合演習	2	総合演習Ⅰ	2		3		
		総合演習Ⅱ	2		4		
臨地実習		4※1	臨地実習Ⅰ		1	3	
			臨地実習Ⅱ		1	3	
			臨地実習Ⅲ		1	3	
			臨地実習Ⅳ		1	3・4	
小計	32	12		36	13		
合計	60	22		66	23		

※1 給食の運営に係る校外実習の1単位を含む
 入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

(2) 管理栄養士免許証が授与されるまでの過程

- 1～4年次 履修説明、必要な学科目の履修
- 3～4年次 臨地実習Ⅰ～Ⅳ
- 4年次 管理栄養士国家試験対策講座
 栄養士免許証申請ガイダンス
 管理栄養士国家試験の受験
 栄養士免許証の申請
- 卒業後 栄養士免許証の交付
- 合格後 管理栄養士免許証の申請、交付

3. 栄養士（健康栄養学科対象）

栄養士免許証を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている栄養士免許証の取得に必要な専門教育科目を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）栄養士免許証の取得に関する科目

〈管理栄養士専攻入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次	
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習		
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2		2	
			公衆衛生学Ⅱ	2		3	
			健康評価実習		1	2	
人体の構造と機能	8		人体の構造と生理Ⅰ	2		1	
			人体の構造と生理Ⅱ	2		2	
			生化学Ⅰ	2		1	
			生化学Ⅱ	2		2	
			人体の構造・生理実験		1	2	
食品と衛生	6		生化学実験Ⅰ		1	1	
			食品学Ⅰ	2		1	
		食品学Ⅱ	2		2		
		食品衛生学	2		2		
食品学実験Ⅰ				1	2		
		栄養と健康	8	基礎栄養学Ⅰ	2		1
				基礎栄養学Ⅱ	2		2
				応用栄養学Ⅰ	2		2
				臨床栄養学Ⅰ	2		2
				栄養学実験		1	2
応用栄養学実習				1	3		
栄養の指導	6	臨床栄養学実習Ⅰ		1	3		
		栄養教育論Ⅰ	2		2		
		栄養教育論Ⅱ	2		2		
		公衆栄養学Ⅰ	2		3		
		栄養教育論実習Ⅰ		1	3		
給食の運営	4	公衆栄養学実習		1	3		
		調理学	2		1		
		給食マネジメント論Ⅰ	2		2		
		調理実習基礎		1	1		
		調理実習応用		1	1		
		給食マネジメント実習Ⅰ		1	2		
		給食マネジメント実習Ⅱ		1	3		
臨地実習Ⅰ		1	3				
小計	36	14		36	14		
合計	50			50			

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

〈健康スポーツ栄養専攻 2022 年度以前入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 健康評価実習	2 2		2 2 2
人体の構造と機能	8	4	人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 人体の構造・生理実験 生化学実験	2 2 2 2		1 2 1 2 2 3
食品と衛生	6		食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学 食品学実験Ⅰ	2 2 2		1 2 2 2
栄養と健康	8		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学 臨床栄養学Ⅰ 栄養学実験 応用栄養学実習 臨床栄養学実習	2 2 2 2		1 2 2 3 2 3 3
栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 公衆栄養学 栄養教育論実習 公衆栄養学実習	2 2 2		2 3 3 3 3
給食の運営	4		調理学 給食マネジメント論 調理実習基礎 調理実習応用 給食マネジメント実習Ⅰ 給食マネジメント実習Ⅱ 臨地実習	2 2		1 3 1 2 3 3 4
小計	36	14		36	14	
合計		50		50		

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

〈健康スポーツ栄養専攻 2023 年度以降入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 健康評価実習	2 2		2 2 2
人体の構造と機能	8	4	人体の構造と生理Ⅰ 人体の構造と生理Ⅱ 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 人体の構造・生理実験 生化学実験	2 2 2 2		1 2 1 2 2 3
食品と衛生	6		食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品衛生学 食品学実験Ⅰ	2 2 2		1 2 2 2
栄養と健康	8		基礎栄養学Ⅰ 基礎栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅰ 栄養学実験 応用栄養学実習 臨床栄養学実習	2 2 2 2		1 2 2 3 2 3 3
栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 公衆栄養学 栄養教育論実習 公衆栄養学実習	2 2 2		2 3 3 3 3
給食の運営	4		調理学 給食マネジメント論 調理実習基礎 調理実習応用 給食マネジメント実習Ⅰ 給食マネジメント実習Ⅱ 臨地実習	2 2		1 3 1 2 3 3 4
小計	36	14		36	14	
合計		50		50		

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

(2) 栄養士免許証が授与されるまでの過程

- 1～4年次 履修説明、必要な学科目の履修
- 3年次 臨地実習Ⅰ（管理栄養士専攻）
- 4年次 臨地実習（健康スポーツ栄養専攻）
栄養士免許証申請ガイダンス
栄養士免許証の申請
- 卒業後 栄養士免許証の交付

4. 看護学科取得可能資格一覧

資格名称	対象者
看護師国家試験受験資格	看護学科生全員
保健師国家試験受験資格※1	看護学科生のうち選択履修者
養護教諭一種免許状※2	看護学科生のうち選択履修者

※1 保健師免許取得者は、養護教諭二種免許の申請をすることができる。但し、その場合は文部科学省令に定める科目を修得しておくこと。

※2 養護教諭一種免許状取得については、養護教諭一種免許状の項にて履修科目を確認すること。1年次 GPA（通算）2.8以上であることを2年次からの教職履修登録の条件とする。養護教諭一種の教職課程選択にあたっては、将来的に養護教諭をめざす希望を有することが望ましい。

(1) 看護師国家試験受験資格の取得科目について

卒業時に看護師国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている看護師国家試験受験資格の取得に必要な専門基礎・専門科目を履修し単位を取得しなければならない。

区 分	必修科目		選択（選択必修）科目		合計
	2022	2023~2025	2022	2023~2025	
リベラルアーツ教育科目	10	11	10	9	20
専 門 基 礎	19		10		108
専 門 科 目	79				
計	108	109	20	19	128

(2) 保健師国家試験受験資格取得について（選択履修）

卒業時に保健師国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、看護師国家試験受験資格に必要な科目および、次の科目を履修し、単位を取得しなければならない。

〈2022年度以降入学生対象〉

科 目 名	単位数
公衆衛生看護学概論	2
対象別公衆衛生看護活動論	2
公衆衛生看護技術論Ⅰ	2
公衆衛生看護技術論Ⅱ	2
疫 学	2
保健医療福祉行政論	2
保健医療福祉行政論演習	1
保 健 統 計	2
学 校 保 健	2
産 業 保 健	1

健 康 教 育 論	2
公 衆 衛 生 看 護 学 演 習	3
公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 I	1
公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 II	3
公 衆 衛 生 看 護 学 実 習 III	1

保健師養成課程は選抜制となる。保健師養成課程選抜条件として、GPA(通算)2.5以上であることとする。保健師養成課程選択履修にあたっては、将来的に保健師をめざす希望を有することが望ましい。選択条件等の詳細については2年次に説明を行う。

保健師の免許を受けるにあたっては、保健師国家試験だけでなく、看護師国家試験に合格しなければならない。なお、保健師課程の実習については、別途費用を徴収する場合がある。

5. 社会福祉士（医療福祉学科社会福祉専攻 2022・2023 年度入学生対象／ 福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻・2024 年度入学生対象）

社会福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。

厚生労働省省令指定科目	本学開講科目			備考
	科目名	授業形態	単位数	
医学概論	医学知識	講義	2	
心理学と心理的支援	心理学	講義	2	
社会学と社会システム	社会学	講義	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	2	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2	
社会保障	社会保障Ⅰ	講義	2	
	社会保障Ⅱ	講義	2	
高齢者福祉	高齢者福祉	講義	2	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	2	
貧困に対する支援	生活保護制度	講義	2	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	講義	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	演習	2	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	2	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	2	
	ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	2	
	ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	2	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習A	実習	4	
	ソーシャルワーク実習B	実習	2	

6. 精神保健福祉士（医療福祉学科社会福祉専攻 2022・2023 年度入学生対象／ 福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻 2024 年度入学生対象）

精神保健福祉士は、精神疾患の治療に伴う課題や長期入院患者の社会復帰のための課題（家族・親族間の調整、近隣住民の理解、住宅や就労の場の確保等々）について、専門的な助言や援助等の業務を行う者である。

精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。

なお、2022・2023 年度入学生の医療福祉学科社会福祉専攻においては、社会福祉士「国家試験受験資格」を取得できる見込みのある学生以外には、精神保健福祉士「国家試験受験資格」の取得を認めないので十分注意すること。※ 2024 年度入学生は対象外

（1）精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する科目

厚生労働省省令指定科目	本学開講科目			備考
	科目名	授業形態	単位数	
医学概論	医学知識	講義	2	
心理学と心理的支援	心理学	講義	2	
社会学と社会システム	社会学	講義	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2	
社会保障	社会保障Ⅰ	講義	2	
	社会保障Ⅱ	講義	2	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	演習	2	

精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	講義	2	
	精神医学と精神医療Ⅱ	講義	2	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	2	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	2	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	2	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	講義	2	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	講義	2	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	講義	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉演習Ⅰ	演習	2	
	精神保健福祉演習Ⅱ	演習	2	
	精神保健福祉演習Ⅲ	演習	2	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	2	
	精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	4	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉実習A	実習	2	
	精神保健福祉実習B	実習	3	

7. 言語聴覚士（医療福祉学科／福祉リハビリテーション学科 言語聴覚専攻）

言語聴覚士国家試験受験資格の取得科目について卒業時に言語聴覚士国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている言語聴覚士国家試験受験資格の取得に必要な専門基礎・専門科目を履修し単位を取得しなければならない。

〈2022 年度入学生対象〉

文部科学省指定科目	本学開講科目	単位数	備考
人文科学（2科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
	仏教の人間観Ⅱ	2	
社会科学（2科目）	京都光華の学び	1	2単位選択必修
	心理学	2	
	社会学	2	
	日本国憲法	2	
	現代社会と法	2	
	現代社会と政治	2	
	くらしのなかの経済学	2	
	くらしのなかの統計学	2	
	生命の科学	2	
	生活と物理・化学	2	
	地域と環境	2	
	生活と防災	2	
	ボランティア論	2	
自然科学（2科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
	社会と統計	2	
外国語	医療英語	1	必修
	総合英語Ⅰ	1	
	総合英語Ⅱ	1	
	英会話Ⅰ	1	1単位選択必修
	英会話Ⅱ	1	
	英語文献を読むⅠ	1	
	英語文献を読むⅡ	1	
	中国語Ⅰ	1	
	中国語Ⅱ	1	
	ハンゲルⅠ	1	
ハンゲルⅡ	1		
保健体育	健康の科学	2	必修

基礎分野

Ⅳ資格の取得

専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	必修
		臨床基礎医学	2	
	臨床医学	リハビリテーション概論・医学	2	
		臨床医学Ⅰ（内科学・小児科学）	2	
		臨床医学Ⅱ（耳鼻咽喉科・形成外科）	2	
		臨床医学Ⅲ（精神医学・臨床神経学）	2	
	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）	1	
		聴覚障害学概論	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	2	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
	音響学	音響学	2	
	言語発達学	言語発達学	1	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
		リハビリテーション概論・医学	2	
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅱ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	
	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	

専門分野	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	必修
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	1	
		聴覚障害学演習	1	
	臨床実習	臨床実習（見学実習）1週間	1	
		臨床実習（評価実習）4週間	4	
		臨床実習（総合実習）8週間	8	
選択必修分野	生命倫理	2	8単位選択必修	
	専門職の連携（応用）	1		
	障害者福祉	2		
	健康カウンセリング	2		
	栄養サポーター論	2		
	画像診断学演習	1		
	言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1		
	言語聴覚障害実習Ⅲ	1		
	言語聴覚障害実習Ⅳ	1		
	認知症特論	1		
	摂食嚥下障害学特論	1		

〈2023 年度入学生対象〉

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
基礎分野	人文科学（2科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
		仏教の人間観Ⅱ	2	
	社会科学（2科目）	京都光華の学び	1	2単位選択必修
		心理学	2	
		社会学	2	
		日本国憲法	2	
		現代社会と法	2	
		現代社会と政治	2	
		くらしのなかの経済学	2	
		くらしのなかの統計学	2	
		情報社会の理解	2	
		生命の科学	2	
		生活と物理・化学	2	
		地域と環境	2	
		生活と防災	2	
		ボランティア論	2	
	自然科学（2科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
		社会と統計	2	
	外国語	医療英語	1	必修
		総合英語Ⅰ	1	
総合英語Ⅱ		1		
English in Use A		1	1単位選択必修	
English in Use B		1		
English in Use C		1		
English in Use D		1		
English in Use E		1		
English in Use F		1		
中国語Ⅰ		1		
中国語Ⅱ		1		
ハンゲルⅠ		1		
ハンゲルⅡ		1		
保健体育	健康の科学	2	必修	

Ⅳ資格の取得

専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	必修
		臨床基礎医学	2	
	臨床医学	リハビリテーション概論・医学	2	
		臨床医学Ⅰ（内科学・小児科学）	2	
		臨床医学Ⅱ（耳鼻咽喉科・形成外科）	2	
		臨床医学Ⅲ（精神医学・臨床神経学）	2	
	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）	1	
		聴覚障害学概論	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	2	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
	音響学	音響学	2	
	言語発達学	言語発達学	1	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
リハビリテーション概論・医学		2		
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅱ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	
	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	

専門分野	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	必修
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	1	
		聴覚障害学演習	1	
	臨床実習	臨床実習（見学実習）1週間	1	
		臨床実習（評価実習）4週間	4	
		臨床実習（総合実習）8週間	8	
	選択必修分野	生命倫理	2	
専門職の連携（応用）		1		
障害者福祉		2		
健康カウンセリング		2		
栄養サポーター論		2		
画像診断学演習		1		
言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）		1		
言語聴覚障害実習Ⅲ		1		
言語聴覚障害実習Ⅳ		1		
認知症特論		1		
摂食嚥下障害学特論		1		

〈2024 年度入学生対象〉

文部科学省指定科目	本学開講科目	単位数	備考	
基礎分野	人文科学（2科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
		仏教の人間観Ⅱ	2	
	社会科学（2科目）	京都光華の学び	1	2単位選択必修
		心理学	2	
		社会学	2	
		日本国憲法	2	
		現代社会と法	2	
		現代社会と政治	2	
		くらしのなかの経済学	2	
		くらしのなかの統計学	2	
		情報社会の理解	2	
		生命の科学	2	
		生活と物理・化学	2	
		地域と環境	2	
		生活と防災	2	
	ボランティア論	2		
	自然科学（2科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
		社会と統計	2	
	外国語	医療英語	1	必修
総合英語Ⅰ		1		
総合英語Ⅱ		1		
English in Use A		1	1単位選択必修	
English in Use B		1		
English in Use C		1		
English in Use D		1		
English in Use E		1		
English in Use F		1		
中国語Ⅰ		1		
中国語Ⅱ		1		
ハンゲルⅠ		1		
ハンゲルⅡ		1		
保健体育	健康の科学	2	資格必修科目	

Ⅳ資格の取得

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	必修
		人体の構造と機能Ⅰ	2	
	臨床医学	内科学	2	
		小児科学	1	
		耳鼻咽喉科学	1	
		形成外科学	1	
		精神医学	1	
		臨床神経学	1	
専門基礎分野	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学Ⅰ (呼吸発声発語系)	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ(聴覚系)	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ(神経系)	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	1	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
		音響学	音響学	2
			聴覚心理学	1
	言語発達学	言語発達学	2	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
リハビリテーション概論・医学		2		
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害学演習Ⅰ(小児)	1	
		言語聴覚障害学演習Ⅱ(成人)	1	
		言語聴覚障害学実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害学実習Ⅲ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	

Ⅳ資格の取得

文部科学省指定科目	本学開講科目	単位数	備考	
専門分野	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	必修
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	
	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
	聴覚障害学	摂食嚥下障害学演習	1	
		聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		聴覚障害学Ⅳ	1	
	臨床実習	聴覚障害学演習	1	
		臨床実習（見学実習）1週間	1	
臨床実習（評価実習）4週間		4		
臨床実習（総合実習）8週間	8			
選択必修分野	専門職の連携（応用）	1	8単位選択必修	
	障害者福祉	2		
	包括的ヘルスケア論	2		
	健康カウンセリング	2		
	栄養サポート論	2		
	言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1		
	言語聴覚障害実習Ⅱ	1		
	言語聴覚障害実習Ⅳ	1		
	認知症特論	1		
	摂食嚥下障害学特論	1		
タ－ミナルケア	1			

(2025 年度入学生対象)

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
基礎分野	科学的思考の基礎	アカデミックスキル入門	1	必修
		アカデミックライティング	1	
		データサイエンス入門	1	
		情報リテラシー	1	
	人間と生活	仏教の人間観Ⅰ	2	
		仏教の人間観Ⅱ	2	
		京都光華の学び	1	
		生命倫理	2	
		仏教と医療福祉Ⅰ	1	
		仏教と医療福祉Ⅱ	1	
	社会の理解	伝統文化	1	
		総合英語Ⅰ	1	
		総合英語Ⅱ	1	
	言語聴覚療法の基盤	専門職の連携（基礎）	2	
		基礎ゼミⅠ	1	
		基礎ゼミⅡ	1	
		言語聴覚障害学概論	1	
		言語聴覚障害演習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害演習Ⅱ	1	
	専門基礎分野	人体のしくみ・疫病と治療	ターミナルケア	
安全管理と応急処置			1	
栄養学			1	
生物の基礎			2	
臨床医学総論			2	
人体の構造と機能Ⅰ			2	
リハビリテーション概論・医学			2	
音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）			1	
音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）			1	
音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）			1	
内科学			1	
小児科学			1	
耳鼻咽喉科学			1	
形成外科学			1	
精神医学	1			

Ⅳ資格の取得

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門基礎分野	人体のしくみ・疫病と治療	臨 床 神 経 学	1	必修
		臨 床 歯 科 医 学 ・ 口 腔 外 科 学	1	
		画 像 診 断 学 演 習	1	
		認 知 症 特 論	1	
	心 の 働 き	生 涯 発 達 心 理 学	2	
		認 知 ・ 学 習 心 理 学	2	
		臨 床 心 理 学	2	
		心 理 測 定 法	1	
	言語とコミュニケーション	手 話 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	
		言 語 発 達 学	2	
		言 語 学	1	
		音 声 学	1	
		音 響 学	1	
		聴 覚 心 理 学	1	
		言 語 聴 覚 障 害 演 習 III	1	
		言 語 聴 覚 障 害 演 習 IV	1	
	社会保障・教育とリハビリテーション	社会保障・教育とリハビリテーション	1	
	専門分野	地域言語聴覚療法学	包 括 的 ヘ ル ス ケ ア 論	
言語聴覚障害総論		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1	
		卒 業 研 究	2	
		専 門 ゼ ミ I	1	
		専 門 ゼ ミ II	1	
失語・高次脳機能障害学		失 語 症 I	1	
		失 語 症 II	1	
		高 次 脳 機 能 障 害 I	1	
		高 次 脳 機 能 障 害 II	1	
		失 語 症 演 習	1	
		高 次 脳 機 能 障 害 演 習	1	
言語発達障害学		言語発達障害学Ⅰ（各論）	2	
		言語発達障害学Ⅱ（評価①）	1	
		言語発達障害学Ⅲ（評価②）	1	
		言語発達障害学Ⅳ（支援）	1	
		言語発達障害学演習	1	

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門分野	発声発語・摂食嚥下障害学	小児発声発語障害学Ⅰ	1	必修
		小児発声発語障害学Ⅱ	1	
		成人発声発語障害学Ⅰ	1	
		成人発声発語障害学Ⅱ	1	
		発話流暢性障害学	1	
		摂食嚥下障害学	1	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		聴覚障害学Ⅳ（聴覚・平衡覚各論）	1	
		聴覚障害学演習	1	
	言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	2	
	臨床実習	臨床見学実習	2	
臨床評価実習		5		
臨床総合実習		8		
専門基礎分野（選択必修科目）	（人間と生活）	哲学と倫理	2	2単位選択必修
		くらしのなかの宗教	2	
		仏教文化	2	
		文化人類学	2	
		言語と文学	2	
		日本文化の理解	2	
		京都の歴史と文化	2	
		芸術文化論	2	
	（社会の理解）	サブカルチャー論	2	
		現代アジア事情	2	
		現代欧米事情	2	
		国際社会の理解	2	
		国際社会とジェンダー	2	

Ⅳ資格の取得

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門基礎分野 (選択必修科目)	(科学的思考の基礎)	心 理 学	2	2単位選択必修
		く ら し の な か の 統 計 学	2	
		情 報 社 会 の 理 解	2	
		生 命 の 科 学	2	
		生 活 と 物 理 ・ 化 学	2	
		地 域 と 環 境	2	
	(社会の理解)	社 会 学	2	
		日 本 国 憲 法	2	
		現 代 社 会 と 法	2	
		現 代 社 会 と 政 治	2	
		く ら し の な か の 経 済 学	2	
		生 活 と 防 災	2	
		ボ ラ ン テ ィ ア 論	2	

8. 作業療法士（福祉リハビリテーション学科作業療法専攻）

卒業時に作業療法士国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たす学科目、および本学に開講されている作業療法士国家試験受験資格取得のための以下の厚生労働省省令指定科目を履修し単位を修得しなければならない。なお、卒業時に作業療法士国家試験を受験する者は、「総合作業療法学」の単位を必ず修得すること。

〈2024 年度以降入学生対象〉

厚生労働省省令指定科目	本学開講科目				
	科目名	授業形態	単位計	備考	
科学的思考の基盤 / 人間と生活 / 社会の理解	14	仏教の人間観Ⅰ	講義	2	
		仏教の人間観Ⅱ	講義	2	
		京都光華の学び	演習	1	
		アカデミックスキル入門	演習	1	
		アカデミックライティング	演習	1	
		データサイエンス入門	演習	1	
		伝統文化	演習	1	
		総合英語Ⅰ	演習	1	
		総合英語Ⅱ	演習	1	
		医療英語	演習	1	
		基礎ゼミⅠ	演習	1	
		基礎ゼミⅡ	演習	1	
人体の構造と機能及び心身の発達	12	人体の構造と機能Ⅰ	講義	2	
		人体の構造と機能演習Ⅰ	演習	1	
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	2	
		人体の構造と機能演習Ⅱ	演習	1	
		臨床心理学	講義	2	
		人間発達学	講義	2	
		運動学	講義	2	
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	臨床医学総論	講義	2	
		内部障害と臨床医学	講義	2	
		精神障害と臨床医学	講義	2	
		神経・筋系障害と臨床医学	講義	2	
		運動器障害と臨床医学	講義	2	
		小児の障害と臨床医学	講義	2	
		老年期の障害と臨床医学	講義	2	

厚生労働省省令指定科目		本学開講科目			
		科目名	授業形態	単位計	備考
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄 養 学	講義	1	
		安全管理と救急処置	講義	2	
保健医療福祉とリハビリテーション理念	4	専門職の連携(基礎)	講義	2	
		仏教と医療福祉Ⅰ	講義	1	
		仏教と医療福祉Ⅱ	講義	1	
		日常生活支援学	講義	2	
		リハビリテーションの理念	講義	2	
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
基礎作業療法学	5	作業療法学概論	講義	2	
		基礎作業学	講義	2	
		作業療法技術演習	演習	1	
		卒業研究	演習	2	
作業療法管理学	2	作業療法管理学	講義	2	
作業療法評価学	5	作業療法評価学	講義	2	
		作業療法評価学演習	演習	1	
		精神機能作業療法学	講義	2	
		精神機能作業療法学演習	演習	1	
作業療法治療学	19	日常生活支援学演習Ⅰ	演習	1	
		日常生活支援学演習Ⅱ	演習	1	
		高齢期作業療法学	講義	2	
		高齢期作業療法学演習	演習	1	
		身体機能作業療法学Ⅰ	講義	2	
		身体機能作業療法学Ⅱ	講義	2	
		身体機能作業療法学Ⅲ	講義	2	
		身体機能作業療法学演習Ⅰ	演習	1	
		身体機能作業療法学演習Ⅱ	演習	1	
		発達期作業療法学	講義	2	
		発達期作業療法学演習	演習	1	
		終末期作業療法学	講義	2	
		義肢装具に関わる作業療法	講義	2	
		京都伝統文化作業技術論	演習	1	
総合作業療法学	講義	2			
地域作業療法学	4	地域・在宅作業療法学Ⅰ	講義	2	
		地域・在宅作業療法学Ⅱ	講義	2	

厚生労働省省令指定科目		本学開講科目			
		科目名	授業形態	単位計	備考
臨床実習	22	見学実習	実習	1	
		地域実習	実習	1	
		評価実習	実習	4	
		総合臨床実習Ⅰ	実習	8	
		総合臨床実習Ⅱ	実習	8	
		臨床実習事前事後評価	実習	1	

9. 保育士（こども教育学科対象）

保育士資格を取得するためには、本学に4年以上在学して卒業要件を充足し、かつ『児童福祉法施行規則』に規定されている科目および単位を修得しなければならない。

保育士資格を取得するためには、保育実習が必要である。実習に出るには、内規に定められた要件を満たしていなければならない。

保育士資格取得のための科目〈2022年度入学生〉

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況					備 考			
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必選	単位数				
								1年		2年	3年	4年
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6 以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				
				京都光華の学び	演習	30	必	1				
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				
				伝 統 文 化	演習	30	必			1		
				哲 学 と 倫 理	講義	15	選	2				
				仏 教 文 化	講義	15	選	2				
				文 化 人 類 学	講義	15	選	2				
				言 語 と 文 学	講義	15	選	2				
				日 本 文 化 の 理 解	講義	15	選	2				
				京 都 の 歴 史 と 文 化	講義	15	選	2				
				芸 術 文 化 論	講義	15	選	2				
				サブカルチャー論	講義	15	選	2				
				現 代 ア ジ ア 事 情	講義	15	選	2				
				現 代 欧 米 事 情	講義	15	選	2				
				国 際 社 会 の 理 解	講義	15	選	2				
				国 際 社 会 と ジェンダー	講義	15	選	2				
				心 理 学	講義	15	選	2				
				社 会 学	講義	15	選	2				
日 本 国 憲 法	講義	15	選	2								
現 代 社 会 と 法	講義	15	選	2								

教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6 以上	現代社会と政治	講義	15	選	2		
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2		
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2		
				生命の科学	講義	15	選	2		
				生活と物理・化学	講義	15	選	2		
				地域と環境	講義	15	選	2		
				生活と防災	講義	15	選	2		
				ボランティア論	講義	15	選	2		
				情報リテラシー基礎	演習	30	選	1		
				情報リテラシー応用	演習	30	選	1		
				数的処理の基礎	演習	30	選	1		
				日本語表現の技法	演習	30	選	1		
				読解と思考の技法	演習	30	選	1		
				Webデザイン	演習	15	選		2	
				プログラミング入門	演習	15	選		2	
	産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2					
	外国語	演習	2 以上	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1		
				総合英語Ⅱ	演習	30	必	1		
	体育	講義	1	健康の科学	講義	15	必	2		
		実技	1	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	選必	1		「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修
スポーツ実技Ⅱ	実習			30	選必	1				
合計		10単位以上	必修、選択必修含め22単位以上取得							

Ⅳ
資格の取得

保育士資格取得のための科目〈2023年度以降入学生〉

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況						備 考		
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位の授業時間数	保育士必選	単位数				
								1年	2年		3年	4年
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				
				京都光華の学び	演習	30	必	1				
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				
				データサイエンス入門	演習	30	必	1				
				伝 統 文 化	演習	30	必			1		
				哲 学 と 倫 理	講義	15	選	2				
				くらしのなかの宗教	講義	15	選	2				
				仏 教 文 化	講義	15	選	2				
				文 化 人 類 学	講義	15	選	2				
				言 語 と 文 学	講義	15	選	2				
				日 本 文 化 の 理 解	講義	15	選	2				
				京 都 の 歴 史 と 文 化	講義	15	選	2				
				芸 術 文 化 論	講義	15	選	2				
				サブカルチャー論	講義	15	選	2				
				現代アジア事情	講義	15	選	2				
				現代欧米事情	講義	15	選	2				
国際社会の理解	講義	15	選	2								
国際社会とジェンダー	講義	15	選	2								

Ⅳ 資格の取得

教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	心 理 学	講義	15	選	2		
				社 会 学	講義	15	選	2		
				日 本 国 憲 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 政 治	講義	15	選	2		
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2		
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2		
				情 報 社 会 の 理 解	講義	15	選	2		
				生 命 の 科 学	講義	15	選	2		
				生 活 と 物 理 ・ 化 学	講義	15	選	2		
				地 域 と 環 境	講義	15	選	2		
				生 活 と 防 災	講義	15	選	2		
				ボ ラ ン テ ィ ア 論	講義	15	選	2		
				情 報 リ テ ラ シ ー	演習	30	選	1		
				情 報 技 術 の 理 解	講義	15	選	2		
				数 的 処 理 の 基 礎	演習	30	選	1		
				読 解 と 思 考 の 技 法	演習	30	選	1		
				W e b デ ザ イ ン	演習	15	選		2	
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2		
				データサイエンスのための数学	講義	15	選	2		
				プログラミング入門	演習	15	選	2		
				AIへのアプローチ	講義	15	選		2	
				データサイエンスへのアプローチ	講義	15	選		2	
				データサイエンスPBL	演習	15	選		2	
				外国語	演習	2以上	総 合 英 語 I	演習	30	必
総 合 英 語 II	演習	30	必				1			
体育	講義	1	健 康 の 科 学	講義	15	必	2			
	実技	1	ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	選必	1		「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修	
ス ポ ー ツ 実 技 II			実習	30	選必	1				
合 計		10単位以上	必修、選択必修含め 22 単位以上取得							

別表第1

告示別表第1による教科目			指定保育士養成施設における教科目の開設状況						備考 (変更内容の概要等)			
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必選	単位数				
								1年		2年	3年	4年
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	15	必	2				
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	15	必	2				
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	15	必	2				
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	15	必	2				
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	15	必			2		
	社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	講義	15	必		2			
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	15	必		2			
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	15	必	2				
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	15	必		2			
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	15	必	2				
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	15	必		2			
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	15	必		2			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	15	必	2				
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	15	必	2				
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)	演習	30	必	1				
				保育内容(人間関係)	演習	30	必	1				
				保育内容(言葉)	演習	30	必		1			
				保育内容(環境)	演習	30	必		1			
				保育内容(総合表現 I)	演習	30	必		1			
				保育内容(総合表現 II)	演習	30	必			1		
				保育内容(総合表現 III)	演習	30	選				1	
	保育内容の理解と方法	演習	4	音楽 I	演習	30	必	1				
				音楽 II	演習	30	必	1				
図画工作 I				演習	30	必		1				
体育 II(幼児)				演習	30	必		1				
乳児保育 I	講義	2	乳児保育 I	講義	15	必	2					
乳児保育 II	演習	1	乳児保育 II	演習	30	必	1					

保育の内容・方法に関する科目	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	30	必		1	
	障害児保育	演習	2	障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2	
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	30	必		1	
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	30	必		1	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40	必		2	
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	40	必		2	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	15	必		2	
総合演習	保育実践演習	演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必			2
合計		51単位		54単位必修						

別表第2

別表第2による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況（新）							備 考		
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数					
								1年	2年	3年		4年	
関質保 する育 科的目 本 目的に する保 育の理 解の対 関象 保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単 位 以 上	教 育 行 政 学	講義	15	必			2		2022年度入学生対象「教育の制度・運営」	
				道	徳	講義	15	選必			2		
				保 育 方 法 論		講義	15	選必			2		
				保 育 内 容 研 究		演習	15	選					2
				健	康	講義	15	必	2				
				人 間 関 係		講義	15	必	2				
				言	葉	講義	15	必	2				
				環	境	講義	15	必	2				
				表	現	講義	15	必		2			
				音 楽 III		演習	30	必		1			
				音 楽 IV		演習	30	必		1			
				音 楽 V		演習	30	選必			1		
				音 楽 VI		演習	30	選必					1
				音 楽 VII		演習	30	選必					1
				図 画 工 作 II		演習	30	選必					1
				体 育 I		実習	30	必		1			
				レクリエーション指導法		演習	30	選必					1
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2	保 育 実 習 Ⅱ	実習	40	選必			2	「保育実習Ⅱ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅱ」（1単位）、または、「保育実習Ⅲ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅲ」（1単位）のいずれか3単位選択必修		
				保 育 実 習 Ⅲ	実習	40	選必			2			
	保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保 育 実 習 指 導 Ⅱ	演習	30	選必			1			
				保 育 実 習 指 導 Ⅲ	演習	30	選必			1			
合 計			18単位以上	必修、選択必修含め18単位以上									

10. 保育士（心理学科）

保育士資格を取得するためには、本学に4年以上在学して卒業要件を充足し、かつ『児童福祉法施行規則』に規定されている科目及び単位を修得しなければならない。尚、心理学科における保育士養成科目の履修については定員（20名）があり、成績及び面談により決定する。

保育士資格を取得するためには、保育実習が必要である。実習に出るには、内規に定められた要件を満たしていなければならない。

保育士資格取得のための科目〈2022年度入学生対象〉

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等							学科 必・選	備 考		
系列	教科目	授業 形態	単 位 数	左に対応して開設され ている教科目	授業 形態	1単 位 当 た り の 授 業 時 間 数	保 育 士 必 選	単位数						
								1 年	2 年	3 年			4 年	
教 養 科 目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以 上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2					必	
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2					必	
				京都光華の学び	演習	30	必	1					必	
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1					必	
				アカデミックライティング	演習	30	必	1					必	
				伝 統 文 化	演習	30	必			1			必	
				哲 学 と 倫 理	講義	15	選	2					い ず れ か 2 単 位 選 択 必 修	
				仏 教 文 化	講義	15	選	2						
				文 化 人 類 学	講義	15	選	2						
				言 語 と 文 学	講義	15	選	2						
				日 本 文 化 の 理 解	講義	15	選	2						
				京 都 の 歴 史 と 文 化	講義	15	選	2						
				芸 術 文 化 論	講義	15	選	2						
				サ ブ カ ル チ ャ ー 論	講義	15	選	2						
				現 代 ア ジ ア 事 情	講義	15	選	2						
				現 代 欧 米 事 情	講義	15	選	2						
国 際 社 会 の 理 解	講義	15	選	2										
国 際 社 会 と ジ ェ ン ダ ー	講義	15	選	2										

教養科目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以上	心 理 学	講義	15	選	2		いずれか2単位選択必修
				社 会 学	講義	15	選	2		
				日 本 国 憲 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 政 治	講義	15	選	2		
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2		
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2		
				生 命 の 科 学	講義	15	選	2		
				生 活 と 物 理 ・ 化 学	講義	15	選	2		
				地 域 と 環 境	講義	15	選	2		
				生 活 と 防 災	講義	15	選	2		
				ボ ラ ン テ ィ ア 論	講義	15	選	2		
				情報リテラシー基礎	演習	30	選	1		選
				情報リテラシー応用	演習	30	選	1		選
				数的処理の基礎	演習	30	選	1		選
				日本語表現の技法	演習	30	選	1		選
				W e b デ ザ イ ン	演習	15	選		2	選
				プログラミング入門	演習	15	選		2	選
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2		選
				外国語	演習	2 以上	総 合 英 語 I	演習	30	必
総 合 英 語 II	演習	30	必				1		必	
体育	講義	1	健 康 の 科 学	講義	15	必	2		選	
	実技	1	ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	選必	1		選	
ス ポ ー ツ 実 技 II			実習	30	選必	1		選		
合 計	10単位以上		必修、選択必修含め 30 単位 (≥ 10 単位)							

「スポーツ実技Ⅰ」
「スポーツ実技Ⅱ」
いずれか1科目選択
必修

保育士資格取得のための科目〈2023年度以降入学生対象〉

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等							学科必・選	備考	
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必選	単位数					
								1年	2年	3年			4年
教 養 科 目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				必	
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				必	
				京都光華の学び	演習	30	必	1				必	
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				必	
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				必	
				データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	
				伝 統 文 化	演習	30	必			1		必	
				哲 学 と 倫 理	講義	15	選	2				選 択 必 修 2 単 位	
				くらしのなかの宗教	講義	15	選	2					
				仏 教 文 化	講義	15	選	2					
				文 化 人 類 学	講義	15	選	2					
				言 語 と 文 学	講義	15	選	2					
				日 本 文 化 の 理 解	講義	15	選	2					
				京 都 の 歴 史 と 文 化	講義	15	選	2					
				芸 術 文 化 論	講義	15	選	2					
				サブカルチャー論	講義	15	選	2					
				現代アジア事情	講義	15	選	2					
現代欧米事情	講義	15	選	2									
国際社会の理解	講義	15	選	2									
国際社会とジェンダー	講義	15	選	2									

Ⅳ 資格の取得

教 養 科 目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以上	心 理 学	講義	15	選	2		選 択 必 修 2 単 位
				社 会 学	講義	15	選	2		
				日 本 国 憲 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 法	講義	15	選	2		
				現 代 社 会 と 政 治	講義	15	選	2		
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2		
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2		
				情 報 社 会 の 理 解	講義	15	選	2		
				生 命 の 科 学	講義	15	選	2		
				生 活 と 物 理 ・ 化 学	講義	15	選	2		
				地 域 と 環 境	講義	15	選	2		
				生 活 と 防 災	講義	15	選	2		
				ボ ラ ン テ ィ ア 論	講義	15	選	2		
				情 報 リ テ ラ シ ー	演習	30	選	1		選
				情 報 技 術 の 理 解	講義	15	選	2		選
				数 的 処 理 の 基 礎	演習	30	選	1		選
				読 解 と 思 考 の 技 法	演習	30	選	1		選
				W e b デ ザ イン	演習	15	選		2	選
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2		選
				データサイエンスのための数学	講義	15	選	2		選
				プログラミング入門	演習	15	選	2		選
				A I へ の ア プ ロ ー チ	講義	15	選		2	選
				データサイエンスへのアプローチ	講義	15	選		2	選
				データサイエンスPBL	演習	15	選		2	選
外国語	演習	2 以上	総 合 英 語 I	演習	30	必	1		必	
			総 合 英 語 II	演習	30	必	1		必	
体育	講義	1	健 康 の 科 学	講義	15	必	2		選	
	実技	1	ス ポ ー ツ 実 技 I	実習	30	選必	1		選	
ス ポ ー ツ 実 技 II			実習	30	選必	1		選		
合 計		10単位以上	必修、選択必修含め 30単位 (≥ 10単位)							

「スポーツ実技Ⅰ」
「スポーツ実技Ⅱ」
いずれか1科目選択
必修

別表第 1

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等							学科必・選	備考	
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数					
								1年	2年	3年	4年		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	15	必		2			選	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	15	必		2			選	
	子ども家庭福祉	講義	2	児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15	必		2			選	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	15	必		2			選	
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	15	必		2			選	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	15	必			2		選	
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	15	必		2			選	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	必	2				必	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	15	必			2		選	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	15	必			2		選	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	15	必			2		選	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	15	必		2			自由	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	15	必			2		選	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	15	必			2		自由	
	保育内容演習	演習	5	子どもと人間関係	演習	15	必		2			選	
				子どもと健康	演習	15	必			2		選	
				子どもとことば	演習	15	必		2			選	
	保育内容の理解と方法	演習	4	子どもの体育	演習	15	必			2		自由	
				音楽療法	演習	15	必			2		自由	
				図画工作	演習	15	必			2		自由	
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	15	必		2		選		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	15	必			2		自由	
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	15	必			2		自由	
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	15	必			2		自由	
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	15	必			2		自由	
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	15	必		2			自由		
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	40	必			2		自由	
				保育実習Ⅰ(施設)	実習	40	必			2		自由	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	15	必			2		自由	
総合演習	保育実践演習	演習	2	心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15	必			2		選	
合計		51単位		60単位必修									

別表第2

告示による教科目			当該養成施設における教科の開設状況等							学科必・選	備考		
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当りの授業時間数	保育士必・選	単位数					
								1年	2年	3年	4年		
保育の本質・目的に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目	養成施設において設定		15単位以上	社会保障Ⅰ	講義	15	選		2			自由	
				社会保障Ⅱ	講義	15	選		2			自由	
				発達心理学	講義	15	必		2			必	
				障害者・障害児心理学	講義	15	選		2			選	
				社会・集団・家族心理学	講義	15	必		2			必	
				感情・人格心理学	講義	15	選		2			選	
				子どもの心理臨床	講義	15	選		2			選	
				健康・医療心理学	講義	15	選			2		選	
				教育・学校心理学	講義	15	選			2		選	
				心理的アセスメントⅠ	演習	15	選		2			選	
				心理的アセスメントⅡ	演習	15	選		2			選	
				対人スキル・コーチング演習	演習	15	選			2		選	
				専門職の連携（基礎）	講義	15	必	2				必	
				専門職の連携（応用）	演習	30	選				1	選	
				心理演習Ⅰ	演習	15	選			2		選	
				心理演習Ⅱ	演習	15	選			2		選	
レクリエーション指導法	演習	30	選				1	自由					
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	40	選必		2	自由	「保育実習Ⅱ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅱ」（1単位）、または、「保育実習Ⅲ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅲ」（1単位）のいずれか3単位選択必修		
				保育実習Ⅲ	実習	40	選必		2	自由			
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	30	選必		1	自由			
				保育実習指導Ⅲ	演習	30	選必		1	自由			
合計		18単位以上		必修、選択必修含め18単位以上修得									

IV 資格の取得

保育実習の履修要件

「保育実習Ⅰ」「保育実習Ⅱ」および「保育実習Ⅲ」における実地実習を実施する年次には「保育実習指導Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習指導Ⅲ」を開講し、それぞれの実習に関わる事前事後指導を行う。各実地実習を履修するには実習にかかわる「保育実習指導」を必ず履修しなければならない。

また、それぞれの実習を履修するには原則として以下の条件を満たしていなければならない。

- (1) 「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」の履修要件
「心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習）」「社会福祉」「保育原理」「保育者論」「発達心理学入門（保育の心理学）」の各科目の単位、及び保育内容の理解と方法3科目（「子どもの体育」「音楽療法」「図画工作」）のうち1科目以上の単位を取得していること。
- (2) 「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」の履修要件
「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）」「子どもの家庭支援の心理学」「保育の計画と評価」「子どもの理解と援助」の各科目の単位、及び保育内容の理解と方法3科目（「子どもの体育」「音楽療法」「図画工作」）のうち2科目以上を取得していること。

保育士の資格取得を希望するための条件

〈2024年度入学生対象〉

2年次修了時に1・2年次リベラルアーツ教育必修科目9科目のうち8科目以上、1・2年次専門必修科目15科目のうち14科目以上の単位を修得していることが、3年次以降継続して保育士資格取得を目指すための必要条件となる。

〈2025年度入学生対象〉

1年次リベラルアーツ教育必修科目8科目のうち7科目以上、1年次専門必修科目9科目のうち8科目以上（「発達心理学入門（保育の心理学）」を含む）の単位を修得していることが必要条件となる。

備考

〈全学年共通〉

- ・1年次修了時、面接を行い、成績と総合して可能と認められた者のみ2年次も継続して資格取得を目指すことができる。また、成績や履修状況・履修態度を考慮して、2年次以降、資格取得の継続を取り消す場合もある。
- ・保育士資格取得科目の授業内外での見学や実習のため、入学時の健康診断にて麻しん・風しん等の「抗体価検査」を受ける必要がある。また、場合によっては各種「予防接種」を受ける必要がある。その際の費用は自己負担とする。
- ・3,4年次に保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲの実習に行くため、実習費として7万円程度を実習生より徴収する。また、実習先までの交通費および宿泊費など実習先によって個別に発生する必要経費については、別途実習生の自己負担とする。

11. 上級情報処理士（キャリア形成学科）

（1）上級情報処理士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「上級情報処理士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）上級情報処理士認定証交付について

上級情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては7,700円程度を要する。

上級情報処理士認定に関する科目

〈2022年度キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	選択
	情報リテラシー応用	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	女性とビジネス	講義	2	2	選択
	女性と経済	講義	2	2・3	
	コンピュータ活用A	演習	1	2・3	
	コンピュータ活用B	演習	1	2・3	
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	情報社会の理解	講義	2	1	
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	データ解析入門	演習	1	2	
領域3	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	1	
	プロジェクト入門Ⅰ	講義	2	1	必修
	プロジェクト入門Ⅱ	演習	2	1	
	プロジェクト実践	演習	2	2	選択
	プロジェクト評価	演習	1	2	

上級情報処理士認定に関する科目

〈2023年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

(領域1：5単位以上、領域2：5単位以上、領域3：4単位以上、計26単位以上)

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	必修
	情報リテラシー	演習	1	1	
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	Webデザイン	演習	2	2・3	選択
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	
	京都光華の学び	演習	1	1	必修
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	プログラミング入門	演習	2	1・2	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	必修
	データサイエンス入門	演習	1	1	
	データサイエンス実践	演習	2	2・3	選択
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	
	データサイエンスのための数学	講義	2	1・2	
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	
領域3	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	2・3	
	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	
	地域参加	演習	1	1	必修
	プロジェクト入門	演習	2	1	
	プロジェクト実践	演習	2	3	
	プロジェクト評価	演習	1	3	

12. 情報処理士（キャリア形成学科・心理学科・人間健康学群対象）

（1）情報処理士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「情報処理士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）情報処理士認定証交付について

情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては3,300円程度を要する。

情報処理士認定に関する科目

〈2022年度キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2：2単位以上、領域3：2単位以上、計16単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	
	情報技術の理解	講義	2	1・2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	
	女性と経済	講義	2	2・3	
	コンピュータ活用A	演習	1	2・3	
	コンピュータ活用B	演習	1	2・3	
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	
	データ解析入門	演習	1	2	
領域 2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
領域 3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト入門I	講義	2	1	選択

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

〈領域 1：3 単位以上、領域 2：3 単位以上、領域 3：4 単位以上、計 16 単位以上〉

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	選択
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	京都光華の学び	演習	1	1	
領域 2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	
領域 3	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	選択
	地域参加	演習	1	1	
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
	プロジェクト実践	演習	2	3	
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択

〈2022 年度 心理学科入学生対象〉

〈領域 1：2 単位以上、領域 2：2 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上〉

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	
	情報技術の理解	講義	2	1・2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	
	女性と経済	講義	2	2・3	
	コンピュータ活用 A	演習	1	2・3	
	コンピュータ活用 B	演習	1	2・3	
	心理学データ解析 I	演習	1	2	
	心理学データ解析 II	演習	1	2	
領域 2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	心理学基礎演習 III	演習	1	2	
	心理学基礎演習 IV	演習	1	2	

IV 資格の取得

領域3	心理学専門演習Ⅰ	演習	2	3	2科目中1科目 選択必修
	心理学専門演習Ⅰ (保育実践演習)	演習	2	3	
	心理学専門演習Ⅱ	演習	2	3	選択

〈2023年度以降心理学科入学生対象〉

(領域1：3単位以上、領域2：3単位以上、領域3：4単位以上、計16単位以上)

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	選択
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	京都光華の学び	演習	1	1	
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	選択
	心理学データ解析Ⅰ	演習	1	2	
	心理学データ解析Ⅱ	演習	1	2	
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
AIへのアプローチ	講義	2	2・3		
領域3	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	選択
	心理学基礎演習Ⅰ	演習	1	1	
	心理学基礎演習Ⅱ	演習	1	1	
	心理学専門演習Ⅰ	演習	2	3	選択必修
	心理学専門演習Ⅰ (保育実践演習)	演習	2	3	
	心理学専門演習Ⅱ	演習	2	3	必修

〈2022 年度人間健康学群入学生対象〉

(領域 1：2 単位以上、領域 2：2 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上)

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	情報技術の理解	講義	2	1	
	女性と経済	講義	2	2・3・4	
	コンピュータ活用 C	演習	1	3	
	データ解析入門	演習	1	2	
京都光華の学び	演習	1	1	必修	
アカデミックスキル入門	演習	1	1		
基礎ゼミ I	演習	1	1		
基礎ゼミ II	演習	1	2		
領域 3	専門演習 I	演習	1	3	必修
	専門演習 II	演習	1	3	

〈2023 年度以降人間健康学群入学生対象〉

(領域 1：3 単位以上、領域 2：3 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上)

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	京都光華の学び	演習	1	1	
領域 2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	3	選択
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	必修
	データサイエンス入門	演習	1	1	
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	
領域 3	データサイエンス PBL	演習	2	2・3	選択
	ソーシャルビジネス演習	演習	1	3・4	
	専門演習 I	演習	1	3	必修
	専門演習 II	演習	1	3	

13. 上級ビジネス実務士（キャリア形成学科対象）

(1) 上級ビジネス実務士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「上級ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。

(2) 履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

(3) 上級ビジネス実務士、上級ビジネス実務士（国際ビジネス）、上級ビジネス実務士（サービス実務） 認定証交付について

上級ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては7,700円程度を要する。

上級ビジネス実務士、上級ビジネス実務士（国際ビジネス）、上級ビジネス実務士（サービス実務）
認定に関する科目

上級ビジネス実務士

〈2022年度 キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2A：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	
	プレゼンテーション	演習	1	2	
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	経営学	講義	2	2	
	情報社会の理解	講義	2	1	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	
領域2A	プロジェクト入門Ⅰ	講義	2	1	必修
	プロジェクト入門Ⅱ	演習	2	1	選択
	ビジネス実務	演習	2	2・3	
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

(領域 1：2 単位以上、領域 2A：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上)

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域 1	ビ ジ ネ ス マ ナ ー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	女 性 と 経 済	講義	2	2	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	情 報 社 会 の 理 解	講義	2	1・2	
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	
	プ ロ ジ ェ ク ト 入 門	演習	2	1	必修
領域 2 A	経 営 学	講義	2	2	選択必修
	会 計 学	講義	2	2	
	経 済 学	講義	2	3	
	マ ー ケ テ ィ ン グ	講義	2	2・3	
	経 営 戦 略	講義	2	2・3	
	金 融 ビ ジ ネ ス	講義	2	3・4	選択
	流 通 ビ ジ ネ ス	講義	2	3・4	
	女性のアントレプレナーシップ	講義	2	3・4	
	専門実習（長期インターンシップ）	実習	2	3・4	
領域 3	プ ロ ジ ェ ク ト 実 践	演習	2	3	必修
	スモールビジネス演習	演習	2	3・4	選択
	プ ロ ジ ェ ク ト 評 価	演習	1	3	
	女性 の 生 き 方 ・ 働 き 方	講義	2	1	

Ⅳ 資格の取得

上級ビジネス実務士（国際ビジネス）

〈2022年度 キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1－2単位以上、領域2B－4単位以上、領域3－2単位以上、計24単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	
	プレゼンテーション	演習	1	2	
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	経営学	講義	2	2	
	情報社会の理解	講義	2	1	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	
領域2B	多文化共生社会	講義	2	2・3	
	実践英語 I A	演習	1	2・3	選択
	実践英語 I B	演習	1	2・3	
	実践英語 II A	演習	1	2・3	
	実践英語 II B	演習	1	2・3	
	T O E I C I	演習	1	2~4	
	T O E I C II	演習	1	2~4	必修
	実践中国語 I	演習	1	2・3	選択
	実践中国語 II	演習	1	2・3	
	実践ハンゲル I	演習	1	2・3	
実践ハンゲル II	演習	1	2・3		
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	

〈2023年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2B：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	女性と経済	講義	2	2	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	情報社会の理解	講義	2	1・2	
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修

領域2 B	多文化共生社会	講義	2	2・3	必修
	実践中国語Ⅰ	演習	1	2・3	選択
	実践中国語Ⅱ	演習	1	2・3	
	実践ハンゲルⅠ	演習	1	2・3	
	実践ハンゲルⅡ	演習	1	2・3	
	T O E I C Ⅰ	演習	1	2~4	
	T O E I C Ⅱ	演習	1	2~4	
	実践英語Ⅰ	演習	1	2・3	必修
	実践英語Ⅱ	演習	1	2・3	
	実践ビジネス英語	演習	1	3・4	選択
	実践ビジネス英会話	演習	1	3・4	
	セメスター留学	実習	6	2・3	
	長期（1年）留学	実習	12	2・3	
	領域3	プロジェクト実践	演習	2	3
スモールビジネス演習		演習	2	3・4	選択
プロジェクト評価		演習	1	3	
女性の生き方・働き方		講義	2	1	

上級ビジネス実務士（サービス実務）

〈2022年度 キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2C：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	
	プレゼンテーション	演習	1	2	
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	経営学	講義	2	2	
	情報社会の理解	講義	2	1	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	
領域2C	サービス・マネジメント原論	講義	2	2	必修
	ブライダル実務	講義	2	2・3	選択
	ブライダル企画演習	演習	2	2・3	
アパレル販売	講義	2	2・3		
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	

〈2023年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2C：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	女性と経済	講義	2	2	
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	
	情報社会の理解	講義	2	1・2	
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修

領域 2C	サービス・マネジメント原論	講義	2	2	必修
	ショップデザイン	講義	2	2・3	
	ブランドデザイン	講義	2	3・4	選択
	ブライダルビジネス	講義	2	2・3	
	ブライダル企画演習	演習	2	2・3	
	ブライダル実務	講義	2	2・3	
	ファッションビジネス	講義	2	2・3	
	ファッション企画演習	演習	2	2・3	
	インテリアビジネス	講義	2	2・3	
	インテリア企画演習	演習	2	2・3	
領域 3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	スモールビジネス演習	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト評価	演習	1	3	
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	

14. ビジネス実務士（キャリア形成学科対象）

(1) ビジネス実務士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。

(2) 履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

(3) ビジネス実務士認定証交付について

ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては3,300円程度を要する。

ビジネス実務士認定に関する科目

〈2022年度 キャリア形成学科入学生対象〉

〈領域1：2単位以上、領域2：2単位以上、領域3：2単位以上、計16単位以上〉

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	ビジネス実務	演習	2	2・3	必修
	女性とビジネス	講義	2	2	選択
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	
	経営学	講義	2	2	
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	
	情報社会の理解	講義	2	1	
領域2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	
	女性と現代社会	講義	2	1	
	プレゼンテーション	演習	1	2	
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修

〈2023年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

〈領域1：2単位以上、領域2：2単位以上、領域3：2単位以上、計10単位以上〉

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	地域参加	演習	1	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	2・3	
	京都光華の学び	演習	1	1	必修

領域 2	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	経営学	講義	2	2	
	情報社会の理解	講義	2	1・2	
	情報リテラシー	演習	1	1	
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
領域 3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択

15. 食品衛生監視員・管理者（健康栄養学科管理栄養士専攻）

食品衛生監視員・管理者はともに任用資格である。食品衛生監視員とは、国家公務員試験または地方公務員試験に合格し、厚生労働大臣または都道府県知事もしくは市長から食品衛生監視員として任命されることにより生じる資格である。食品衛生管理者とは、食品を加工または製造する営業施設に、食品衛生管理者として採用されることにより生じる資格である。

食品衛生監視員・管理者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている食品衛生監視員・管理者に必要な専門科目を履修し、単位を修得することにより資格の要件を満たすことができる。

食品衛生監視員・管理者に関する科目

区分	本学開講科目	単位数	配当年次	資格必修 / 選択
A 群 化学関係	分 析 化 学	2	3	必修
B 群 生物化学関係	生 化 学 I	2	1	
	生 化 学 II	2	2	
	生 化 学 実 験 I	1	1	
	食 品 学 I	2	1	
	食 品 学 II	2	2	
	生 化 学 実 験 II	1	2	
	人 体 の 構 造 と 生 理 I	2	1	
	人 体 の 構 造 ・ 生 理 実 験	1	2	
	食 品 学 実 験 I	1	2	
食 品 学 実 験 II	1	2		
C 群 微生物学関係	食 品 加 工 学	2	2	
D 群 公衆衛生学関係	公 衆 衛 生 学 I	2	2	
	公 衆 衛 生 学 II	2	3	
	食 品 衛 生 学	2	2	
	食 品 衛 生 学 実 験	1	3	
	栄 養 疫 学	2	2	
E 群 その他の関連科目	人 体 の 構 造 と 生 理 II	2	2	必修
	人 体 の 構 造 と 生 理 III	2	2	選択
	臨 床 検 査 ・ 病 理	2	3	必修
	基 礎 栄 養 学 I	2	1	
	基 礎 栄 養 学 II	2	2	
	栄 養 学 実 験	1	2	
	調 理 学	2	1	
	健 康 管 理 論	2	1	選択
	食 品 の 評 価 ・ 鑑 別	2	4	必修
	給 食 マ ネ ジ メ ン ト 論 I	2	2	
	給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 I	1	2	
給 食 マ ネ ジ メ ン ト 実 習 II	1	3		

A 群～D 群のそれぞれの群から 1 科目以上を履修し、合計で 22 単位以上を修得すること。

A 群～E 群の科目を履修し、40 単位以上（必修科目 39 単位及び選択科目 1 単位以上）を修得すること。

16. フードスペシャリスト（健康栄養学科対象）

フードスペシャリストの資格を取得しようとする者は、本学に開講されているフードスペシャリストに必要な専門教育科目を履修し、単位を修得した後、日本フードスペシャリスト協会の資格認定試験に合格しなければならない。

(1) フードスペシャリストに関する科目

規 定 科 目	本学開講科目	単位数	管理栄養士専攻	健康スポーツ 栄養専攻
			配当年次	配当年次
フードスペシャリスト論 (2 単 位 以 上)	フードスペシャリスト論	2	4	4
食品の官能評価・鑑別論 (2 単 位 以 上 ※)	食 品 の 評 価 ・ 鑑 別	2	4	4
	食 品 学 実 験 II	1	2	2
食物学に関する科目 (5 単 位 以 上)	食 品 学 I	2	1	1
	食 品 学 II	2	2	2
	食 品 学 実 験 I	1	2	2
食品の安全性に関する科目 (2 単 位 以 上)	食 品 衛 生 学	2	2	2
調理学に関する科目 (4 単 位 以 上)	調 理 学	2	1	1
	調 理 実 習 基 礎	1	1	1
	調 理 実 習 応 用	1	1	2
栄養と健康に関する科目 (2 単 位 以 上)	基 礎 栄 養 学 I	2	1	1
食品流通・消費に関する科目 (2 単 位 以 上)	食 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	2	4	4
フードコーディネート論 (2 単 位 以 上)	フ ー ド コ ー デ ィ ネ ー ト 論	2	4	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。

※実験1単位以上を含む

(2) フードスペシャリスト資格が授与されるまでの過程

フードスペシャリストに必要な専門教育科目の単位を修得した者は日本フードスペシャリスト協会の資格認定試験を受けることができる。専門フードスペシャリスト資格は、専門性や実用性をより高めた資格である。

資格認定試験は、毎年12月(予定)に本学で実施する。資格認定試験には、①フードスペシャリスト資格、②専門フードスペシャリスト(食品開発)資格、③専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格、の3種類の資格区分が設けられている。専門フードスペシャリスト資格認定試験は、①のフードスペシャリスト資格認定試験と同時に受験することができる。ただし、「食品開発」と「食品流通・サービス」の

いずれかの選択となる。

フードスペシャリストの資格認定証は、資格認定試験に合格し、必修科目の取得と卒業要件を充たした者に交付される。したがって、資格認定証の交付は卒業時となる。※認定試験の受験および資格認定証の交付には費用を要する。

フードスペシャリストとは、「食」に関する総合的・体系的な知識・技術を身につけ、豊かで安全かつバランスのとれた「食」を消費者に提案できる力を持つ「食」の専門職である。フードスペシャリスト資格は、食に関する総合的・体系的な知識・技術を基本的に身につけた者に与えられる資格である。

17. 健康運動実践指導者（健康栄養学科対象）

健康運動実践指導者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている健康運動実践指導者に必要な専門科目を履修し、単位を修得した後、（公財）健康・体力づくり事業財団の認定試験に合格しなければならない。

（1）健康運動実践指導者に関する科目

（2023年度以前管理栄養士専攻・健康スポーツ栄養専攻入学生対象）

規定科目	本学開講科目	単位数	配当年次	
			管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻
健康づくり施策概論（講義）	健康管理論	2	1	1
運動生理学（講義）	運動生理学	2	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	人体の構造と生理Ⅰ	2	1	1
	人体の構造と生理Ⅱ	2	2	2
	運動生理学	2	2	1
栄養摂取と運動（講義）	基礎栄養学Ⅰ	2	1	1
体力測定と評価（講義・実習）	健康評価実習	1	2	2
健康づくりと運動プログラム（講義）	健康づくりと運動	2	3	2
運動指導の心理学的基礎（講義）	スポーツ心理学	2	2	2
健康づくり運動の実際ウォーキング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際ジョギング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際エアロビックダンス（実習）	健康スポーツ指導Ⅲ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅱ	1		1～3
健康づくり運動の実際水泳・水中運動（実習）	健康スポーツ指導Ⅱ	1	1・2	
	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際レジスタンスエクササイズ（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体づくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ストレッチング（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体づくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ウォーミングアップとクーリングダウン、体操（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
運動障害と予防・救急処置（講義・実習）	安全管理と救急処置	2	2	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。

〈2024年度以降管理栄養士専攻・健康スポーツ栄養専攻入学生対象〉

規定科目	本学開講科目	単位数	配当年次	
			管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻
健康づくり施策概論(講義)	健康管理論	2	1	1
運動生理学(講義)	運動生理学	2	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス (講義)	人体の構造と生理Ⅰ	2	1	1
	人体の構造と生理Ⅱ	2	2	
	運動生理学	2	2	
	バイオメカニクス	2		3
栄養摂取と運動(講義)	基礎栄養学Ⅰ	2	1	1
体力測定と評価 (講義・実習)	健康評価実習	1	2	2
健康づくりと運動プログラム (講義)	健康づくりと運動	2	3	2
運動指導の心理学的基礎 (講義)	スポーツ心理学	2	2	2
健康づくり運動の実際 ウォーキング(実習)	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際 ジョギング(実習)	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際 エアロビックダンス(実習)	健康スポーツ指導Ⅲ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅱ	1		1~3
健康づくり運動の実際 水泳・水中運動(実習)	健康スポーツ指導Ⅱ	1	1・2	
	健康スポーツ指導法Ⅳ (水泳・水中運動)	1		1~3
健康づくり運動の実際 レジスタンスエクササイズ(実習)	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ (体づくり運動・器械運動)	1		1~3
健康づくり運動の実際 ストレッチング(実習)	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ (体づくり運動・器械運動)	1		1~3
健康づくり運動の実際 ウォーミングアップとクー リングダウン、体操(実習)	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
運動障害と予防・救急処置 (講義・実習)	安全管理と救急処置	2	2	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。

(2) 健康運動実践指導者資格が授与されるまでの過程

健康運動実践指導者に必要な専門科目の単位を修得した者は、(公財)健康・体力づくり事業財団が行う認定試験を受験することができる。ただし、認定試験は在学中のみ受験することができ、卒業後に受験することはできない。

認定試験は毎年11月から翌年2月頃(予定)に実施される。認定試験に合格すると、健康運動実践指導者の資格証が授与される。認定試験の受験および資格証の交付には費用を要する。

18. 健康運動指導士（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻）

健康運動指導士の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている健康運動指導士に必要な専門科目を履修し、単位を修得した後、（公財）健康・体力づくり事業財団の認定試験に合格しなければならない。

（1）健康運動指導士に関する科目（2022年度以前入学生）

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）	健康管理論	健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（NCD）（講義）	生活習慣病論	2	4	
運動生理学（講義）	運動生理学	2	1	
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	バイオメカニクス	2	3	
健康づくりの運動の理論（講義）	健康づくりと運動	2	2	
運動障害と予防（講義）	安全管理と救急処置	2	3	
体力測定と評価（講義・実習）	健康評価実習	1	2	
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1～3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体づくり運動・器械運動）	1	1～3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	4
救急処置（講義・実習）	安全管理と救急処置	2	3	
運動プログラムの管理（講義・実習）	栄養・運動指導実習	1	4	
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）	スポーツ心理学	2	2	
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）	基礎栄養学Ⅰ	2	1	
	応用栄養学	2	2	

健康運動指導士に関する科目〈2023年度入学生〉

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）		健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（NCD）（講義）		生活習慣病論	2	4
運動生理学（講義）		運動生理学	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）		バイオメカニクス	2	3
健康づくりの運動の理論（講義）		健康づくりと運動	2	2
運動障害と予防（講義）		安全管理と救急処置	2	3
体力測定と評価（講義・実習）		健康評価実習	1	2
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1~3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1~3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体づくり運動・器械運動）	1	1~3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1~3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	4
救急処置（講義・実習）		安全管理と救急処置	2	3
運動プログラムの管理（講義・実習）		栄養・運動指導実習	1	4
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）		スポーツ心理学	2	2
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）		基礎栄養学Ⅰ	2	1
		応用栄養学Ⅰ	2	2

健康運動指導士に関する科目〈2024年度以降入学生〉

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）		健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（NCD）（講義）		生活習慣病論	2	4
運動生理学（講義）		運動生理学	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）		バイオメカニクス	2	3
健康づくりの運動の理論（講義）		健康づくりと運動	2	2
運動障害と予防（講義）		安全管理と救急処置	2	3
体力測定と評価（講義・実習）		健康評価実習	1	2
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1～3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体づくり運動・器械運動）	1	1～3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	2～3
救急処置（講義・実習）		安全管理と救急処置	2	3
運動プログラムの管理（講義・実習）		スポーツ医学実習	1	4
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）		スポーツ心理学	2	2
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）		基礎栄養学Ⅰ	2	1
		応用栄養学Ⅰ	2	2

(2) 健康運動指導士資格が授与されるまでの過程

健康運動指導士に必要な科目の単位を取得し、尚且つ、卒業が見込まれる者は、（公財）健康・体力づくり事業財団が行う認定試験を受験することができる。認定試験は毎年3回（9月・11月・3月）に実施される。認定試験に合格すると、健康運動指導士の資格証が授与される。認定試験の受験および資格証の交付には費用を必要とする。

19. 初級パラスポーツ指導員

(健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻・2024 年度福祉リハビリテーション学科作業療法専攻)

初級パラスポーツ指導員は、(公財)日本パラスポーツ協会が認定する資格である。初級パラスポーツ指導員の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている初級パラスポーツ指導員に必要な専門科目を履修し、単位を修得しなければならない。資格の認定・登録には費用を要する。

(1) 初級パラスポーツ指導員に関する科目

(2022 年度入学生)

No.	科目名	本学開講科目	単位数	配当年次
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	アダプテッドスポーツ論	2	3
2	障がい者スポーツの意義と理念	アダプテッドスポーツ論	2	3
3	コミュニケーションスキルの基礎	アダプテッドスポーツ指導法	1	3~4
4	障がいのある人との交流	アダプテッドスポーツ指導法	1	3~4
5	障がい者スポーツ推進の取り組み	アダプテッドスポーツ論	2	3
6	障がい者スポーツに関する諸施策	アダプテッドスポーツ論	2	3
7	安全管理	安全管理と救急処置	2	3
8	各障がいの理解 ※身体障がい 3h (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む) 知的障がい 1.5h (発達障がいを含む)、精神障がい 1.5h	アダプテッドスポーツ論	2	3
9	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	アダプテッドスポーツ指導法	1	3~4
10	全国障害者スポーツ大会の概要	アダプテッドスポーツ論	2	3

〈2023 年度以降入学生対象〉

No.	科目名	本学開講科目	単位数	配当年次
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	アダプテッドスポーツ論	2	3
2	障がい者スポーツの意義と理念	アダプテッドスポーツ論	2	3
3	コミュニケーションスキルの基礎	アダプテッドスポーツ	1	1~2
4	障がいのある人との交流	アダプテッドスポーツ	1	1~2
5	障がい者スポーツ推進の取り組み	アダプテッドスポーツ論	2	3
6	障がい者スポーツに関する諸施策	アダプテッドスポーツ論	2	3
7	安全管理	安全管理と救急処置	2	3
8	各障がいの理解 ※身体障がい 3 h (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む) 知的障がい 1.5 h (発達障がいを含む)、精神障がい 1.5 h	アダプテッドスポーツ論	2	3
9	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	アダプテッドスポーツ	1	1~2
10	全国障害者スポーツ大会の概要	アダプテッドスポーツ論	2	3

※作業療法専攻については、「アダプテッドスポーツ論」を科目等履修として3年次以降に履修することで資格の養成科目とすることが可能となる。

20. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻）

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者は、（公財）日本スポーツ協会が認定する資格である。スポーツリーダーは、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツの指導や運営にあたる者であり、共通科目Ⅰを終了することにより取得できる。共通科目Ⅰ・Ⅱは、上位資格取得のための専門科目の受講に必須の科目である。各資格を取得しようとする者は、本学で開講されている必要な専門科目を履修し、単位を修得しなければならない。各資格の修了証明、認定、登録には費用を要する。

（1）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に関する科目

〈2022年度入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	トレーニング論	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学Ⅰ	2	2
	スポーツ医学	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	トレーニング論	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

〈2023 年度入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	トレーニング論	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学	2	2
	スポーツ医学	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	トレーニング論	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

〈2024 年度以降入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	運動生理学	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学	2	2
	スポーツ医学実習	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	運動生理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

21. 認定心理士（心理学科対象）

（1）認定心理士（正式名称：日本心理学会認定心理士）

日本心理学会認定心理士とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と公益社団法人・日本心理学会が認定した者のことである。

（2）履修方法

認定心理士の資格認定を受けるためには、次の表に示す、心理学関係科目 36 単位の修得が必要である。ただし、本学カリキュラム上は 2 単位であっても、科目の内容等によって、認定心理士のための単位としては 1 単位として取り扱われる場合がある。また、科目内容や担当者変更に伴って、認定領域の区分が変更になる場合がある。

（3）認定心理士の申請

学校を通じてではなく、申請を希望する者が、個人で、以下の申請手続きを行う。

1. 日本心理学会のホームページより、「認定心理士申請書類」をダウンロードする。
2. 申請書類に必要事項を記入し、審査料（11,000 円）払込控貼付のうえ認定委員会に送付する。
なお申請には、卒業証明書が必要である。
また必ず申請書類の送付前に、記入事項の確認を行った上で、学科担当教員の証明印を受領すること。
3. 所定の審査の上、可否が通知されるので、可と通知されたら、認定料（30,000 円）を送金する。
その後、公益社団法人日本心理学会認定心理士認定証と ID カードが送付される。

・不明の点は、日本心理学会のホームページにて確認すること。

認定心理士に関する科目

認定領域		本学開講科目	認定 単位数	配当 年次	備 考	
基礎科目	a	心理学概論	2	1	「基礎科目」 a・b・c の各領域 4 単位以上であること。	
		教育心理学	2	2		
	b	心理学研究法	2	1		
		心理学データ解析Ⅰ	1	2		
		心理学データ解析Ⅱ	1	2		
	c	心理学実験・実習	2	2		
		心理学実験Ⅱ	2	2		
選択科目	d	知覚・認知心理学	2	2	※ 2023 年度以前入学生対象	
		学習・言語心理学	2	2		
	e	神経・生理心理学	2	2		
		比較行動学	2	2		
	f	発達心理学入門（保育の心理学）	2	1		
		発達心理学	2	2		
		青年心理学	2	2		
	g	臨床心理学 人格心理学	臨床心理学入門	2		1
			臨床心理学概論	2		2
			心理学的支援法	2		2
			健康・医療心理学	2		3
			心理的アセスメントⅠ	2		2
			心理的アセスメントⅡ	2		2
心理演習Ⅰ			2	3		
心理演習Ⅱ			2	3		
メンタルヘルス論			2	3		
子どもの心理臨床			2	2		
障害者・障害児心理学	2	2				
教育・学校心理学	2	3				

Ⅳ
資格の取得

選択科目	g	臨床心理学 人格心理学	感情・人格心理学	2	2
			司法・犯罪心理学	2	2
			犯罪者プロファイリング演習	2	3
	h	社会心理学 産業心理学	社会心理学入門	2	1
			社会・集団・家族心理学	2	2
			京都文化心理学	2	1
			環境心理学	2	1
			産業・組織心理学	2	2
			消費者心理学	2	2
			コミュニティ心理学	2	2
	i	心理学関連科目	卒業研究	4	4
			卒業論文	4	4

22. 保育心理士（心理学科対象）

（1）保育心理士とは

保育心理士とは、子どもたちや子育て中の保護者のこころの問題に取り組むための専門知識と実践の技術を身につけた保育者として、社団法人 大谷保育協会が認定した者のことである。

本学科では、保育士資格取得者及び保育士資格取得を目指す者のみを保育心理士資格取得対象者とし、以下の履修方法に基づき単位取得した場合「保育心理士（二種）資格」の認定申請が可能となる。

（2）履修方法

保育心理士の資格認定を受けるためには、次の表に示す心理学関係科目の取得が必要である。

（3）保育心理士の申請

具体的な申請手続きは心理学科コモンズ掲示板及び光華 navi などで行うので、申請希望者は注意すること。ただし、保育心理士取得に際して認定料（登録料）2,000円が必要である。（なお、保育心理士資格取得後、それを保持するためには年会費3,000円が別途必要である。）

保育心理士に関する科目

保育心理士指定科目	本学開講科目	単位	配当年次	備考
保育人間学・保育社会学	仏教の人間観Ⅰ	2	1	1科目2単位以上
	仏教の人間観Ⅱ	2	1	
保育心理・発達心理学	発達心理学入門（保育の心理学）	2	1	必修
臨床心理学	臨床心理学概論	2	2	必修
障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	2	必修
保育心理演習	心理的アセスメントⅠ	2	2	2科目4単位以上
	心理的アセスメントⅡ	2	2	
	心理演習Ⅰ	2	3	
	心理演習Ⅱ	2	3	
保育心理技法	心理学的支援法	2	2	必修
保育支援演習	子どもの心理臨床	2	2	必修
子どもの心と健康	子どもと健康	2	3	必修
保育心理実習	発達支援実習	2	3	必修

23. 社会調査士（キャリア形成学科・心理学科・人間健康学群対象）

(1) 社会調査士

社会調査士とは、社会調査に関する基礎的な知識・技能・相応の応用力と倫理観を身につけていると社会調査士資格認定機構が認定した者のことである。

(2) 履修方法

社会調査士資格取得のためには、各大学（機関）に設置されている以下のA～Gに対応する授業科目単位を取得する必要がある（EとFはどちらかひとつを選択）。

社会調査士に関する科目（キャリア形成学科 / 人間健康学群）〈2022年度以前入学生対象〉

科 目	本学開講科目	単位	キャリア配当年次	学群配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社 会 と 統 計	2	1	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社 会 調 査 法	2	3	3・4
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	コンピュータ活用C	1	2・3	3
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	デ ー タ 解 析 入 門	1	2	2
【E】多変量解析の方法に関する科目	デ ー タ 解 析 応 用	1	3	2
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	* 該 当 科 目 な し			
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目 (必ず、両科目を履修すること)	社 会 調 査 実 習 I	1	3	3・4
	社 会 調 査 実 習 II	1	3	3・4

社会調査士に関する科目（キャリア形成学科 / 人間健康学群）〈2023年度以降入学生対象〉

科 目	本学開講科目	単位	キャリア配当年次	学群配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社 会 調 査 入 門	2	1・2	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社 会 調 査 法	2	2	3・4
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	ビジネスデータ分析基礎	2	2・3	3
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	データサイエンス実践	2	2・3	2
【E】量的データ解析の方法に関する科目	データサイエンス発展	2	3・4	3・4
【F】質的な分析の方法に関する科目	* 該 当 科 目 な し			
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	社 会 調 査 実 習 I	1	3	3・4
	社 会 調 査 実 習 II	1	3	3・4

社会調査士に関する科目（心理学科）

科 目	本学開講科目	単位	配当年次
【A】 社会調査の基本的事項に関する科目	社 会 と 統 計	2	2
【B】 調査設計と実施方法に関する科目	社 会 調 査 法	2	3
【C】 基本的な資料とデータの分析に関する科目	心理学データ解析Ⅰ	1	2
【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目	心理学データ解析Ⅱ	1	2
【E】 量的データ解析の方法に関する科目	心理学データ解析Ⅲ	1	3
【F】 質的な分析の方法に関する科目	* 該 当 科 目 な し		
【G】 社会調査の実習を中心とする科目 (必ず、両科目を履修すること)	社 会 調 査 実 習 Ⅰ	1	3
	社 会 調 査 実 習 Ⅱ	1	3

本学では、Fを除くすべての領域の科目を提供している。希望者には別途説明を行うので確認すること。

※なお、本学で資格取得に必要な科目を修得することが不可能な場合は、単位互換制度等を利用して他大学で修得した単位と併せて申請することが可能である。

(3) 社会調査士および社会調査士（取得見込み）の申請

下記の条件を満たした場合、社会調査士の認定を受けることができる。

- ① 学部卒業
- ② 社会調査士科目を設置している大学（機関）で標準カリキュラムA～Gに対応した科目単位を修得（E／Fは選択制）

また、下記の条件を充たした場合は、在学中に社会調査士（取得見込み）の認定を受けることができる。

- ① 在籍期間が2年以上であること。
- ② 社会調査士科目を設置している大学（機関）で標準カリキュラムA～Gに対応した科目単位を申請時まで、3科目以上単位修得していること。
- ③ ②の単位修得済み科目と今年度履修中の科目の合計が5科目以上であること。具体的な申請手続きについては、心理学科コモンズ掲示板および光華 navi などでお知らせ。申請希望者は注意しておくこと。

24. 公認心理師（心理学科）

公認心理師とは、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行う者をいう。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師の資格取得については、主務大臣が実施する公認心理師国家試験に合格する必要がある。その受験資格は、以下の者に付与される。

- ① 大学において、施行規則第1条の2で定める科目を修めて卒業し、かつ、大学院において施行規則第2条で定める科目を修めて修了した者
- ② 大学において施行規則第1条の2で定める科目を修めて卒業した者であって、施行規則第5条で定める各施設（文部科学大臣及び厚生労働大臣が認めるものに限る。）において、2年以上、法第2条第1号から第3号までに掲げる行為の業務に従事した者
- ③ 文部科学大臣及び厚生労働大臣が①②に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認定した者

(2022・2023年度入学生対象)

公認心理師国家試験受験資格取得を目指すためには、本学科で開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。ただし、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を履修するには、前年度の専門必修科目で出席率が80%以上であることに加えて、「公認心理師の職責」「心理学概論」「心理学研究法」「心理学統計法」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の単位を取得済みでなければならない。

(2024年度以降入学生対象)

公認心理師国家試験受験資格取得を目指すためには、本学科で開講されている下記の指定科目を履修しなければならない。ただし、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を履修するには、前年度の全ての専門必修科目で出席率が80%以上であることに加えて、リベラルアーツ教育科目および専門科目のうち1年次配当の全ての必修科目、「公認心理師の職責」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の単位を取得済みでなければならない。

※ただし、編入学生・転学学生については、時間割等のやむを得ない事情が発生した場合、受講条件を見直すことがある。
なお、公認心理師試験の受験資格を得るためには、上記①もしくは②の要件を満たす必要がある。

[補足]

- ・公認心理師科目の授業内外での見学や実習のため、入学時の健康診断にて、麻しん・風しん等の「抗体価検査」（有料）を受ける必要がある。健康診断時に受けられなかった者は、各自で自費で受けること。
また、場合によっては各種の「予防接種」を受ける必要がある。その際の費用は自己負担となる。
- ・「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」の受講者から実習費を徴収する。実習費の詳細については別途通知する。

	主務大臣指定科目	本学開講科目	授業形態	単位数	配当年次	備考
1	公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	2	
2	心理学概論	心理学概論	講義	2	1	
3	臨床心理学概論	臨床心理学概論	講義	2	2	
4	心理学研究法	心理学研究法	講義	2	1	
5	心理学統計法	心理学統計法	講義	2	1	
6	心理学実験	心理学実験Ⅰ	演習	2	2	
		心理学実験Ⅱ	演習	2	2	
7	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	講義	2	2	
8	学習・言語心理学	学習・言語心理学	講義	2	2	
9	感情・人格心理学	感情・人格心理学	講義	2	2	
10	神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	2	
11	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	講義	2	2	
12	発達心理学	発達心理学	講義	2	2	
13	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	2	
14	心理的アセスメント	心理的アセスメントⅠ	演習	2	2	
		心理的アセスメントⅡ	演習	2	2	
15	心理学的支援法	心理学的支援法	講義	2	2	
16	健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	3	
17	福祉心理学	福祉心理学	講義	2	3	
18	教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	3	
19	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	2	
20	産業・組織心理学	産業・組織心理学	講義	2	2	
21	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	3	
22	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療Ⅰ	講義	2	3	
23	関係行政論	関係行政論	講義	2	3	
24	心理演習	心理演習Ⅰ	演習	2	3	
		心理演習Ⅱ	演習	2	3	
25	心理実習	心理実習Ⅰ	実習	1	3	
		心理実習Ⅱ	実習	1	3	

25. 小学校英語指導者（こども教育学科）

小学校英語指導者は、小学校の教育現場で必要な英語指導者の育成を目的とした、NPO 法人小学校英語教育推進協議会（略称 J-SHINE）が認定する資格である。

小学校英語指導者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている小学校英語指導者の申請に必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。資格の認定・登録には費用を要する。

（1）小学校英語指導者に関する科目〈2022 年度後期以降開講科目対象〉

科目名	授業形態	単位数	配当年次
英語	講義	2	2
英語の発音	講義	1	2
英語科指導法	講義	2	3

（2）小学校英語指導者（小学校英語準認定指導者資格）の申請

小学校英語指導者の申請を希望する学生は、履修登録締切日までに、こども教育学科コモンズへ申込用紙を提出すること。また、資格の申請手続きについては、（1）に定める科目を修得後（3年次終了後）、申請を希望する者が、申請手続きを行う。本学の授業科目のみの単位修得で申請が可能な資格は、「小学校英語準認定指導者資格」となる。

26. 認定絵本士（こども教育学科対象）

（1）認定絵本士とは

現代の子どもの読書に係る現状等を踏まえ、子どもたちをはじめ、広く大人にとっても豊かな心を育む絵本の可能性やその活用法を、学校や家庭のみならず、地域社会に普及させるとともに、絵本の表現特性を理解し、絵本の読み聞かせをはじめとする子どもの読書活動を推進していく活動に携わる、国立青少年教育振興機構公認資格である。

（2）履修方法

国立青少年教育振興機構が認定した大学等が、教育課程に位置付けられた授業科目の中で、「認定絵本士養成カリキュラムに関するガイドライン」に基づいた講座「こどもと絵本Ⅰ」及び「こどもと絵本Ⅱ」（合計30科目（コマ）、50.5時間）を履修し、講座の全授業（30科目（コマ））のうち8割以上の授業に出席して授業科目の全単位を修得することにより、認定絵本士の資格を取得することができる。本学では認定絵本士に係る科目（定員40名）は3年次より履修できる。

「こどもと絵本Ⅰ」及び「こどもと絵本Ⅱ」を履修し履修年度の3月に認定申請を行うことで次年度6月に認定証が交付される。受講料・認定料・登録料の負担はない。

認定絵本士養成講座カリキュラム

授業科目名	授業形態	単位数	配当年次
こどもと絵本Ⅰ	講義	2	3
こどもと絵本Ⅱ	講義	2	3

27. 初級地域公共政策士

(人間健康学群・キャリア形成学科・医療福祉学科社会福祉専攻)〈2022年度入学生対象〉

初級地域公共政策士とは、自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等の地域公共人材を対象に、地域課題解決に対して実務的なプロジェクトスタッフやプロジェクトのサブリーダーとしての実践的能力を認定する職能資格制度である。本資格は、(財)地域公共人材開発機構(COLPU)が認証機関となる。

初級地域公共政策士の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている初級地域公共政策士の申請に必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。なお、資格には申請費用を要する。

(1) 初級地域公共政策士に関する科目

以下の資格プログラムの教育要素から指定された科目数以上の単位を取得すること。

「政策的思考法」から1科目、「政策研究の基盤知識」から2科目、「政策得意分野づくり」から2科目「政策基礎としての社会人基礎力」から「ソーシャル・ビジネス演習」を履修、修得すること。

科目名	資格 必修/選択	単位数	資格プログラムの教育要素	対象学科
国際社会の理解	選択	2	政策的思考法	キャリア・社福・学群
インターンシップ	選択	2	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
現代社会と福祉Ⅰ	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
現代社会と福祉Ⅱ	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	選択	2	政策得意分野づくり	社福
社会的処方	選択	2	政策得意分野づくり	学群
子ども家庭支援の心理学	選択	2	政策得意分野づくり	学群
ソーシャル・ビジネス演習	必修	1	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
地域公共政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
社会政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
ソーシャル・マネジメント原論	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
ソーシャルビジネス	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
社会福祉の原理と政策Ⅰ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
高齢者福祉	選択	2	政策得意分野づくり	社福・学群

〈プログラム外で履修を推奨する科目〉(1年次):「くらしのなかの経済学」「くらしのなかの統計学」「情報リテラシー基礎」「情報リテラシー応用」「ボランティア論」

初級地域公共政策士

(人間健康学群・キャリア形成学科・医療福祉学科社会福祉専攻)〈2023年度以降入学生対象〉

科目名	資格 必修/選択	単位数	資格プログラムの教育要素	対象学科
国際社会の理解	選択	2	政策的思考法	キャリア・社福・学群
インターンシップ	選択	2	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
現代社会と福祉	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
コミュニティ心理学	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
児童・家庭福祉(子ども家庭福祉)	選択	2	政策得意分野づくり	社福
社会的処方	選択	2	政策得意分野づくり	学群
子ども家庭支援の心理学	選択	2	政策得意分野づくり	学群
ソーシャル・ビジネス演習	必修	1	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
地域公共政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
社会と環境	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
ソーシャル・マネジメント原論	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
ソーシャルビジネス	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
社会福祉の原理と政策Ⅰ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
高齢者福祉	選択	2	政策得意分野づくり	社福・学群

(2) 初級地域公共政策士の申請

初級地域公共政策士の申請を希望する学生は、(1)に定める科目を修得後、申請を希望する者が、申請手続きを行う。

京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部

履修のてびき (2025 年度版)
2025 年 4 月 1 日 発行

〒 615-0882
京都市右京区西京極葛野町 38

連絡先

【事務局】

修学支援センター 075-325-5308